

調布市男女共同参画に関する 意識調査報告書

令和3年3月

調 布 市

目次

第1章 アンケート調査の実施概要.....	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査内容	1
4. 回収結果	2
5. 報告書の見方	2
第2章 市民意識調査の結果.....	3
1. 基礎データ	3
2. 家事・育児・介護について.....	5
3. 仕事について	46
4. ワーク・ライフ・バランスについて.....	55
5. 学校教育について.....	66
6. 人権について	68
7. ハラスメントについて.....	72
8. ドメスティック・バイオレンスについて.....	80
9. 性的マイノリティについて.....	102
10. 男女共同参画について.....	106
第3章 事業所意識調査の結果.....	134
1. 基礎データ	134
2. 女性の登用・雇用について.....	136
3. 多様な働き方について.....	141
4. ワーク・ライフ・バランスについて.....	151
5. ハラスメント対策について.....	153
6. 性的マイノリティ（LGBTなど）への配慮について.....	156
第4章 自由回答	158
第5章 調査票	172
1. 市民意識調査の調査票.....	172
2. 事業所意識調査の調査票.....	190

第1章 アンケート調査の実施概要

1. 調査目的

調布市民及び市内事業所の男女共同参画に関する意識・実態を把握するとともに、ご意見やご要望をお伺いして、今後の男女共同参画に向けた施策を推進するうえでの基礎資料とするものです。

2. 調査設計

	市民意識調査	事業所意識調査
(1) 調査地域	調布市全域	
(2) 調査対象	調布市在住の18歳以上の男女	調布市内に事業所のある企業
(3) 標本数	3,000 サンプル	52 サンプル
(4) 標本抽出	住民基本台帳より無作為抽出	市内事業所より抽出
(5) 調査方法	郵送配布・回収(督促はがき1回)	郵送配布・回収
(6) 調査期間	令和2年11月13日(金)～11月30日(月)	

3. 調査内容

市民意識調査	事業所意識調査
1. 基礎データ	1. 基礎データ
2. 家事・育児・介護について	2. 女性の登用・雇用について
3. 仕事について	3. 多様な働き方について
4. ワーク・ライフ・バランスについて	4. ワーク・ライフ・バランスについて
5. 学校教育について	5. ハラスメント対策について
6. 人権について	6. 性的マイノリティ(LGBTなど)への配慮について
7. ハラスメントについて	
8. ドメスティック・バイオレンスについて	
9. 性的マイノリティについて	
10. 男女共同参画について	

4. 回収結果

	市民意識調査	事業所意識調査
(1) 有効回収数	1,419 件	33 件
(2) 有効回収率	47.3%	63.5%

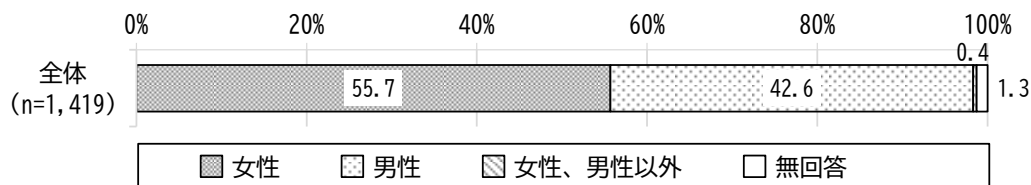
5. 報告書の見方

- (1) 図表中のnとは、回答者総数（または該当質問での該当者数）のことである。
- (2) 集計は、小数点第2位を四捨五入している。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (3) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100.0%を超える場合がある。
- (4) 回答者数の「全体」には、属性（性別、年代など）の無回答を含むため、男女別等の属性別の数を合計したものと「全体」の数値が一致しない場合がある。
- (5) 本報告書では、性別、年代別など、比較分析を必要に応じて行っている。ただし、サンプル数が30件未満と少ないものについては、集計結果を参考程度にとどめる必要があるため、本文中のグラフ・表に示しているが、基本的に分析の対象からは除いている。
- (6) 本文や図表中の選択肢表記は、短縮・簡略化している場合がある。
- (7) クロス集計表において、上位2位までを着色しており、最も割合の高いものを黒色、次いで割合の高いものを灰色としている。
- (8) 回答がなかった選択肢は、グラフにその割合を記載していない。

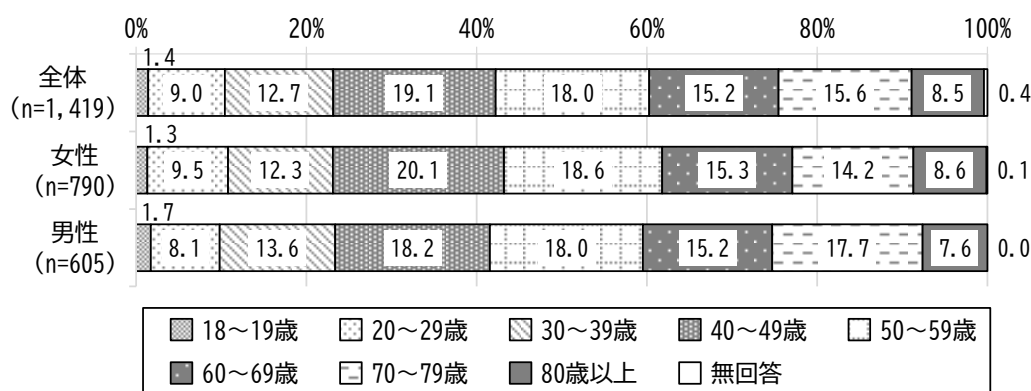
第2章 市民意識調査の結果

1. 基礎データ

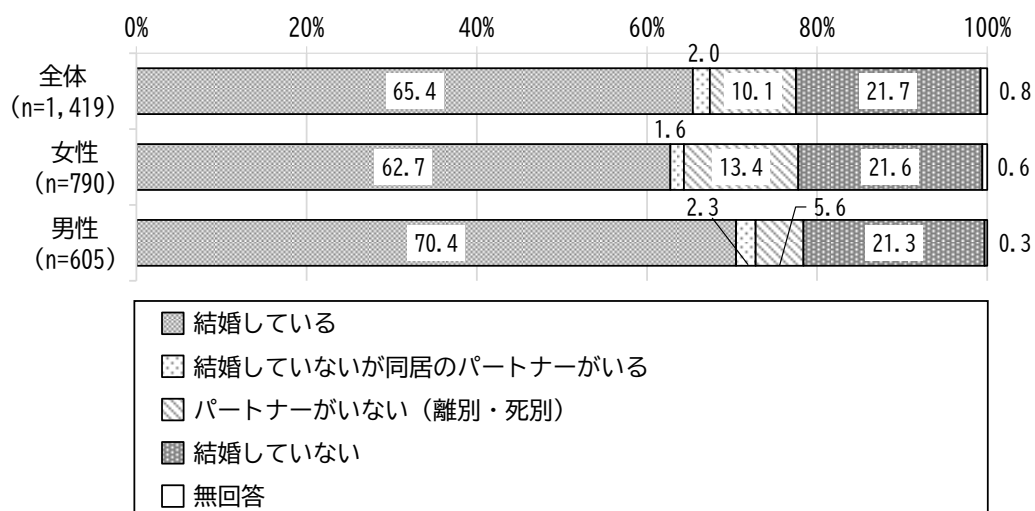
【性別】



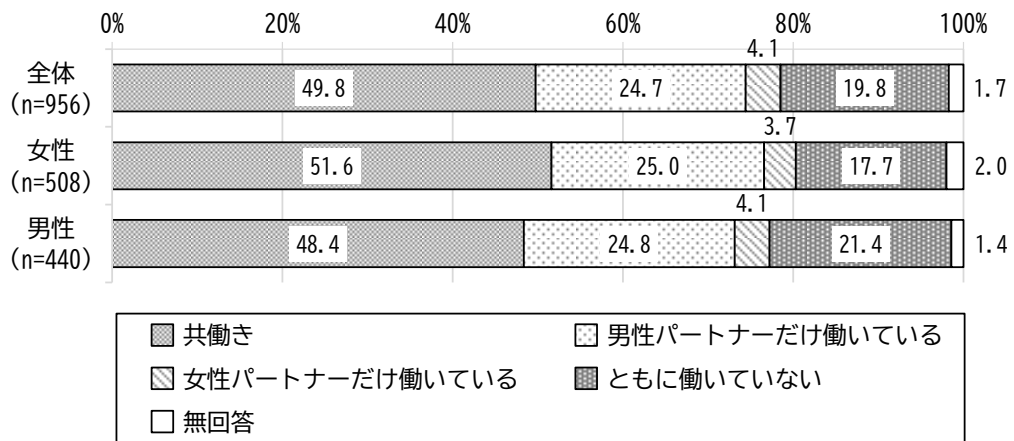
【年代】



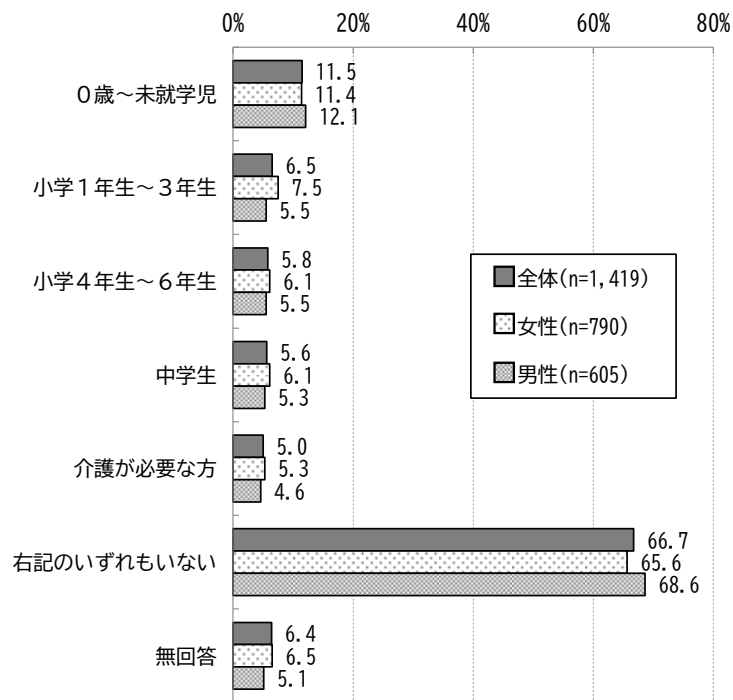
【婚姻状況】



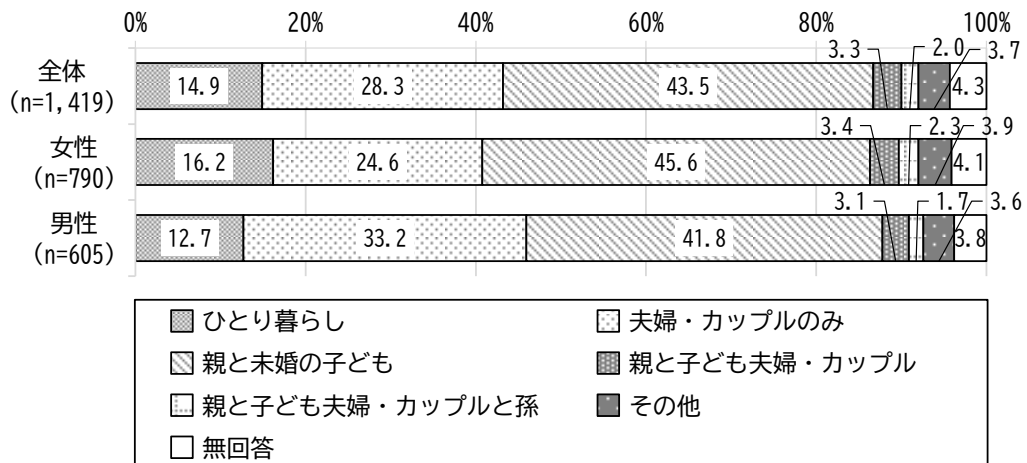
【世帯の就労状況】



【世帯の構成員】



【世帯構成】



2. 家事・育児・介護について

問1 あなたは、家事・育児・介護をパートナーとの間でどのように分担することが望ましいと思いますか。(ア)～(ウ)について、○はそれぞれ1つずつ)

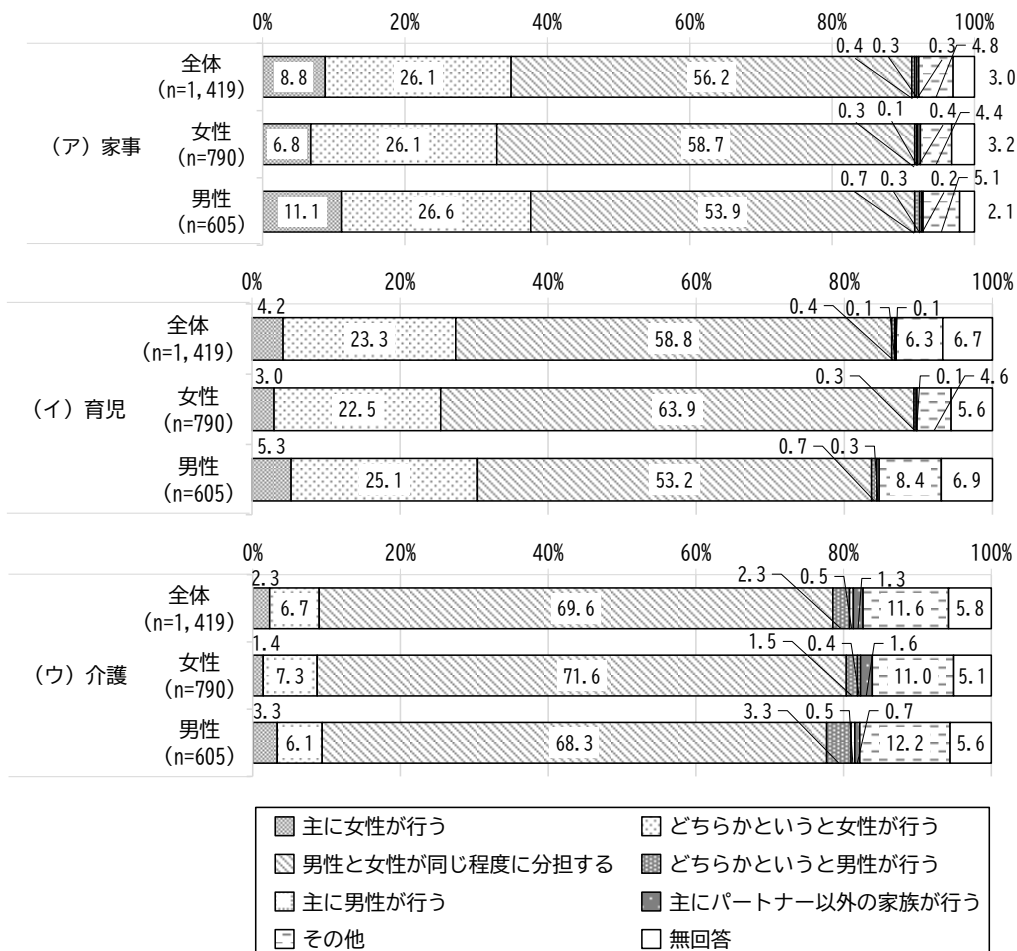
「(ア) 家事」について、全体では、「男性と女性が同じ程度に分担する」が56.2%と最も高く、次いで「どちらかというとな女性が行う」が26.1%、「主に女性が行う」が8.8%となっている。性別にみると、**女性、男性ともに理想は「男性と女性が同じ程度に分担する」が最も多く、女性の方がその割合がやや高いが、性別による大きな差は見られない。**また、「主に女性が行う」と回答した割合は、男性が女性よりも5ポイント程度高い。

「(イ) 育児」について、全体では、「男性と女性が同じ程度に分担する」が58.8%と最も高く、次いで「どちらかというとな女性が行う」が23.3%、「女性が行う」が4.2%となっている。性別にみると、**女性、男性ともに理想は「男性と女性が同じ程度に分担する」が最も多いが、女性の方が10ポイント以上高く、分担する意識が高い。**

「(ウ) 介護」について、全体では、「男性と女性が同じ程度に分担する」が69.6%と最も高く、次いで「どちらかというとな女性が行う」が6.7%、「女性が行う」「どちらかというとな男性が行う」が2.3%となっている。性別にみると、**女性、男性ともに理想は「男性と女性が同じ程度に分担する」が最も多く、女性の方がその割合がやや大きい、性別による大きな差は見られない。**

また、「家事・育児・介護」について、全体では、「男性と女性が同じ程度に分担する」という割合が一番高いのは「介護」で、次いで「育児」「家事」の順番となっている。

【理想の分担 (家事・育児・介護)】



【クロス集計】

「理想の分担（家事）」

性・年代別にみると、「男性と女性が同じ程度に分担する」について、女性では20歳代以下の若年層で8割以上と割合が高く、男性では30歳代以下で8割程度と割合が高い。**若い年代ほど性別役割分担意識が低い**ことが伺える。女性・男性とも年代が上がるにつれて、「主に女性が行う」「どちらかという

と女性が行う」の割合が増加する傾向にある。
世帯の就労状況別にみると、共働きでは「男性と女性が同じ程度に分担する」が64.5%となっているが、男性パートナーだけ働いている場合では40.3%、女性パートナーだけ働いている場合では64.1%となっている。

		回答者 総数(n)	行主 うに 女性 が	が い ど う と ら 女 性 と	に が 同 性 と す 程 度 性	が い ど う と ら 男 性 と	行主 うに 男性 が	家 族 に 以 外 の ト	そ の 他	無 回 答	
全体		1419	8.8	26.1	56.2	0.4	0.3	0.3	4.8	3.0	
性別	女性	790	6.8	26.1	58.7	0.3	0.1	0.4	4.4	3.2	
	男性	605	11.1	26.6	53.9	0.7	0.3	0.2	5.1	2.1	
	女性、男性以外	5	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	90.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
		20～29歳	75	1.3	12.0	82.7	1.3	0.0	0.0	0.0	2.7
		30～39歳	97	5.2	19.6	69.1	0.0	0.0	0.0	6.2	0.0
		40～49歳	159	6.3	23.3	62.3	0.0	0.0	0.0	6.9	1.3
		50～59歳	147	6.1	29.3	55.1	0.7	0.0	1.4	6.1	1.4
		60～69歳	121	9.1	29.8	55.4	0.0	0.0	0.0	5.0	0.8
		70～79歳	112	8.0	29.5	52.7	0.0	0.9	0.9	1.8	6.3
	80歳以上	68	13.2	41.2	29.4	0.0	0.0	0.0	1.5	14.7	
	男性	18～19歳	10	10.0	10.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	0.0	12.2	79.6	0.0	0.0	0.0	6.1	2.0
		30～39歳	82	2.4	11.0	79.3	0.0	0.0	0.0	7.3	0.0
		40～49歳	110	6.4	20.0	59.1	2.7	0.0	0.0	7.3	4.5
		50～59歳	109	15.6	26.6	52.3	0.0	0.9	0.0	3.7	0.9
		60～69歳	92	15.2	34.8	44.6	0.0	0.0	0.0	4.3	1.1
70～79歳		107	14.0	37.4	40.2	0.0	0.9	0.9	4.7	1.9	
80歳以上	46	23.9	47.8	17.4	2.2	0.0	0.0	2.2	6.5		
就労状況	共働き	476	7.4	22.7	64.5	0.4	0.2	0.4	3.6	0.8	
	男性パートナーだけ働いている	236	14.8	40.3	40.3	0.0	0.4	0.4	3.8	0.0	
	女性パートナーだけ働いている	39	12.8	17.9	64.1	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	
	ともに働いていない	189	13.8	37.0	44.4	0.5	0.5	0.0	1.6	2.1	
世帯の構成員	0歳～未就学児	163	8.6	23.9	65.6	0.6	0.0	0.0	1.2	0.0	
	小学1年生～3年生	92	9.8	30.4	55.4	1.1	0.0	0.0	2.2	1.1	
	小学4年生～6年生	82	9.8	23.2	64.6	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0	
	中学生	80	6.3	28.7	56.3	0.0	0.0	0.0	6.3	2.5	
	介護が必要な方	71	15.5	21.1	52.1	0.0	0.0	1.4	5.6	4.2	
	上記のいずれもない	946	8.9	27.3	55.4	0.4	0.3	0.2	5.6	1.9	
職業別	正規社員・職員等	608	8.1	21.1	64.6	0.7	0.0	0.2	4.4	1.0	
	非正規社員・職員等	286	8.4	25.2	55.6	0.3	0.3	0.7	5.6	3.8	
	その他	19	5.3	21.1	57.9	0.0	0.0	5.3	5.3	5.3	
	無職	463	10.2	34.6	47.9	0.0	0.4	0.0	4.3	2.6	

※職業別の「正規社員・職員等」は、問7で回答した職業のうち「自営業（家族従業者も含む）・フリーランス（自由業）」「企業経営者・役員」「正規の社員・職員」を統合し、「非正規社員・職員等」は「非正規の社員・職員（契約社員・嘱託員など）」「パート・アルバイト」を統合した。また、「無職」は「家事専業」「学生」「無職」を統合したものとなる。（以下の職業別の集計も同様に分類）

【クロス集計】

「理想の分担（育児）」

性・年代別にみると、「男性と女性が同じ程度に分担する」について、女性では40歳代以下で7割以上と割合が高く、男性では30歳代以下で7割程度と割合が高い。**若い年代ほど性別役割分担意識が低い**ことが伺える。女性・男性とも年代が上がるにつれて、「主に女性が行う」「どちらかというとな女性が
行う」の割合が増加する傾向にある。

世帯の構成員別にみると、子どもがいる場合はその年齢にかかわらず、「男性と女性が同じ程度に分担する」が7割程度となっている。また、子どもの年齢にかかわらず、『女性が行う』（「主に女性が行う」と「どちらかというとな女性が
行う」の合計）も2割から3割程度になっているのに対して、『男性が行う』（「どちらかというとな男性が行う」と「主に男性が行う」の合計）はいずれも1%程度と低くなっている。

		回答者 総数(n)	主 に 女 性 が	ど ち ら か 女 性 と	ど ち ら か 男 性 と	ど ち ら か 男 性 が	主 に 男 性 が	主 に 女 性 が 行 う の ト	そ の 他	無 回 答	
全体		1419	4.2	23.3	58.8	0.4	0.1	0.1	6.3	6.7	
性別	女性	790	3.0	22.5	63.9	0.3	0.0	0.1	4.6	5.6	
	男性	605	5.3	25.1	53.2	0.7	0.3	0.0	8.4	6.9	
	女性、男性以外	5	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	20.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
		20～29歳	75	1.3	13.3	80.0	1.3	0.0	0.0	0.0	4.0
		30～39歳	97	4.1	19.6	72.2	0.0	0.0	0.0	4.1	0.0
		40～49歳	159	1.9	17.0	74.8	0.0	0.0	0.0	5.7	0.6
		50～59歳	147	4.1	28.6	57.1	0.0	0.0	0.7	7.5	2.0
		60～69歳	121	1.7	25.6	63.6	0.0	0.0	0.0	5.0	4.1
		70～79歳	112	3.6	22.3	56.3	0.0	0.0	0.0	4.5	13.4
		80歳以上	68	5.9	32.4	35.3	1.5	0.0	0.0	1.5	23.5
	男性	18～19歳	10	10.0	10.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	0.0	18.4	69.4	0.0	2.0	0.0	8.2	2.0
		30～39歳	82	0.0	22.0	68.3	1.2	0.0	0.0	8.5	0.0
		40～49歳	110	5.5	18.2	60.9	1.8	0.0	0.0	7.3	6.4
		50～59歳	109	7.3	30.3	50.5	0.0	0.0	0.0	7.3	4.6
		60～69歳	92	5.4	32.6	50.0	0.0	0.0	0.0	7.6	4.3
70～79歳		107	8.4	26.2	42.1	0.0	0.9	0.0	11.2	11.2	
80歳以上		46	6.5	28.3	23.9	2.2	0.0	0.0	10.9	28.3	
就労状況	共働き	476	3.2	22.1	65.3	0.4	0.0	0.2	6.3	2.5	
	男性パートナーだけ働いている	236	5.1	32.6	53.0	0.0	0.0	0.0	5.9	3.4	
	女性パートナーだけ働いている	39	10.3	23.1	59.0	0.0	0.0	0.0	5.1	2.6	
	ともに働いていない	189	6.3	27.5	42.9	0.5	0.5	0.0	6.9	15.3	
世帯の構成員	0歳～未就学児	163	3.7	23.9	70.6	0.6	0.0	0.0	1.2	0.0	
	小学1年生～3年生	92	8.7	16.3	71.7	1.1	0.0	0.0	2.2	0.0	
	小学4年生～6年生	82	6.1	23.2	70.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	中学生	80	5.0	21.3	66.3	0.0	0.0	0.0	6.3	1.3	
	介護が必要な方	71	1.4	21.1	53.5	0.0	0.0	0.0	5.6	18.3	
	上記のいずれもない	946	4.2	24.2	56.8	0.3	0.1	0.1	7.9	6.3	
職業別	正規社員・職員等	608	4.3	21.9	64.8	0.7	0.0	0.0	5.8	2.6	
	非正規社員・職員等	286	2.8	17.5	66.1	0.0	0.0	0.3	5.6	7.7	
	その他	19	10.5	21.1	57.9	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	
	無職	463	4.8	30.5	48.2	0.2	0.4	0.0	7.8	8.2	

【クロス集計】

「理想の分担（介護）」

性・年代別にみると、「男性と女性が同じ程度に分担する」について、女性では70歳代以下で7割以上と割合が高く、男性も60歳代以下で7割程度と割合が高い。**家事・育児に比べて、理想とする分担について、女性・男性ともに年代による差が少ない傾向にある。**

世帯の構成員別にみると、介護が必要な方がいる場合は「男性と女性が同じ程度に分担する」が56.3%と最も高くなっているほか、「主に女性が行う」「その他」が12.7%と高くなっている。

		回答者 総数(n)	行主 うに 女性 が	が い ど う と ら 女 性 と	に が 男 性 と 同 じ 程 度 性	が い ど う と ら 男 性 と	行主 うに 男性 が	家 族 以 外 の ト	主 に パ ー ト ナ ー	そ の 他	無 回 答
全体		1419	2.3	6.7	69.6	2.3	0.5	1.3	11.6	5.8	
性別	女性	790	1.4	7.3	71.6	1.5	0.4	1.6	11.0	5.1	
	男性	605	3.3	6.1	68.3	3.3	0.5	0.7	12.2	5.6	
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	60.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	90.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
		20～29歳	75	0.0	2.7	76.0	5.3	1.3	2.7	8.0	4.0
		30～39歳	97	1.0	8.2	70.1	0.0	0.0	2.1	18.6	0.0
		40～49歳	159	1.9	6.9	75.5	0.6	0.0	0.6	13.2	1.3
		50～59歳	147	2.0	6.8	70.7	3.4	0.0	2.7	11.6	2.7
		60～69歳	121	0.8	9.1	77.7	0.8	0.0	0.0	8.3	3.3
		70～79歳	112	0.9	5.4	70.5	0.0	1.8	1.8	8.0	11.6
		80歳以上	68	2.9	14.7	50.0	1.5	0.0	2.9	8.8	19.1
	男性	18～19歳	10	0.0	0.0	80.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	0.0	2.0	77.6	6.1	2.0	0.0	10.2	2.0
		30～39歳	82	0.0	2.4	74.4	2.4	0.0	1.2	18.3	1.2
		40～49歳	110	2.7	4.5	69.1	1.8	0.0	0.0	16.4	5.5
		50～59歳	109	3.7	6.4	71.6	5.5	0.0	0.9	7.3	4.6
		60～69歳	92	4.3	8.7	69.6	1.1	2.2	0.0	8.7	5.4
就労状況	共働き	476	1.7	6.1	73.1	1.9	0.2	1.3	12.8	2.9	
	男性パートナーだけ働いている	236	3.8	10.2	67.8	2.5	0.8	1.3	11.4	2.1	
	女性パートナーだけ働いている	39	0.0	5.1	76.9	2.6	0.0	0.0	10.3	5.1	
	ともに働いていない	189	4.2	9.5	63.5	2.1	0.0	0.5	10.1	10.1	
世帯の構成員	0歳～未就学児	163	1.2	6.7	77.3	2.5	0.0	0.6	11.0	0.6	
	小学1年生～3年生	92	3.3	7.6	70.7	2.2	0.0	0.0	15.2	1.1	
	小学4年生～6年生	82	2.4	3.7	79.3	0.0	1.2	1.2	9.8	2.4	
	中学生	80	3.8	8.8	71.3	1.3	1.3	0.0	12.5	1.3	
	介護が必要な方	71	12.7	9.9	56.3	1.4	0.0	2.8	12.7	4.2	
	上記のいずれもない	946	1.7	6.0	70.3	2.7	0.6	1.3	11.7	5.6	
職業別	正規社員・職員等	608	3.0	5.6	72.5	2.5	0.7	0.7	13.0	2.1	
	非正規社員・職員等	286	0.7	5.2	72.7	2.1	0.0	2.1	9.1	8.0	
	その他	19	0.0	5.3	73.7	0.0	5.3	0.0	5.3	10.5	
	無職	463	2.2	9.5	66.5	1.9	0.4	1.7	11.7	6.0	

問2 あなたの家庭では、実際に家事・育児・介護をどのように分担していますか、または、分担して
 いましたか。(ア)～(ウ)について、○はそれぞれ1つずつ

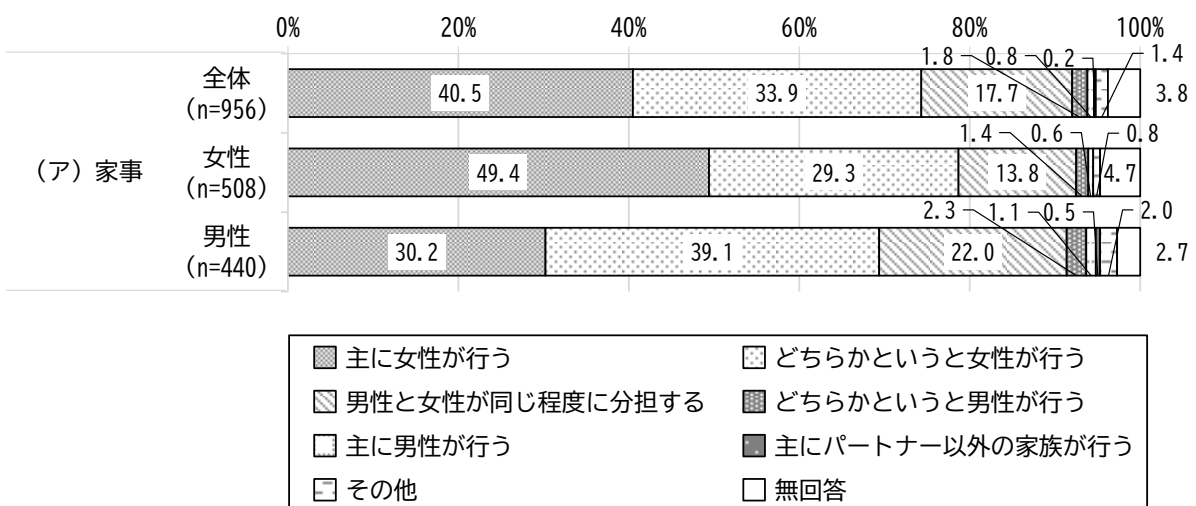
※「育児」については子どもがいる方、「介護」については介護を必要とする方がいる方を対象としています。

「(ア) **家事**」について、全体では、「主に女性が行う」が40.5%と最も高く、次いで「どちらかとい
 うと女性が行う」が33.9%であり、**現実には女性が主として担っている割合が高い**。性別にみると、女
 性は「主に女性が行う」が49.4%、男性は「どちらかというと女性が行う」が39.1%とそれぞれ最も高
 くなっている。性別にかかわらず、問1の理想と現実との間に差が見られる。また、性別により家事分
 担に対する認識に差が見られる。

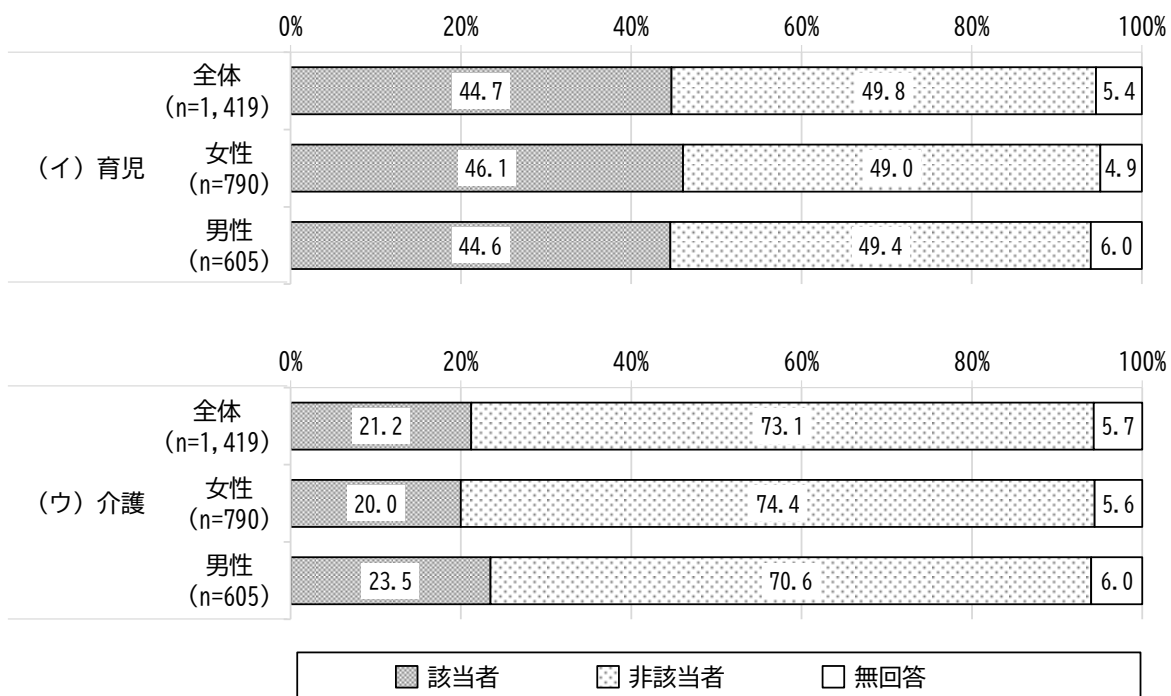
「(イ) **育児**」について、該当する市民の割合は44.7%となっている。分担状況については、全体では、
 「どちらかというと女性が行う」が43.3%と最も高く、「主に女性が行う」が37.3%となっている。**現実
 は女性が主として担っている割合が高い**。性別にみると、女性は「主に女性が行う」が46.2%、男性は「ど
 ちらかというと女性が行う」が49.6%、「主に女性が行う」は25.2%となっている。性別にかかわらず、問
 1の理想と現実との間に差が見られる。また、性別により育児分担に対する認識に差が見られる。

「(ウ) **介護**」について、該当する市民の割合は21.2%となっている。分担状況については、全体で
 は、「男性と女性が同じ程度に分担する」が31.2%と最も高く、次いで「**主に女性が行う**」が**29.9%**、「**ど
 ちらかというと女性が行う**」が**26.6%**となっている。性別にみると、女性は「主に女性が行う」が40.5%
 に対して、男性は「主に女性が行う」が17.6%、「男性と女性が同じ程度に分担する」の回答は、女性が
 20.9%に対して、男性は43.0%であった。性別にかかわらず、問1の理想と現実との間に差が見られる。
 また、性別により介護分担に対する認識に差が見られる。

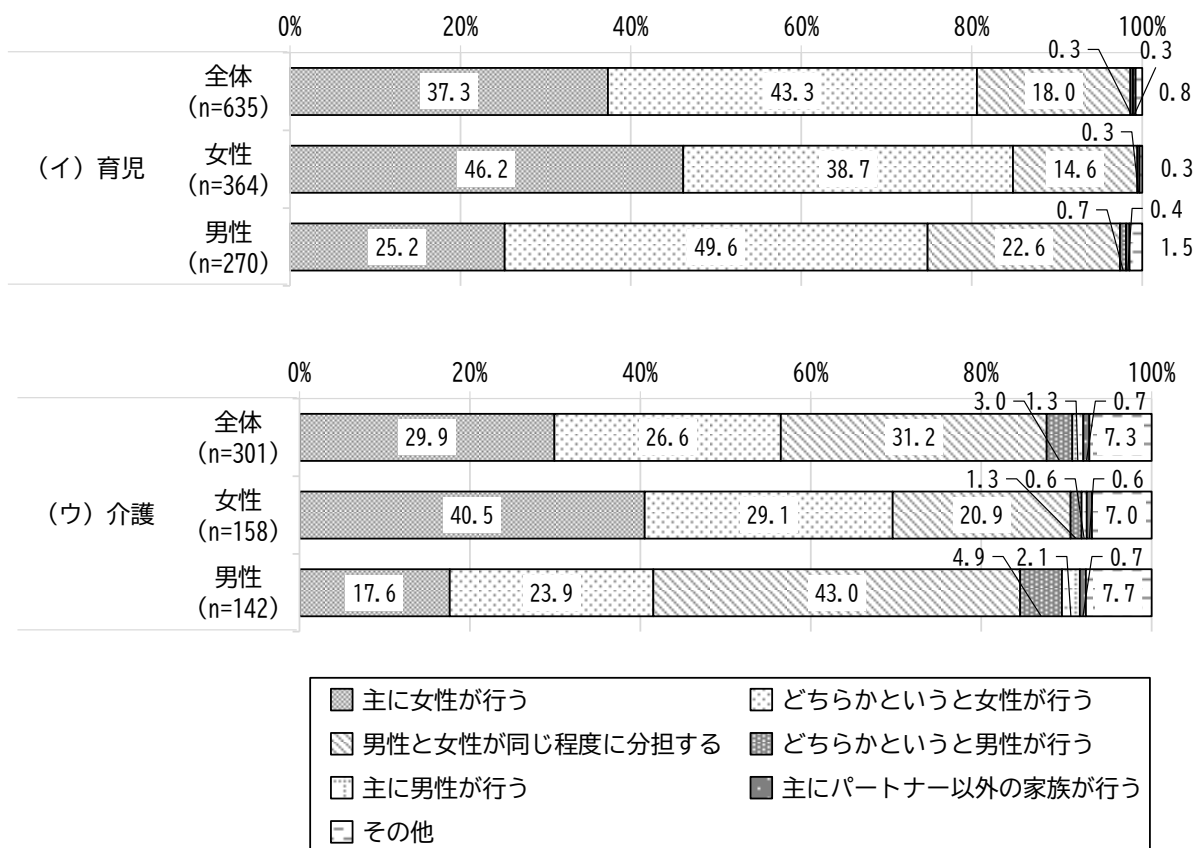
【現実の分担(家事)】



【該当者の割合(育児・介護)】



【現実の分担(育児・介護)】



【クロス集計】

「現実の分担（家事）」

性・年代別にみると、『女性が行う』（「主に女性が行う」と「どちらかというとな女性がを行う」の合計）について、女性では30歳代以上、男性では40歳代以上を境にして割合が高くなっている。また、40歳代以上の女性では「主に女性がを行う」がおよそ5割から6割程度と割合が高くなっている。

世帯の就労状況別にみると、『女性がを行う』について、共働きの場合は70.1%、男性パートナーだけ働いている場合は86.0%、女性パートナーだけ働いている場合は58.9%となっており、世帯の就労状況にかかわらず、**女性に家事の負担がかかっている状況が伺える。**

		回答者 総数(n)	主に 女性 が 行 う	ど ど ち ら か 行 う と い う	ど ど ち ら か 行 う と い う	ど ど ち ら か 行 う と い う	ど ど ち ら か 行 う と い う	ど ど ち ら か 行 う と い う	ど ど ち ら か 行 う と い う	ど ど ち ら か 行 う と い う	無 回 答	
全体		956	40.5	33.9	17.7	1.8	0.8	0.2	1.4	3.8		
性別	女性	508	49.4	29.3	13.8	1.4	0.6	0.0	0.8	4.7		
	男性	440	30.2	39.1	22.0	2.3	1.1	0.5	2.0	2.7		
	女性、男性以外	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	17	11.8	35.3	35.3	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	67	38.8	32.8	25.4	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0
		40～49歳	113	50.4	33.6	12.4	1.8	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0
		50～59歳	116	58.6	31.0	8.6	0.0	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0
		60～69歳	85	62.4	24.7	10.6	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
		70～79歳	62	48.4	35.5	14.5	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		80歳以上	23	65.2	17.4	17.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	10	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	57	17.5	28.1	45.6	1.8	3.5	0.0	3.5	0.0	0.0
		40～49歳	81	25.9	44.4	23.5	1.2	0.0	1.2	3.7	0.0	0.0
		50～59歳	87	40.2	40.2	12.6	3.4	2.3	0.0	1.1	0.0	0.0
		60～69歳	69	30.4	49.3	14.5	2.9	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0
70～79歳	89	33.7	40.4	20.2	2.2	0.0	1.1	2.2	0.0	0.0		
80歳以上	35	45.7	37.1	14.3	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
就労状況	共働き	476	34.2	35.9	22.9	1.9	1.1	0.2	2.1	1.7		
	男性パートナーだけ働いている	236	53.8	32.2	7.2	0.8	0.0	0.4	0.4	5.1		
	女性パートナーだけ働いている	39	33.3	25.6	23.1	5.1	7.7	0.0	2.6	2.6		
	ともに働いていない	189	40.2	33.9	16.9	2.1	0.0	0.0	0.5	6.3		
世帯の構成員	0歳～未就学児	161	32.9	34.8	24.8	3.1	0.6	0.6	0.6	2.5		
	小学1年生～3年生	88	42.0	38.6	14.8	0.0	1.1	0.0	0.0	3.4		
	小学4年生～6年生	77	41.6	36.4	18.2	1.3	0.0	0.0	1.3	1.3		
	中学生	73	39.7	39.7	13.7	1.4	1.4	0.0	1.4	2.7		
	介護が必要な方	50	54.0	22.0	10.0	4.0	0.0	2.0	2.0	6.0		
	上記のいずれもない	584	41.4	32.7	17.3	1.7	1.0	0.0	1.7	4.1		
職業別	正規社員・職員等	432	32.2	38.0	22.9	2.5	0.5	0.2	1.4	2.3		
	非正規社員・職員等	190	49.5	30.5	14.2	1.1	1.1	0.5	1.1	2.1		
	その他	8	50.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5		
	無職	300	47.7	30.7	12.7	1.3	1.0	0.0	1.0	5.7		

【クロス集計】

「現実の分担（育児）」

性・年代別にみると、女性では30歳代以上から『女性が行う』が8割から9割程度と高くなっている。一方で、男性の30歳代から50歳代では、『女性が行う』が6割から7割台と女性に比べ低くなっている。一部の年代では性別により育児分担に対する認識に差が見られる。

世帯の構成員別にみると、子どもの年齢にかかわらず『女性が行う』が7割から8割台と高くなる。家事と同様に**育児も女性に負担がかかっている**状況が伺える。

		回答者 総数(n)	主に 女性 が行 う	とど ち女 性ら が行 うい う	るじ 男性 と女 性に 分性 担が す同	とど ち男 性ら が行 うい う	主に 男性 が行 う	う以 外に のバ ー 族 が ナ ー 行 う	そ の 他
全体		635	37.3	43.3	18.0	0.3	0.0	0.3	0.8
性別	女性	364	46.2	38.7	14.6	0.0	0.0	0.3	0.3
	男性	270	25.2	49.6	22.6	0.7	0.0	0.4	1.5
	女性、男性以外	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性・年代別	女性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	6	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	56	35.7	50.0	14.3	0.0	0.0	0.0
		40～49歳	94	38.3	42.6	19.1	0.0	0.0	0.0
		50～59歳	90	61.1	31.1	7.8	0.0	0.0	0.0
		60～69歳	59	49.2	35.6	15.3	0.0	0.0	0.0
		70～79歳	44	47.7	34.1	15.9	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	14	42.9	35.7	14.3	0.0	0.0	7.1	
	男性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	44	13.6	50.0	34.1	0.0	0.0	0.0
		40～49歳	63	27.0	49.2	20.6	0.0	0.0	1.6
		50～59歳	59	23.7	47.5	25.4	0.0	0.0	0.0
		60～69歳	43	23.3	58.1	18.6	0.0	0.0	0.0
70～79歳		44	36.4	45.5	18.2	0.0	0.0	0.0	
80歳以上	14	28.6	50.0	7.1	14.3	0.0	0.0		
就労状況 世帯の	共働き	333	34.2	44.1	20.4	0.0	0.0	0.3	
	男性パートナーだけ働いている	170	38.2	47.1	14.1	0.0	0.0	0.0	
	女性パートナーだけ働いている	25	44.0	36.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
	ともに働いていない	99	43.4	36.4	16.2	2.0	0.0	1.0	
世帯の 構成員	0歳～未就学児	157	26.1	49.7	22.3	0.0	0.0	0.6	
	小学1年生～3年生	85	37.6	44.7	17.6	0.0	0.0	0.0	
	小学4年生～6年生	76	32.9	52.6	14.5	0.0	0.0	0.0	
	中学生	71	33.8	40.8	25.4	0.0	0.0	0.0	
	介護が必要な方	29	55.2	20.7	20.7	0.0	0.0	0.0	
	上記のいずれもない	300	43.3	40.0	15.0	0.3	0.0	0.3	
職業別	正規社員・職員等	311	28.3	48.6	21.9	0.3	0.0	0.3	
	非正規社員・職員等	122	45.9	39.3	14.8	0.0	0.0	0.0	
	その他	5	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	181	47.5	38.1	13.3	0.0	0.0	0.6	

【クロス集計】

「現実の分担（介護）」

性・年代別にみると、女性は50歳代から60歳代で「主に女性が行う」が4割台と高くなっている。男性では「男性と女性が同じ程度に分担する」が60歳代から70歳代で3割から4割台と高くなっている。性別により介護分担に対する認識に差が見られる。

世帯の構成員別にみると、現在介護が必要な方が世帯にいる場合には、『女性が行う』が6割以上となっている。家事や育児と同様に**介護も女性に負担がかかっている**様子が伺える。

		回答者 総数(n)	主に 女性 が行 う	とど ち女 性ら が 行 う う	る じ男 性 程 度 と 女 性 に 分 担 が す 同	とど ち男 性 ら が 行 う う	主 に 男 性 が 行 う	う 以 外 の パ ー ト ナ ー が 行 う	主 に 男 性 が 行 う	そ の 他
全体		301	29.9	26.6	31.2	3.0	1.3	0.7	7.3	
性別	女性	158	40.5	29.1	20.9	1.3	0.6	0.6	7.0	
	男性	142	17.6	23.9	43.0	4.9	2.1	0.7	7.7	
	女性、男性以外	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	5	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
		40～49歳	12	41.7	16.7	25.0	0.0	0.0	0.0	16.7
		50～59歳	47	46.8	23.4	14.9	4.3	2.1	0.0	8.5
		60～69歳	46	43.5	32.6	17.4	0.0	0.0	0.0	6.5
		70～79歳	37	35.1	35.1	24.3	0.0	0.0	2.7	2.7
	80歳以上	11	27.3	18.2	54.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	12	0.0	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
		40～49歳	11	18.2	36.4	27.3	0.0	0.0	0.0	18.2
		50～59歳	24	25.0	29.2	37.5	8.3	0.0	0.0	0.0
		60～69歳	37	13.5	21.6	45.9	2.7	5.4	0.0	10.8
70～79歳		43	23.3	30.2	32.6	2.3	0.0	2.3	9.3	
80歳以上	14	14.3	14.3	50.0	7.1	7.1	0.0	7.1		
就労状況	共働き	112	26.8	27.7	33.9	2.7	0.9	0.0	8.0	
	男性パートナーだけ働いている	74	29.7	28.4	25.7	4.1	1.4	1.4	9.5	
	女性パートナーだけ働いている	16	31.3	31.3	12.5	6.3	6.3	0.0	12.5	
	ともに働いていない	92	33.7	22.8	34.8	2.2	1.1	1.1	4.3	
世帯の構成員	0歳～未就学児	23	8.7	13.0	52.2	17.4	0.0	0.0	8.7	
	小学1年生～3年生	13	23.1	38.5	23.1	0.0	0.0	0.0	15.4	
	小学4年生～6年生	8	37.5	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	
	中学生	15	33.3	13.3	20.0	0.0	13.3	0.0	20.0	
	介護が必要な方	45	51.1	15.6	13.3	6.7	0.0	4.4	8.9	
	上記のいずれもない	199	28.6	28.6	33.2	2.0	1.0	0.0	6.5	
職業別	正規社員・職員等	111	19.8	29.7	37.8	4.5	0.9	0.0	7.2	
	非正規社員・職員等	64	31.3	28.1	25.0	4.7	1.6	3.1	6.3	
	その他	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	111	39.6	24.3	27.0	0.9	1.8	0.0	6.3	

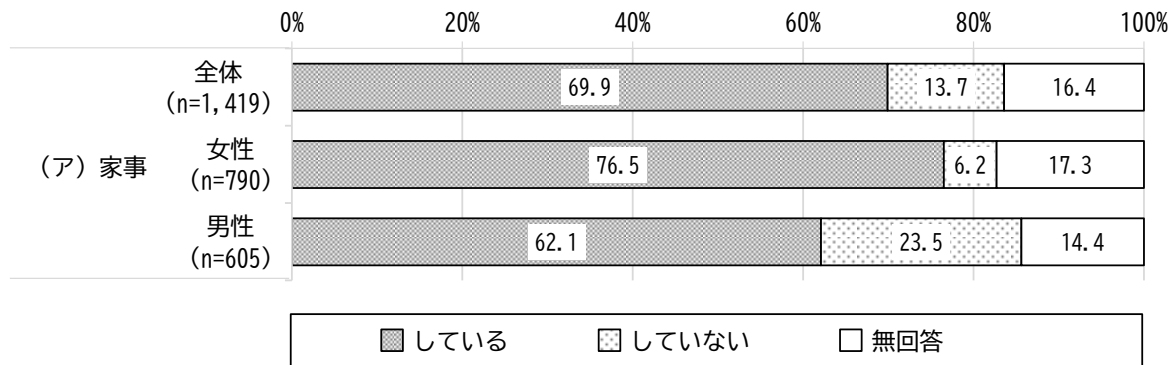
問3 あなたは、現在、日常生活において、家事や育児、介護をしていますか。また、している場合は、1日にどの程度時間をかけているか合わせてお答えください。なお、30分は0.5時間、1時間30分は1.5時間のように時間に直してご記入ください。(〇はそれぞれ1つずつ)

※「育児」については子どもがいる方、「介護」については介護を必要とする方がいる方を対象としています。

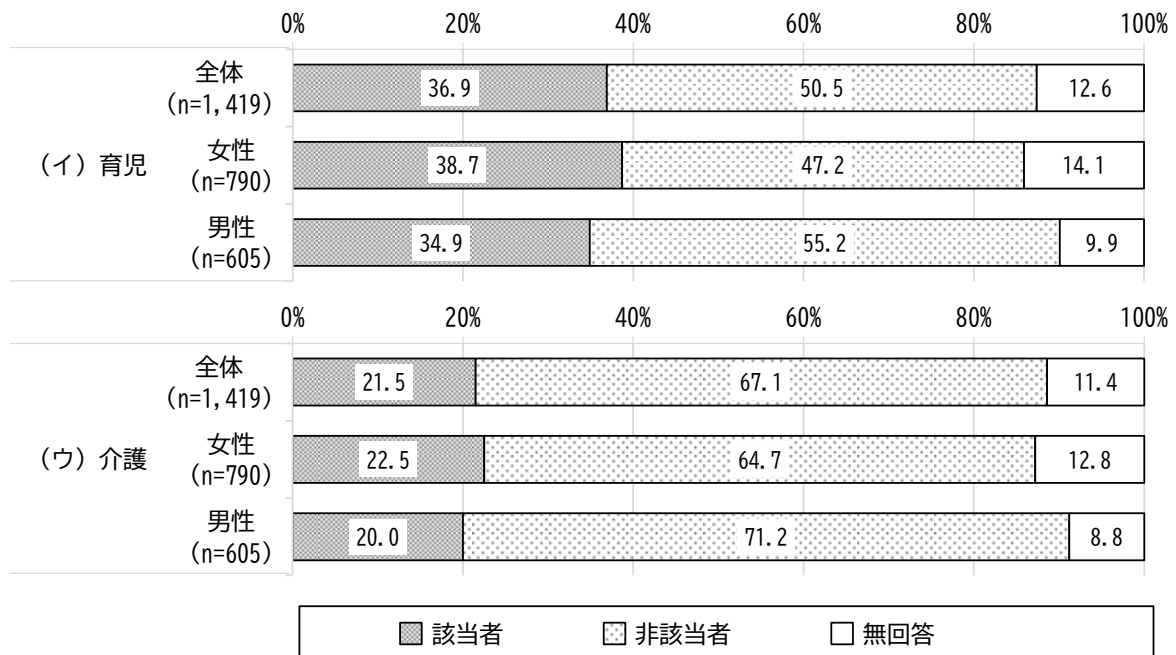
「している」について、全体では、家事69.9%、育児52.4%、介護20.3%となっている。

性別にみると、「している」は家事で女性76.5%、男性62.1%、育児で女性56.2%、男性47.9%、介護で女性19.1%、男性21.5%となっている。「家事」は、女性が男性よりも14.4ポイント高く、性別により差が見られる。

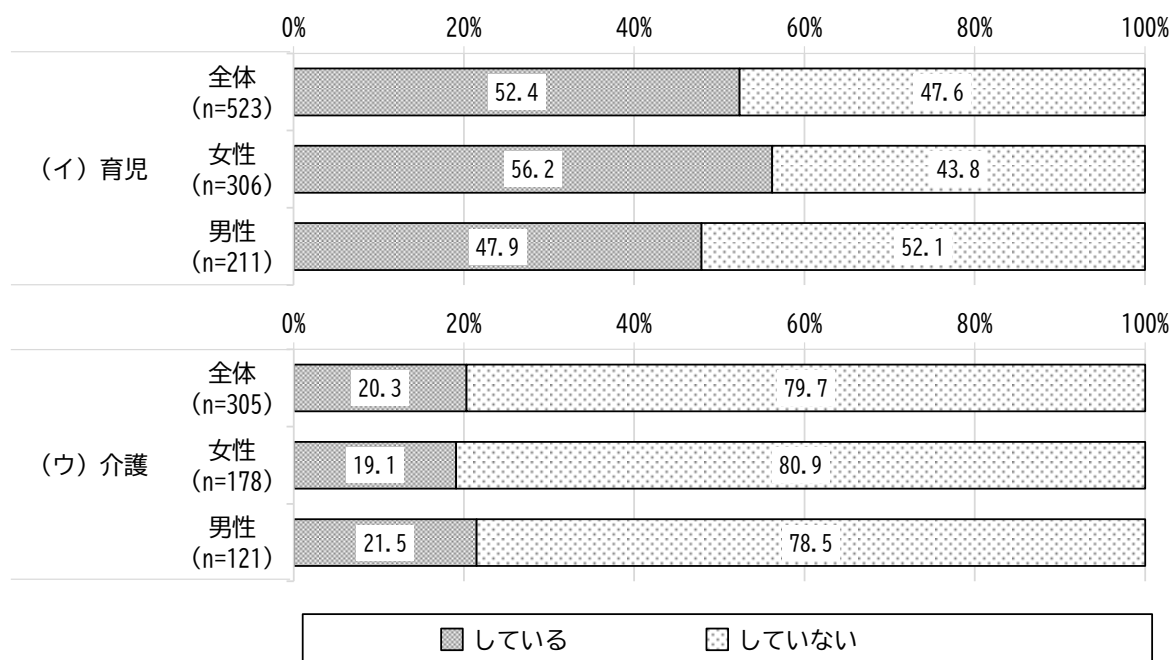
【家事の実施率】



【該当者の割合(育児・介護)】



【育児・介護の実施率】



【クロス集計】

「家事の実施率」

		回答者 総数(n)	して いる	して いない	無 回 答	
全体		1419	69.9	13.7	16.4	
性別	女性	790	76.5	6.2	17.3	
	男性	605	62.1	23.5	14.4	
	女性、男性以外	5	80.0	0.0	20.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	60.0	40.0	0.0
		20～29歳	75	69.3	26.7	4.0
		30～39歳	97	83.5	7.2	9.3
		40～49歳	159	87.4	1.9	10.7
		50～59歳	147	83.0	2.0	15.0
		60～69歳	121	76.0	1.7	22.3
		70～79歳	112	72.3	4.5	23.2
	80歳以上	68	44.1	7.4	48.5	
	男性	18～19歳	10	10.0	90.0	0.0
		20～29歳	49	59.2	24.5	16.3
		30～39歳	82	79.3	15.9	4.9
		40～49歳	110	74.5	15.5	10.0
		50～59歳	109	67.9	22.0	10.1
		60～69歳	92	58.7	25.0	16.3
70～79歳		107	51.4	24.3	24.3	
80歳以上	46	34.8	39.1	26.1		
就労状況 世帯の	共働き	476	80.9	8.2	10.9	
	男性パートナーだけ働いている	236	74.2	15.7	10.2	
	女性パートナーだけ働いている	39	74.4	12.8	12.8	
	ともに働いていない	189	64.6	13.8	21.7	
世帯の 構成員	0歳～未就学児	163	86.5	6.1	7.4	
	小学1年生～3年生	92	83.7	9.8	6.5	
	小学4年生～6年生	82	82.9	8.5	8.5	
	中学生	80	82.5	7.5	10.0	
	介護が必要な方	71	62.0	16.9	21.1	
	上記のいずれもない	946	67.9	15.3	16.8	
職業別	正規社員・職員等	608	73.4	16.9	9.7	
	非正規社員・職員等	286	73.1	8.4	18.5	
	その他	19	63.2	0.0	36.8	
	無職	463	66.5	13.8	19.7	

【クロス集計】

「育児の実施率」

		回答者 総数(n)	して いる	して いない	
全体		523	52.4	47.6	
性別	女性	306	56.2	43.8	
	男性	211	47.9	52.1	
	女性、男性以外	1	0.0	100.0	
性・ 年代別	女性	18～19歳	2	0.0	100.0
		20～29歳	18	33.3	66.7
		30～39歳	64	85.9	14.1
		40～49歳	102	85.3	14.7
		50～59歳	50	36.0	64.0
		60～69歳	37	10.8	89.2
		70～79歳	26	7.7	92.3
	80歳以上	7	0.0	100.0	
	男性	18～19歳	5	0.0	100.0
		20～29歳	11	0.0	100.0
		30～39歳	49	75.5	24.5
		40～49歳	63	63.5	36.5
		50～59歳	42	45.2	54.8
		60～69歳	25	20.0	80.0
70～79歳		8	0.0	100.0	
80歳以上	8	0.0	100.0		
就 業 状 況 の 世 帯 の	共働き	236	77.5	22.5	
	男性パートナーだけ働いている	109	66.1	33.9	
	女性パートナーだけ働いている	10	60.0	40.0	
	ともに働いていない	38	2.6	97.4	
世 帯 の 構 成 員	0歳～未就学児	149	94.0	6.0	
	小学1年生～3年生	85	89.4	10.6	
	小学4年生～6年生	71	90.1	9.9	
	中学生	63	81.0	19.0	
	介護が必要な方	23	26.1	73.9	
	上記のいずれもない	207	8.2	91.8	
職 業 別	正規社員・職員等	283	63.3	36.7	
	非正規社員・職員等	108	42.6	57.4	
	その他	4	25.0	75.0	
	無職	121	37.2	62.8	

【クロス集計】

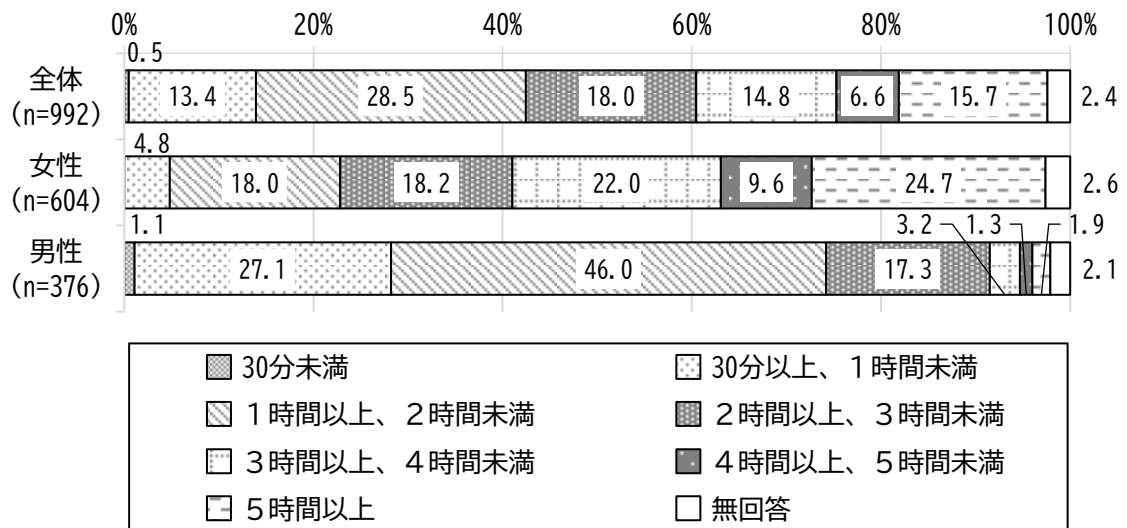
「介護の実施率」

		回答者 総数(n)	して いる	して いない	
全体		305	20.3	79.7	
性別	女性	178	19.1	80.9	
	男性	121	21.5	78.5	
	女性、男性以外	1	0.0	100.0	
性・ 年代別	女性	18～19歳	4	0.0	100.0
		20～29歳	13	7.7	92.3
		30～39歳	11	9.1	90.9
		40～49歳	34	8.8	91.2
		50～59歳	38	28.9	71.1
		60～69歳	43	27.9	72.1
		70～79歳	24	8.3	91.7
	80歳以上	11	36.4	63.6	
	男性	18～19歳	6	0.0	100.0
		20～29歳	7	0.0	100.0
		30～39歳	17	29.4	70.6
		40～49歳	16	25.0	75.0
		50～59歳	25	24.0	76.0
		60～69歳	28	32.1	67.9
70～79歳		11	0.0	100.0	
80歳以上	11	18.2	81.8		
就 業 状 況 の 世 帯 の	共働き	76	28.9	71.1	
	男性パートナーだけ働いている	43	20.9	79.1	
	女性パートナーだけ働いている	10	40.0	60.0	
	ともに働いていない	45	24.4	75.6	
世 帯 の 構 成 員	0歳～未就学児	20	30.0	70.0	
	小学1年生～3年生	17	11.8	88.2	
	小学4年生～6年生	9	33.3	66.7	
	中学生	15	20.0	80.0	
	介護が必要な方	53	66.0	34.0	
	上記のいずれもいない	191	7.9	92.1	
職 業 別	正規社員・職員等	128	25.0	75.0	
	非正規社員・職員等	73	15.1	84.9	
	その他	3	66.7	33.3	
	無職	94	14.9	85.1	

「1日当たりの家事の時間」

全体では、「1時間以上、2時間未満」が28.5%と最も高く、次いで「2時間以上、3時間未満」が18.0%、「5時間以上」が15.7%となっている。

性別にみると、女性は「5時間以上」が24.7%、男性は「1時間以上、2時間未満」が46.0%とそれぞれ最も高くなっている。また、『3時間以上』（「3時間以上、4時間未満」と「4時間以上、5時間未満」と「5時間以上」の合計）の回答は、女性56.3%、男性6.4%と性別により差が見られる。**家事を長時間している割合は、圧倒的に女性が高く、女性が家事を主に担っている傾向にある。**



【クロス集計】

「1日当たりの家事の時間」

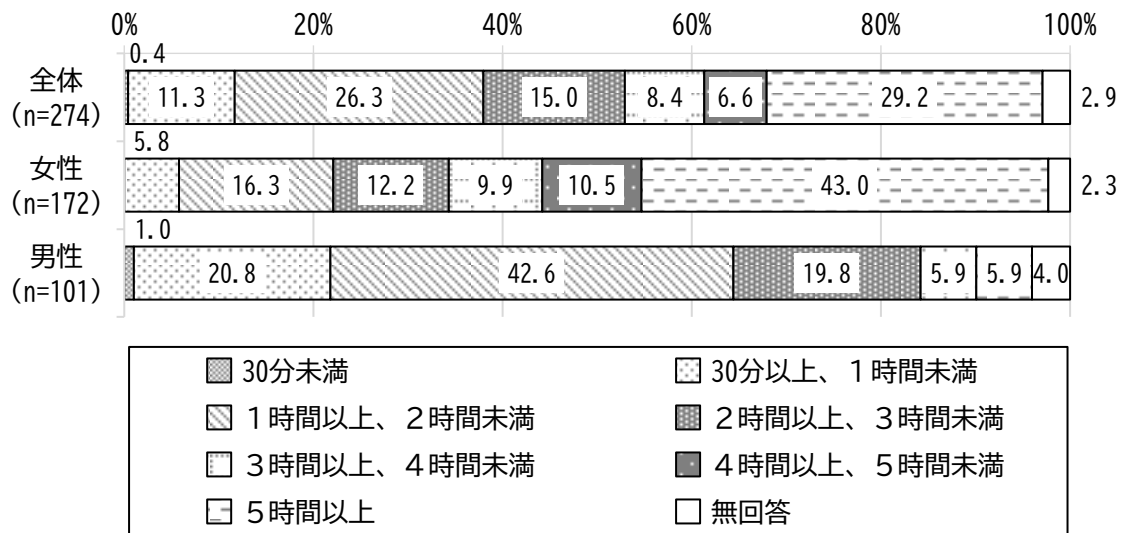
性・世帯の構成員別にみると、中学生以下の子どものいる女性は「5時間以上」が最も多くなっている。一方で未就学の子どもがいる男性は、およそ半数が「1時間以上、2時間未満」となっている。

		回答者 総数(n)	30分未 満	30分以 上、1 時間未 満	1時間 以上、 2時間 未満	2時間 以上、 3時間 未満	3時間 以上、 4時間 未満	4時間 以上、 5時間 未満	5時間 以上	無回答	
全体		992	0.5	13.4	28.5	18.0	14.8	6.6	15.7	2.4	
性別	女性	604	0.0	4.8	18.0	18.2	22.0	9.6	24.7	2.6	
	男性	376	1.1	27.1	46.0	17.3	3.2	1.3	1.9	2.1	
	女性、男性以外	4	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性・ 年代別	女性	18～19歳	6	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	52	0.0	21.2	44.2	19.2	7.7	0.0	7.7	0.0
		30～39歳	79	0.0	7.6	21.5	17.7	22.8	5.1	25.3	0.0
		40～49歳	136	0.0	2.9	12.5	23.5	23.5	8.8	28.7	0.0
		50～59歳	119	0.0	0.8	15.1	16.8	26.9	10.1	30.3	0.0
		60～69歳	90	0.0	4.4	15.6	15.6	20.0	23.3	21.1	0.0
		70～79歳	75	0.0	1.3	14.7	22.7	26.7	6.7	28.0	0.0
	80歳以上	30	0.0	0.0	16.7	10.0	30.0	13.3	30.0	0.0	
	男性	18～19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	29	6.9	24.1	58.6	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	64	0.0	21.9	48.4	23.4	3.1	1.6	1.6	0.0
		40～49歳	80	0.0	31.3	46.3	16.3	2.5	1.3	2.5	0.0
		50～59歳	71	1.4	33.8	46.5	9.9	4.2	1.4	2.8	0.0
		60～69歳	54	1.9	24.1	46.3	22.2	1.9	0.0	3.7	0.0
70～79歳		54	0.0	27.8	46.3	18.5	5.6	1.9	0.0	0.0	
80歳以上	15	0.0	20.0	33.3	33.3	6.7	6.7	0.0	0.0		
婚姻 状況	結婚している	696	0.3	12.1	23.7	17.1	15.9	7.6	20.3	3.0	
	結婚していないが同居のパートナーがいる	22	0.0	22.7	45.5	9.1	13.6	9.1	0.0	0.0	
	パートナーがいない（離別・死別など）	85	0.0	4.7	25.9	28.2	21.2	7.1	11.8	1.2	
	結婚していない	185	1.6	21.1	46.5	17.8	7.6	1.6	2.7	1.1	
就 業 状 況 世 帯 の	共働き	385	0.0	12.7	24.9	21.3	18.2	6.5	14.3	2.1	
	男性パートナーだけ働いている	175	1.1	13.1	22.3	5.7	12.0	9.1	33.1	3.4	
	女性パートナーだけ働いている	29	0.0	10.3	31.0	24.1	13.8	10.3	6.9	3.4	
	ともに働いていない	122	0.0	10.7	23.8	17.2	14.8	9.0	20.5	4.1	
性・ 世 帯 の 構 成 員 別	女性	0歳～未就学児	80	0.0	0.0	8.8	20.0	21.3	7.5	42.5	0.0
		小学1年生～3年生	54	0.0	0.0	5.6	18.5	24.1	7.4	44.4	0.0
		小学4年生～6年生	44	0.0	0.0	4.5	22.7	27.3	15.9	29.5	0.0
		中学生	43	0.0	0.0	2.3	18.6	25.6	14.0	39.5	0.0
		介護が必要な方	26	0.0	3.8	11.5	7.7	26.9	15.4	34.6	0.0
		上記のいずれもない	374	0.0	7.2	23.5	18.4	21.1	9.1	20.6	0.0
	男性	0歳～未就学児	58	0.0	24.1	48.3	20.7	1.7	3.4	1.7	0.0
		小学1年生～3年生	22	0.0	40.9	36.4	13.6	4.5	0.0	4.5	0.0
		小学4年生～6年生	22	0.0	36.4	40.9	18.2	0.0	0.0	4.5	0.0
		中学生	21	0.0	33.3	42.9	14.3	0.0	0.0	9.5	0.0
		介護が必要な方	15	0.0	53.3	33.3	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0
上記のいずれもない	243	1.6	25.9	49.4	16.9	3.7	0.8	1.6	0.0		
世 帯 構 成	ひとり暮らし	139	1.4	8.6	44.6	26.6	8.6	4.3	3.6	2.2	
	夫婦・カップルのみ	292	0.3	13.7	28.1	17.8	16.1	7.5	13.4	3.1	
	親と未婚の子ども	444	0.5	15.1	22.3	15.3	16.4	7.2	21.4	1.8	
	親と子ども夫婦・カップル	38	0.0	10.5	21.1	31.6	10.5	5.3	18.4	2.6	
	親と子ども夫婦・カップルと孫	20	0.0	10.0	25.0	5.0	20.0	15.0	25.0	0.0	
その他	33	0.0	15.2	51.5	6.1	9.1	0.0	9.1	9.1		
職 業 別	正規社員・職員等	446	0.9	18.2	39.0	19.5	10.8	2.9	7.4	1.3	
	非正規社員・職員等	209	0.0	11.0	17.2	17.7	23.9	10.0	18.2	1.9	
	その他	12	8.3	0.0	33.3	8.3	8.3	25.0	16.7	0.0	
	無職	308	0.0	9.1	21.4	15.6	14.9	8.4	26.6	3.9	

「1日当たりの育児の時間」

全体では、「5時間以上」が29.2%と最も高く、次いで「1時間以上、2時間未満」が26.3%、「2時間以上、3時間未満」が15.0%となっている。**家事に比べて1日当たりの時間が長い傾向にある。**

性別にみると、女性は「5時間以上」が43.0%、男性は「1時間以上、2時間未満」が42.6%とそれぞれ最も高くなっている。また、『3時間以上』について、女性63.4%、男性11.8%と性別により差が見られる。**家事と同様に、育児を長時間している割合は圧倒的に女性が高く、現実には女性が育児を主に担っている傾向にある。**



【クロス集計】

「1日当たりの育児の時間」

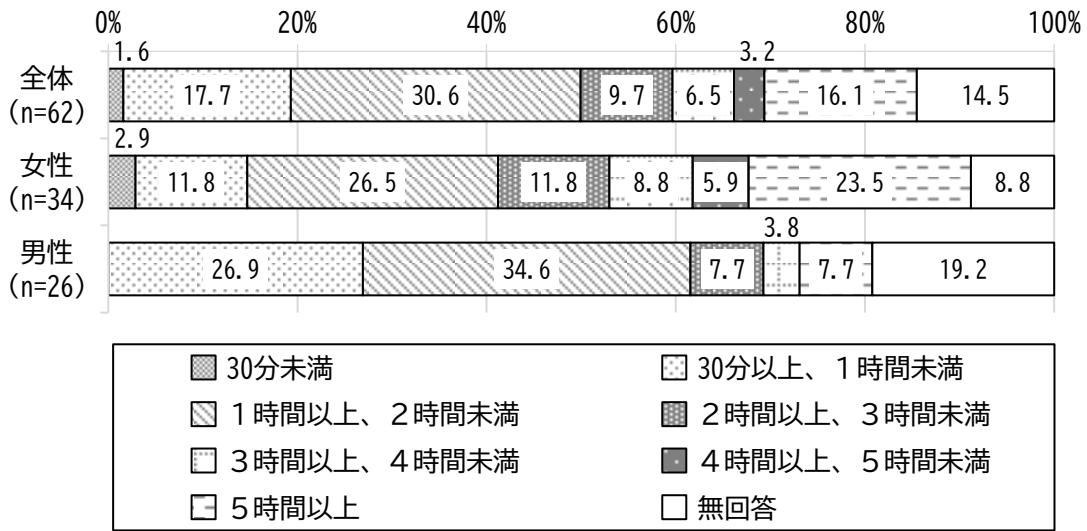
性・世帯の構成員別にみると、就学前の子どもがいる女性は、「5時間以上」が68.8%と最も高くなっているのに対して、就学前の子どもがいる男性は、「1時間以上、2時間未満」が38.6%と最も高く、「5時間以上」は8.8%に留まっている。

		回答者 総数(n)	30分未 満	30分以 上、1 時間未 満	1時間 以上、 2時間 未満	2時間 以上、 3時間 未満	3時間 以上、 4時間 未満	4時間 以上、 5時間 未満	5時間 以上	無回答	
全体		274	0.4	11.3	26.3	15.0	8.4	6.6	29.2	2.9	
性別	女性	172	0.0	5.8	16.3	12.2	9.9	10.5	43.0	2.3	
	男性	101	1.0	20.8	42.6	19.8	5.9	0.0	5.9	4.0	
	女性、男性以外	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	80.0	0.0
		30～39歳	54	0.0	0.0	1.9	3.7	13.0	11.1	70.4	0.0
		40～49歳	85	0.0	5.9	21.2	14.1	9.4	12.9	36.5	0.0
		50～59歳	18	0.0	27.8	33.3	22.2	5.6	5.6	5.6	0.0
		60～69歳	4	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		70～79歳	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	36	0.0	11.1	33.3	33.3	8.3	0.0	13.9	0.0
		40～49歳	37	0.0	29.7	51.4	13.5	5.4	0.0	0.0	0.0
		50～59歳	19	5.3	26.3	47.4	10.5	5.3	0.0	5.3	0.0
		60～69歳	5	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70～79歳		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
婚姻状況	結婚している	264	0.4	11.7	26.5	14.8	8.0	6.4	29.5	2.7	
	結婚していないが同居のパートナーがいる	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	パートナーがいない（離別・死別など）	8	0.0	0.0	12.5	25.0	25.0	12.5	25.0	0.0	
	結婚していない	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
就労状況	共働き	183	0.5	14.2	26.2	14.2	8.2	8.7	25.1	2.7	
	男性パートナーだけ働いている	72	0.0	5.6	23.6	18.1	8.3	1.4	41.7	1.4	
	女性パートナーだけ働いている	6	0.0	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	
	ともに働いていない	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性・世帯の構成員別	女性	0歳～未就学児	80	0.0	0.0	3.8	5.0	10.0	12.5	68.8	0.0
		小学1年生～3年生	54	0.0	0.0	13.0	7.4	7.4	14.8	57.4	0.0
		小学4年生～6年生	43	0.0	11.6	27.9	20.9	7.0	9.3	23.3	0.0
		中学生	36	0.0	8.3	30.6	11.1	13.9	13.9	22.2	0.0
		介護が必要な方	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	上記のいずれもない	12	0.0	16.7	41.7	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0	
	男性	0歳～未就学児	57	0.0	17.5	38.6	28.1	7.0	0.0	8.8	0.0
		小学1年生～3年生	21	0.0	23.8	38.1	23.8	9.5	0.0	4.8	0.0
		小学4年生～6年生	17	0.0	41.2	52.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
		中学生	14	0.0	21.4	71.4	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
介護が必要な方		3	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
上記のいずれもない	5	20.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
世帯構成	ひとり暮らし	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	夫婦・カップルのみ	6	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3	16.7	
	親と未婚の子ども	219	0.5	11.9	28.3	12.8	8.2	7.3	28.8	2.3	
	親と子ども夫婦・カップル	26	0.0	11.5	15.4	23.1	3.8	3.8	38.5	3.8	
	親と子ども夫婦・カップルと孫	11	0.0	9.1	18.2	27.3	27.3	9.1	9.1	0.0	
その他	9	0.0	11.1	22.2	22.2	0.0	0.0	33.3	11.1		
職業別	正規社員・職員等	179	0.6	13.4	31.8	15.1	9.5	6.1	21.2	2.2	
	非正規社員・職員等	46	0.0	13.0	23.9	15.2	6.5	13.0	23.9	4.3	
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	無職	45	0.0	0.0	8.9	15.6	6.7	2.2	66.7	0.0	

「1日当たりの介護の時間」

全体では、「1時間以上、2時間未満」が30.6%と最も高く、次いで「30分以上、1時間未満」が17.7%、「5時間以上」が16.1%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「1時間以上、2時間未満」が最も多い一方で、「30分以上、1時間未満」は、女性が11.8%、男性が26.9%となっており、**男性は女性と比べて介護時間が短い傾向にある**。また、「5時間以上」は、女性が23.5%、男性が7.7%となっており、**女性は男性と比べて介護時間が長い傾向にある**。



【クロス集計】

「1日当たりの介護の時間」

		回答者 総数(n)	30分未 満	30分以 上、1 時間未 満	1時間 以上、 2時間 未満	2時間 以上、 3時間 未満	3時間 以上、 4時間 未満	4時間 以上、 5時間 未満	5時間 以上	無回答	
全体		62	1.6	17.7	30.6	9.7	6.5	3.2	16.1	14.5	
性別	女性	34	2.9	11.8	26.5	11.8	8.8	5.9	23.5	8.8	
	男性	26	0.0	26.9	34.6	7.7	3.8	0.0	7.7	19.2	
	女性、男性以外	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		40～49歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		50～59歳	11	9.1	27.3	18.2	18.2	0.0	0.0	27.3	0.0
		60～69歳	10	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	10.0	10.0	0.0
		70～79歳	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	80歳以上	4	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	
	男性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
		40～49歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		50～59歳	6	0.0	33.3	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
		60～69歳	9	0.0	44.4	33.3	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0
70～79歳		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
80歳以上	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
婚姻状況	結婚している	47	2.1	19.1	29.8	8.5	6.4	2.1	12.8	19.1	
	結婚していないが同居のパートナーがいる	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	パートナーがいない（離別・死別など）	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
	結婚していない	13	0.0	15.4	38.5	7.7	7.7	7.7	23.1	0.0	
就労状況 世帯の	共働き	22	4.5	22.7	18.2	9.1	4.5	0.0	13.6	27.3	
	男性パートナーだけ働いている	9	0.0	33.3	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	
	女性パートナーだけ働いている	4	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	
	ともに働いていない	11	0.0	0.0	27.3	18.2	18.2	9.1	18.2	9.1	
性・世帯の 構成員別	女性	0歳～未就学児	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		小学1年生～3年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		小学4年生～6年生	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		中学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		介護が必要な方	21	0.0	4.8	42.9	9.5	14.3	9.5	19.0	0.0
		上記のいずれもない	8	12.5	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	37.5	0.0
	男性	0歳～未就学児	3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		小学1年生～3年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		小学4年生～6年生	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		中学生	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護が必要な方	11	0.0	36.4	36.4	9.1	9.1	0.0	9.1	0.0		
上記のいずれもない	5	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
世帯構成	ひとり暮らし	4	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
	夫婦・カップルのみ	14	0.0	0.0	28.6	21.4	14.3	7.1	0.0	28.6	
	親と未婚の子ども	33	3.0	30.3	24.2	3.0	6.1	3.0	21.2	9.1	
	親と子ども夫婦・カップル	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	親と子ども夫婦・カップルと孫	5	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	
その他	4	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0		
職業別	正規社員・職員等	32	3.1	25.0	37.5	9.4	0.0	0.0	12.5	12.5	
	非正規社員・職員等	11	0.0	27.3	18.2	9.1	9.1	0.0	27.3	9.1	
	その他	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	
	無職	14	0.0	0.0	35.7	7.1	14.3	7.1	14.3	21.4	

問4 あなたは、新型コロナウイルス感染症の影響下において、家事や育児、介護の時間に変化はありましたか。変化があった場合は、その増減分をお答えください。（2時間から4時間に増加した場合は、「増えた」の欄に（2時間/日）増とご記入ください。）なお、30分は0.5時間、1時間30分は1.5時間のように時間に直してご記入ください。（〇はそれぞれ1つずつ）

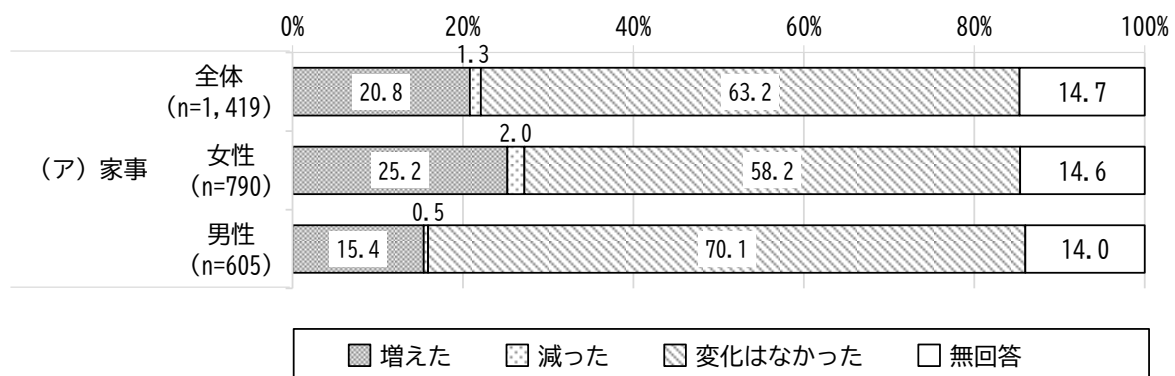
※「育児」については子どもがいる方、「介護」については介護を必要とする方がいる方を対象としています。

「(ア)家事」について、全体では、「変化はなかった」が63.2%と最も高く、次いで「増えた」が20.8%、「減った」が1.3%となっている。性別にみると、**女性、男性ともに「変化はなかった」が最も多く、それぞれ58.2%、70.1%となっている。一方で、「増えた」は、女性が25.2%、男性が15.4%と女性は男性に比べて家事時間が増えている割合が高い傾向にある。**

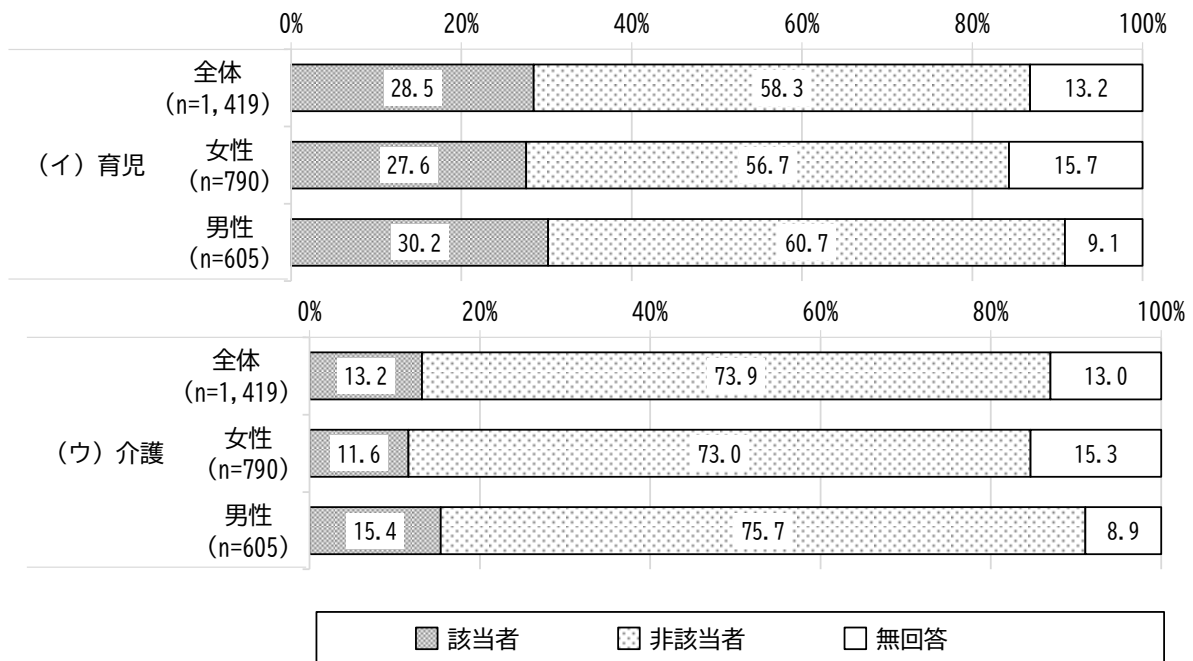
「(イ)育児」について、該当する市民の割合は28.5%となっている。新型コロナウイルス感染症の影響について、全体では「変化はなかった」が72.5%と最も高く、次いで「増えた」が25.2%、「減った」が2.2%となっている。性別にみると、**女性は「増えた」が31.2%、「変化はなかった」が65.1%で、男性の「増えた」が18.6%、「変化はなかった」が80.9%と比べると、育児時間への影響が大きい傾向にある。**

「(ウ)介護」について、該当する市民の割合は13.2%となっている。新型コロナウイルス感染症の影響について、全体では「変化はなかった」が91.4%と最も高く、次いで「増えた」が6.4%、「減った」が2.1%となっている。性別にみると、女性、男性ともに「変化はなかった」が最も多く、それぞれ85.9%、96.8%となっている。

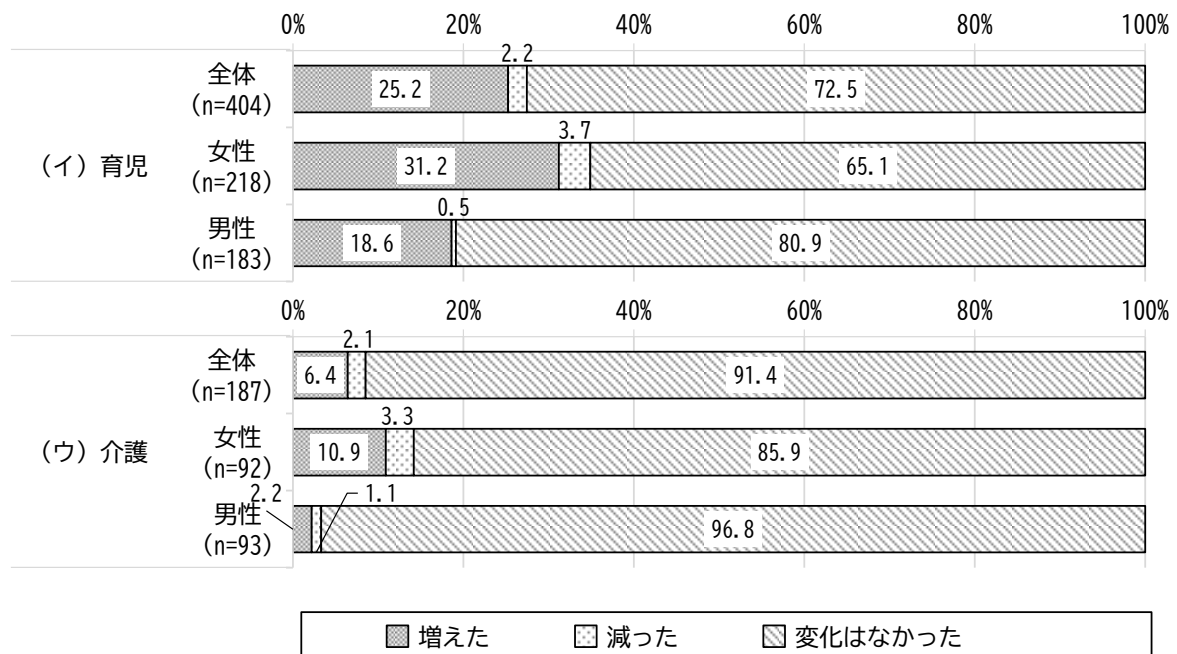
【家事時間の変化（新型コロナウイルス感染症拡大後）】



【該当者の割合(育児・介護)】



【育児・介護時間の変化(新型コロナウイルス感染症拡大後)】



【クロス集計】

「家事時間の変化（新型コロナウイルス感染症拡大後）」

世帯の構成員別にみると、「小学4年生～6年生」を除き、「変化はなかった」が最も多くなっている。

また、小学生以上の子どもがいる場合では、「増えた」が4割以上と高くなっている。新型コロナウイルス感染症による学校の一斉休校や外出自粛などの影響の可能性が考えられる。

		回答者 総数(n)	増 え た	減 っ た	変 化 は な か っ た	無 回 答	
全体		1419	20.8	1.3	63.2	14.7	
性別	女性	790	25.2	2.0	58.2	14.6	
	男性	605	15.4	0.5	70.1	14.0	
	女性、男性以外	5	20.0	0.0	60.0	20.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	20.0	0.0	80.0	0.0
		20～29歳	75	28.0	4.0	62.7	5.3
		30～39歳	97	22.7	6.2	63.9	7.2
		40～49歳	159	41.5	0.6	52.2	5.7
		50～59歳	147	27.2	2.0	62.6	8.2
		60～69歳	121	19.8	0.8	64.5	14.9
		70～79歳	112	19.6	1.8	50.9	27.7
		80歳以上	68	2.9	0.0	47.1	50.0
	男性	18～19歳	10	0.0	0.0	90.0	10.0
		20～29歳	49	18.4	2.0	67.3	12.2
		30～39歳	82	28.0	0.0	63.4	8.5
		40～49歳	110	26.4	0.0	65.5	8.2
		50～59歳	109	16.5	0.9	75.2	7.3
		60～69歳	92	8.7	0.0	77.2	14.1
70～79歳	107	4.7	0.9	71.0	23.4		
80歳以上	46	2.2	0.0	63.0	34.8		
就労状況	共働き	476	27.7	1.7	65.1	5.5	
	男性パートナーだけ働いている	236	25.4	1.7	64.0	8.9	
	女性パートナーだけ働いている	39	20.5	2.6	71.8	5.1	
	ともに働いていない	189	9.5	1.6	66.1	22.8	
世帯の構成員	0歳～未就学児	163	27.6	3.7	62.6	6.1	
	小学1年生～3年生	92	41.3	3.3	52.2	3.3	
	小学4年生～6年生	82	48.8	2.4	45.1	3.7	
	中学生	80	42.5	1.3	53.8	2.5	
	介護が必要な方	71	15.5	2.8	54.9	26.8	
	上記のいずれもない	946	16.7	0.8	67.8	14.7	
職業別	正規社員・職員等	608	23.7	1.0	66.4	8.9	
	非正規社員・職員等	286	23.1	1.4	63.3	12.2	
	その他	19	10.5	5.3	63.2	21.1	
	無職	463	17.3	1.7	61.3	19.7	

【クロス集計】

「育児時間の変化（新型コロナウイルス感染症拡大後）」

世帯の構成員別にみると、年齢にかかわらず子どもがいる場合では、「変化はなかった」が最も多くなっているが、次いで「増えた」が3割から4割程度と高くなっている。家事と同様に新型コロナウイルス感染症による学校の一斉休校や外出自粛などの影響の可能性が考えられる。

		回答者 総数(n)	増 え た	減 っ た	変 化 は な か っ た	
全体		404	25.2	2.2	72.5	
性別	女性	218	31.2	3.7	65.1	
	男性	183	18.6	0.5	80.9	
	女性、男性以外	0	0.0	0.0	0.0	
性・ 年代別	女性	18～19歳	3	0.0	0.0	100.0
		20～29歳	13	15.4	0.0	84.6
		30～39歳	60	21.7	8.3	70.0
		40～49歳	93	47.3	2.2	50.5
		50～59歳	31	25.8	0.0	74.2
		60～69歳	11	0.0	0.0	100.0
		70～79歳	4	25.0	25.0	50.0
	80歳以上	3	0.0	0.0	100.0	
	男性	18～19歳	5	0.0	0.0	100.0
		20～29歳	8	0.0	0.0	100.0
		30～39歳	44	38.6	0.0	61.4
		40～49歳	59	25.4	0.0	74.6
		50～59歳	36	5.6	0.0	94.4
		60～69歳	19	0.0	0.0	100.0
70～79歳		9	0.0	11.1	88.9	
80歳以上	3	0.0	0.0	100.0		
就 業 状 況	共働き	218	30.7	1.4	67.9	
	男性パートナーだけ働いている	100	31.0	4.0	65.0	
	女性パートナーだけ働いている	7	0.0	0.0	100.0	
	ともに働いていない	16	6.3	6.3	87.5	
世 帯 の 構 成 員	0歳～未就学児	151	30.5	2.6	66.9	
	小学1年生～3年生	87	42.5	4.6	52.9	
	小学4年生～6年生	74	40.5	2.7	56.8	
	中学生	67	31.3	3.0	65.7	
	介護が必要な方	13	7.7	0.0	92.3	
	上記のいずれもない	98	5.1	2.0	92.9	
職 業 別	正規社員・職員等	245	25.3	0.0	74.7	
	非正規社員・職員等	69	29.0	4.3	66.7	
	その他	3	0.0	0.0	100.0	
	無職	79	24.1	7.6	68.4	

【クロス集計】

「介護時間の変化（新型コロナウイルス感染症拡大後）」

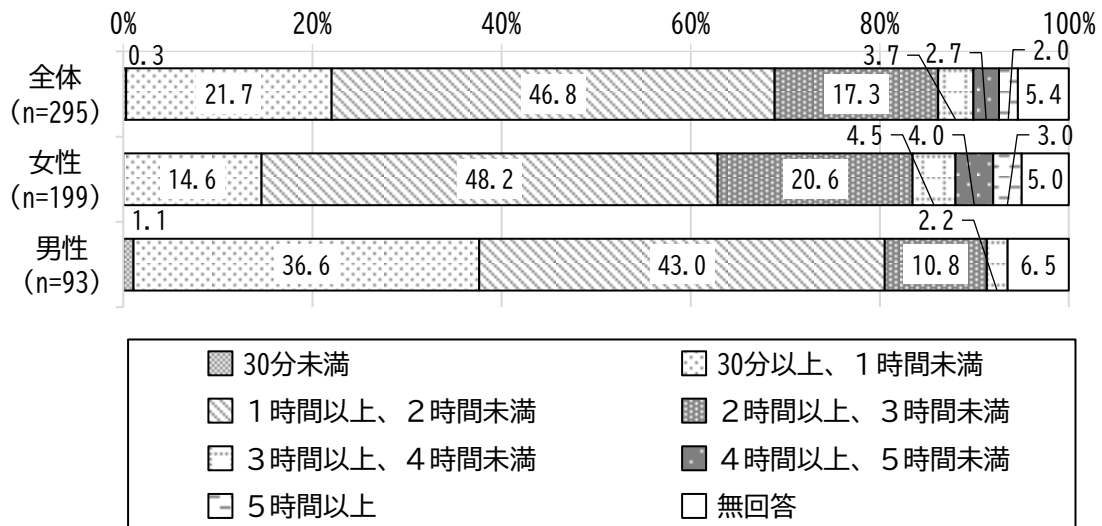
世帯の構成員別にみると、現在介護が必要な方がいる場合では、「変化はなかった」が82.0%と最も高く、次いで「増えた」が18.0%となっている。**新型コロナウイルス感染症による影響を受けた人は、家事や育児ほどは多くなかったものと見られる。**

		回答者 総数(n)	増 え た	減 っ た	変 化 は な か っ た	
全体		187	6.4	2.1	91.4	
性別	女性	92	10.9	3.3	85.9	
	男性	93	2.2	1.1	96.8	
	女性、男性以外	0	0.0	0.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	3	0.0	0.0	100.0
		20～29歳	9	11.1	0.0	88.9
		30～39歳	12	0.0	0.0	100.0
		40～49歳	13	7.7	0.0	92.3
		50～59歳	23	8.7	13.0	78.3
		60～69歳	19	15.8	0.0	84.2
		70～79歳	6	33.3	0.0	66.7
	80歳以上	7	14.3	0.0	85.7	
	男性	18～19歳	6	0.0	0.0	100.0
		20～29歳	8	0.0	0.0	100.0
		30～39歳	12	8.3	0.0	91.7
		40～49歳	11	0.0	0.0	100.0
		50～59歳	19	5.3	5.3	89.5
		60～69歳	20	0.0	0.0	100.0
70～79歳		10	0.0	0.0	100.0	
80歳以上	7	0.0	0.0	100.0		
就労状況	共働き	47	6.4	2.1	91.5	
	男性パートナーだけ働いている	29	0.0	6.9	93.1	
	女性パートナーだけ働いている	6	0.0	0.0	100.0	
	ともに働いていない	29	10.3	0.0	89.7	
世帯の構成員	0歳～未就学児	17	5.9	5.9	88.2	
	小学1年生～3年生	14	0.0	0.0	100.0	
	小学4年生～6年生	7	0.0	14.3	85.7	
	中学生	13	0.0	0.0	100.0	
	介護が必要な方	50	18.0	0.0	82.0	
	上記のいずれもない	90	2.2	2.2	95.6	
職業別	正規社員・職員等	87	5.7	3.4	90.8	
	非正規社員・職員等	35	2.9	0.0	97.1	
	その他	2	50.0	0.0	50.0	
	無職	55	7.3	1.8	90.9	

「1日当たりの家事の時間（新型コロナウイルス感染症拡大後・増加分）」

全体では、「1時間以上、2時間未満」が46.8%と最も高く、次いで「30分以上、1時間未満」が21.7%、「2時間以上、3時間未満」が17.3%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「1時間以上、2時間未満」が最も多いが、一方で「30分以上、1時間未満」は女性が14.6%、男性が36.6%となっている。さらに「2時間以上、3時間未満」は女性が20.6%、男性が10.8%となっており、**女性は家事の増加時間が大きく、男性は増加しても変動が小さい傾向にあり、性別により差が見られる。**



「1日当たりの家事の時間（新型コロナウイルス感染症拡大後・減少分）」

家事の時間が減少した割合は、全体の1.3%で、件数は19件と少ない。

【クロス集計】

「1日当たりの家事の時間（新型コロナウイルス感染症拡大後・増加分）」

世帯の構成員別にみると、子どものいる世帯ではその子どもの年齢にかかわらず、「1時間以上、2時間未満」が最も多くなっているが、その割合は子どもの年齢によって差が見られる。

		回答者 総数(n)	30分未 満	30分以 上、1 時間未 満	1時間 以上、 2時間 未満	2時間 以上、 3時間 未満	3時間 以上、 4時間 未満	4時間 以上、 5時間 未満	5時間 以上	無回答	
全体		295	0.3	21.7	46.8	17.3	3.7	2.7	2.0	5.4	
性別	女性	199	0.0	14.6	48.2	20.6	4.5	4.0	3.0	5.0	
	男性	93	1.1	36.6	43.0	10.8	2.2	0.0	0.0	6.5	
	女性、男性以外	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性・年 代別	女性	18～19歳	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	21	0.0	28.6	47.6	9.5	9.5	4.8	0.0	0.0
		30～39歳	21	0.0	28.6	33.3	23.8	9.5	4.8	0.0	0.0
		40～49歳	64	0.0	14.1	46.9	26.6	4.7	1.6	6.3	0.0
		50～59歳	39	0.0	12.8	66.7	10.3	2.6	2.6	5.1	0.0
		60～69歳	22	0.0	9.1	50.0	27.3	4.5	9.1	0.0	0.0
		70～79歳	19	0.0	0.0	57.9	31.6	0.0	10.5	0.0	0.0
	80歳以上	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	9	0.0	33.3	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	22	0.0	36.4	50.0	9.1	4.5	0.0	0.0	0.0
		40～49歳	28	3.6	46.4	32.1	17.9	0.0	0.0	0.0	0.0
		50～59歳	15	0.0	46.7	53.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		60～69歳	8	0.0	12.5	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70～79歳		5	0.0	40.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
婚 姻 状 況	結婚している	213	0.0	20.2	46.5	17.8	4.2	3.3	2.8	5.2	
	結婚していないが同居のパートナーがいる	6	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	
	パートナーがいない（離別・死別など）	20	5.0	15.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	5.0	
	結婚していない	56	0.0	32.1	44.6	12.5	3.6	1.8	0.0	5.4	
就 労 状 況 の 世 帯 の	共働き	132	0.0	21.2	47.0	16.7	4.5	3.0	3.0	4.5	
	男性パートナーだけ働いている	60	0.0	20.0	45.0	16.7	5.0	3.3	3.3	6.7	
	女性パートナーだけ働いている	8	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ともに働いていない	18	0.0	16.7	44.4	27.8	0.0	5.6	0.0	5.6	
世 帯 の 構 成 員	0歳～未就学児	45	0.0	17.8	40.0	20.0	8.9	6.7	2.2	4.4	
	小学1年生～3年生	38	0.0	15.8	44.7	23.7	2.6	5.3	2.6	5.3	
	小学4年生～6年生	40	0.0	17.5	60.0	15.0	5.0	0.0	2.5	0.0	
	中学生	34	0.0	11.8	55.9	20.6	0.0	0.0	5.9	5.9	
	介護が必要な方	11	0.0	0.0	36.4	27.3	0.0	18.2	0.0	18.2	
	上記のいずれもない	158	0.0	25.9	50.6	14.6	1.3	1.3	1.3	5.1	
世 帯 構 成	ひとり暮らし	28	0.0	25.0	53.6	7.1	3.6	0.0	0.0	10.7	
	夫婦・カップルのみ	70	0.0	18.6	48.6	17.1	1.4	5.7	1.4	7.1	
	親と未婚の子ども	162	0.0	21.6	44.4	19.8	4.3	1.9	3.1	4.9	
	親と子ども夫婦・カップル	11	0.0	27.3	54.5	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	
	親と子ども夫婦・カップルと孫 その他	5 10	0.0 0.0	0.0 20.0	60.0 60.0	20.0 20.0	20.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	
職 業 別	正規社員・職員等	144	0.7	27.1	47.9	13.2	5.6	1.4	0.7	3.5	
	非正規社員・職員等	66	0.0	15.2	43.9	24.2	3.0	4.5	3.0	6.1	
	その他	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
	無職	80	0.0	18.8	47.5	18.8	1.3	2.5	3.8	7.5	

【クロス集計】

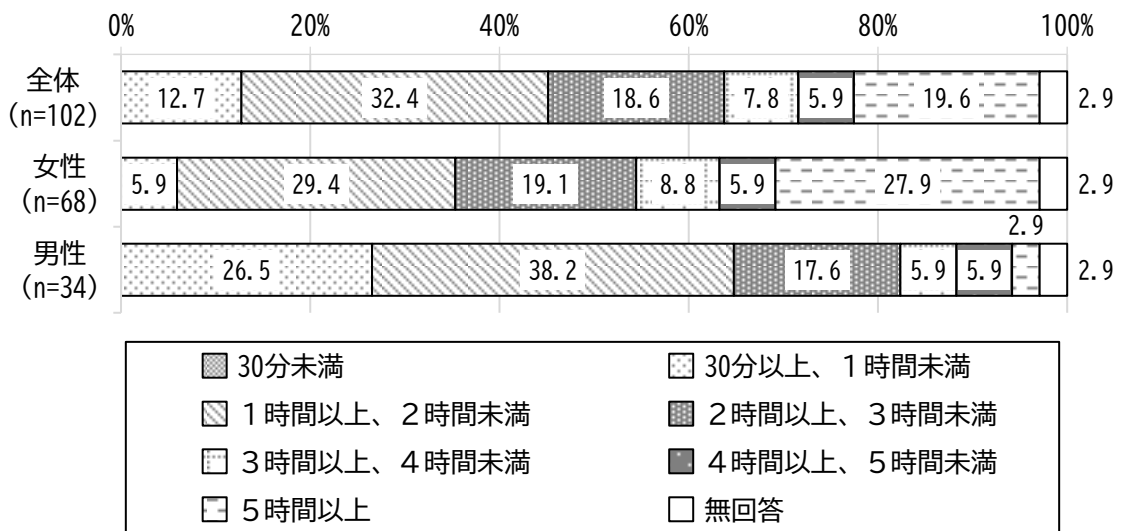
「1日当たりの家事の時間（新型コロナウイルス感染症拡大後・減少分）」

		回答者 総数(n)	30分未 満	30分以 上、1 時間未 満	1時間 以上、 2時間 未満	2時間 以上、 3時間 未満	3時間 以上、 4時間 未満	4時間 以上、 5時間 未満	5時間 以上	無回答	
全体		19	0.0	26.3	31.6	21.1	5.3	0.0	0.0	15.8	
性別	女性	16	0.0	31.3	31.3	25.0	6.3	0.0	0.0	6.3	
	男性	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	
	女性、男性以外	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性・ 年代別	女性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	5	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		40～49歳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		50～59歳	3	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		60～69歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		70～79歳	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		40～49歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		50～59歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		60～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70～79歳		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
婚姻 状況	結婚している	15	0.0	20.0	33.3	26.7	0.0	0.0	0.0	20.0	
	結婚していないが同居のパートナーがいる	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	パートナーがいない（離別・死別など）	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	結婚していない	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
就 業 状況 の 世 帯 の	共働き	8	0.0	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	
	男性パートナーだけ働いている	4	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性パートナーだけ働いている	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ともに働いていない	3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	
世 帯 の 構 成 員	0歳～未就学児	6	0.0	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	
	小学1年生～3年生	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	小学4年生～6年生	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	中学生	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	介護が必要な方	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
	上記のいずれもない	8	0.0	37.5	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	
世 帯 構 成	ひとり暮らし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	夫婦・カップルのみ	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	親と未婚の子ども	10	0.0	10.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	30.0	
	親と子ども夫婦・カップル	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	親と子ども夫婦・カップルと孫 その他	0 1	0.0 0.0	0.0 100.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	
職 業 別	正規社員・職員等	6	0.0	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	
	非正規社員・職員等	4	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	8	0.0	37.5	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0	12.5	

「1日当たりの育児の時間（新型コロナウイルス感染症拡大後・増加分）」

全体では、「1時間以上、2時間未満」が32.4%と最も高く、次いで「5時間以上」が19.6%、「2時間以上、3時間未満」が18.6%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「1時間以上、2時間未満」が最も多く、それぞれ29.4%、38.2%となっている。また、「30分以上、1時間未満」について、女性5.9%、男性26.5%となっている。さらに、「5時間以上」について、女性27.9%、男性2.9%と性別により差が見られる。**新型コロナウイルス感染症による保育園や学校の休校などの影響により、女性が主として家庭で育児を担っていた可能性が考えられる。**



「1日当たりの育児の時間（新型コロナウイルス感染症拡大後・減少分）」

育児の時間が減少した割合は、全体の0.6%で、件数は9件と少ない。

【クロス集計】

「1日当たりの育児の時間（新型コロナウイルス感染症拡大後・増加分）」

世帯の構成員別にみると、小学生のいる世帯では「1時間以上、2時間未満」が最も多くなっているのに対して、未就学の子どもがいる世帯では「5時間以上」が最も多くなっている。

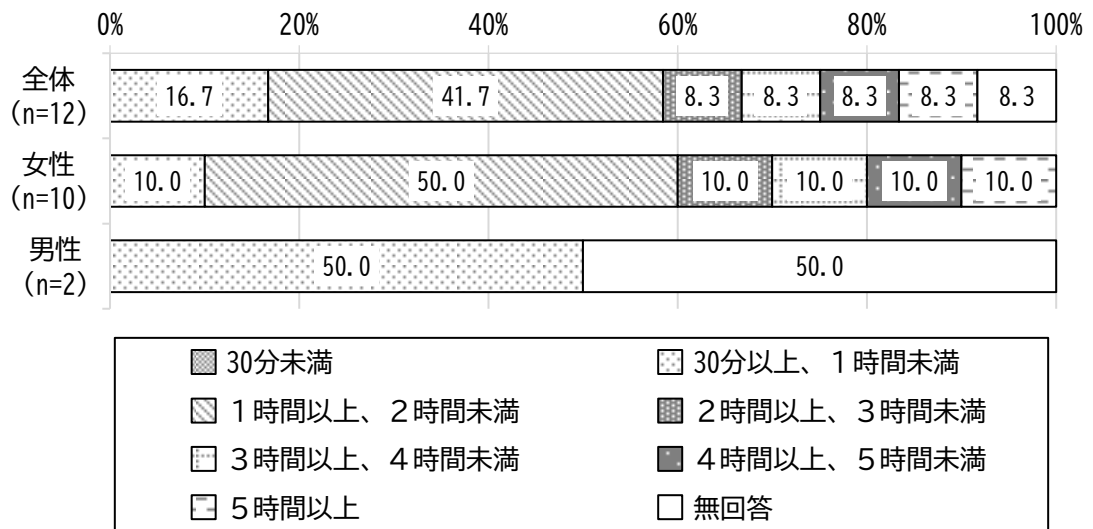
		回答者 総数(n)	30分未 満	30分以 上、1 時間未 満	1時間 以上、 2時間 未満	2時間 以上、 3時間 未満	3時間 以上、 4時間 未満	4時間 以上、 5時間 未満	5時間 以上	無回答	
全体		102	0.0	12.7	32.4	18.6	7.8	5.9	19.6	2.9	
性別	女性	68	0.0	5.9	29.4	19.1	8.8	5.9	27.9	2.9	
	男性	34	0.0	26.5	38.2	17.6	5.9	5.9	2.9	2.9	
	女性、男性以外	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
		30～39歳	12	0.0	0.0	0.0	25.0	8.3	0.0	66.7	0.0
		40～49歳	43	0.0	4.7	39.5	16.3	7.0	7.0	25.6	0.0
		50～59歳	8	0.0	12.5	37.5	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0
		60～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		70～79歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	16	0.0	25.0	31.3	18.8	12.5	6.3	6.3	0.0
		40～49歳	15	0.0	33.3	46.7	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0
		50～59歳	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		60～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70～79歳		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
婚姻状況	結婚している	99	0.0	13.1	31.3	18.2	8.1	6.1	20.2	3.0	
	結婚していないが同居のパートナーがいる	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	パートナーがいない（離別・死別など）	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	結婚していない	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
就労状況	共働き	67	0.0	16.4	28.4	22.4	7.5	6.0	16.4	3.0	
	男性パートナーだけ働いている	31	0.0	3.2	38.7	9.7	9.7	6.5	29.0	3.2	
	女性パートナーだけ働いている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ともに働いていない	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
世帯の構成員	0歳～未就学児	46	0.0	8.7	21.7	19.6	8.7	8.7	28.3	4.3	
	小学1年生～3年生	37	0.0	13.5	29.7	18.9	5.4	5.4	21.6	5.4	
	小学4年生～6年生	30	0.0	13.3	40.0	23.3	6.7	3.3	13.3	0.0	
	中学生	21	0.0	9.5	57.1	19.0	4.8	0.0	9.5	0.0	
	介護が必要な方	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	上記のいずれもない	5	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
世帯構成	ひとり暮らし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	夫婦・カップルのみ	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	親と未婚の子ども	85	0.0	12.9	30.6	15.3	9.4	5.9	22.4	3.5	
	親と子ども夫婦・カップル	7	0.0	0.0	57.1	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	
	親と子ども夫婦・カップルと孫	3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	
	その他	4	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業別	正規社員・職員等	62	0.0	14.5	33.9	19.4	8.1	6.5	16.1	1.6	
	非正規社員・職員等	20	0.0	10.0	40.0	30.0	5.0	5.0	5.0	5.0	
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	19	0.0	5.3	21.1	5.3	10.5	5.3	47.4	5.3	

【クロス集計】

「1日当たりの育児の時間（新型コロナウイルス感染症拡大後・減少分（参考）」

		回答者 総数(n)	30分未 満	30分以 上、1 時間未 満	1時間 以上、 2時間 未満	2時間 以上、 3時間 未満	3時間 以上、 4時間 未満	4時間 以上、 5時間 未満	5時間 以上	無回答	
全体		9	0.0	11.1	33.3	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
性別	女性	8	0.0	12.5	25.0	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性、男性以外	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	5	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		40～49歳	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		50～59歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		60～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		70～79歳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		40～49歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		50～59歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		60～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70～79歳		1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
婚姻状況	結婚している	8	0.0	12.5	25.0	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
	結婚していないが同居のパートナーがいる	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	パートナーがいない（離別・死別など）	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	結婚していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
就労状況	共働き	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性パートナーだけ働いている	4	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性パートナーだけ働いている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ともに働いていない	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
世帯の構成員	0歳～未就学児	4	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	小学1年生～3年生	4	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	小学4年生～6年生	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	中学生	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	介護が必要な方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	上記のいずれもない	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
世帯構成	ひとり暮らし	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	夫婦・カップルのみ	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	親と未婚の子ども	6	0.0	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	親と子ども夫婦・カップル	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	親と子ども夫婦・カップルと孫	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
職業別	正規社員・職員等	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	非正規社員・職員等	3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	6	0.0	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

「1日当たりの介護の時間（新型コロナウイルス感染症拡大後・増加分（参考）」



「1日当たりの介護の時間（新型コロナウイルス感染症拡大後・減少分（参考）」

介護の時間が減少した割合は、全体の1.6%で、件数は4件と少ない。

「1日当たりの介護の時間（新型コロナウイルス感染症拡大後・増加分（参考）」

		回答者 総数(n)	30分未 満	30分以 上、1 時間未 満	1時間 以上、 2時間 未満	2時間 以上、 3時間 未満	3時間 以上、 4時間 未満	4時間 以上、 5時間 未満	5時間 以上	無回答	
全体		12	0.0	16.7	41.7	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	
性別	女性	10	0.0	10.0	50.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	
	男性	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
	女性、男性以外	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		40～49歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		50～59歳	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		60～69歳	3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
		70～79歳	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	80歳以上	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		40～49歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		50～59歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		60～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70～79歳		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
婚姻状況	結婚している	6	0.0	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	
	結婚していないが同居のパートナーがいる	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	パートナーがいない（離別・死別など）	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	結婚していない	5	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	
就労状況 世帯の	共働き	3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	
	男性パートナーだけ働いている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性パートナーだけ働いている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ともに働いていない	3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
世帯の 構成 員	0歳～未就学児	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	小学1年生～3年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	小学4年生～6年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	中学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	介護が必要な方	9	0.0	11.1	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0	
	上記のいずれもない	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
世帯 構成	ひとり暮らし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	夫婦・カップルのみ	4	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	
	親と未婚の子ども	8	0.0	12.5	37.5	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5	
	親と子ども夫婦・カップル	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	親と子ども夫婦・カップルと孫	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
職業別	正規社員・職員等	5	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	
	非正規社員・職員等	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	4	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	

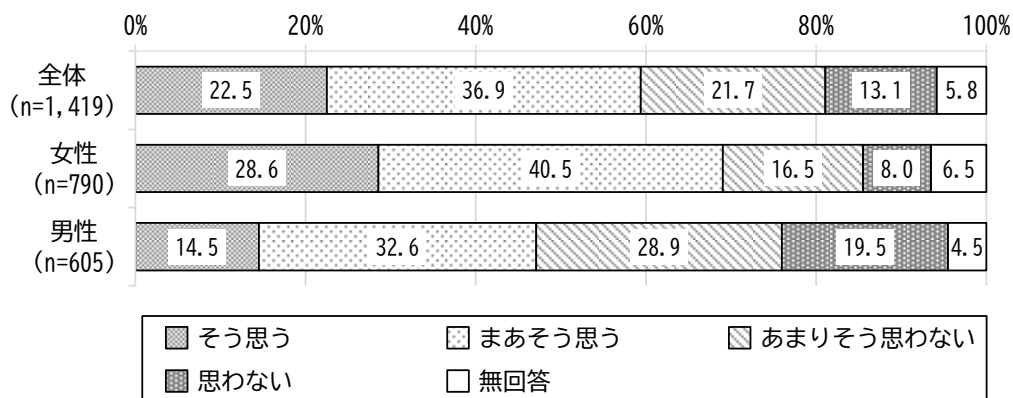
「1日当たりの介護の時間（新型コロナウイルス感染症拡大後・減少分（参考）」

		回答者 総数(n)	30分未 満	30分以 上、1 時間未 満	1時間 以上、 2時間 未満	2時間 以上、 3時間 未満	3時間 以上、 4時間 未満	4時間 以上、 5時間 未満	5時間 以上	無回答	
全体		4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	
性別	女性	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	男性	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性、男性以外	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		40～49歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		50～59歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		60～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		70～79歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		40～49歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		50～59歳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		60～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70～79歳		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
婚姻状況	結婚している	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	
	結婚していないが同居のパートナーがいる	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	パートナーがいない（離別・死別など）	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	結婚していない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
就労状況	共働き	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	男性パートナーだけ働いている	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	
	女性パートナーだけ働いている	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ともに働いていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
世帯の構成員	0歳～未就学児	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	小学1年生～3年生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	小学4年生～6年生	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	中学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	介護が必要な方	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	上記のいずれもない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
世帯構成	ひとり暮らし	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	夫婦・カップルのみ	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	親と未婚の子ども	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	
	親と子ども夫婦・カップル	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	親と子ども夫婦・カップルと孫 その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
職業別	正規社員・職員等	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	
	非正規社員・職員等	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

問5 高齢者の介護は、主として女性（妻、娘、息子のパートナーなど）の役割になっていると思いますか。（○は1つだけ）

全体では、「まあそう思う」が36.9%と最も高く、次いで「そう思う」が22.5%、「あまりそう思わない」が21.7%となっている。『そう思う』（「そう思う」と「まあそう思う」の合計）は59.4%となっており、**約6割の者が女性の役割ととらえている。**

性別にみると、女性、男性ともに「まあそう思う」が最も多く、それぞれ40.5%、32.6%となっている。また、『そう思う』について、**女性69.1%、男性47.1%と性別により認識の差が見られる。**



【クロス集計】

性・年代別にみると、女性では「そう思う」の割合が40歳代以上で高く、男性では年代による差はあまり見られない。一方で「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合は、女性は20歳代で高く、男性は30歳代以下で高くなっている。**若年層では介護に対する性別役割分担意識が低い**と考えられる。

		回答者 総数(n)	そう 思 う	そ ま あ 思 う	思 あ わ ま な り 思 う	思 わ な い	無 回 答	
全体		1419	22.5	36.9	21.7	13.1	5.8	
性別	女性	790	28.6	40.5	16.5	8.0	6.5	
	男性	605	14.5	32.6	28.9	19.5	4.5	
	女性、男性以外	5	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	30.0	30.0	30.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	18.7	38.7	25.3	13.3	4.0
		30～39歳	97	19.6	54.6	11.3	7.2	7.2
		40～49歳	159	32.1	43.4	16.4	6.3	1.9
		50～59歳	147	33.3	43.5	15.0	6.1	2.0
		60～69歳	121	36.4	34.7	13.2	8.3	7.4
		70～79歳	112	24.1	40.2	16.1	8.9	10.7
		80歳以上	68	27.9	20.6	22.1	8.8	20.6
	男性	18～19歳	10	20.0	10.0	40.0	30.0	0.0
		20～29歳	49	6.1	36.7	34.7	20.4	2.0
		30～39歳	82	11.0	23.2	40.2	22.0	3.7
		40～49歳	110	17.3	34.5	27.3	17.3	3.6
		50～59歳	109	19.3	33.9	29.4	14.7	2.8
		60～69歳	92	9.8	34.8	28.3	19.6	7.6
70～79歳	107	15.9	34.6	23.4	20.6	5.6		
80歳以上	46	17.4	32.6	17.4	26.1	6.5		

【経年比較】

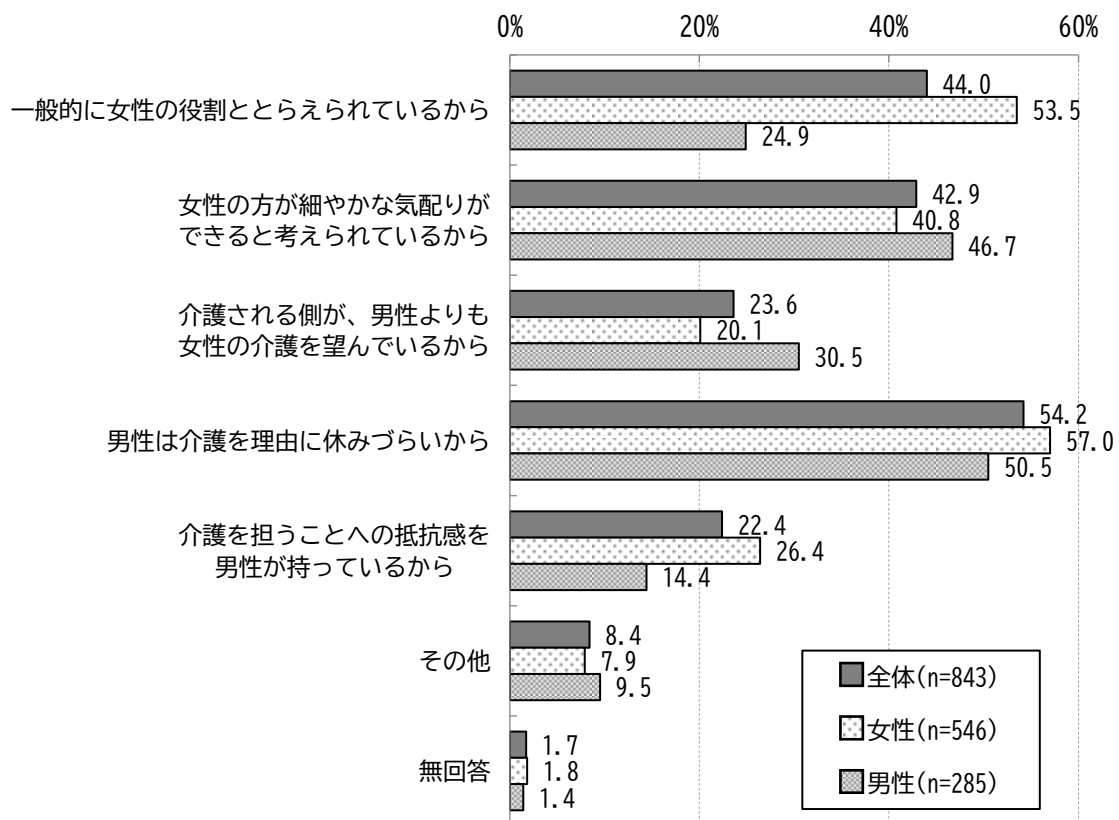
平成 22 年度調査と比較すると、『そう思う』は、71.9%から 59.4%に減少しており、介護に対する性別役割分担意識が改善していることが伺える。

		回答者 総数(n)	そう 思う	ま あ そう 思う	わ あ な い そ う 思	思 わ な い	無 回 答
令和 2 年度	全体	1419	22.5	36.9	21.7	13.1	5.8
	女性	790	28.6	40.5	16.5	8.0	6.5
	男性	605	14.5	32.6	28.9	19.5	4.5
平成22年度	全体	1080	33.9	38.0	18.2	7.8	2.1
	女性	610	41.6	39.0	13.4	4.8	1.1
	男性	441	23.1	37.2	24.9	11.6	3.2

問 5-1 女性に介護負担がかかるのは、どうしてだと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「男性は介護を理由に休みづらいから」が 54.2%と最も高く、次いで「一般的に女性の役割ととらえられているから」が 44.0%、「女性の方が細やかな気配りができると考えられているから」が 42.9%となっている。

性別にみると、**女性、男性ともに「男性は介護を理由に休みづらいから」が最も多く、それぞれ 57.0%、50.5%となっている。**また、「一般的に女性の役割ととらえられているから」について、女性 53.5%、男性 24.9%と性別により差が見られる。



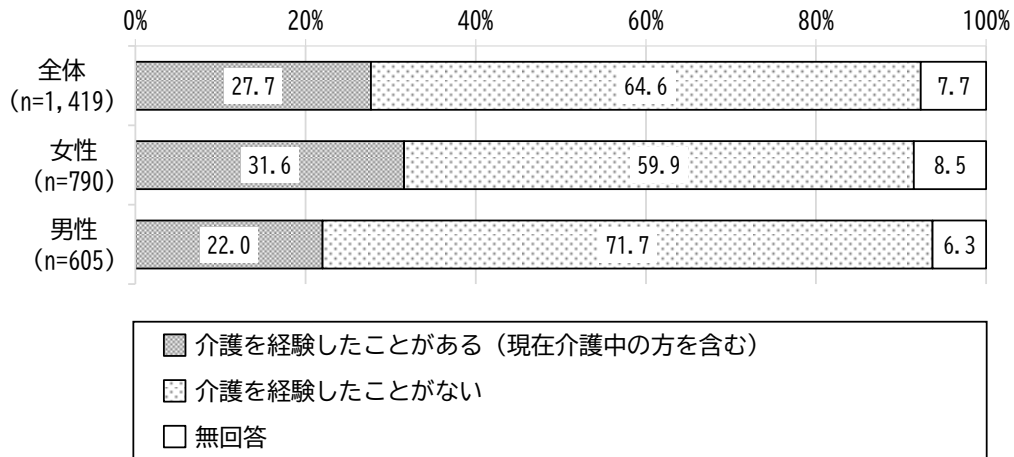
【クロス集計】

		回答者 総数(n)	か ら	と 一 般 的 に え ら れ て い る 女 性 の 役 割	え ら れ て い る か ら	女 性 の 方 が 細 か な 考	を 望 ん で い る か ら	性 よ り も 女 性 の 介 護	介 護 さ れ る 側 が 、 介 護 男	休 み づ ら い か ら	男 性 は 介 護 を 理 由 に	て い る か ら	抵 抗 感 を 担 う こ と が 持 つ の	介 護 を 担 う こ と へ つ	そ の 他	無 回 答
全体		843		44.0	42.9	23.6	54.2	22.4	8.4	1.7						
性別	女性	546		53.5	40.8	20.1	57.0	26.4	7.9	1.8						
	男性	285		24.9	46.7	30.5	50.5	14.4	9.5	1.4						
	女性、男性以外	2		50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
性・年代別	女性	18～19歳	6	66.7	16.7	0.0	50.0	16.7	16.7	0.0						
		20～29歳	42	71.4	21.4	4.8	45.2	45.2	7.1	0.0						
		30～39歳	71	54.9	36.6	12.7	69.0	23.9	9.9	0.0						
		40～49歳	118	54.2	34.7	13.6	73.7	24.6	6.8	0.0						
		50～59歳	112	53.6	42.9	16.1	63.4	25.9	7.1	0.0						
		60～69歳	86	48.8	44.2	31.4	54.7	33.7	11.6	0.0						
		70～79歳	69	55.1	62.3	42.0	39.1	27.5	2.9	0.0						
		80歳以上	31	48.4	54.8	29.0	22.6	3.2	12.9	0.0						
	男性	18～19歳	3	33.3	0.0	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0						
		20～29歳	21	61.9	19.0	9.5	47.6	23.8	9.5	0.0						
		30～39歳	28	25.0	21.4	17.9	75.0	21.4	21.4	0.0						
		40～49歳	55	21.8	32.7	12.7	60.0	9.1	14.5	0.0						
		50～59歳	58	15.5	48.3	43.1	62.1	12.1	6.9	0.0						
		60～69歳	41	22.0	56.1	43.9	43.9	12.2	7.3	0.0						
年代別	18～19歳	9	55.6	11.1	11.1	66.7	11.1	11.1	0.0							
	20～29歳	64	67.2	20.3	6.3	45.3	37.5	7.8	1.6							
	30～39歳	101	46.5	31.7	13.9	69.3	22.8	12.9	1.0							
	40～49歳	177	42.9	33.3	13.0	67.8	19.2	9.0	2.3							
	50～59歳	171	40.4	44.4	25.1	62.6	21.1	7.0	0.6							
	60～69歳	129	41.1	47.3	34.9	50.4	27.1	10.1	0.0							
	70～79歳	129	39.5	63.6	40.3	38.8	21.7	4.7	3.9							
	80歳以上	59	44.1	61.0	28.8	13.6	11.9	6.8	3.4							

問6 あなたは、家族の介護を経験したことがありますか。(○は1つだけ)

全体では、「介護を経験したことがある（現在介護中の方を含む）」が 27.7%、「介護を経験したことがない」が 64.6%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「介護を経験したことがない」が最も多い。一方で「**介護を経験したことがある（現在介護中の方を含む）**」は、**女性が 31.6%、男性が 22.0%**と性別により差が見られる。



【クロス集計】

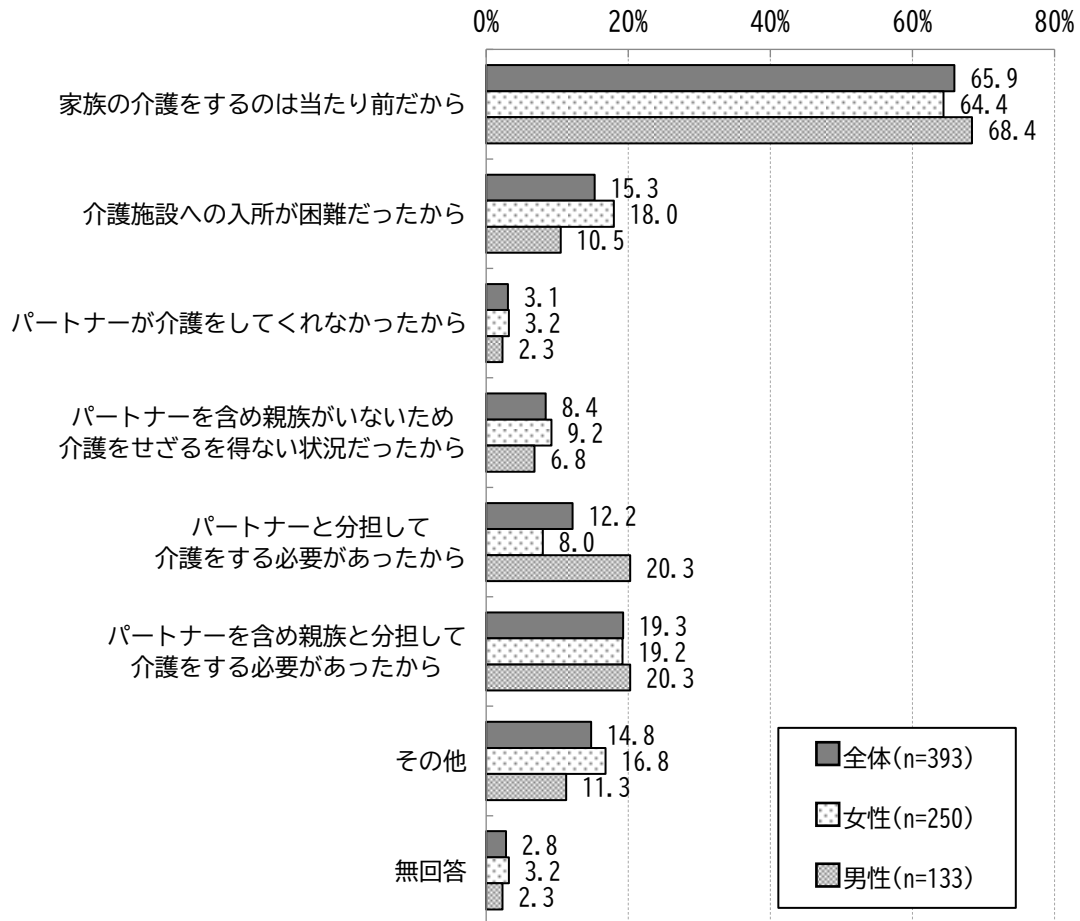
性・年代別にみると、女性の 60 歳代以上で「介護を経験したことがある」が多くなっている。

		回答者 総数(n)	（介 護 を 経 験 中 の 方 を 含 む）	介 護 を 経 験 し た こ と が な い	無 回 答	
全体		1419	27.7	64.6	7.7	
性別	女性	790	31.6	59.9	8.5	
	男性	605	22.0	71.7	6.3	
	女性、男性以外	5	20.0	60.0	20.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	30.0	70.0	0.0
		20～29歳	75	12.0	84.0	4.0
		30～39歳	97	11.3	76.3	12.4
		40～49歳	159	11.9	85.5	2.5
		50～59歳	147	34.0	58.5	7.5
		60～69歳	121	54.5	42.1	3.3
		70～79歳	112	56.3	29.5	14.3
		80歳以上	68	42.6	32.4	25.0
	男性	18～19歳	10	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	49	0.0	93.9	6.1
		30～39歳	82	11.0	81.7	7.3
		40～49歳	110	13.6	83.6	2.7
		50～59歳	109	29.4	65.1	5.5
		60～69歳	92	37.0	55.4	7.6
	70～79歳	107	26.2	66.4	7.5	
	80歳以上	46	32.6	56.5	10.9	

問 6-1 あなたが介護をした理由は何ですか。(〇はいくつでも)

全体では、「家族の介護をするのは当たり前だから」が 65.9%と最も高く、次いで「パートナーを含め親族と分担して介護をする必要があったから」が 19.3%、「介護施設への入所が困難だったから」が 15.3%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「家族の介護をするのは当たり前だから」が最も多く、それぞれ 64.4%、68.4%となっている。**性別により「介護をした理由」に大きな差は見られない。**



【クロス集計】

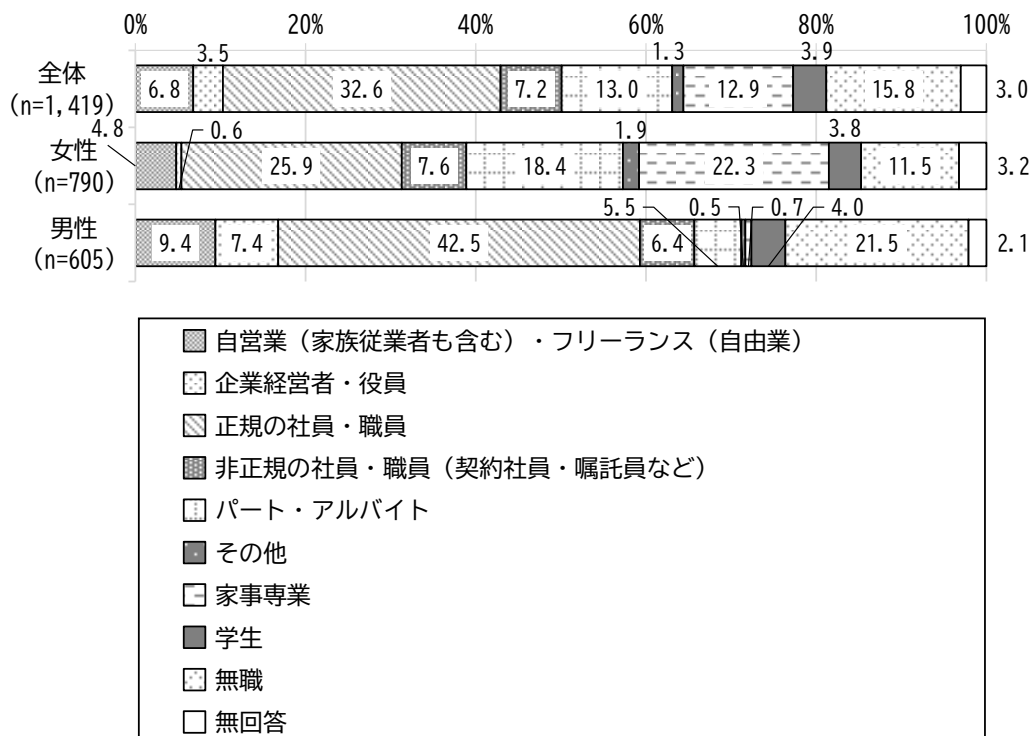
		回答者 総数(n)	家族の介護をするのは当たり前だから	介護施設への入所が困難だったから	パートナーが介護をしてくれないから	パートナーを含め親族がいないため介護をせざるを得ない状況だったから	パートナーを必要があつたから	パートナーを含め親族と分けて介護をする必要があつたから	その他	無回答	
全体		393	65.9	15.3	3.1	8.4	12.2	19.3	14.8	2.8	
性別	女性	250	64.4	18.0	3.2	9.2	8.0	19.2	16.8	3.2	
	男性	133	68.4	10.5	2.3	6.8	20.3	20.3	11.3	2.3	
	女性、男性以外	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	3	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	9	66.7	22.2	0.0	11.1	0.0	22.2	44.4	0.0
		30～39歳	10	40.0	50.0	0.0	10.0	0.0	20.0	30.0	0.0
		40～49歳	18	72.2	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0
		50～59歳	49	59.2	14.3	4.1	6.1	12.2	28.6	14.3	0.0
		60～69歳	64	68.8	21.9	3.1	10.9	12.5	28.1	18.8	0.0
		70～79歳	61	65.6	14.8	4.9	11.5	4.9	14.8	14.8	0.0
	80歳以上	28	82.1	17.9	3.6	10.7	10.7	3.6	10.7	0.0	
	男性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	7	100.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0
		40～49歳	14	64.3	21.4	7.1	0.0	0.0	21.4	21.4	0.0
		50～59歳	32	84.4	6.3	0.0	9.4	15.6	18.8	12.5	0.0
		60～69歳	34	64.7	11.8	2.9	2.9	23.5	23.5	8.8	0.0
70～79歳		28	60.7	10.7	3.6	3.6	46.4	28.6	3.6	0.0	
80歳以上	15	60.0	13.3	0.0	26.7	0.0	6.7	20.0	0.0		

3. 仕事について

問7 あなたの職業は、次のどれですか。(○は1つだけ)

全体では、「正規の社員・職員」が32.6%と最も高く、次いで「無職」が15.8%、「パート・アルバイト」が13.0%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「正規の社員・職員」が最も多く、それぞれ25.9%、42.5%となっているが、**女性は全体の4分の1程度と男性に比べると正規雇用の割合は低い**。女性は「家事専業」が22.3%、「パート・アルバイト」が18.4%と性別により割合が大きく異なる。



【クロス集計】

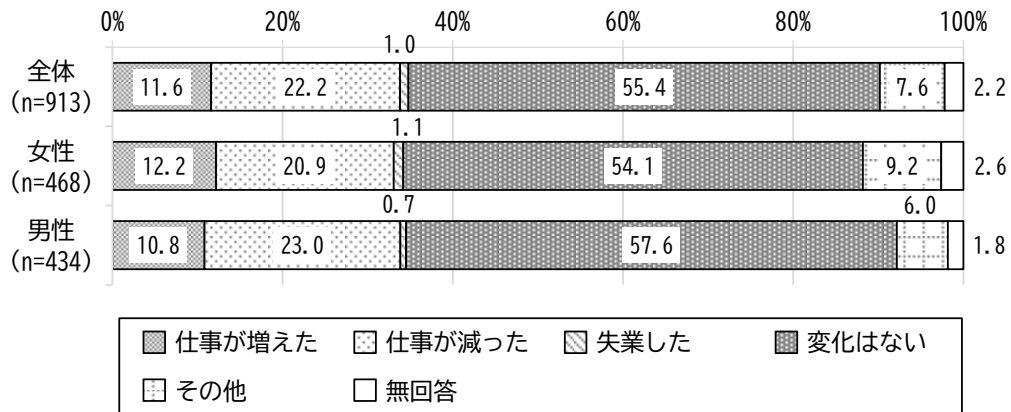
性・年代別にみると、女性は20～40歳代では「正規の社員・職員」の割合が最も高いが、50歳代では「パート・アルバイト」、60～70歳代では「家事専業」が多くなっている。

		回答者 総数(n)	自営業(家族従業員を含む)・フリーランス(自由業)	企業経営者・役員	正規の社員・職員	非正規の社員・職員(契約社員・嘱託員など)	パート・アルバイト	その他	家事専業	学生	無職	無回答	
全体		1419	6.8	3.5	32.6	7.2	13.0	1.3	12.9	3.9	15.8	3.0	
性別	女性	790	4.8	0.6	25.9	7.6	18.4	1.9	22.3	3.8	11.5	3.2	
	男性	605	9.4	7.4	42.5	6.4	5.5	0.5	0.7	4.0	21.5	2.1	
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
		20～29歳	75	1.3	0.0	62.7	8.0	1.3	0.0	0.0	24.0	0.0	2.7
		30～39歳	97	4.1	0.0	51.5	8.2	10.3	3.1	19.6	0.0	2.1	1.0
		40～49歳	159	5.7	0.0	35.8	11.9	25.2	0.6	16.4	0.6	3.1	0.6
		50～59歳	147	5.4	2.7	25.2	10.9	32.7	1.4	18.4	0.7	0.7	2.0
		60～69歳	121	5.8	0.8	9.9	7.4	28.1	2.5	33.9	0.0	8.3	3.3
		70～79歳	112	6.3	0.0	1.8	1.8	9.8	5.4	36.6	0.0	34.8	3.6
		80歳以上	68	2.9	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	30.9	0.0	50.0	14.7
	男性	18～19歳	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	6.1	0.0	46.9	6.1	10.2	0.0	0.0	26.5	2.0	2.0
		30～39歳	82	6.1	3.7	74.4	3.7	6.1	1.2	0.0	0.0	4.9	0.0
		40～49歳	110	9.1	9.1	69.1	4.5	2.7	1.8	0.0	0.0	0.9	2.7
		50～59歳	109	5.5	11.0	71.6	4.6	1.8	0.0	0.9	0.9	2.8	0.9
		60～69歳	92	20.7	17.4	15.2	15.2	7.6	0.0	2.2	0.0	21.7	0.0
	70～79歳	107	8.4	2.8	4.7	8.4	9.3	0.0	0.9	0.0	63.6	1.9	
	80歳以上	46	10.9	2.2	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	71.7	13.0	

問 7-1 あなたは、新型コロナウイルス感染症の影響下において、働き方に変化はありましたか。
(○は1つだけ)

全体では、「変化はない」が55.4%と最も高く、次いで「仕事が減った」が22.2%、「仕事が増えた」が11.6%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「変化はない」が最も多く、それぞれ54.1%、57.6%となっている。また、性別による大きな差は見られない。



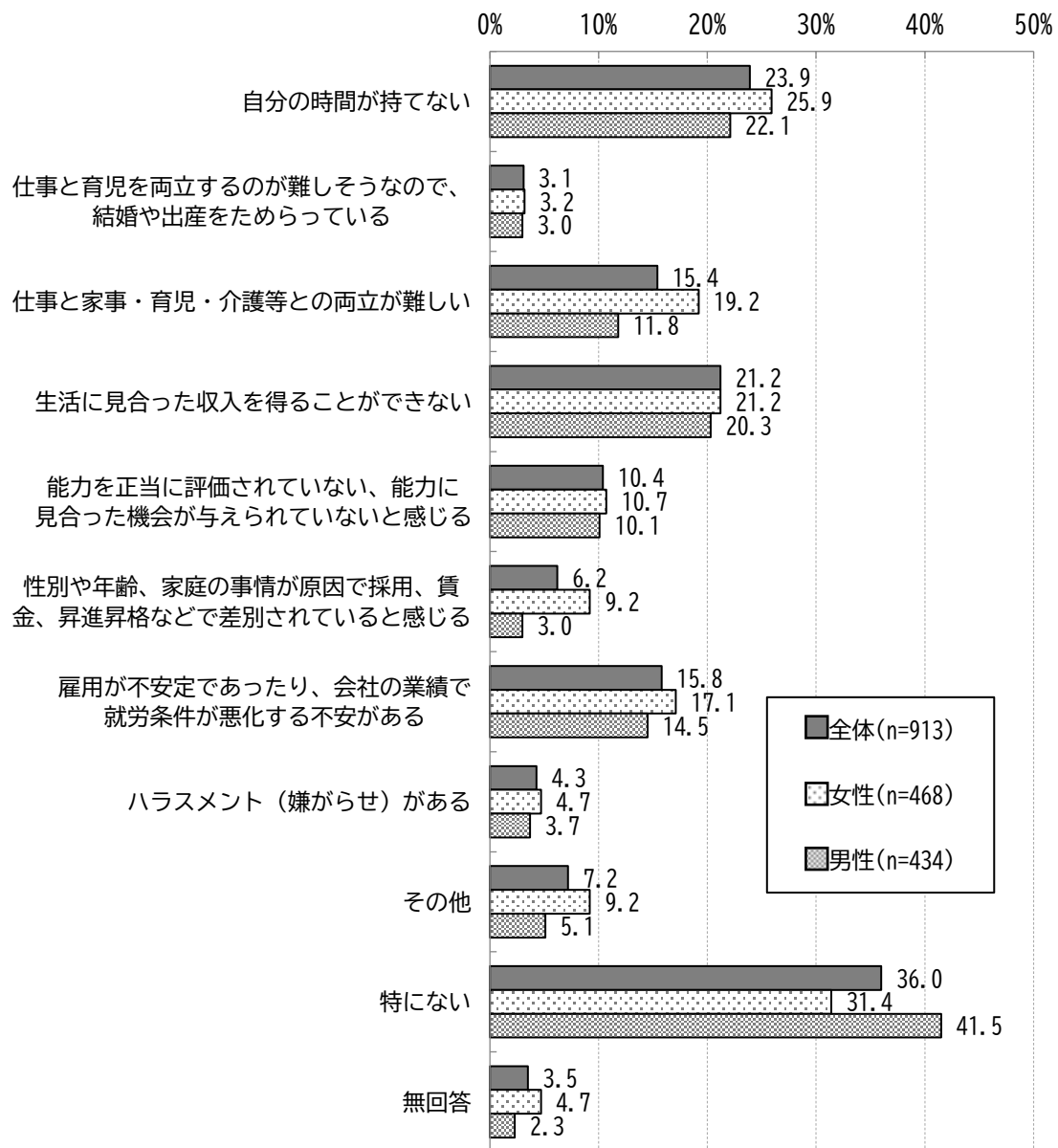
【クロス集計】

		回答者 総数(n)	増 え 事 た が	減 つ 事 た が	た 失 業 し	な 変 い 化 は	そ の 他	無 回 答	
全体		913	11.6	22.2	1.0	55.4	7.6	2.2	
性別	女性	468	12.2	20.9	1.1	54.1	9.2	2.6	
	男性	434	10.8	23.0	0.7	57.6	6.0	1.8	
	女性、男性以外	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	54	18.5	14.8	1.9	46.3	18.5	0.0
		30～39歳	75	13.3	12.0	1.3	61.3	12.0	0.0
		40～49歳	126	11.9	19.8	2.4	54.8	11.1	0.0
		50～59歳	113	14.2	28.3	0.0	50.4	7.1	0.0
		60～69歳	61	8.2	31.1	0.0	59.0	1.6	0.0
		70～79歳	24	0.0	20.8	0.0	75.0	4.2	0.0
		80歳以上	3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	男性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	34	11.8	14.7	0.0	70.6	2.9	0.0
		30～39歳	77	14.3	20.8	1.3	51.9	11.7	0.0
		40～49歳	101	16.8	24.8	1.0	51.5	5.9	0.0
		50～59歳	103	11.7	22.3	0.0	61.2	4.9	0.0
		60～69歳	70	4.3	24.3	1.4	65.7	4.3	0.0
70～79歳	35	0.0	31.4	0.0	62.9	5.7	0.0		
80歳以上	6	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0		

問 7-2 働くうえで、特に困っていることや不安・不満に思うことはありますか。(〇はいくつでも)

全体では、「特にない」が36.0%と最も高く、次いで「自分の時間が持てない」が23.9%、「生活に見合った収入を得ることができない」が21.2%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「特にない」が最も多く、それぞれ31.4%、41.5%となっており、男性が10.1ポイント高くなっている。「仕事と家事・育児・介護等との両立が難しい」は、女性が19.2%、男性が11.8%と性別により差が見られる。女性は、男性よりも仕事と家庭生活の両立で悩んでいる割合が高い。



【クロス集計】

年代別にみると、20～30歳代の若い年代では「自分の時間が持てない」が最も多くなっているが、40歳代以降は「特にない」が最も多くなり、年代が上がるにつれて、その割合も上昇している。

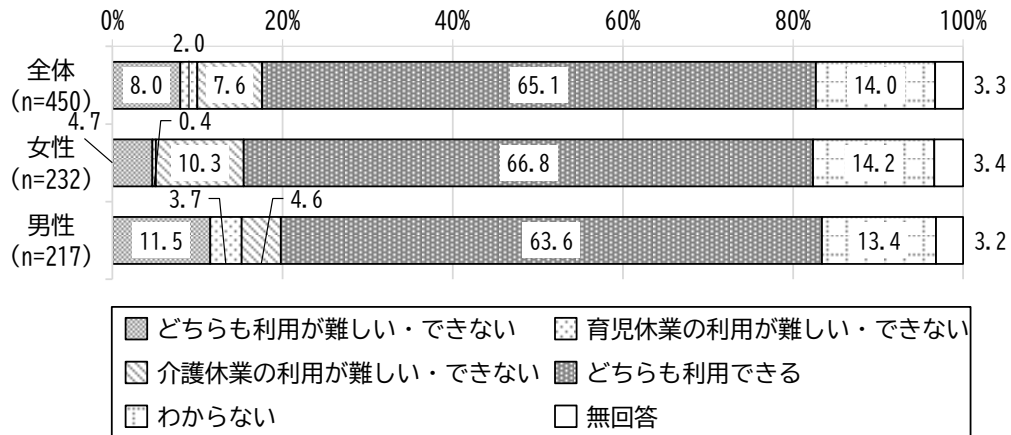
性・世帯の構成員別にみると、小学校低学年までの子どもがいる場合について、女性は男性と比べ「自分の時間が持てない」と回答した割合がおおよそ20ポイント高く、「仕事と家事・育児・介護等との両立が難しい」についても、おおよそ15ポイント高くなっている。

		回答者 総数(n)	自分の 時間が 持てない	仕事と 育児を 両立す るの難 しさを 感じる	仕事と 家事・ 育児・ 介護等 の両立 が難し い	生活に 見合っ た収入 を得る こと が できない	能力を 正當に 評価さ れてい ない と感じ る	採用、 賞金、 昇進等 の事情 が原因 で差別 されて いる と感じ る	性別や 年齢、 家庭の 事情が 原因で 不安が ある	雇用の 不安定 な条件 が 悪化す る	ハラス メント (嫌が らせ)が ある	その他	特にな い	無回 答
全体		913	23.9	3.1	15.4	21.2	10.4	6.2	15.8	4.3	7.2	36.0	3.5	
性別	女性	468	25.9	3.2	19.2	21.2	10.7	9.2	17.1	4.7	9.2	31.4	4.7	
	男性	434	22.1	3.0	11.8	20.3	10.1	3.0	14.5	3.7	5.1	41.5	2.3	
	女性、男性以外	4	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	
年代別	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20～29歳	90	31.1	14.4	16.7	26.7	7.8	7.8	15.6	2.2	11.1	24.4	2.2	
	30～39歳	154	31.8	5.8	25.3	20.1	12.3	6.5	16.9	7.1	5.8	27.3	3.2	
	40～49歳	234	28.6	1.7	20.9	20.9	15.8	8.5	22.2	4.7	8.1	31.2	1.3	
	50～59歳	218	23.9	0.9	13.8	17.4	8.7	5.0	14.7	5.0	7.3	39.0	2.3	
	60～69歳	138	13.8	0.0	4.3	29.0	6.5	5.1	10.9	2.9	7.2	47.1	3.6	
	70～79歳	66	3.0	0.0	3.0	15.2	6.1	3.0	7.6	0.0	3.0	51.5	15.2	
	80歳以上	11	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	63.6	18.2	
性・年代別	女性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	53	30.2	15.1	18.9	28.3	3.8	11.3	17.0	1.9	17.0	20.8	0.0
		30～39歳	73	38.4	5.5	32.9	23.3	13.7	9.6	17.8	8.2	8.2	24.7	0.0
		40～49歳	124	32.3	2.4	24.2	19.4	18.5	12.9	25.0	4.8	7.3	29.0	0.0
		50～59歳	111	22.5	0.0	18.0	18.0	9.0	7.2	15.3	5.4	9.0	37.8	0.0
		60～69歳	62	14.5	0.0	8.1	32.3	4.8	9.7	12.9	4.8	12.9	45.2	0.0
		70～79歳	21	9.5	0.0	4.8	14.3	9.5	0.0	9.5	0.0	4.8	52.4	0.0
	80歳以上	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
	男性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	34	35.3	14.7	14.7	23.5	14.7	2.9	14.7	2.9	2.9	32.4	0.0
		30～39歳	75	28.0	6.7	20.0	17.3	12.0	4.0	17.3	5.3	4.0	32.0	0.0
		40～49歳	105	25.7	1.0	18.1	22.9	13.3	3.8	19.0	4.8	8.6	35.2	0.0
		50～59歳	102	26.5	2.0	9.8	17.6	8.8	2.9	14.7	4.9	5.9	42.2	0.0
		60～69歳	69	13.0	0.0	1.4	27.5	7.2	1.4	10.1	1.4	2.9	53.6	0.0
70～79歳		33	0.0	0.0	3.0	15.2	6.1	3.0	9.1	0.0	3.0	69.7	0.0	
80歳以上	6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0		
性・世帯の構成員	女性	0歳～未就学児	63	57.1	1.6	44.4	19.0	11.1	14.3	1.6	6.3	11.1	19.0	0.0
		小学1年生～3年生	43	44.2	0.0	37.2	9.3	7.0	4.7	11.6	2.3	7.0	32.6	0.0
		小学4年生～6年生	38	34.2	0.0	28.9	18.4	15.8	13.2	28.9	5.3	5.3	23.7	0.0
		中学生	36	25.0	0.0	19.4	13.9	11.1	2.8	27.8	0.0	5.6	33.3	0.0
		介護が必要な方	18	50.0	5.6	38.9	33.3	0.0	0.0	11.1	5.6	22.2	22.2	0.0
		上記のいずれもない	278	16.5	4.3	12.6	23.7	11.2	9.0	20.9	4.7	9.7	38.1	0.0
	男性	0歳～未就学児	71	33.8	1.4	28.2	16.9	4.2	1.4	22.5	0.0	4.2	29.6	0.0
		小学1年生～3年生	31	25.8	0.0	19.4	19.4	6.5	6.5	19.4	3.2	3.2	35.5	0.0
		小学4年生～6年生	29	37.9	0.0	31.0	17.2	10.3	6.9	6.9	0.0	10.3	34.5	0.0
		中学生	27	40.7	0.0	14.8	25.9	3.7	3.7	18.5	7.4	3.7	25.9	0.0
		介護が必要な方	16	31.3	0.0	6.3	12.5	0.0	0.0	6.3	0.0	12.5	37.5	0.0
上記のいずれもない	269	17.1	4.5	6.7	21.2	12.6	2.2	14.1	4.1	4.8	48.7	0.0		

問 7-4 あなたの職場では、実際に育児・介護休業制度を利用することができますか。(○は1つだけ)

全体では、「どちらも利用できる」が65.1%と最も高く、次いで「わからない」が14.0%、「どちらも利用が難しい・できない」が8.0%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「どちらも利用できる」が最も多く、それぞれ66.8%、63.6%となっている。また、「育児休業の利用が難しい・できない」は、男性が女性よりも3.3ポイント高く、「介護休業の利用が難しい・できない」は、女性が男性よりも5.7ポイント高い。



【クロス集計】

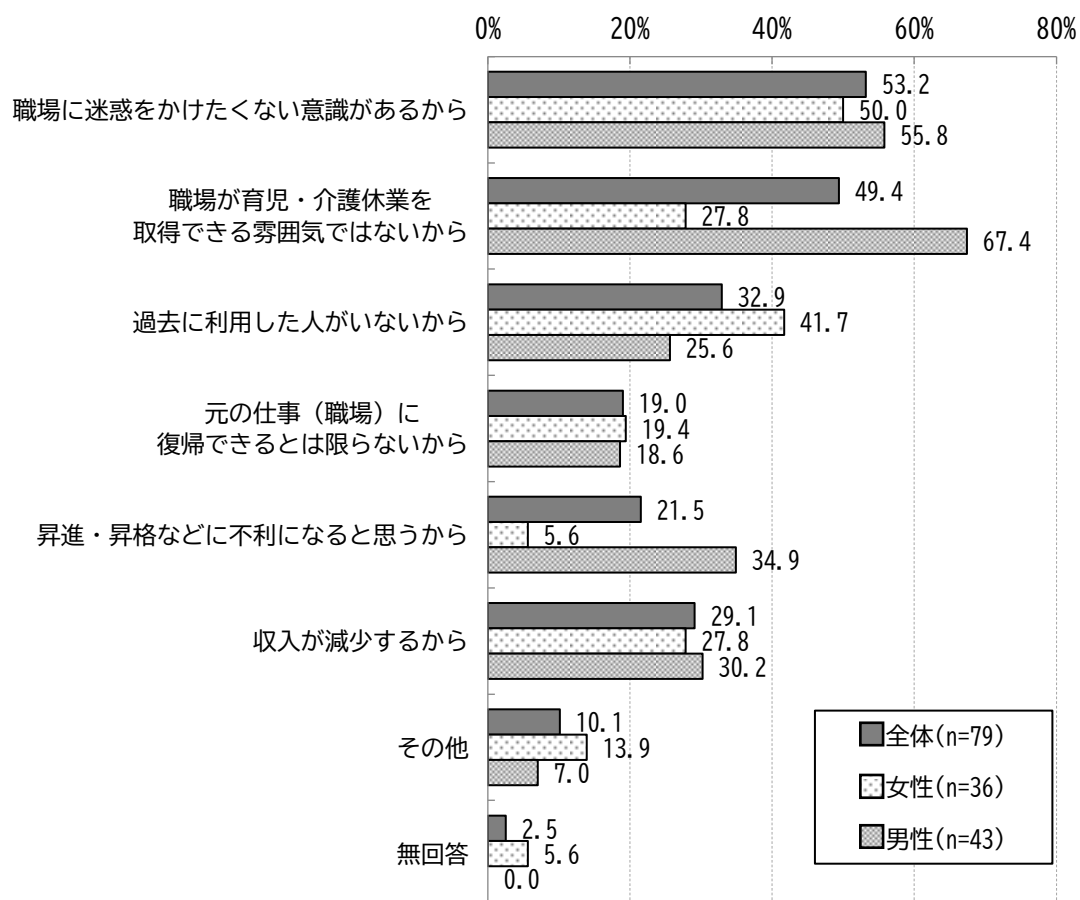
		回答者 総数(n)	きがど な難 いし ら い も ・利 で用	で用 きが 見 な 難 い の ・利	で用 きが 見 な 難 い の ・利	でど き ら も 利 用	わ か ら な い	無 回 答	
全体		450	8.0	2.0	7.6	65.1	14.0	3.3	
性別	女性	232	4.7	0.4	10.3	66.8	14.2	3.4	
	男性	217	11.5	3.7	4.6	63.6	13.4	3.2	
	女性、男性以外	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	39	0.0	2.6	7.7	76.9	12.8	0.0
		30～39歳	48	8.3	0.0	12.5	66.7	12.5	0.0
		40～49歳	67	3.0	0.0	11.9	74.6	10.4	0.0
		50～59歳	48	8.3	0.0	12.5	56.3	22.9	0.0
		60～69歳	20	5.0	0.0	5.0	70.0	20.0	0.0
		70～79歳	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	男性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	19	10.5	0.0	10.5	52.6	26.3	0.0
		30～39歳	52	15.4	5.8	5.8	61.5	11.5	0.0
		40～49歳	54	18.5	7.4	3.7	63.0	7.4	0.0
		50～59歳	55	7.3	0.0	3.6	70.9	18.2	0.0
		60～69歳	26	3.8	3.8	3.8	80.8	7.7	0.0
70～79歳		4	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	
80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

問 7-5 あなたの職場で育児・介護休業制度を利用できないと思われる理由は何ですか。

(○は3つまで)

全体では、「職場に迷惑をかけたくない意識があるから」が53.2%と最も高く、次いで「職場が育児・介護休業を取得できる雰囲気ではないから」が49.4%、「過去に利用した人がいないから」が32.9%となっている。

性別にみると、女性は「職場に迷惑をかけたくない意識があるから」が50.0%、男性は「職場が育児・介護休業を取得できる雰囲気ではないから」が67.4%とそれぞれ最も高くなっている。また、「職場が育児・介護休業を取得できる雰囲気ではないから」について、女性は27.8%となっており、性別により差が見られる。**男性は、育児や介護を理由に仕事を休むことが難しい現状が伺える。**



【クロス集計】

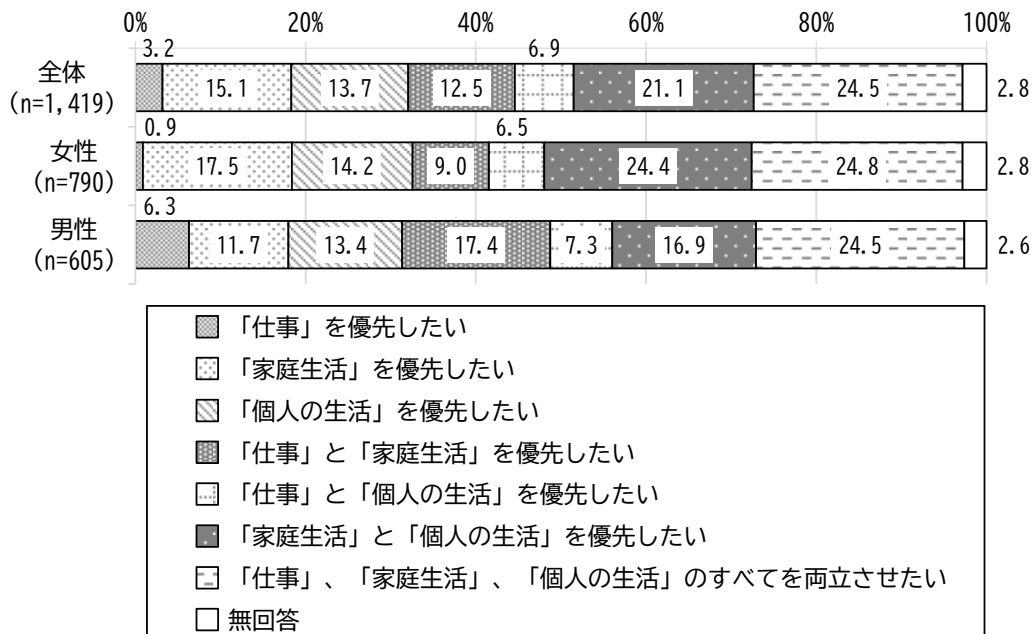
		回答者 総数(n)	らく ない 意 識 が あ る か た	職 場 に 迷 惑 を か け た	業 務 を 取 得 で き な い か ら	職 場 が 育 児 ・ 介 護 休 み に 利 用 し た 人 が	過 去 に 利 用 し た 人 が	復 帰 で き る と は 限 ら な い か ら	元 の 仕 事 (職 場) に	利 益 に な る と 思 う か ら 不	昇 進 ・ 昇 格 な ど に	収 入 が 減 少 す る か ら	そ の 他	無 回 答
全体		79	53.2	49.4	32.9	19.0	21.5	29.1	10.1	2.5				
性 別	女性	36	50.0	27.8	41.7	19.4	5.6	27.8	13.9	5.6				
	男性	43	55.8	67.4	25.6	18.6	34.9	30.2	7.0	0.0				
	女性、男性以外	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
性 ・ 年 代 別	女性	18~19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20~29歳	3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30~39歳	10	50.0	20.0	40.0	40.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		40~49歳	9	55.6	44.4	55.6	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		50~59歳	10	60.0	20.0	50.0	10.0	0.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		60~69歳	2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		70~79歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性	18~19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20~29歳	4	50.0	25.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30~39歳	14	50.0	64.3	35.7	21.4	21.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		40~49歳	16	68.8	62.5	18.8	25.0	43.8	25.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0
		50~59歳	6	66.7	100.0	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		60~69歳	3	0.0	100.0	66.7	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
70~79歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

4. ワーク・ライフ・バランスについて

問8 あなたの生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活（地域活動、趣味・学習等）」の優先度について、あなたの希望に最も近いものを選んでください。（○は1つだけ）

全体では、「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活」のすべてを両立させたいが24.5%と最も高く、次いで「家庭生活」と「個人の生活」を優先したいが21.1%、「家庭生活」を優先したいが15.1%となっている。

性別にみると、**女性、男性ともに「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活」のすべてを両立させたいが最も多く、それぞれ24.8%、24.5%となっている。**また、女性では、「家庭生活」と「個人の生活」を優先したいが24.4%と男性よりも7.5ポイント高く、「家庭生活」を優先したいが17.5%と男性より5.8ポイント高くなっている。男性では「仕事を優先したい」が6.3%と女性より5.4ポイント高く、「仕事」と「家庭生活」を優先したいが17.4%と女性より8.4ポイント高い。



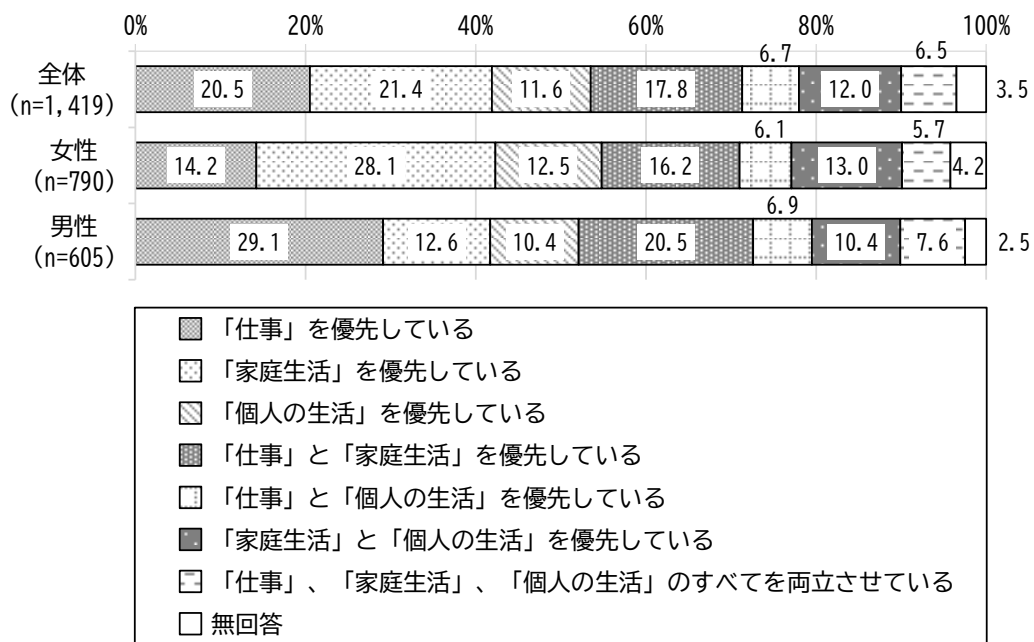
【クロス集計】

		回答者 総数(n)	「仕事」 を優先したい	「家庭生活」 を優先した い	「個人の生活」 を優先し たい	「仕事」と「家庭生 活」を優先したい	「仕事」と「個人 の生活」を優先 したい	「家庭生活」と「個人 の生活」を優先 したい	「仕事」、「家庭生 活」、「個人の生活」 すべてを両立させたい	無 回 答	
全体		1419	3.2	15.1	13.7	12.5	6.9	21.1	24.5	2.8	
性別	女性	790	0.9	17.5	14.2	9.0	6.5	24.4	24.8	2.8	
	男性	605	6.3	11.7	13.4	17.4	7.3	16.9	24.5	2.6	
	女性、男性以外	5	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	
性・ 年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	50.0	10.0	20.0	10.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	2.7	8.0	13.3	10.7	16.0	20.0	29.3	0.0
		30～39歳	97	0.0	29.9	8.2	13.4	3.1	19.6	24.7	1.0
		40～49歳	159	0.6	18.2	9.4	8.8	4.4	24.5	32.7	1.3
		50～59歳	147	0.7	14.3	10.2	15.0	6.8	16.3	34.7	2.0
		60～69歳	121	1.7	10.7	14.9	4.1	9.1	32.2	26.4	0.8
		70～79歳	112	0.9	22.3	20.5	5.4	4.5	29.5	9.8	7.1
	80歳以上	68	0.0	22.1	26.5	2.9	1.5	32.4	4.4	10.3	
	男性	18～19歳	10	0.0	0.0	50.0	10.0	0.0	0.0	40.0	0.0
		20～29歳	49	8.2	12.2	22.4	8.2	16.3	16.3	16.3	0.0
		30～39歳	82	2.4	13.4	13.4	19.5	3.7	14.6	32.9	0.0
		40～49歳	110	8.2	14.5	10.9	18.2	9.1	12.7	25.5	0.9
		50～59歳	109	3.7	11.9	7.3	31.2	6.4	8.3	30.3	0.9
		60～69歳	92	8.7	5.4	9.8	17.4	12.0	18.5	26.1	2.2
70～79歳		107	6.5	11.2	13.1	9.3	4.7	30.8	19.6	4.7	
80歳以上	46	8.7	17.4	23.9	8.7	0.0	19.6	6.5	15.2		
年代別	18～19歳	20	0.0	0.0	50.0	10.0	10.0	5.0	25.0	0.0	
	20～29歳	128	4.7	9.4	17.2	10.2	16.4	18.0	24.2	0.0	
	30～39歳	180	1.1	22.2	10.6	16.1	3.9	17.2	28.3	0.6	
	40～49歳	271	3.7	16.6	10.0	12.5	6.3	19.6	30.3	1.1	
	50～59歳	256	2.0	13.3	9.0	21.9	6.6	12.9	32.8	1.6	
	60～69歳	215	4.7	8.8	12.6	9.8	10.2	26.0	26.5	1.4	
	70～79歳	222	4.1	16.7	16.7	7.2	4.5	30.6	14.4	5.9	
80歳以上	121	3.3	21.5	24.8	5.0	1.7	27.3	5.0	11.6		
世帯 の 構 成 員	0歳～未就学児	163	1.2	31.9	4.3	19.6	0.6	20.2	20.9	1.2	
	小学1年生～3年生	92	4.3	21.7	5.4	18.5	1.1	23.9	23.9	1.1	
	小学4年生～6年生	82	2.4	20.7	8.5	20.7	1.2	19.5	24.4	2.4	
	中学生	80	2.5	18.8	7.5	18.8	0.0	21.3	30.0	1.3	
	介護が必要な方	71	2.8	12.7	11.3	12.7	2.8	25.4	28.2	4.2	
	上記のいずれもない	946	3.4	12.4	15.3	10.7	9.3	22.1	24.3	2.5	

問9 あなたの生活の中での優先度について、あなたの現実に最も近いものを選んでください。
(〇は1つだけ)

全体では、「家庭生活」を優先している」が 21.4%と最も高く、次いで「仕事」を優先している」が 20.5%、「仕事」と「家庭生活」を優先している」が 17.8%となっている。

性別にみると、女性は「家庭生活」を優先している」が 28.1%と最も高く、男性よりも 15.5 ポイント高い。男性は「仕事」を優先している」が 29.1%と最も高く、女性よりも 14.9 ポイント高い。**現実には、女性は「家庭生活」、男性は「仕事」を優先している者の割合が高い傾向にある。**



【クロス集計】

性・年代別にみると、20歳代の女性は「仕事」を優先している」が最も多くなっているが、一般に結婚・出産する人が多くなる30歳代以降では、「家庭生活」を優先している」が最も多くなっている。男性は30歳代以降も「仕事」を優先している」が多い傾向が見られる。

性・世帯の構成員別にみると、子どものいる女性は「家庭生活」を優先している」が多い傾向が見られるのに対して、子どものいる男性は「仕事」を優先している」が多い傾向が見られ、子どものいる世帯でも性別によって優先している事項に違いが見られる。

		回答者 総数(n)	「仕事」 を優先して いる	「家庭生 活」を優先 して いる	「個人 の生活」を 優先して いる	「仕事」と 「家庭生 活」を優先 している	「仕事」と 「個人 の生活」を 優先して いる	「家庭生 活」と「個 人の生活」 を優先して いる	「仕事」、 「家庭生 活」、 「個人 の生活」の すべてを 両立させて いる	無 回 答	
全体		1419	20.5	21.4	11.6	17.8	6.7	12.0	6.5	3.5	
性別	女性	790	14.2	28.1	12.5	16.2	6.1	13.0	5.7	4.2	
	男性	605	29.1	12.6	10.4	20.5	6.9	10.4	7.6	2.5	
	女性、男性以外	5	20.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0	
性・ 年代別	女性	18～19歳	10	10.0	0.0	70.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0
		20～29歳	75	28.0	6.7	20.0	17.3	20.0	4.0	4.0	0.0
		30～39歳	97	18.6	36.1	7.2	19.6	5.2	8.2	4.1	1.0
		40～49歳	159	13.2	34.6	7.5	25.2	4.4	6.3	6.9	1.9
		50～59歳	147	20.4	26.5	4.1	20.4	7.5	10.9	6.8	3.4
		60～69歳	121	13.2	27.3	12.4	14.9	2.5	17.4	9.9	2.5
		70～79歳	112	4.5	33.0	17.9	6.3	4.5	23.2	1.8	8.9
		80歳以上	68	0.0	26.5	25.0	1.5	1.5	25.0	4.4	16.2
	男性	18～19歳	10	10.0	0.0	60.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0
		20～29歳	49	30.6	10.2	26.5	6.1	16.3	6.1	4.1	0.0
		30～39歳	82	26.8	9.8	12.2	31.7	6.1	4.9	8.5	0.0
		40～49歳	110	40.9	7.3	3.6	31.8	7.3	0.9	7.3	0.9
		50～59歳	109	47.7	11.0	3.7	22.0	4.6	2.8	7.3	0.9
		60～69歳	92	21.7	13.0	4.3	20.7	14.1	12.0	10.9	3.3
年代別	18～19歳	20	10.0	0.0	65.0	0.0	5.0	10.0	10.0	0.0	
	20～29歳	128	28.1	7.8	23.4	12.5	19.5	4.7	3.9	0.0	
	30～39歳	180	22.2	23.9	9.4	25.0	6.1	6.7	6.1	0.6	
	40～49歳	271	24.4	23.2	5.9	27.7	5.9	4.1	7.4	1.5	
	50～59歳	256	32.0	19.9	3.9	21.1	6.3	7.4	7.0	2.3	
	60～69歳	215	17.2	21.4	8.8	17.2	7.4	14.9	10.2	2.8	
	70～79歳	222	11.3	26.1	16.2	9.0	3.6	23.0	4.5	6.3	
性・ 世帯の 構成員別	女性	80歳以上	121	2.5	26.4	19.0	4.1	1.7	28.9	3.3	14.0
		0歳～未就学児	90	11.1	53.3	0.0	26.7	0.0	5.6	2.2	1.1
		小学1年生～3年生	59	8.5	50.8	0.0	30.5	0.0	5.1	5.1	0.0
		小学4年生～6年生	48	8.3	31.3	0.0	45.8	0.0	6.3	2.1	6.3
		中学生	48	6.3	54.2	4.2	25.0	0.0	2.1	6.3	2.1
		介護が必要な方 上記のいずれもない	42 518	9.5 15.6	35.7 21.0	9.5 16.0	16.7 12.2	2.4 8.5	9.5 16.2	7.1 6.8	9.5 3.7
	男性	0歳～未就学児	73	34.2	9.6	0.0	47.9	1.4	1.4	4.1	1.4
		小学1年生～3年生	33	36.4	0.0	0.0	51.5	0.0	3.0	6.1	3.0
		小学4年生～6年生	33	42.4	9.1	6.1	36.4	0.0	3.0	3.0	0.0
		中学生	32	56.3	9.4	6.3	18.8	0.0	3.1	6.3	0.0
		介護が必要な方 上記のいずれもない	28 415	10.7 28.2	28.6 13.3	10.7 11.6	28.6 13.7	3.6 8.4	7.1 13.5	3.6 8.7	7.1 2.7

【経年比較】

「生活の中での優先度について（希望）」

平成 22 年度調査と比較すると、いずれの調査でも、「「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活」のすべてを両立させたい」が最も多くなっている。

		回答者 総数(n)	「仕事」 を優先したい	「家庭生 活」を優先 したい	「個人 の生活」を 優先した い	「仕事」と 「家庭生 活」を 優先した い	「仕事」と 「個人 の生活」 を優先し たい	「家庭生 活」と「個 人の生 活」を 優先した い	「仕事」、「 個人の生 活」の すべてを 両立させ たい	「仕事」、「 家庭生 活」の すべてを 両立させ たい	わからない	無回 答
令和2年度	全体	1419	3.2	15.1	13.7	12.5	6.9	21.1	24.5	-	2.8	
	女性	790	0.9	17.5	14.2	9.0	6.5	24.4	24.8	-	2.8	
	男性	605	6.3	11.7	13.4	17.4	7.3	16.9	24.5	-	2.6	
平成22年度	全体	1080	2.9	12.8	3.2	23.1	5.6	10.3	28.4	4.0	9.8	
	女性	610	2.3	13.0	2.6	23.3	6.4	11.1	26.7	4.4	10.2	
	男性	441	2.9	12.5	4.1	23.8	4.1	8.8	32.0	3.6	8.2	

※平成 22 年度調査では、「わからない」の選択肢が設定されていた。

「生活の中での優先度について（現実）」

平成 22 年度調査と比較すると、全体では令和 2 年度調査が「「家庭生活」を優先している」が最も多くなっているのに対して、平成 22 年度調査は「「仕事」を優先している」が最も多くなっており、現実に生活の中で優先されている事項に変化が見られる。また、男性は「「仕事」を優先している」が最も多くなっているのは同様であるが、その割合は平成 22 年度調査が 53.5%であるのに対して、令和 2 年度調査は 29.1%と大きな差が見られる。

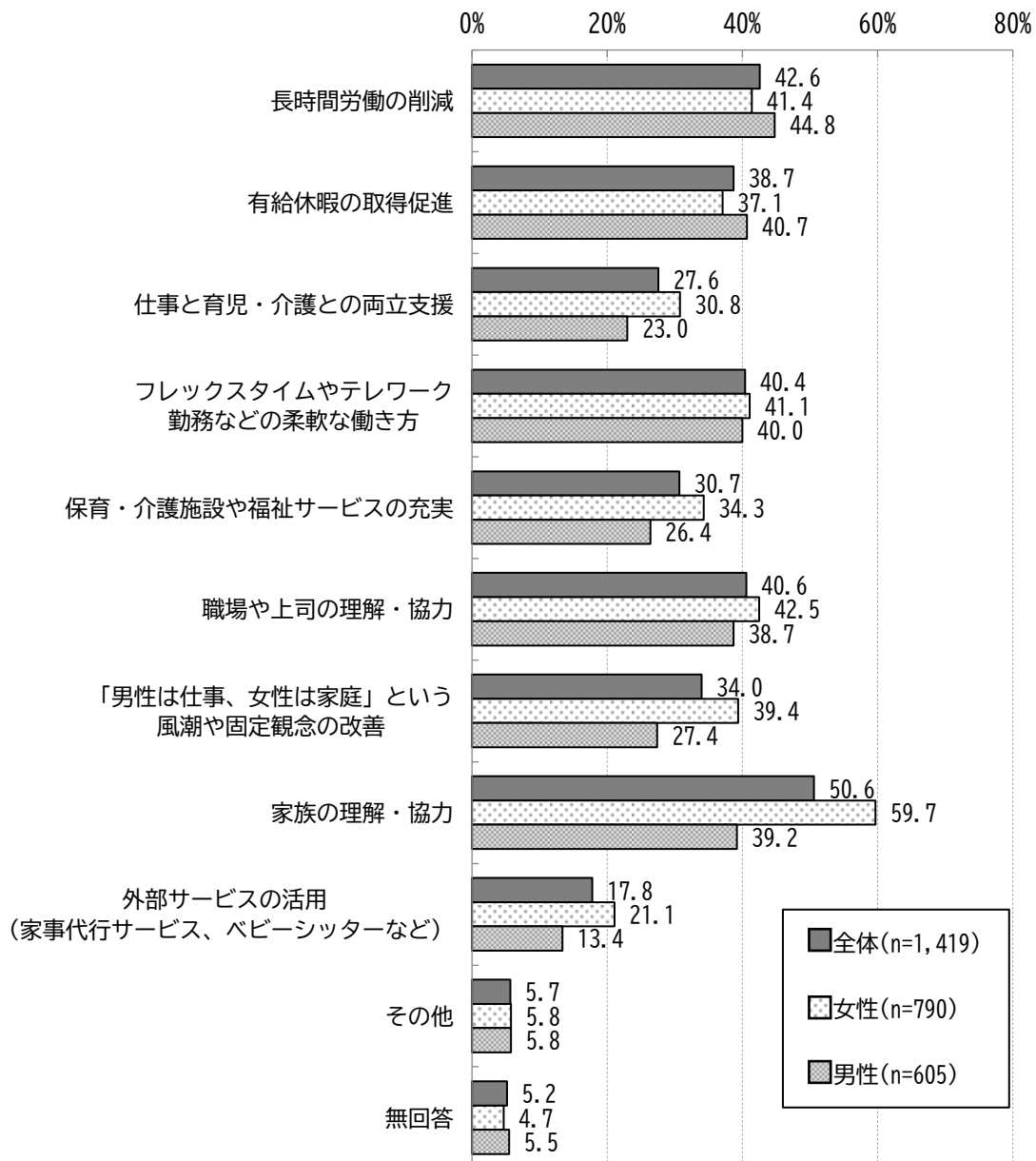
		回答者 総数(n)	「仕事」 を優先し ている	「家庭生 活」を優先 してい る	「個人 の生活」を 優先し て いる	「仕事」と 「家庭生 活」を 優先し て いる	「仕事」と 「個人 の生活」 を優先 してい る	「家庭生 活」と「個 人の生 活」を 優先し て いる	「仕事」、「 個人の生 活」の すべてを 両立させ ている	「仕事」、「 家庭生 活」の すべてを 両立させ ている	わからない	無回 答
令和2年度	全体	1419	20.5	21.4	11.6	17.8	6.7	12.0	6.5	-	3.5	
	女性	790	14.2	28.1	12.5	16.2	6.1	13.0	5.7	-	4.2	
	男性	605	29.1	12.6	10.4	20.5	6.9	10.4	7.6	-	2.5	
平成22年度	全体	1080	41.0	11.1	2.3	18.7	3.1	2.8	2.7	5.2	13.1	
	女性	610	32.3	17.0	2.8	20.2	2.8	3.8	2.3	5.7	13.1	
	男性	441	53.5	2.9	1.6	17.0	3.6	1.4	3.2	4.3	12.5	

※平成 22 年度調査では、「わからない」の選択肢が設定されていた。

問 10 「仕事」と「家庭生活」、「個人の生活（地域活動、趣味・学習等）」のバランスをうまくとるために必要なことは何だと思えますか。（〇はいくつでも）

全体では、「家族の理解・協力」が50.6%と最も高く、次いで「長時間労働の削減」が42.6%、「職場や上司の理解・協力」が40.6%となっている。

性別にみると、**女性は「家族の理解・協力」が59.7%、男性は「長時間労働の削減」が44.8%とそれぞれ最も高くなっている。**また、「家族の理解・協力」について、男性は39.2%となっており、性別により差が見られる。



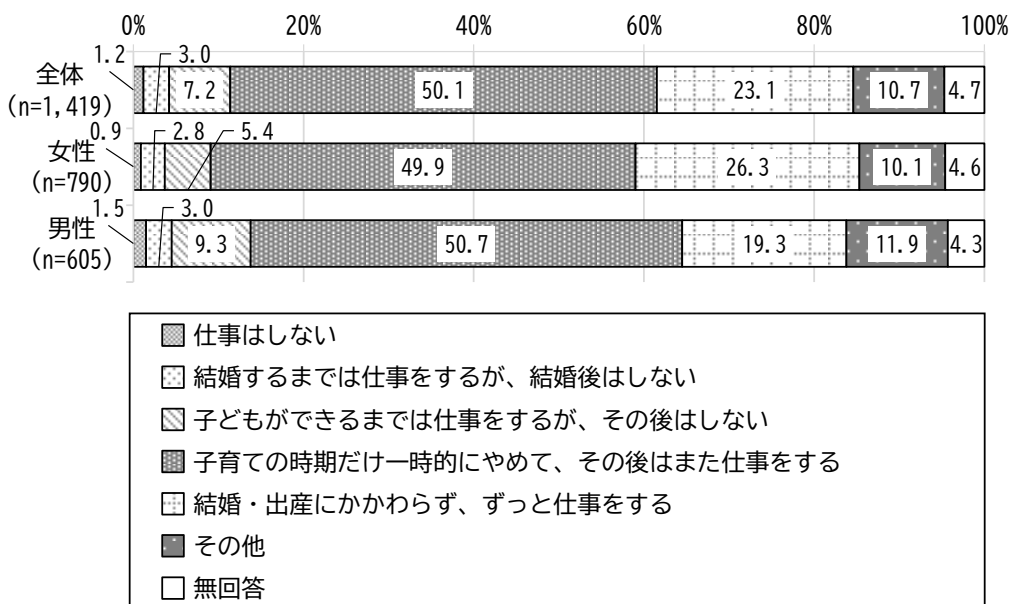
【クロス集計】

		回答者 総数(n)	長時間 労働の 削減	有給 休暇の 取得 促進	両立 支援 と育児・ 介護との	柔軟な 働き方 ワーク スタイル などの 柔軟な 働き方	フレック スな ワーク スタイル などの 柔軟な 働き方	保育・ 介護 施設の 充実	力 職場 や上司 の理解 ・協	定観 念の改 善	「男性 は仕事 、女性 は家 庭」と いう風 潮や固 定観 念の改 善	家族の 理解・ 協力	外部サ ービス の活用 、 ベビー シッター など	その他	無回 答
全体		1419	42.6	38.7	27.6	40.4	30.7	40.6	34.0	50.6	17.8	5.7	5.2		
性別	女性	790	41.4	37.1	30.8	41.1	34.3	42.5	39.4	59.7	21.1	5.8	4.7		
	男性	605	44.8	40.7	23.0	40.0	26.4	38.7	27.4	39.2	13.4	5.8	5.5		
	女性、男性以外	5	40.0	80.0	20.0	40.0	20.0	40.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0		
性・ 年代別	女性	18～19歳	10	70.0	30.0	50.0	30.0	60.0	40.0	70.0	50.0	10.0	10.0	0.0	
		20～29歳	75	57.3	60.0	32.0	54.7	28.0	58.7	44.0	38.7	21.3	9.3	0.0	
		30～39歳	97	56.7	55.7	58.8	74.2	52.6	66.0	45.4	58.8	27.8	7.2	1.0	
		40～49歳	159	50.3	42.8	28.9	49.7	25.8	47.2	42.8	64.8	18.9	6.3	2.5	
		50～59歳	147	37.4	40.1	29.3	42.2	33.3	46.3	38.1	66.0	25.2	6.8	2.7	
		60～69歳	121	30.6	26.4	28.9	28.1	33.1	38.0	41.3	65.3	19.0	3.3	3.3	
		70～79歳	112	26.8	17.9	17.9	21.4	34.8	21.4	32.1	60.7	20.5	3.6	10.7	
	80歳以上	68	29.4	16.2	17.6	13.2	33.8	14.7	25.0	48.5	14.7	4.4	17.6		
	男性	18～19歳	10	60.0	40.0	40.0	30.0	10.0	40.0	50.0	50.0	10.0	0.0	0.0	
		20～29歳	49	55.1	61.2	34.7	61.2	26.5	65.3	34.7	38.8	16.3	2.0	0.0	
		30～39歳	82	59.8	47.6	25.6	53.7	29.3	46.3	34.1	28.0	14.6	9.8	2.4	
		40～49歳	110	58.2	46.4	27.3	48.2	22.7	56.4	33.6	39.1	16.4	6.4	2.7	
		50～59歳	109	49.5	45.0	20.2	38.5	22.0	39.4	15.6	29.4	11.9	7.3	3.7	
		60～69歳	92	33.7	37.0	17.4	37.0	27.2	31.5	30.4	44.6	8.7	3.3	3.3	
70～79歳		107	30.8	33.6	19.6	25.2	37.4	19.6	25.2	53.3	16.8	5.6	8.4		
80歳以上	46	15.2	6.5	17.4	19.6	17.4	10.9	15.2	37.0	6.5	4.3	26.1			
就 帯 状 況	共働き	476	47.9	44.3	30.9	46.8	31.5	47.1	35.7	54.6	16.6	6.7	3.2		
	男性パートナーだけ働いている	236	42.8	36.4	26.3	43.6	29.7	39.8	34.3	62.3	20.3	5.5	1.7		
	女性パートナーだけ働いている	39	43.6	38.5	20.5	30.8	23.1	41.0	25.6	59.0	17.9	5.1	7.7		
	ともに働いていない	189	24.3	21.2	21.2	23.3	34.4	15.9	31.2	60.3	20.1	2.1	11.1		
世 帯 の 構 成 員	0歳～未就学児	163	52.1	44.8	43.6	62.0	44.2	55.8	35.6	54.0	23.3	7.4	2.5		
	小学1年生～3年生	92	53.3	41.3	34.8	51.1	30.4	53.3	37.0	66.3	18.5	6.5	4.3		
	小学4年生～6年生	82	48.8	34.1	22.0	51.2	12.2	40.2	28.0	57.3	12.2	7.3	2.4		
	中学生	80	42.5	31.3	21.3	42.5	21.3	36.3	37.5	67.5	16.3	10.0	3.8		
	介護が必要な方	71	29.6	18.3	26.8	28.2	43.7	29.6	23.9	47.9	28.2	2.8	7.0		
	上記のいずれもない	946	41.4	40.2	24.9	37.1	29.5	38.6	34.2	48.5	16.5	5.6	4.9		
世 帯 構 成	ひとり暮らし	211	42.7	39.3	26.5	37.4	30.3	36.0	31.3	27.0	18.5	8.5	9.5		
	夫婦・カップルのみ	402	38.1	34.1	25.1	33.8	33.8	32.8	35.1	57.5	17.9	5.5	5.5		
	親と未婚の子ども	617	46.0	41.7	28.8	45.1	27.2	46.0	33.4	54.1	17.2	6.2	3.1		
	親と子ども夫婦・カップル	47	51.1	44.7	29.8	53.2	36.2	53.2	42.6	57.4	25.5	2.1	8.5		
	親と子ども夫婦・カップルと孫 その他	28	28.6	28.6	17.9	32.1	35.7	42.9	25.0	50.0	14.3	3.6	3.6		
その他	53	34.0	30.2	24.5	34.0	37.7	35.8	35.8	52.8	13.2	1.9	5.7			

問 11 女性の働き方について、あなたが望ましいと思うのは次のどれですか。(〇は1つだけ)

全体では、「子育ての時期だけ一時的にやめて、その後はまた仕事をする」が 50.1%と最も高く、次いで「結婚・出産にかかわらず、ずっと仕事をする」が 23.1%、「子どもができるまでは仕事をするが、その後はしない」が 7.2%となっている。

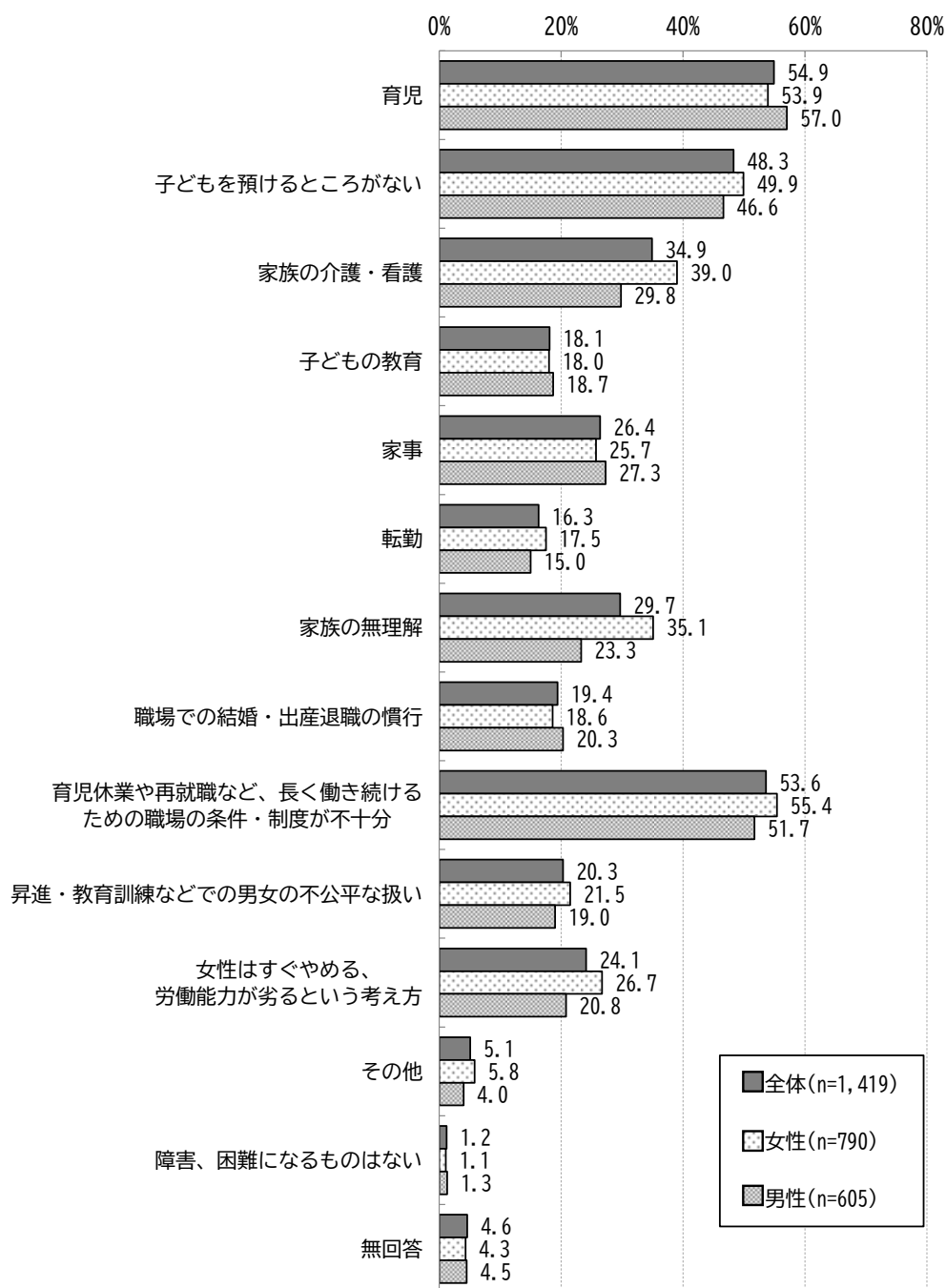
性別にみると、**女性、男性ともに「子育ての時期だけ一時的にやめて、その後はまた仕事をする」が最も高く、それぞれ 49.9%、50.7%となっている。**また「子どもができるまでは仕事をするが、その後はしない」については、男性は 9.3%と女性よりも 3.9ポイント高く、「結婚・出産にかかわらず、ずっと仕事をする」については、女性は 26.3%と男性よりも 7ポイント高くなっており、性別により差が見られる。



問 12 女性が長く働き続けることを困難にしたり、障害になっている理由はどんなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「育児」が**54.9%**と最も高く、次いで「育児休業や再就職など、長く働き続けるための職場の条件・制度が不十分」が53.6%、「子どもを預けるところがない」が48.3%となっている。

性別にみると、女性は「育児休業や再就職など、長く働き続けるための職場の条件・制度が不十分」が55.4%、男性は「育児」が57.0%とそれぞれ最も高くなっている。また、「家族の無理解」は、女性では35.1%と男性よりも11.8ポイント高く、「家族の介護・看護」は、女性では39.0%と男性よりも9.2ポイント高く、性別により差が見られる。



【クロス集計】

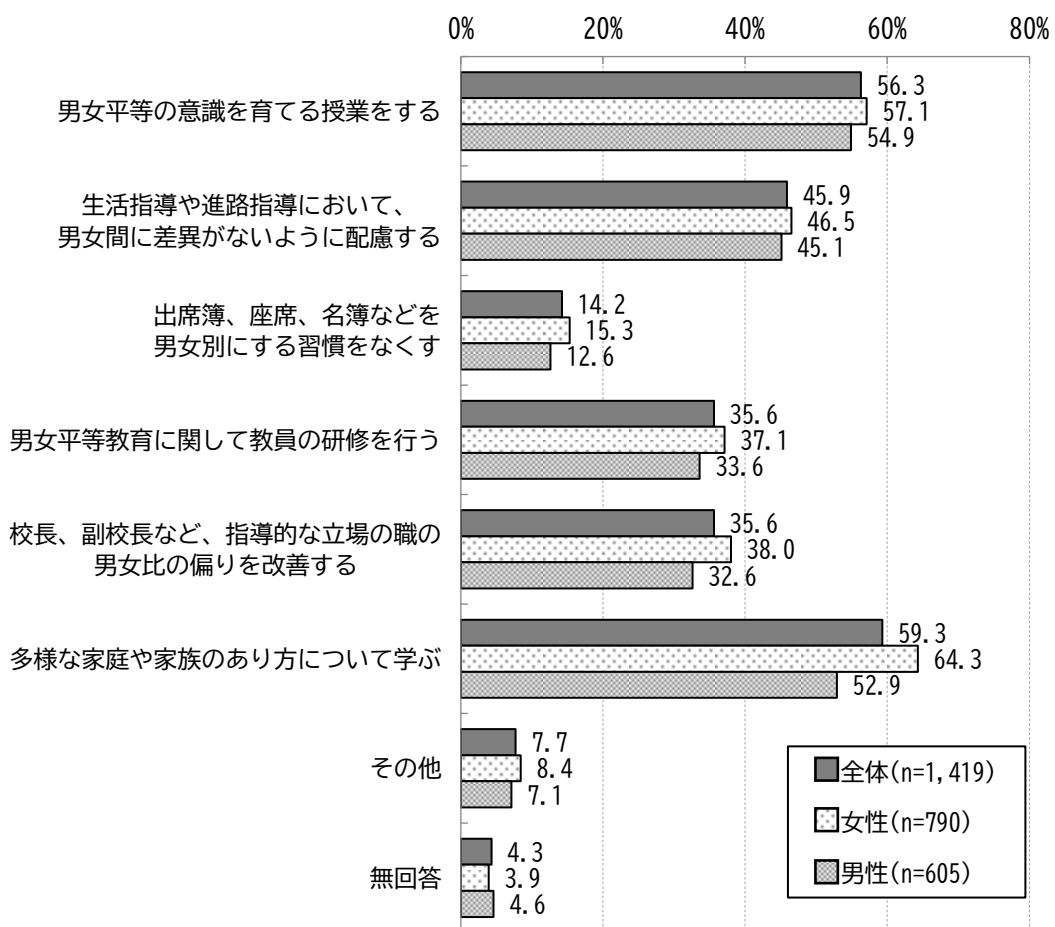
		回答者 総数(n)	育児	子どもを預けるところが	家族の介護・看護	子どもの教育	家事	転勤	家族の無理解	職場での結婚・出産退職	育児休業や再就職などの条件・制度が不十分	昇進・教育訓練などでの不公平な扱い	女性が劣るとやめる、労働能力が劣るという考え	その他	障害、困難になるものは	無回答	
全体		1419	54.9	48.3	34.9	18.1	26.4	16.3	29.7	19.4	53.6	20.3	24.1	5.1	1.2	4.6	
性別	女性	790	53.9	49.9	39.0	18.0	25.7	17.5	35.1	18.6	55.4	21.5	26.7	5.8	1.1	4.3	
	男性	605	57.0	46.6	29.8	18.7	27.3	15.0	23.3	20.3	51.7	19.0	20.8	4.0	1.3	4.5	
	女性、男性以外	5	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	
性・年代別	女性	18~19歳	10	50.0	90.0	30.0	20.0	10.0	10.0	60.0	50.0	90.0	70.0	70.0	0.0	0.0	0.0
		20~29歳	75	62.7	64.0	29.3	21.3	34.7	14.7	24.0	25.3	65.3	30.7	25.3	8.0	0.0	0.0
		30~39歳	97	66.0	68.0	33.0	26.8	28.9	15.5	29.9	19.6	61.9	15.5	24.7	6.2	1.0	1.0
		40~49歳	159	54.7	48.4	34.0	22.6	27.7	18.2	40.9	18.2	55.3	22.0	28.9	8.2	0.6	2.5
		50~59歳	147	47.6	50.3	46.9	18.4	26.5	23.8	39.5	20.4	49.0	20.4	30.6	8.8	2.7	2.7
		60~69歳	121	53.7	48.8	47.1	12.4	19.8	16.5	43.8	19.0	61.2	20.7	28.9	3.3	0.8	3.3
		70~79歳	112	48.2	34.8	36.6	9.8	23.2	14.3	26.8	9.8	48.2	22.3	21.4	1.8	0.9	9.8
	80歳以上	68	48.5	32.4	42.6	13.2	22.1	16.2	26.5	16.2	47.1	14.7	16.2	2.9	1.5	14.7	
	男性	18~19歳	10	70.0	50.0	20.0	30.0	30.0	20.0	10.0	30.0	30.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0
		20~29歳	49	61.2	53.1	20.4	32.7	38.8	8.2	24.5	34.7	55.1	24.5	30.6	2.0	2.0	0.0
		30~39歳	82	58.5	62.2	17.1	20.7	25.6	18.3	18.3	23.2	52.4	17.1	18.3	6.1	1.2	2.4
		40~49歳	110	59.1	49.1	27.3	19.1	22.7	11.8	29.1	17.3	55.5	20.0	21.8	7.3	1.8	3.6
		50~59歳	109	50.5	47.7	29.4	18.3	27.5	17.4	18.3	21.1	48.6	17.4	24.8	3.7	2.8	4.6
		60~69歳	92	63.0	55.4	47.8	15.2	31.5	18.5	30.4	21.7	52.2	25.0	19.6	1.1	0.0	1.1
70~79歳		107	57.0	32.7	32.7	13.1	22.4	15.9	21.5	15.0	59.8	17.8	18.7	3.7	0.9	8.4	
80歳以上	46	45.7	17.4	28.3	17.4	30.4	8.7	21.7	13.0	30.4	8.7	6.5	2.2	0.0	13.0		
就労状況	共働き	476	56.1	53.8	32.4	20.4	24.8	16.2	33.8	18.1	52.5	19.5	25.2	6.1	0.8	2.7	
	男性パートナーだけ働いている	236	55.9	45.8	33.5	20.3	26.3	19.1	24.6	20.3	55.9	17.8	24.2	4.2	0.8	2.1	
	女性パートナーだけ働いている	39	51.3	56.4	30.8	15.4	25.6	12.8	25.6	15.4	66.7	25.6	25.6	0.0	5.1	7.7	
	ともに働いていない	189	50.8	31.7	34.9	11.6	25.9	16.9	30.2	14.3	53.4	18.5	18.5	2.6	1.1	8.5	
世帯の構成員	0歳~未就学児	163	62.6	55.8	22.1	28.8	24.5	13.5	26.4	17.2	50.9	17.2	20.2	6.7	1.2	2.5	
	小学1年生~3年生	92	58.7	53.3	23.9	25.0	27.2	16.3	32.6	18.5	55.4	16.3	21.7	8.7	2.2	4.3	
	小学4年生~6年生	82	54.9	34.1	22.0	24.4	29.3	17.1	35.4	15.9	53.7	14.6	26.8	4.9	0.0	3.7	
	中学生	80	51.2	45.0	21.3	16.3	23.8	21.3	40.0	17.5	48.8	20.0	17.5	5.0	2.5	3.8	
	介護が必要な方 上記のいずれもない	71 946	45.1 54.2	49.3 48.1	59.2 37.4	15.5 15.5	31.0 25.6	15.5 17.4	23.9 29.4	16.9 20.1	49.3 55.1	26.8 20.7	23.9 25.3	2.8 4.5	0.0 1.4	4.2 4.4	

5. 学校教育について

問 13 あなたは、児童・生徒の男女平等意識を育てるために、学校教育で特に必要だと思われる取組は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「多様な家庭や家族のあり方について学ぶ」が 59.3%と最も高く、次いで「男女平等の意識を育てる授業をする」が 56.3%、「生活指導や進路指導において、男女間に差異がないように配慮する」が 45.9%となっている。

性別にみると、女性は「多様な家庭や家族のあり方について学ぶ」が 64.3%で最も高く、男性よりも 11.4 ポイント高い。男性は「男女平等の意識を育てる授業をする」が 54.9%と最も高くなっている。「多様な家庭や家族のあり方について学ぶ」ことの必要性については、性別により差が見られる。



【クロス集計】

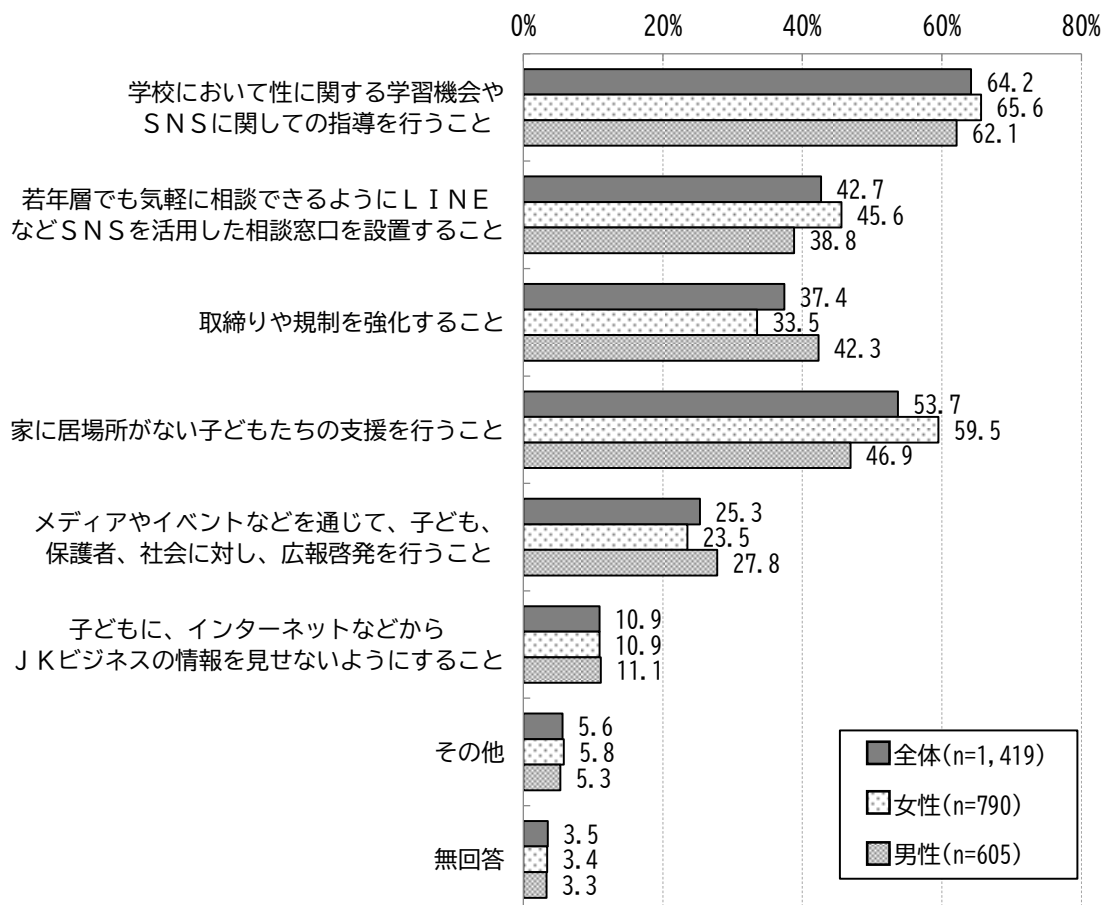
		回答者 総数(n)	る 男 授 業 を す る 意 識 を 育 て	が お い て 、 男 女 間 に 差 異 を 考 へ る	生 活 指 導 や 進 路 指 導 に 関 する	ど を 男 女 別 に す る 習 慣 を 考 へ る	出 席 簿 、 座 席 、 名 簿 な ど の 管 理 に 関 する	教 員 の 研 修 を 行 う に 関 する	男 女 平 等 教 育 に 関 する	比 的 な 偏 り を 改 善 す る に 関 する	校 長 、 副 校 長 な ど の 職 の 改 善 に 関 する	多 様 な 家 庭 や 学 校 の あ ら か ち を 考 へ る	そ の 他	無 回 答	
全体		1419	56.3	45.9	14.2	35.6	35.6	59.3	7.7	4.3					
性別	女性	790	57.1	46.5	15.3	37.1	38.0	64.3	8.4	3.9					
	男性	605	54.9	45.1	12.6	33.6	32.6	52.9	7.1	4.6					
	女性、男性以外	5	80.0	60.0	40.0	60.0	40.0	60.0	0.0	20.0					
性・年代別	女性	18～19歳	10	70.0	50.0	30.0	30.0	50.0	60.0	20.0	0.0				
		20～29歳	75	54.7	53.3	25.3	41.3	61.3	69.3	10.7	0.0				
		30～39歳	97	52.6	49.5	11.3	35.1	43.3	77.3	9.3	3.1				
		40～49歳	159	59.7	37.7	17.6	36.5	37.1	71.1	10.7	1.9				
		50～59歳	147	51.7	41.5	11.6	40.1	33.3	66.0	9.5	4.1				
		60～69歳	121	59.5	55.4	14.0	40.5	40.5	60.3	5.8	3.3				
		70～79歳	112	61.6	48.2	12.5	30.4	26.8	51.8	6.3	6.3				
		80歳以上	68	58.8	45.6	17.6	36.8	29.4	48.5	2.9	11.8				
	男性	18～19歳	10	70.0	20.0	0.0	30.0	20.0	40.0	10.0	0.0				
		20～29歳	49	42.9	57.1	14.3	40.8	34.7	63.3	4.1	0.0				
		30～39歳	82	45.1	42.7	12.2	29.3	32.9	43.9	17.1	7.3				
		40～49歳	110	50.9	37.3	12.7	28.2	32.7	59.1	8.2	4.5				
		50～59歳	109	56.9	38.5	11.0	29.4	28.4	56.0	6.4	5.5				
		60～69歳	92	54.3	47.8	10.9	31.5	34.8	60.9	5.4	1.1				
世帯の構成員	70～79歳	107	65.4	53.3	14.0	43.9	37.4	43.0	2.8	3.7					
	80歳以上	46	63.0	52.2	17.4	37.0	26.1	45.7	4.3	13.0					
世帯の構成員	0歳～未就学児	163	52.1	47.2	12.3	32.5	35.6	62.6	12.9	4.3					
	小学1年生～3年生	92	63.0	35.9	16.3	31.5	33.7	68.5	14.1	4.3					
	小学4年生～6年生	82	57.3	37.8	8.5	31.7	30.5	72.0	3.7	3.7					
	中学生	80	51.2	42.5	13.8	28.7	26.3	70.0	7.5	2.5					
	介護が必要な方	71	57.7	54.9	9.9	42.3	36.6	49.3	5.6	2.8					
	上記のいずれもない	946	56.4	45.8	14.7	36.2	36.8	58.1	7.1	4.1					

6. 人権について

問 14 いわゆる「JKビジネス」とは、女子高校生などの子どもの性を売り物とする形態の営業です。あなたは、AV出演強要やいわゆる「JKビジネス」などにより、子どもが性犯罪の被害に遭うのを防止するために、どのような対策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

全体では、「学校において性に関する学習機会やSNSに関しての指導を行うこと」が64.2%と最も高く、次いで「家に居場所がない子どもたちの支援を行うこと」が53.7%、「若年層でも気軽に相談できるようにLINEなどSNSを活用した相談窓口を設置すること」が42.7%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「学校において性に関する学習機会やSNSに関しての指導を行うこと」が最も高く、それぞれ65.6%、62.1%となっており、**学校における学習や指導に期待する者の割合が高い**ことが伺える。また、「家に居場所がない子どもたちの支援を行うこと」について、女性59.5%、男性46.9%となっており、性別による差が見られる。



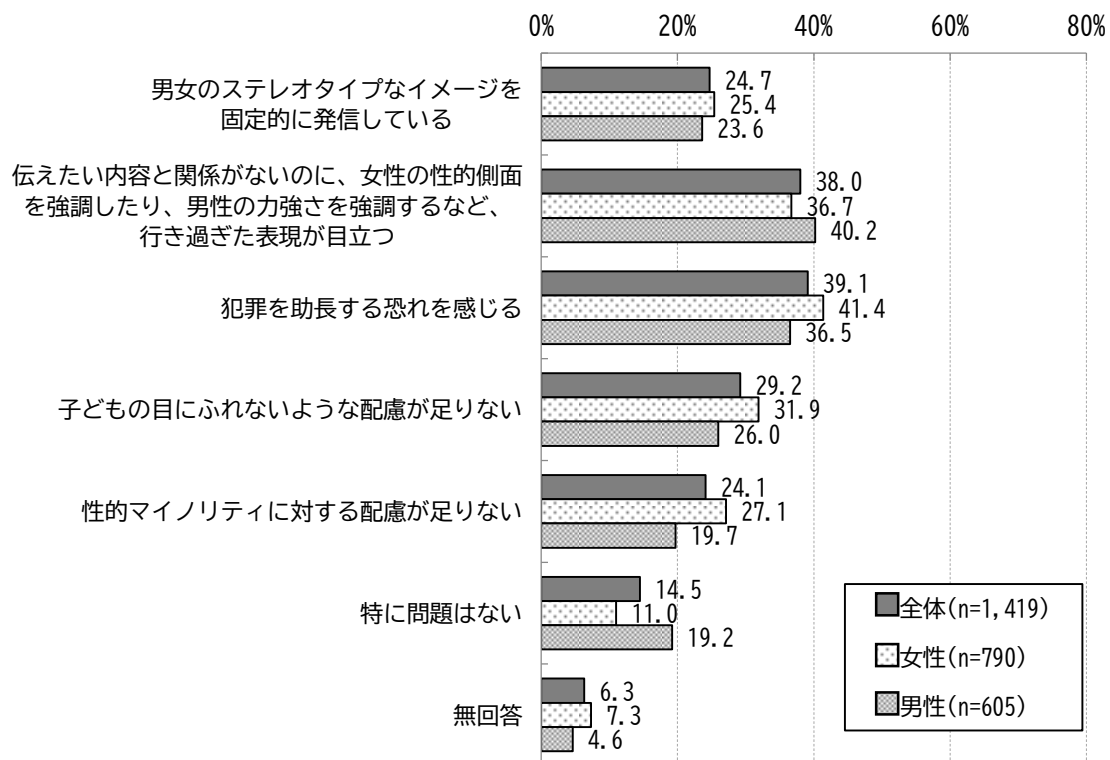
【クロス集計】

		回答者 総数(n)	う 会 学 校 に お い て 性 に 関 し て の 指 導 を 行 う こ と	し た 相 談 窓 口 を 設 置 す る こ と	若 年 層 で も 気 軽 に 相 談 で き る よ	取 締 り や 規 制 を 強 化 す る こ と	支 援 を 行 う こ と	家 に 居 場 所 が な い 子 ど も た ち の	し 、 広 報 啓 発 を 行 う こ と	メ デ ィ ア や イ ベ ン ト な ど を 通 じ	な い よ う に す る こ と	か ら J K ビ ジ ネ ス の 情 報 を 見 せ	子 ど も に 、 イ ン タ ー ネ ッ ト な ど	そ の 他	無 回 答
全体		1419	64.2	42.7	37.4	53.7	25.3	10.9	5.6	3.5					
性 別	女性	790	65.6	45.6	33.5	59.5	23.5	10.9	5.8	3.4					
	男性	605	62.1	38.8	42.3	46.9	27.8	11.1	5.3	3.3					
	女性、男性以外	5	80.0	40.0	0.0	60.0	40.0	0.0	20.0	0.0					
性 ・ 年 代 別	女性	18～19歳	10	80.0	30.0	60.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0				
		20～29歳	75	58.7	50.7	33.3	70.7	22.7	9.3	8.0	0.0				
		30～39歳	97	78.4	52.6	39.2	64.9	11.3	5.2	7.2	0.0				
		40～49歳	159	64.2	39.0	40.9	62.3	22.0	10.7	11.3	1.9				
		50～59歳	147	64.6	46.3	36.7	57.8	28.6	10.9	6.1	0.0				
		60～69歳	121	68.6	47.9	30.6	55.4	29.8	12.4	2.5	3.3				
		70～79歳	112	61.6	42.9	22.3	57.1	26.8	15.2	2.7	8.9				
		80歳以上	68	60.3	47.1	22.1	50.0	19.1	13.2	0.0	14.7				
	男性	18～19歳	10	70.0	40.0	20.0	40.0	20.0	10.0	10.0	0.0				
		20～29歳	49	63.3	38.8	38.8	40.8	16.3	10.2	10.2	0.0				
		30～39歳	82	59.8	34.1	41.5	48.8	20.7	11.0	6.1	3.7				
		40～49歳	110	61.8	34.5	49.1	37.3	28.2	12.7	4.5	4.5				
		50～59歳	109	64.2	45.0	46.8	41.3	30.3	10.1	6.4	0.9				
		60～69歳	92	58.7	37.0	40.2	60.9	31.5	9.8	6.5	1.1				
世 帯 の 構 成 員	0歳～未就学児	163	67.5	35.0	49.7	52.1	18.4	11.0	6.7	2.5					
	小学1年生～3年生	92	66.3	32.6	45.7	53.3	23.9	16.3	7.6	3.3					
	小学4年生～6年生	82	72.0	34.1	52.4	53.7	31.7	15.9	1.2	0.0					
	中学生	80	70.0	37.5	47.5	58.8	23.8	16.3	2.5	1.3					
	介護が必要な方	71	69.0	39.4	31.0	46.5	35.2	14.1	7.0	7.0					
	上記のいずれもない	946	62.1	45.1	34.8	54.5	25.8	10.0	5.5	3.0					

問 15 テレビ、インターネット、映画、新聞、雑誌、広告などのメディアが発信する表現（男性や女性に求める役割、性・暴力などに関する表現）について、あなたは日頃どのように感じていますか。（〇はいくつでも）

全体では、「犯罪を助長する恐れを感じる」が 39.1%と最も高く、次いで「伝えたい内容と関係がないのに、女性の性的側面を強調したり、男性の力強さを強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ」が 38.0%、「子どもの目にふれないような配慮が足りない」が 29.2%となっている。

性別にみると、女性は「犯罪を助長する恐れを感じる」が 41.4%、男性は「伝えたい内容と関係がないのに、女性の性的側面を強調したり、男性の力強さを強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ」が 40.2%とそれぞれ最も高くなっているが、どちらの項目も性別により大きな差は見られない。「性的マイノリティに対する配慮が足りない」については、女性が 27.1%と男性よりも 7.4 ポイント高くなっている。



【クロス集計】

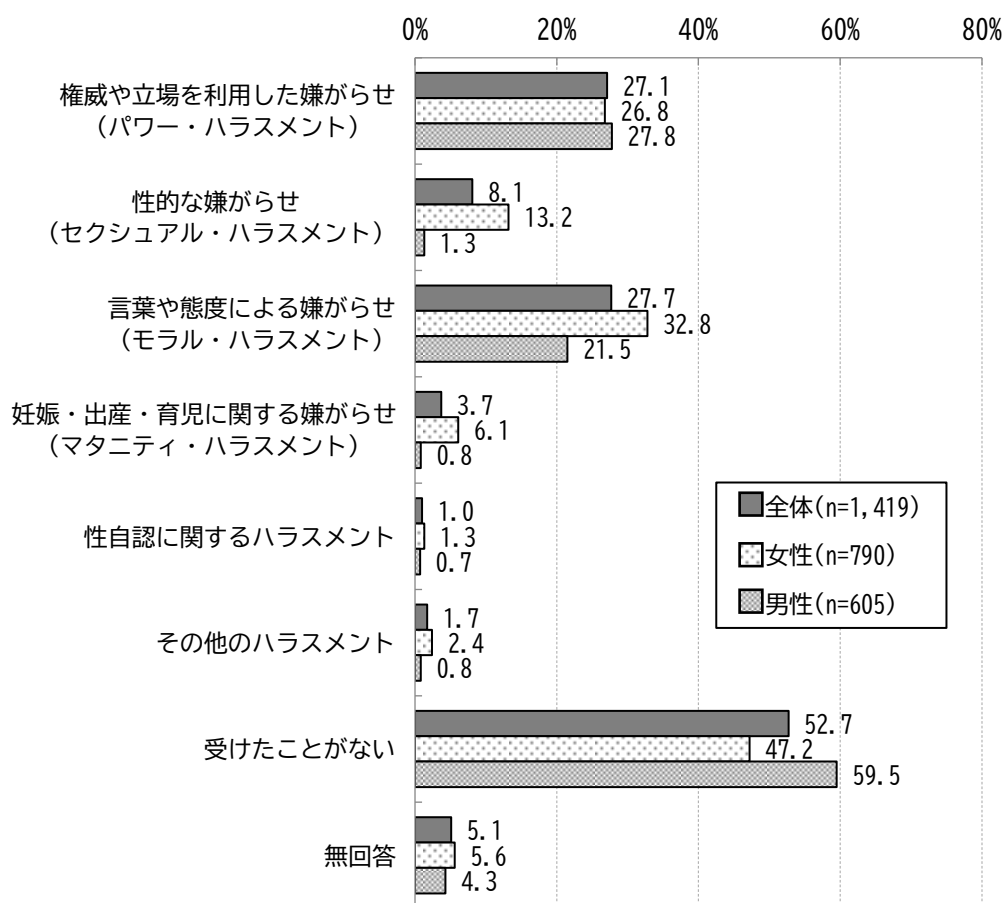
		回答者 総数(n)	男女のステレオタイプなイメージを固定的に発信している	性的側面を強調したり、行き過ぎた表現が目立つ	伝えたい内容と関係がないのに、女性の強調するなどを強調したり、男性の力強さを	犯罪を助長する恐れを感じる	子どもの目にふれないような配慮が足りない	性的マイノリティに対する配慮が足りない	特に問題はない	無回答
全体		1419	24.7	38.0	39.1	29.2	24.1	14.5	6.3	
性別	女性	790	25.4	36.7	41.4	31.9	27.1	11.0	7.3	
	男性	605	23.6	40.2	36.5	26.0	19.7	19.2	4.6	
	女性、男性以外	5	40.0	60.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	30.0	60.0	20.0	20.0	60.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	40.0	34.7	20.0	21.3	33.3	13.3	1.3
		30～39歳	97	33.0	33.0	27.8	29.9	29.9	23.7	4.1
		40～49歳	159	25.2	32.1	37.7	30.8	27.0	13.2	3.8
		50～59歳	147	23.1	34.7	49.7	34.0	23.8	15.0	3.4
		60～69歳	121	18.2	38.0	54.5	33.1	31.4	5.0	5.8
		70～79歳	112	27.7	49.1	47.3	36.6	23.2	2.7	14.3
		80歳以上	68	13.2	33.8	44.1	35.3	17.6	1.5	27.9
	男性	18～19歳	10	30.0	60.0	10.0	20.0	30.0	10.0	0.0
		20～29歳	49	18.4	32.7	22.4	20.4	30.6	36.7	0.0
		30～39歳	82	23.2	31.7	26.8	12.2	17.1	30.5	2.4
		40～49歳	110	22.7	28.2	26.4	26.4	14.5	27.3	3.6
		50～59歳	109	23.9	37.6	38.5	22.0	19.3	15.6	3.7
		60～69歳	92	25.0	42.4	41.3	25.0	23.9	16.3	4.3
70～79歳	107	29.0	55.1	54.2	34.6	16.8	5.6	7.5		
80歳以上	46	15.2	54.3	43.5	47.8	21.7	8.7	13.0		
世帯の構成員	0歳～未就学児	163	23.9	30.1	31.9	27.0	20.9	23.9	4.3	
	小学1年生～3年生	92	27.2	40.2	38.0	43.5	23.9	13.0	4.3	
	小学4年生～6年生	82	36.6	35.4	40.2	41.5	20.7	11.0	3.7	
	中学生	80	32.5	38.8	45.0	37.5	25.0	8.8	1.3	
	介護が必要な方	71	19.7	40.8	49.3	33.8	28.2	9.9	11.3	
	上記のいずれもない	946	24.5	38.8	40.4	27.7	24.2	14.6	5.9	

7. ハラスメントについて

問 16 あなたは身近なところで次のハラスメント（嫌がらせ）を受けたことがありますか。
（○はいくつでも）

全体では、「受けたことがない」が52.7%と最も高く、次いで「言葉や態度による嫌がらせ（モラル・ハラスメント）」が27.7%、「権威や立場を利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）」が27.1%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「受けたことがない」が最も多いが、それぞれ47.2%、59.5%となっており、性別により10ポイント以上の差が見られる。**女性は5割程度の者が何らかのハラスメントを受けた経験があることが伺える。また、女性は受けたことのあるハラスメントとして「言葉や態度による嫌がらせ（モラル・ハラスメント）」が32.8%と最も高く、男性の21.5%よりも11.3ポイント高い。一方で男性は、「権威や立場を利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）」が27.8%と最も高く、女性でも26.8%の者が回答している。このことから性別を問わず、「言葉や態度による嫌がらせ（モラル・ハラスメント）」や「権威や立場を利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）」の被害を受ける人の割合が多い状況が伺える。さらに性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）」については、女性が13.2%と男性の1.3%よりも11.9ポイント高い。**



【クロス集計】

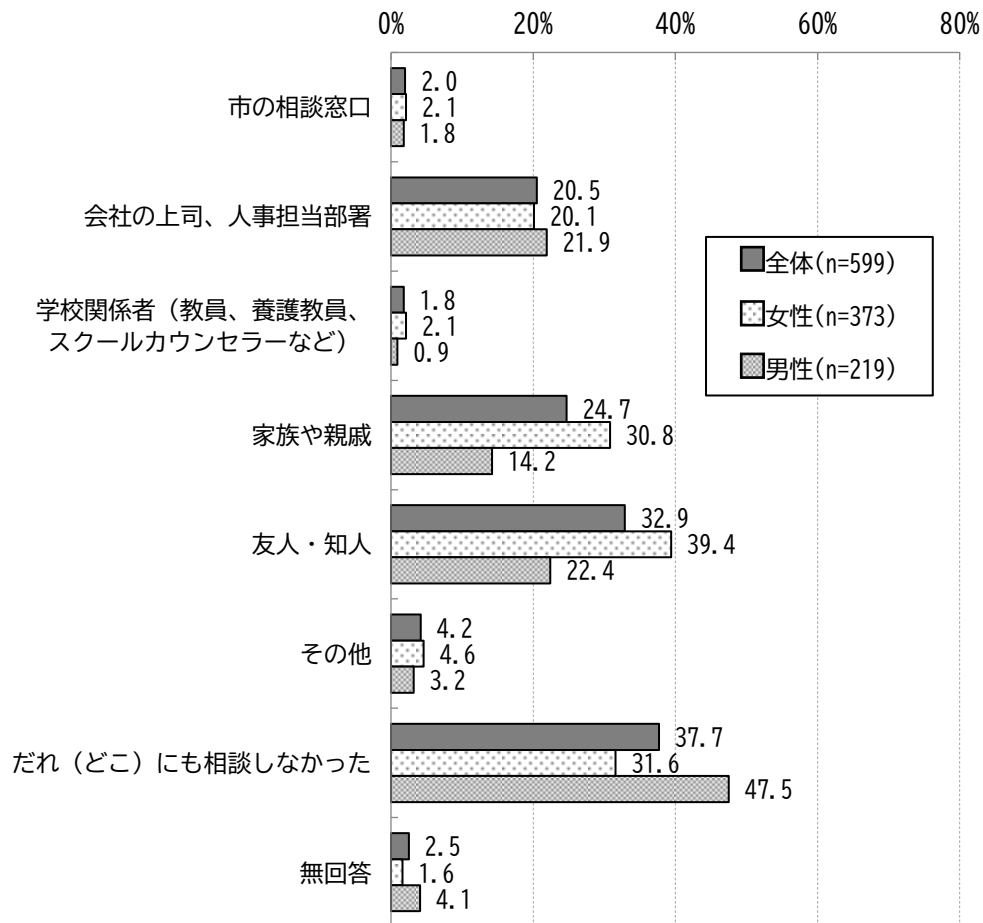
性・年代別にみると、60歳代以下の女性で何らかのハラスメントを受けたことがある人が多くなっている。

		回答者 総数(n)	ラ ス メ ン ト	嫌 が ら せ （ パ ワ ー ハ ラ ス メ ン ト	権 威 や 立 場 を 利 用 し た ハ ラ ス メ ン ト	シ ュ ア ル ハ ラ ス メ ン ト	性 的 な 嫌 が ら せ （ セ ク ス ハ ラ ス メ ン ト	メ ン ト	言 葉 や 態 度 に よ る 嫌 が ら せ （ モ ラ ル ハ ラ ス メ ン ト	テ ィ ・ ハ ラ ス メ ン ト	妊 娠 ・ 出 産 ・ 育 児 に 関 する 嫌 が ら せ （ マ タ ニ テ ィ ・ ハ ラ ス メ ン ト	性 自 認 に 関 する ハ ラ ス メ ン ト	そ の 他 の ハ ラ ス メ ン ト	受 け た こ と が な い	無 回 答	
全体		1419	27.1	8.1	27.7	3.7	1.0	1.7	52.7	5.1						
性別	女性	790	26.8	13.2	32.8	6.1	1.3	2.4	47.2	5.6						
	男性	605	27.8	1.3	21.5	0.8	0.7	0.8	59.5	4.3						
	女性、男性以外	5	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0						
年代別	18～19歳	20	20.0	5.0	20.0	5.0	0.0	0.0	65.0	5.0						
	20～29歳	128	21.9	13.3	30.5	0.8	3.9	1.6	57.8	1.6						
	30～39歳	180	33.3	13.3	32.2	7.2	2.2	2.2	47.8	1.7						
	40～49歳	271	32.8	12.5	31.0	6.3	0.4	1.1	47.6	2.6						
	50～59歳	256	31.6	6.6	30.1	5.1	0.4	2.7	50.8	1.2						
	60～69歳	215	32.6	7.0	33.5	0.5	0.0	2.3	47.4	2.3						
	70～79歳	222	19.4	2.7	21.2	2.7	0.9	0.9	59.0	10.8						
80歳以上	121	6.6	0.8	9.1	0.8	0.8	0.8	66.1	20.7							
性・年代別	女性	18～19歳	10	20.0	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0	60.0	10.0					
		20～29歳	75	28.0	20.0	37.3	1.3	4.0	2.7	45.3	2.7					
		30～39歳	97	33.0	23.7	33.0	12.4	3.1	3.1	46.4	1.0					
		40～49歳	159	35.8	18.9	35.8	10.1	0.6	1.9	40.9	1.9					
		50～59歳	147	28.6	11.6	35.4	7.5	0.7	3.4	48.3	0.7					
		60～69歳	121	28.1	11.6	39.7	0.8	0.0	3.3	43.8	3.3					
		70～79歳	112	18.8	3.6	28.6	4.5	0.9	0.9	51.8	12.5					
	80歳以上	68	4.4	1.5	10.3	1.5	1.5	1.5	58.8	26.5						
	男性	18～19歳	10	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	70.0	0.0					
		20～29歳	49	14.3	4.1	20.4	0.0	4.1	0.0	75.5	0.0					
		30～39歳	82	32.9	1.2	31.7	1.2	1.2	1.2	50.0	2.4					
		40～49歳	110	28.2	2.7	23.6	0.9	0.0	0.0	58.2	3.6					
		50～59歳	109	35.8	0.0	22.9	1.8	0.0	1.8	54.1	1.8					
		60～69歳	92	38.0	0.0	25.0	0.0	0.0	1.1	52.2	1.1					
70～79歳		107	20.6	0.9	14.0	0.9	0.9	0.9	66.4	9.3						
80歳以上	46	10.9	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	71.7	15.2							

問 16-1 そのとき、だれ（どこ）に相談しましたか。（〇はいくつでも）

全体では、「だれ（どこ）にも相談しなかった」が37.7%と最も高く、次いで「友人・知人」が32.9%、「家族や親戚」が24.7%となっている。

性別にみると、女性は「友人・知人」が39.4%と最も高く、男性の22.4%より17ポイントも高い。また、「家族や親戚」も30.8%と男性の14.2%よりも16.6ポイントも高い。**女性は身近な者には相談している傾向**が見られる。一方で男性は「だれ（どこ）にも相談しなかった」が47.5%と最も高く、女性の31.6%よりも15.9ポイント高い。**男性は、ハラスメントを受けても相談しない傾向が強い**ことが伺える。



【クロス集計】

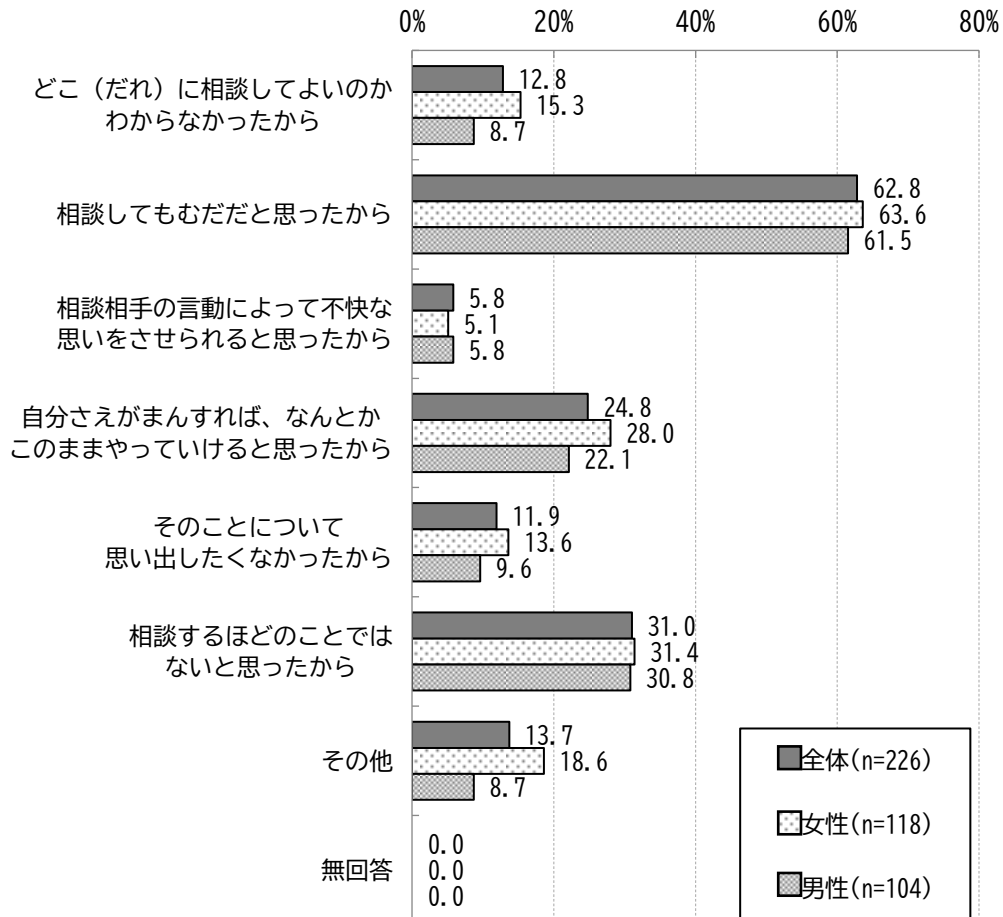
性・年代別にみると、女性は40歳代以下で「家族や親戚」の割合が比較的高くなっている。また、女性はいずれの年代においても「友人・知人」の割合も高くなっている。男性はいずれの年代においても「だれ（どこ）にも相談しなかった」が多くなっている。

		回答者 総数(n)	市の 相談窓 口	会 社 の 上 司 、 人 事 担 当 部 署	学 校 関 係 者 （ 教 員 、 養 護 教 員 、 ス ク ー ル カ ウ ン セ ラ ー な ど ）	家 族 や 親 戚	友 人 ・ 知 人	そ の 他	だ れ （ ど こ ） に も 相 談 し な か っ た	無 回 答	
全体		599	2.0	20.5	1.8	24.7	32.9	4.2	37.7	2.5	
性 別	女性	373	2.1	20.1	2.1	30.8	39.4	4.6	31.6	1.6	
	男性	219	1.8	21.9	0.9	14.2	22.4	3.2	47.5	4.1	
	女性、男性以外	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
性 ・ 年 代 別	女性	18～19歳	3	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
		20～29歳	39	0.0	12.8	7.7	59.0	46.2	0.0	17.9	0.0
		30～39歳	51	3.9	31.4	0.0	39.2	43.1	7.8	29.4	0.0
		40～49歳	91	1.1	28.6	2.2	41.8	38.5	7.7	23.1	0.0
		50～59歳	74	2.7	14.9	1.4	16.2	31.1	2.7	45.9	0.0
		60～69歳	63	3.2	23.8	0.0	14.3	39.7	1.6	42.9	0.0
		70～79歳	38	0.0	5.3	0.0	28.9	52.6	5.3	28.9	0.0
	80歳以上	8	12.5	0.0	0.0	12.5	37.5	12.5	25.0	0.0	
	男性	18～19歳	3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0
		20～29歳	12	0.0	25.0	8.3	8.3	25.0	0.0	58.3	0.0
		30～39歳	39	5.1	25.6	2.6	20.5	28.2	2.6	43.6	0.0
		40～49歳	41	2.4	24.4	0.0	19.5	22.0	2.4	41.5	0.0
		50～59歳	43	0.0	32.6	0.0	7.0	20.9	7.0	48.8	0.0
		60～69歳	43	0.0	16.3	0.0	7.0	23.3	2.3	58.1	0.0
70～79歳		24	4.2	16.7	0.0	25.0	20.8	4.2	45.8	0.0	
80歳以上	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	80.0	0.0		

問 16-2 だれ（どこ）にも相談しなかった（できなかった）理由は何ですか。（〇はいくつでも）

全体では、「相談してもむだだと思ったから」が 62.8%と最も高く、次いで「相談するほどのことではないと思ったから」が 31.0%、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」が 24.8%となっている。

性別にみると、**女性、男性ともに「相談してもむだだと思ったから」が最も多く**、それぞれ 63.6%、61.5%となっている。性別により相談しなかった（できなかった）理由に大きな差は見られなかった。



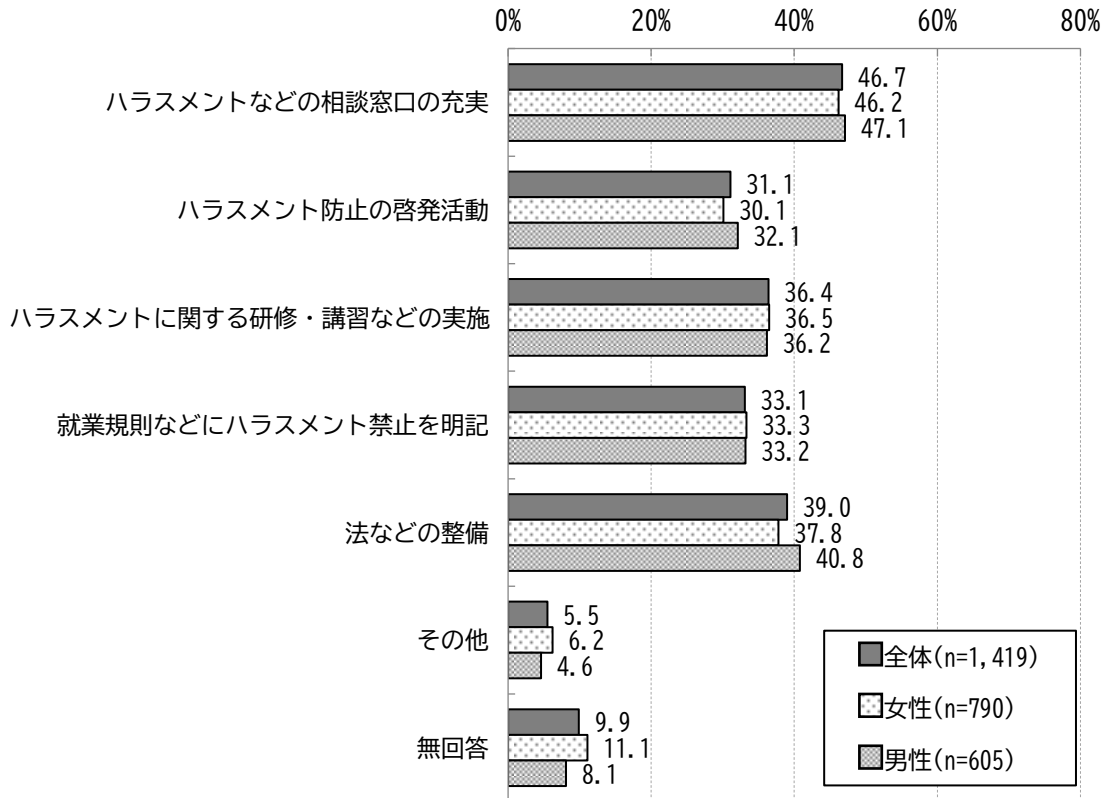
【クロス集計】

		回答者 総数(n)	か ら の か わ か ら な か つ た て	ど こ (だ れ) に 相 談 し て	た か ら も む だ だ と 思 つ	相 談 し て も む だ だ と 思 つ	不 快 な 思 い を さ せ ら れ る	相 談 相 手 の 言 動 に よ つ て	い け ん と か こ の ま ま や つ て	自 分 さ え が ま ん す れ ば、	し た く な か つ た か ら 思 い 出	そ の こ と に つ い て 思 い 出	な い と 思 つ た か ら こ の こ と で は	相 談 す る ほ ど の こ と で は	そ の 他	無 回 答
全体		226	12.8	62.8	5.8	24.8	11.9	31.0	13.7	0.0						
性別	女性	118	15.3	63.6	5.1	28.0	13.6	31.4	18.6	0.0						
	男性	104	8.7	61.5	5.8	22.1	9.6	30.8	8.7	0.0						
	女性、男性以外	2	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
性・年代別	女性	18~19歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20~29歳	7	14.3	85.7	0.0	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0					
		30~39歳	15	26.7	73.3	13.3	26.7	26.7	33.3	26.7	0.0					
		40~49歳	21	23.8	71.4	4.8	33.3	19.0	28.6	19.0	0.0					
		50~59歳	34	11.8	58.8	2.9	29.4	8.8	38.2	17.6	0.0					
		60~69歳	27	14.8	63.0	3.7	29.6	11.1	25.9	11.1	0.0					
		70~79歳	11	0.0	36.4	9.1	9.1	9.1	36.4	45.5	0.0					
	80歳以上	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0						
	男性	18~19歳	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0					
		20~29歳	7	14.3	28.6	0.0	28.6	0.0	42.9	14.3	0.0					
		30~39歳	17	11.8	76.5	11.8	35.3	17.6	11.8	11.8	0.0					
		40~49歳	17	23.5	82.4	17.6	17.6	5.9	11.8	0.0	0.0					
		50~59歳	21	4.8	66.7	0.0	23.8	9.5	52.4	4.8	0.0					
		60~69歳	25	4.0	52.0	4.0	20.0	8.0	36.0	12.0	0.0					
70~79歳		11	0.0	54.5	0.0	9.1	9.1	18.2	18.2	0.0						
80歳以上	4	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0							

問 17 ハラスメント対策として取り組んでほしいことは何ですか。(〇は3つまで)

全体では、「ハラスメントなどの相談窓口の充実」が46.7%と最も高く、次いで「法などの整備」が39.0%、「ハラスメントに関する研修・講習などの実施」が36.4%となっている。

性別にみると、**女性、男性ともに「ハラスメントなどの相談窓口の充実」が最も多く、それぞれ46.2%、47.1%となっている。**性別により大きな差は見られない。



【クロス集計】

		回答者 総数(n)	充 実 の 相 談 窓 口 の な	ハ ラ ス メ ン ト 防	止 の 啓 発 活 動	ハ ラ ス メ ン ト 講 に	習 関 な る の 実 施	ハ ラ ス メ ン ト 禁 に	就 業 規 則 な ど に	法 な ど の 整 備	そ の 他	無 回 答
全体		1419	46.7	31.1	36.4	33.1	39.0	5.5	9.9			
性別	女性	790	46.2	30.1	36.5	33.3	37.8	6.2	11.1			
	男性	605	47.1	32.1	36.2	33.2	40.8	4.6	8.1			
	女性、男性以外	5	40.0	80.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0			
性・年代別	女性	18～19歳	10	70.0	30.0	30.0	40.0	30.0	10.0	10.0		
		20～29歳	75	53.3	17.3	34.7	32.0	52.0	8.0	8.0		
		30～39歳	97	39.2	30.9	35.1	36.1	41.2	8.2	9.3		
		40～49歳	159	38.4	29.6	44.0	36.5	32.1	8.8	9.4		
		50～59歳	147	50.3	31.3	39.5	36.7	44.2	4.1	6.8		
		60～69歳	121	48.8	38.8	47.9	31.4	33.1	6.6	5.8		
		70～79歳	112	43.8	29.5	22.3	30.4	37.5	1.8	18.8		
		80歳以上	68	54.4	27.9	19.1	23.5	27.9	5.9	27.9		
	男性	18～19歳	10	40.0	10.0	20.0	50.0	50.0	20.0	10.0		
		20～29歳	49	32.7	18.4	30.6	32.7	44.9	4.1	4.1		
		30～39歳	82	40.2	28.0	32.9	30.5	50.0	8.5	4.9		
		40～49歳	110	44.5	23.6	36.4	37.3	47.3	5.5	8.2		
		50～59歳	109	44.0	45.0	36.7	33.0	33.9	5.5	4.6		
		60～69歳	92	52.2	33.7	32.6	31.5	45.7	2.2	9.8		
70～79歳	107	57.0	32.7	44.9	37.4	34.6	2.8	9.3				
80歳以上	46	56.5	43.5	37.0	19.6	23.9	0.0	19.6				

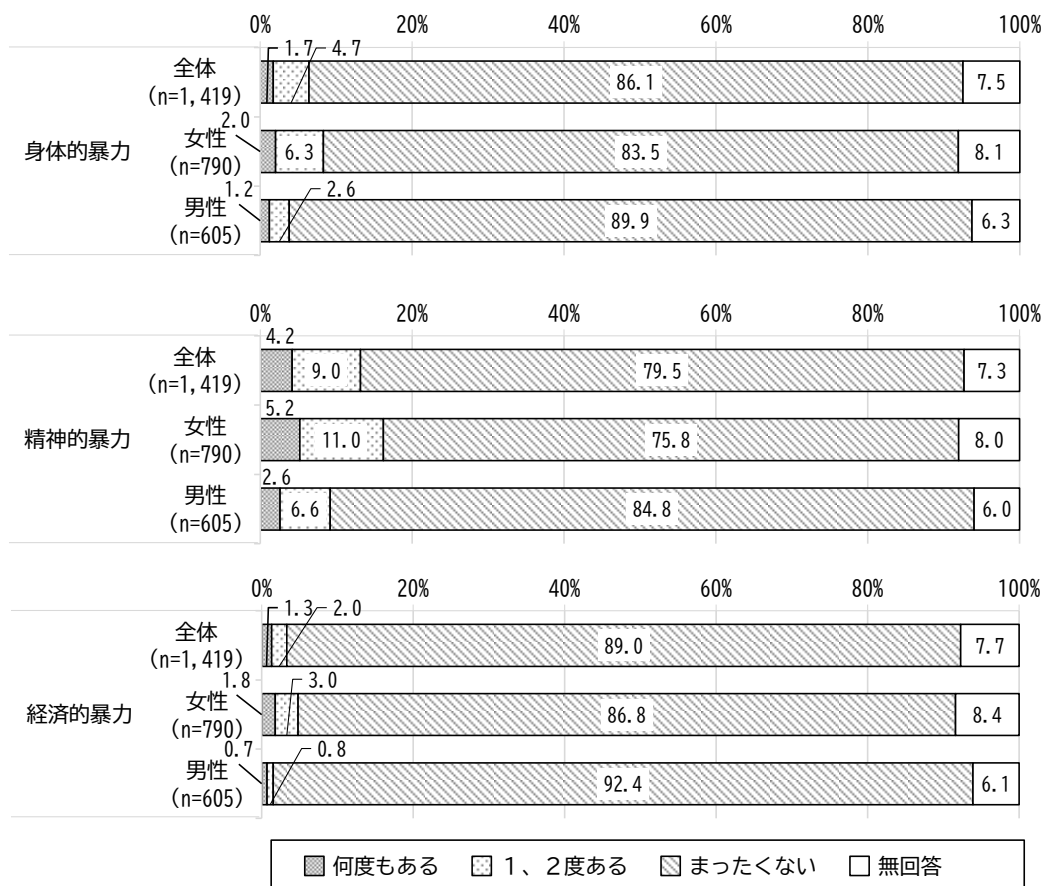
8. ドメスティック・バイオレンスについて

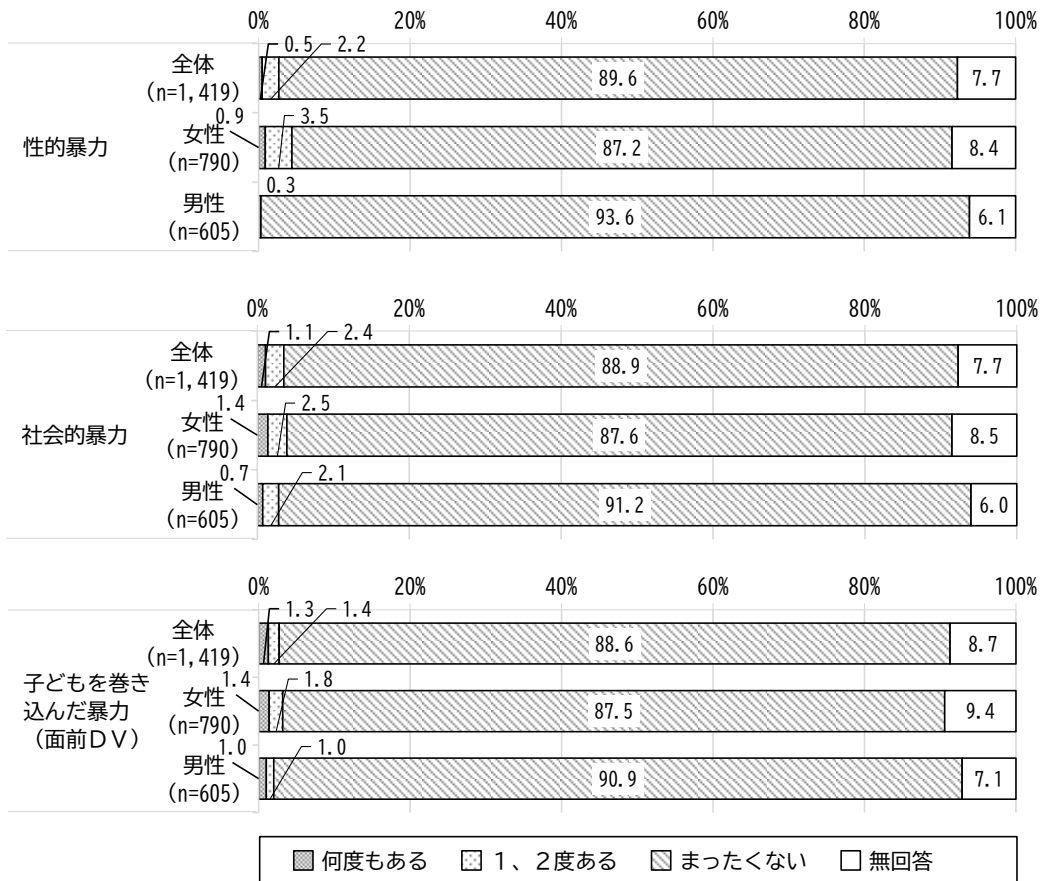
問 18 あなたは、これまでにパートナーや交際相手から次のような行為をされたことはありますか。また、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する前後において変化はありましたか。
(拡大前・拡大後、○はそれぞれ1つずつ)

「新型コロナウイルス感染症感染拡大前」

全体では、『ある』（「何度もある」と「1、2度ある」の合計）について、「精神的暴力（大声で怒鳴られる、何を言っても無視される、日常的に罵られる、など）」が13.2%と最も高く、次いで「身体的暴力（なぐられる、蹴られる、物を投げつけられる、突き飛ばされる、など）」が6.4%、「社会的暴力（交友関係や行き先、電話、郵便物、メールなどの内容を細かくチェックされる、外出や親族・友人などの付き合いを制限される、など）」が3.5%となっている。

性別にみると、『ある』について、女性、男性ともに「精神的暴力」が最も多く、それぞれ16.2%、9.2%となっている。次いで「身体的暴力」が女性8.3%、男性3.8%となっており、**精神的暴力が他の暴力に比べて被害経験の割合が高いことが伺える。いずれの暴力も、被害を受けた割合は、女性が男性よりも高い。**





【クロス集計】

「身体的暴力」

		回答者総数(n)	あ る 度 も	1、 度 あ る 2	く ま つ た い た	無 回 答	
全体		1419	1.7	4.7	86.1	7.5	
性別	女性	790	2.0	6.3	83.5	8.1	
	男性	605	1.2	2.6	89.9	6.3	
女性、男性以外		5	0.0	0.0	80.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	0.0	95.0	5.0	
	20～29歳	128	0.0	0.8	95.3	3.9	
	30～39歳	180	0.0	4.4	92.2	3.3	
	40～49歳	271	2.2	5.2	90.0	2.6	
	50～59歳	256	3.1	7.4	88.7	0.8	
	60～69歳	215	1.4	6.5	86.5	5.6	
	70～79歳	222	2.3	3.2	79.7	14.9	
	80歳以上	121	1.7	2.5	63.6	32.2	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	75	0.0	0.0	93.3	6.7
		30～39歳	97	0.0	7.2	89.7	3.1
		40～49歳	159	1.3	6.3	89.9	2.5
		50～59歳	147	4.1	10.2	85.0	0.7
		60～69歳	121	2.5	9.9	82.6	5.0
		70～79歳	112	3.6	3.6	74.1	18.8
		80歳以上	68	1.5	2.9	60.3	35.3
	男性	18～19歳	10	0.0	0.0	90.0	10.0
		20～29歳	49	0.0	2.0	98.0	0.0
		30～39歳	82	0.0	1.2	95.1	3.7
		40～49歳	110	2.7	3.6	90.9	2.7
		50～59歳	109	1.8	3.7	93.6	0.9
		60～69歳	92	0.0	2.2	91.3	6.5
70～79歳	107	0.9	2.8	86.9	9.3		
80歳以上	46	2.2	2.2	65.2	30.4		

「精神的暴力」

		回答者総数(n)	あ る 度 も	1、 度 あ る 2	く ま つ た い た	無 回 答	
全体		1419	4.2	9.0	79.5	7.3	
性別	女性	790	5.2	11.0	75.8	8.0	
	男性	605	2.6	6.6	84.8	6.0	
女性、男性以外		5	0.0	0.0	80.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	0.0	100.0	0.0	
	20～29歳	128	1.6	1.6	93.0	3.9	
	30～39歳	180	2.2	6.7	87.8	3.3	
	40～49歳	271	4.1	8.9	84.1	3.0	
	50～59歳	256	7.8	13.7	77.3	1.2	
	60～69歳	215	3.7	12.6	79.1	4.7	
	70～79歳	222	4.5	10.8	71.2	13.5	
	80歳以上	121	2.5	3.3	61.2	33.1	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	75	1.3	1.3	90.7	6.7
		30～39歳	97	3.1	10.3	83.5	3.1
		40～49歳	159	3.8	11.9	81.1	3.1
		50～59歳	147	10.2	15.0	73.5	1.4
		60～69歳	121	5.8	15.7	74.4	4.1
		70～79歳	112	6.3	13.4	64.3	16.1
		80歳以上	68	2.9	1.5	58.8	36.8
	男性	18～19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	49	2.0	2.0	95.9	0.0
		30～39歳	82	1.2	2.4	92.7	3.7
		40～49歳	110	3.6	4.5	89.1	2.7
		50～59歳	109	4.6	11.9	82.6	0.9
		60～69歳	92	1.1	8.7	84.8	5.4
70～79歳	107	2.8	8.4	79.4	9.3		
80歳以上	46	2.2	4.3	63.0	30.4		

【クロス集計】

「経済的暴力」

		回答者 総数(n)	あ 何 度 も	1、 度 あ る 2	く ま つ た い た	無 回 答	
全体		1419	1.3	2.0	89.0	7.7	
性別	女性	790	1.8	3.0	86.8	8.4	
	男性	605	0.7	0.8	92.4	6.1	
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	80.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	0.0	100.0	0.0	
	20～29歳	128	0.0	0.8	95.3	3.9	
	30～39歳	180	1.1	1.7	93.9	3.3	
	40～49歳	271	1.1	2.6	93.7	2.6	
	50～59歳	256	2.3	3.1	93.8	0.8	
	60～69歳	215	1.4	2.8	89.8	6.0	
	70～79歳	222	1.4	1.4	82.9	14.4	
	80歳以上	121	0.8	0.8	63.6	34.7	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	75	0.0	1.3	92.0	6.7
		30～39歳	97	2.1	3.1	91.8	3.1
		40～49歳	159	0.6	4.4	92.5	2.5
		50～59歳	147	3.4	4.1	91.8	0.7
		60～69歳	121	2.5	4.1	86.8	6.6
		70～79歳	112	1.8	0.9	79.5	17.9
		80歳以上	68	1.5	1.5	60.3	36.8
	男性	18～19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	49	0.0	0.0	100.0	0.0
		30～39歳	82	0.0	0.0	96.3	3.7
		40～49歳	110	1.8	0.0	95.5	2.7
		50～59歳	109	0.9	1.8	96.3	0.9
		60～69歳	92	0.0	1.1	93.5	5.4
		70～79歳	107	0.9	1.9	87.9	9.3
		80歳以上	46	0.0	0.0	67.4	32.6

「性的暴力」

		回答者 総数(n)	あ 何 度 も	1、 度 あ る 2	く ま つ た い た	無 回 答	
全体		1419	0.5	2.2	89.6	7.7	
性別	女性	790	0.9	3.5	87.2	8.4	
	男性	605	0.0	0.3	93.6	6.1	
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	80.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	5.0	95.0	0.0	
	20～29歳	128	0.0	0.8	95.3	3.9	
	30～39歳	180	0.6	4.4	91.7	3.3	
	40～49歳	271	0.4	3.7	93.4	2.6	
	50～59歳	256	1.2	2.3	95.7	0.8	
	60～69歳	215	0.9	0.9	92.6	5.6	
	70～79歳	222	0.0	0.9	84.2	14.9	
	80歳以上	121	0.0	0.8	64.5	34.7	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	10.0	90.0	0.0
		20～29歳	75	0.0	1.3	92.0	6.7
		30～39歳	97	1.0	8.2	87.6	3.1
		40～49歳	159	0.6	6.3	90.6	2.5
		50～59歳	147	2.0	3.4	93.9	0.7
		60～69歳	121	1.7	0.8	91.7	5.8
		70～79歳	112	0.0	0.9	80.4	18.8
		80歳以上	68	0.0	1.5	61.8	36.8
	男性	18～19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	49	0.0	0.0	100.0	0.0
		30～39歳	82	0.0	0.0	96.3	3.7
		40～49歳	110	0.0	0.0	97.3	2.7
		50～59歳	109	0.0	0.9	98.2	0.9
		60～69歳	92	0.0	1.1	93.5	5.4
		70～79歳	107	0.0	0.0	90.7	9.3
		80歳以上	46	0.0	0.0	67.4	32.6

「社会的暴力」

		回答者 総数(n)	あ 何 度 も	1、 度 あ る 2	く ま つ た い た	無 回 答	
全体		1419	1.1	2.4	88.9	7.7	
性別	女性	790	1.4	2.5	87.6	8.5	
	男性	605	0.7	2.1	91.2	6.0	
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	80.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	5.0	95.0	0.0	
	20～29歳	128	0.0	2.3	93.8	3.9	
	30～39歳	180	1.1	2.2	93.3	3.3	
	40～49歳	271	1.1	2.6	93.7	2.6	
	50～59歳	256	2.0	2.3	94.5	1.2	
	60～69歳	215	1.4	1.4	91.6	5.6	
	70～79歳	222	0.5	3.2	81.5	14.9	
	80歳以上	121	0.8	1.7	63.6	33.9	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	75	0.0	2.7	90.7	6.7
		30～39歳	97	1.0	3.1	92.8	3.1
		40～49歳	159	1.3	2.5	93.7	2.5
		50～59歳	147	2.7	2.7	93.2	1.4
		60～69歳	121	2.5	1.7	90.1	5.8
		70～79歳	112	0.0	4.5	76.8	18.8
		80歳以上	68	1.5	0.0	61.8	36.8
	男性	18～19歳	10	0.0	10.0	90.0	0.0
		20～29歳	49	0.0	2.0	98.0	0.0
		30～39歳	82	1.2	1.2	93.9	3.7
		40～49歳	110	0.9	2.7	93.6	2.7
		50～59歳	109	0.9	1.8	96.3	0.9
		60～69歳	92	0.0	1.1	93.5	5.4
		70～79歳	107	0.9	1.9	87.9	9.3
		80歳以上	46	0.0	4.3	65.2	30.4

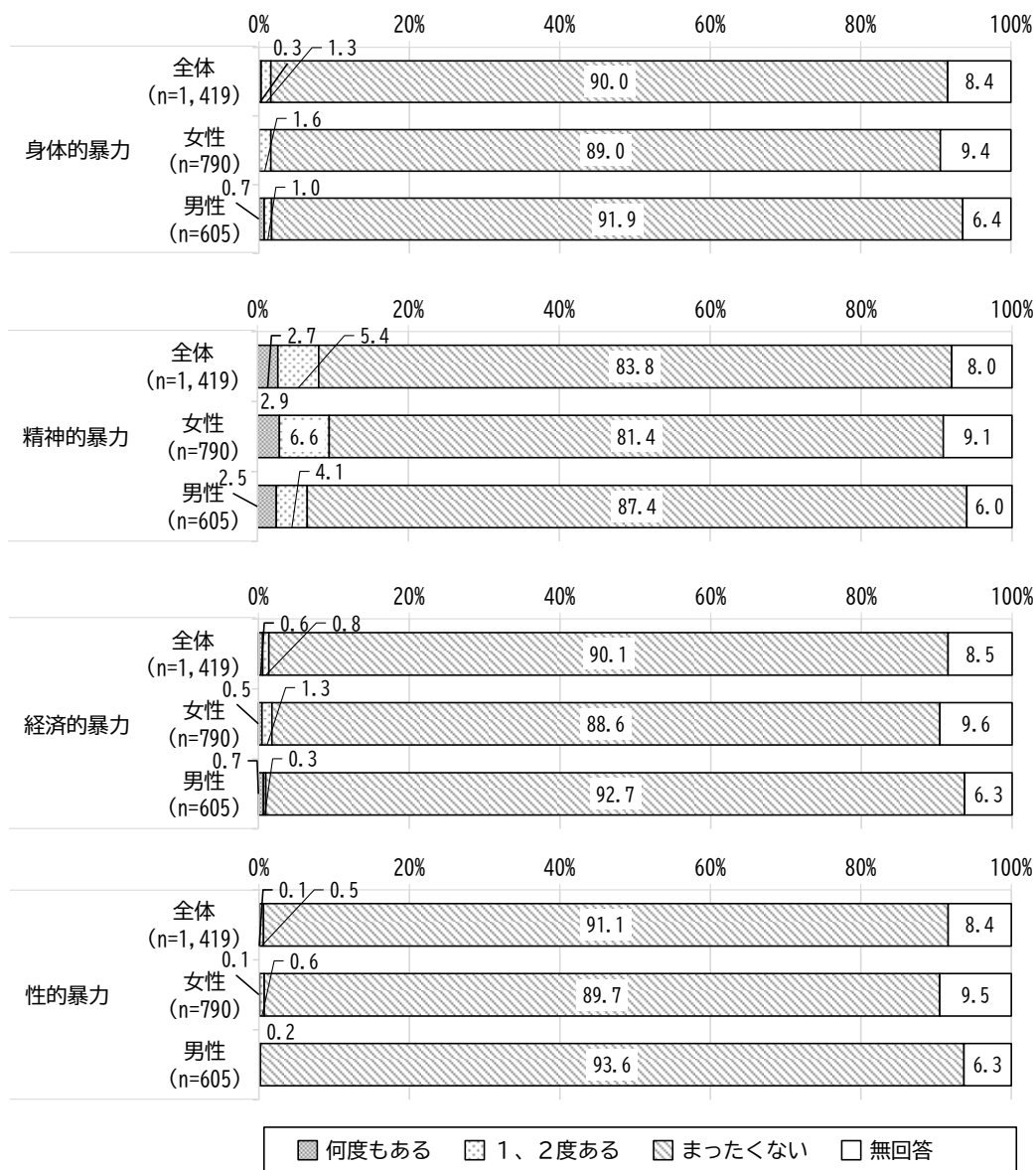
「子どもを巻き込んだ暴力（面前DV）」

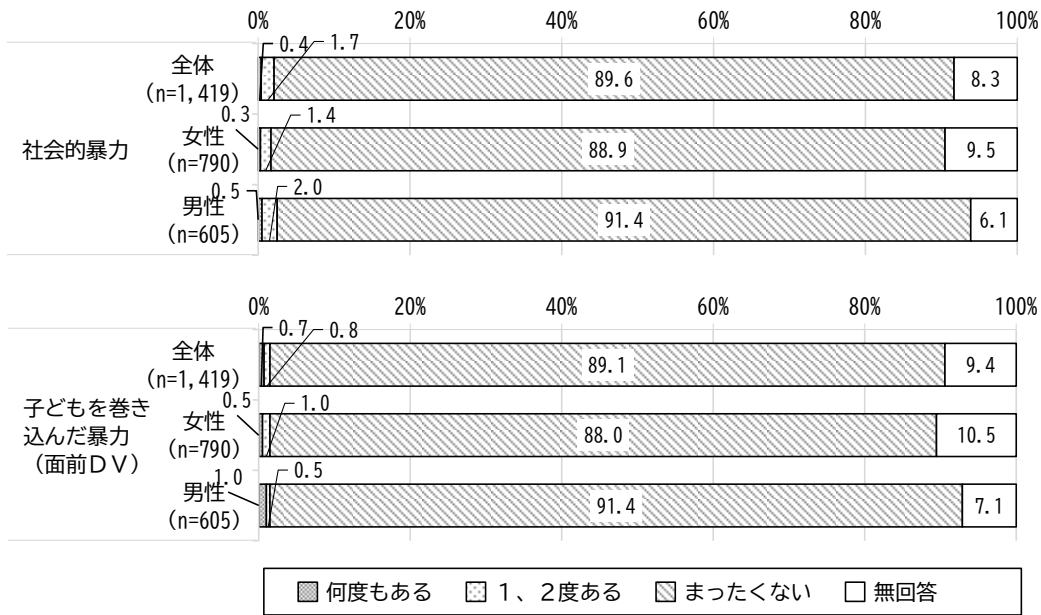
		回答者 総数(n)	あ 何 度 も	1、 度 あ る 2	く ま つ た い た	無 回 答	
全体		1419	1.3	1.4	88.6	8.7	
性別	女性	790	1.4	1.8	87.5	9.4	
	男性	605	1.0	1.0	90.9	7.1	
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	80.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	0.0	100.0	0.0	
	20～29歳	128	0.0	0.0	96.1	3.9	
	30～39歳	180	0.6	1.7	94.4	3.3	
	40～49歳	271	2.6	1.1	93.4	3.0	
	50～59歳	256	1.6	3.9	92.2	2.3	
	60～69歳	215	1.9	0.5	89.8	7.9	
	70～79歳	222	0.5	0.9	82.0	16.7	
	80歳以上	121	0.8	0.8	63.6	34.7	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	75	0.0	0.0	93.3	6.7
		30～39歳	97	1.0	3.1	92.8	3.1
		40～49歳	159	1.3	1.3	95.0	2.5
		50～59歳	147	1.4	4.1	91.2	3.4
		60～69歳	121	3.3	0.8	87.6	8.3
		70～79歳	112	0.9	0.9	78.6	19.6
		80歳以上	68	1.5	1.5	60.3	36.8
	男性	18～19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	49	0.0	0.0	100.0	0.0
		30～39歳	82	0.0	0.0	96.3	3.7
		40～49歳	110	3.6	0.9	91.8	3.6
		50～59歳	109	1.8	3.7	93.6	0.9
		60～69歳	92	0.0	0.0	92.4	7.6
		70～79歳	107	0.0	0.9	86.9	12.1
		80歳以上	46	0.0	0.0	67.4	32.6

「新型コロナウイルス感染症感染拡大後」

全体では、『ある』について、「精神的暴力」が8.1%と最も高く、次いで「社会的暴力」が2.1%、「身体的暴力」が1.6%となっている。新型コロナウイルス感染症感染拡大前と比較すると、いずれの暴力も被害の割合は減っている。

性別にみると、『ある』について、女性、男性ともに「精神的暴力」が最も多く、それぞれ9.5%、6.6%となっている。新型コロナウイルス感染症感染拡大前と比較すると、女性で6.7ポイント、男性で2.6ポイント減っている。いずれの暴力も、被害の割合は低くなっている。





【クロス集計】

「身体的暴力」

		回答者 総数(n)	あ 何 る も	1、 度 あ る 2	く ま つ た	無 回 答	
全体		1419	0.3	1.3	90.0	8.4	
性別	女性	790	0.0	1.6	89.0	9.4	
	男性	605	0.7	1.0	91.9	6.4	
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	80.0	20.0	
年代別	18~19歳	20	0.0	0.0	100.0	0.0	
	20~29歳	128	0.0	0.0	96.9	3.1	
	30~39歳	180	0.0	1.1	95.0	3.9	
	40~49歳	271	0.7	1.1	94.8	3.3	
	50~59歳	256	0.4	2.0	95.7	2.0	
	60~69歳	215	0.0	1.9	92.1	6.0	
	70~79歳	222	0.5	1.8	81.5	16.2	
	80歳以上	121	0.0	0.8	63.6	35.5	
性・年代別	女性	18~19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20~29歳	75	0.0	0.0	94.7	5.3
		30~39歳	97	0.0	1.0	94.8	4.1
		40~49歳	159	0.0	1.9	94.3	3.8
		50~59歳	147	0.0	2.7	95.2	2.0
		60~69歳	121	0.0	1.7	91.7	6.6
		70~79歳	112	0.0	2.7	78.6	18.8
		80歳以上	68	0.0	0.0	58.8	41.2
	男性	18~19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20~29歳	49	0.0	0.0	100.0	0.0
		30~39歳	82	0.0	1.2	95.1	3.7
		40~49歳	110	1.8	0.0	95.5	2.7
		50~59歳	109	0.9	0.9	96.3	1.8
		60~69歳	92	0.0	2.2	92.4	5.4
		70~79歳	107	0.9	0.9	86.0	12.1
		80歳以上	46	0.0	2.2	69.6	28.3

「精神的暴力」

		回答者 総数(n)	あ 何 る も	度 あ る 2	く ま つ た	無 回 答	
全体		1419	2.7	5.4	83.8	8.0	
性別	女性	790	2.9	6.6	81.4	9.1	
	男性	605	2.5	4.1	87.4	6.0	
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	80.0	20.0	
年代別	18~19歳	20	0.0	0.0	100.0	0.0	
	20~29歳	128	0.8	2.3	93.8	3.1	
	30~39歳	180	1.7	3.3	91.1	3.9	
	40~49歳	271	3.7	4.4	88.6	3.3	
	50~59歳	256	4.7	8.2	85.2	2.0	
	60~69歳	215	2.3	7.0	85.6	5.1	
	70~79歳	222	3.2	8.1	74.3	14.4	
	80歳以上	121	0.0	1.7	62.0	36.4	
性・年代別	女性	18~19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20~29歳	75	1.3	1.3	92.0	5.3
		30~39歳	97	1.0	5.2	89.7	4.1
		40~49歳	159	3.1	6.9	86.2	3.8
		50~59歳	147	4.8	10.2	83.0	2.0
		60~69歳	121	3.3	7.4	83.5	5.8
		70~79歳	112	4.5	9.8	68.8	17.0
		80歳以上	68	0.0	0.0	57.4	42.6
	男性	18~19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20~29歳	49	0.0	4.1	95.9	0.0
		30~39歳	82	2.4	1.2	92.7	3.7
		40~49歳	110	4.5	0.9	91.8	2.7
		50~59歳	109	4.6	5.5	88.1	1.8
		60~69歳	92	1.1	6.5	88.0	4.3
		70~79歳	107	1.9	6.5	81.3	10.3
		80歳以上	46	0.0	4.3	67.4	28.3

【クロス集計】

「経済的暴力」

		回答者 総数(n)	あ る 度 も	1、 度 あ る 2	く ま つ た い た	無 回 答	
全体		1419	0.6	0.8	90.1	8.5	
性別	女性	790	0.5	1.3	88.6	9.6	
	男性	605	0.7	0.3	92.7	6.3	
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	80.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	0.0	100.0	0.0	
	20～29歳	128	0.0	0.8	96.1	3.1	
	30～39歳	180	0.0	1.7	94.4	3.9	
	40～49歳	271	0.7	1.1	94.8	3.3	
	50～59歳	256	1.2	1.6	94.9	2.3	
	60～69歳	215	0.9	0.5	92.1	6.5	
	70～79歳	222	0.5	0.0	84.2	15.3	
	80歳以上	121	0.0	0.0	63.6	36.4	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	75	0.0	1.3	93.3	5.3
		30～39歳	97	0.0	3.1	92.8	4.1
		40～49歳	159	0.0	1.9	94.3	3.8
		50～59歳	147	1.4	2.0	93.9	2.7
		60～69歳	121	1.7	0.0	90.9	7.4
		70～79歳	112	0.0	0.0	82.1	17.9
		80歳以上	68	0.0	0.0	57.4	42.6
	男性	18～19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	49	0.0	0.0	100.0	0.0
		30～39歳	82	0.0	0.0	96.3	3.7
		40～49歳	110	1.8	0.0	95.5	2.7
		50～59歳	109	0.9	0.9	96.3	1.8
		60～69歳	92	0.0	1.1	93.5	5.4
		70～79歳	107	0.9	0.0	87.9	11.2
		80歳以上	46	0.0	0.0	71.7	28.3

「性的暴力」

		回答者 総数(n)	あ る 度 も	1、 度 あ る 2	く ま つ た い た	無 回 答	
全体		1419	0.1	0.5	91.1	8.4	
性別	女性	790	0.1	0.6	89.7	9.5	
	男性	605	0.0	0.2	93.6	6.3	
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	80.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	5.0	95.0	0.0	
	20～29歳	128	0.0	0.0	96.9	3.1	
	30～39歳	180	0.0	1.1	95.0	3.9	
	40～49歳	271	0.4	0.7	95.6	3.3	
	50～59歳	256	0.0	0.4	97.7	2.0	
	60～69歳	215	0.0	0.0	94.0	6.0	
	70～79歳	222	0.0	0.5	83.8	15.8	
	80歳以上	121	0.0	0.0	63.6	36.4	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	10.0	90.0	0.0
		20～29歳	75	0.0	0.0	94.7	5.3
		30～39歳	97	0.0	2.1	93.8	4.1
		40～49歳	159	0.6	1.3	94.3	3.8
		50～59歳	147	0.0	0.0	98.0	2.0
		60～69歳	121	0.0	0.0	93.4	6.6
		70～79歳	112	0.0	0.0	81.3	18.8
		80歳以上	68	0.0	0.0	57.4	42.6
	男性	18～19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	49	0.0	0.0	100.0	0.0
		30～39歳	82	0.0	0.0	96.3	3.7
		40～49歳	110	0.0	0.0	97.3	2.7
		50～59歳	109	0.0	0.9	97.2	1.8
		60～69歳	92	0.0	0.0	94.6	5.4
		70～79歳	107	0.0	0.0	88.8	11.2
		80歳以上	46	0.0	0.0	71.7	28.3

「社会的暴力」

		回答者 総数(n)	あ る 度 も	1、 度 あ る 2	く ま つ た い た	無 回 答	
全体		1419	0.4	1.7	89.6	8.3	
性別	女性	790	0.3	1.4	88.9	9.5	
	男性	605	0.5	2.0	91.4	6.1	
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	80.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	5.0	95.0	0.0	
	20～29歳	128	0.0	2.3	94.5	3.1	
	30～39歳	180	0.6	1.7	93.9	3.9	
	40～49歳	271	0.0	1.8	94.8	3.3	
	50～59歳	256	0.8	1.2	96.1	2.0	
	60～69歳	215	0.5	0.9	92.6	6.0	
	70～79歳	222	0.5	1.4	82.4	15.8	
	80歳以上	121	0.0	2.5	62.0	35.5	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	75	0.0	2.7	92.0	5.3
		30～39歳	97	0.0	2.1	93.8	4.1
		40～49歳	159	0.0	1.9	94.3	3.8
		50～59歳	147	0.7	1.4	96.9	2.0
		60～69歳	121	0.8	0.8	91.7	6.6
		70～79歳	112	0.0	0.9	80.4	18.8
		80歳以上	68	0.0	0.0	57.4	42.6
	男性	18～19歳	10	0.0	10.0	90.0	0.0
		20～29歳	49	0.0	2.0	98.0	0.0
		30～39歳	82	1.2	1.2	93.9	3.7
		40～49歳	110	0.0	1.8	95.5	2.7
		50～59歳	109	0.9	0.9	96.3	1.8
		60～69歳	92	0.0	1.1	93.5	5.4
		70～79歳	107	0.9	1.9	86.0	11.2
		80歳以上	46	0.0	6.5	67.4	26.1

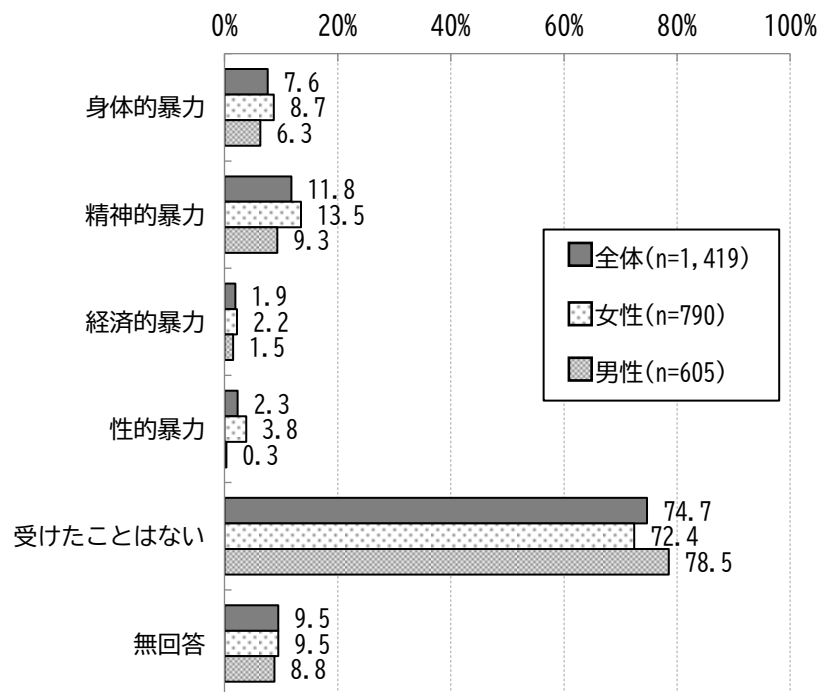
「子どもを巻き込んだ暴力（面前DV）」

		回答者 総数(n)	あ る 度 も	1、 度 あ る 2	く ま つ た い た	無 回 答	
全体		1419	0.7	0.8	89.1	9.4	
性別	女性	790	0.5	1.0	88.0	10.5	
	男性	605	1.0	0.5	91.4	7.1	
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	80.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	0.0	100.0	0.0	
	20～29歳	128	0.0	0.0	96.9	3.1	
	30～39歳	180	0.6	2.2	93.3	3.9	
	40～49歳	271	1.8	0.4	94.1	3.7	
	50～59歳	256	0.8	1.6	94.9	2.7	
	60～69歳	215	0.5	0.5	90.7	8.4	
	70～79歳	222	0.5	0.5	81.5	17.6	
	80歳以上	121	0.0	0.0	62.8	37.2	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	75	0.0	0.0	94.7	5.3
		30～39歳	97	1.0	4.1	90.7	4.1
		40～49歳	159	0.6	0.6	95.0	3.8
		50～59歳	147	0.0	1.4	95.2	3.4
		60～69歳	121	0.8	0.8	88.4	9.9
		70～79歳	112	0.9	0.0	79.5	19.6
		80歳以上	68	0.0	0.0	55.9	44.1
	男性	18～19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	49	0.0	0.0	100.0	0.0
		30～39歳	82	0.0	0.0	96.3	3.7
		40～49歳	110	3.6	0.0	92.7	3.6
		50～59歳	109	1.8	1.8	94.5	1.8
		60～69歳	92	0.0	0.0	93.5	6.5
		70～79歳	107	0.0	0.9	85.0	14.0
		80歳以上	46	0.0	0.0	71.7	28.3

問 19 あなたは、パートナーや交際相手以外の相手（家族、親族、知人など）から、次のような行為を受けたことがありますか。（○はいくつでも）

全体では、「受けたことはない」が 74.7%と最も高く、次いで「精神的暴力（大声で怒鳴られる、何を言っても無視される、日常的に罵られる、など）」が 11.8%、「身体的暴力（なぐられる、蹴られる、物を投げつけられる、突き飛ばされる、など）」が 7.6%となっている。

性別にみると、何らかの暴力を受けた者の割合（全体から「受けたことはない」と「無回答」を除いて算出）は、女性では 18.1%、男性では 12.7%となっており女性の方が男性よりも高い。暴力の種類別でみると、**女性・男性ともに「精神的暴力」が最も多く、女性 13.5%、男性 9.3%となっている。**次いで「身体的暴力」が女性 8.7%、男性 6.3%となっている。また、女性では「性的暴力」も 3.8%が経験している。**いずれの暴力も女性の方が男性よりも被害経験の割合が高い。**



【クロス集計】

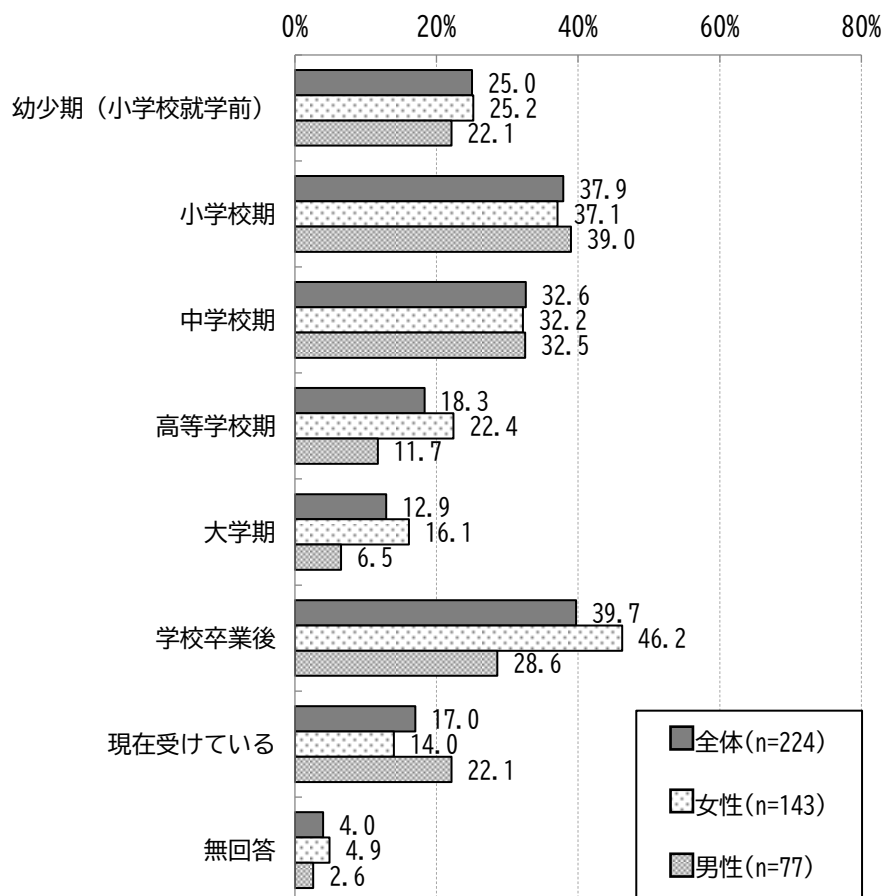
性・年代別にみると、何らかの暴力を受けたことがある人では、「精神的暴力」の割合が高くなっており、特に30歳代から50歳代の女性で多い。また、30歳代・40歳代の女性は、「身体的暴力」の割合も高い。

		回答者 総数(n)	身 体 的 暴 力	精 神 的 暴 力	経 済 的 暴 力	性 的 暴 力	は 受 け た こ と	無 回 答	
全体		1419	7.6	11.8	1.9	2.3	74.7	9.5	
性 別	女性	790	8.7	13.5	2.2	3.8	72.4	9.5	
	男性	605	6.3	9.3	1.5	0.3	78.5	8.8	
	女性、男性以外	5	20.0	60.0	0.0	0.0	20.0	20.0	
年 代 別	18～19歳	20	5.0	5.0	5.0	0.0	85.0	5.0	
	20～29歳	128	7.8	11.7	2.3	1.6	78.9	4.7	
	30～39歳	180	9.4	14.4	2.2	3.3	74.4	6.1	
	40～49歳	271	12.2	15.1	3.3	3.7	72.7	5.2	
	50～59歳	256	7.4	14.5	2.3	2.3	76.2	6.3	
	60～69歳	215	5.1	8.4	0.9	1.9	80.5	8.8	
	70～79歳	222	6.3	9.5	0.9	0.9	74.3	12.6	
80歳以上	121	2.5	6.6	0.0	1.7	61.2	31.4		
性 ・ 年 代 別	女 性	18～19歳	10	10.0	10.0	0.0	0.0	80.0	10.0
		20～29歳	75	4.0	8.0	0.0	2.7	80.0	8.0
		30～39歳	97	14.4	17.5	2.1	6.2	69.1	5.2
		40～49歳	159	12.6	16.4	4.4	5.7	71.7	5.0
		50～59歳	147	8.8	19.7	4.1	4.1	70.1	6.1
		60～69歳	121	6.6	10.7	1.7	3.3	75.2	11.6
		70～79歳	112	8.0	11.6	0.0	1.8	74.1	10.7
	80歳以上	68	1.5	2.9	0.0	1.5	66.2	29.4	
	男 性	18～19歳	10	0.0	0.0	10.0	0.0	90.0	0.0
		20～29歳	49	14.3	14.3	4.1	0.0	79.6	0.0
		30～39歳	82	3.7	9.8	2.4	0.0	81.7	7.3
		40～49歳	110	10.9	12.7	1.8	0.9	74.5	5.5
		50～59歳	109	5.5	7.3	0.0	0.0	84.4	6.4
		60～69歳	92	3.3	5.4	0.0	0.0	87.0	5.4
70～79歳		107	4.7	7.5	1.9	0.0	74.8	14.0	
80歳以上	46	4.3	13.0	0.0	2.2	56.5	30.4		

問 19-1 あなたは、そのような行為をいつ頃受けましたか。(〇はいくつでも)

全体では、「学校卒業後」が39.7%と最も高く、次いで「小学校期」が37.9%、「中学校期」が32.6%となっている。また、「幼少期（小学校就学前）」も25.0%と一定数あった。

性別にみると、**女性は「学校卒業後」が46.2%、男性は「小学校期」が39.0%とそれぞれ最も高くなっている。**女性では、「小学校期」の37.1%、「中学校期」の32.2%も次いで高い。「中学校期」までは、性別により差があまり見られないが、「高等学校期」、「大学期」、「学校卒業後」については、**女性の方が男性よりも被害経験の割合が大きく上回っている。**男性は「中学校期」までに被害経験の割合が高い傾向にある。



【クロス集計】

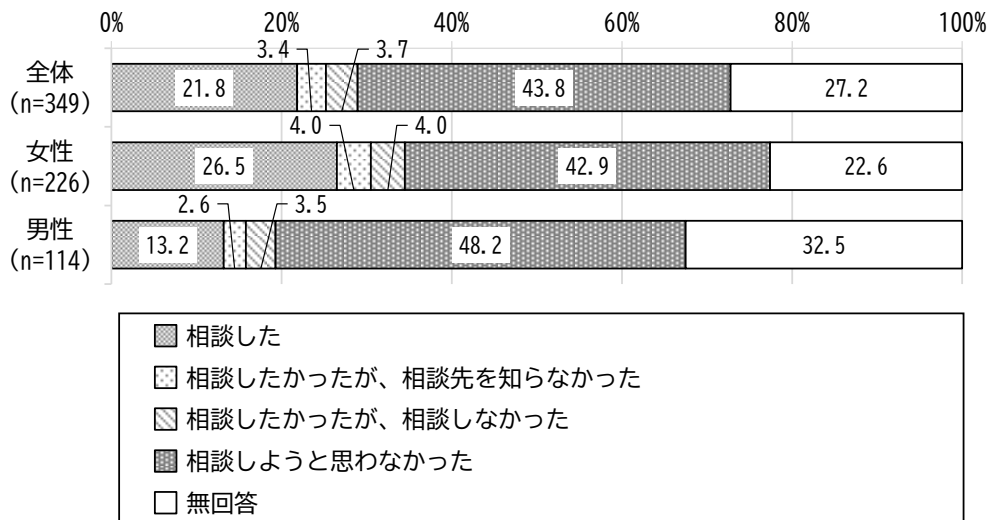
		回答者 総数(n)	就学前 (幼少期 小学校)	小学校期	中学校期	高等学校期	大学期	後学校卒業	現在受ける	無回答	
全体		224	25.0	37.9	32.6	18.3	12.9	39.7	17.0	4.0	
性別	女性	143	25.2	37.1	32.2	22.4	16.1	46.2	14.0	4.9	
	男性	77	22.1	39.0	32.5	11.7	6.5	28.6	22.1	2.6	
	女性、男性以外	3	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	1	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	9	22.2	33.3	44.4	22.2	11.1	22.2	11.1	0.0
		30～39歳	25	28.0	48.0	56.0	52.0	32.0	32.0	4.0	0.0
		40～49歳	36	36.1	41.7	38.9	27.8	25.0	55.6	11.1	0.0
		50～59歳	34	20.6	38.2	32.4	14.7	8.8	52.9	29.4	0.0
		60～69歳	15	20.0	20.0	13.3	6.7	6.7	66.7	13.3	0.0
		70～79歳	14	28.6	35.7	0.0	0.0	0.0	50.0	7.1	0.0
		80歳以上	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	男性	18～19歳	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	10	30.0	70.0	30.0	10.0	20.0	30.0	10.0	0.0
		30～39歳	9	22.2	44.4	33.3	22.2	22.2	44.4	22.2	0.0
		40～49歳	22	27.3	50.0	27.3	13.6	4.5	31.8	13.6	0.0
		50～59歳	10	30.0	50.0	30.0	10.0	0.0	20.0	40.0	0.0
		60～69歳	6	16.7	16.7	50.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0
	70～79歳	12	8.3	16.7	41.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	
	80歳以上	5	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	

問 19-2 そのことをだれ（どこ）かに相談しましたか。（○は1つだけ）

※上記設問は問18（パートナーや交際相手からの暴力）又は問19（パートナーや交際相手以外の相手からの暴力）のいずれかの項目で暴力を受けた経験があると回答した方に伺っています。

全体では、「相談しようと思わなかった」が43.8%と最も高く、次いで「無回答」が27.2%、「相談した」が21.8%となっている。

性別にみると、**女性、男性ともに「相談しようと思わなかった」が最も多く**、それぞれ42.9%、48.2%となっている。また、「相談した」は、女性が26.5%、男性が13.2%となっており、**男性は、女性よりも相談しない傾向にある**。なお、「相談したかったが、相談先を知らなかった」「相談したかったが、相談しなかった」は、性別にかかわらず、回答率は低いものの一定数いた。



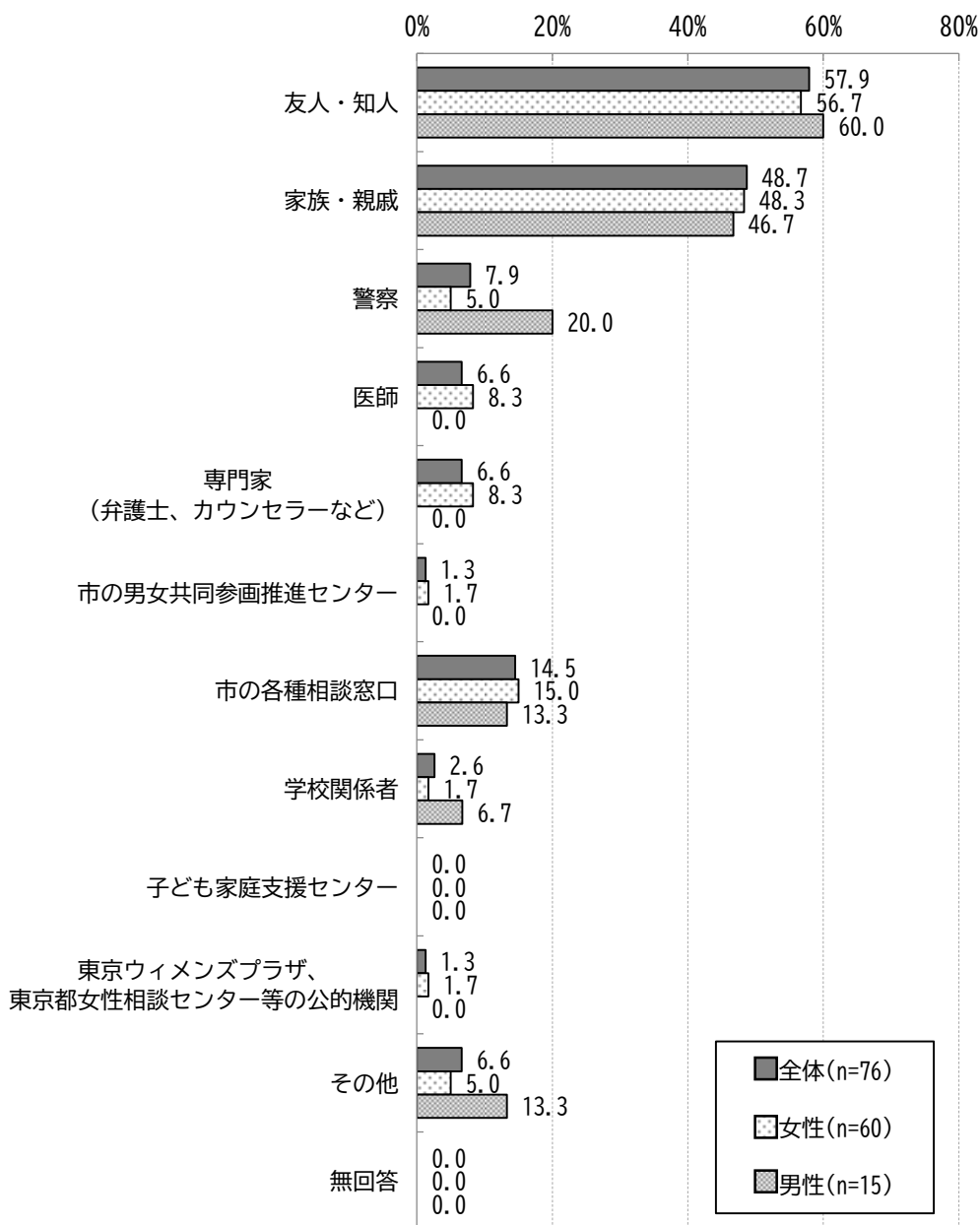
【クロス集計】

		回答者 総数(n)	相 談 し た	ら な か つ た	が 相 談 し た か つ た 先 を 知 ら な か つ た	か が 相 談 し た か つ た し か な か つ た	わ な か つ た う と 思 わ な か つ た	無 回 答
全体		349	21.8	3.4	3.7	43.8	27.2	
性別	女性	226	26.5	4.0	4.0	42.9	22.6	
	男性	114	13.2	2.6	3.5	48.2	32.5	
女性、男性以外		3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	
性・年代別	女性	18～19歳	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
		20～29歳	10	40.0	0.0	0.0	60.0	0.0
		30～39歳	30	33.3	6.7	0.0	60.0	0.0
		40～49歳	44	31.8	6.8	4.5	56.8	0.0
		50～59歳	39	33.3	7.7	7.7	51.3	0.0
		60～69歳	27	44.4	3.7	3.7	48.1	0.0
		70～79歳	19	31.6	0.0	10.5	57.9	0.0
		80歳以上	4	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	男性	18～19歳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	9	33.3	11.1	0.0	55.6	0.0
		30～39歳	10	30.0	10.0	0.0	60.0	0.0
		40～49歳	18	27.8	0.0	5.6	66.7	0.0
		50～59歳	12	8.3	0.0	8.3	83.3	0.0
		60～69歳	7	14.3	0.0	0.0	85.7	0.0
70～79歳		13	15.4	0.0	7.7	76.9	0.0	
80歳以上		7	0.0	14.3	14.3	71.4	0.0	

問 19-3 だれ（どこ）に相談しましたか。（〇はいくつでも）

全体では、「友人・知人」が57.9%と最も高く、次いで「家族・親戚」が48.7%、「市の各種相談窓口」が14.5%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「友人・知人」が最も多く、それぞれ56.7%、60.0%となっている。次いで「家族・親戚」が女性48.3%、男性46.7%と多く、他の相談先に比べて割合が高い。**性別にかかわらず、身近な者に相談している**ことが伺える。また、女性は「専門家（弁護士・カウンセラー）」が8.3%で、男性が、ほとんど選択していない相手にも相談している。一方、男性では「警察」が20.0%、「その他」が13.3%、「学校関係者」が6.7%であり、女性と比べてその割合が高い。女性、男性ともに「友人・知人」「家族・親戚」以外では、その相談先が性別により大きな違いが見られ、女性の方が男性よりも多様な機関に相談している状況が伺える。



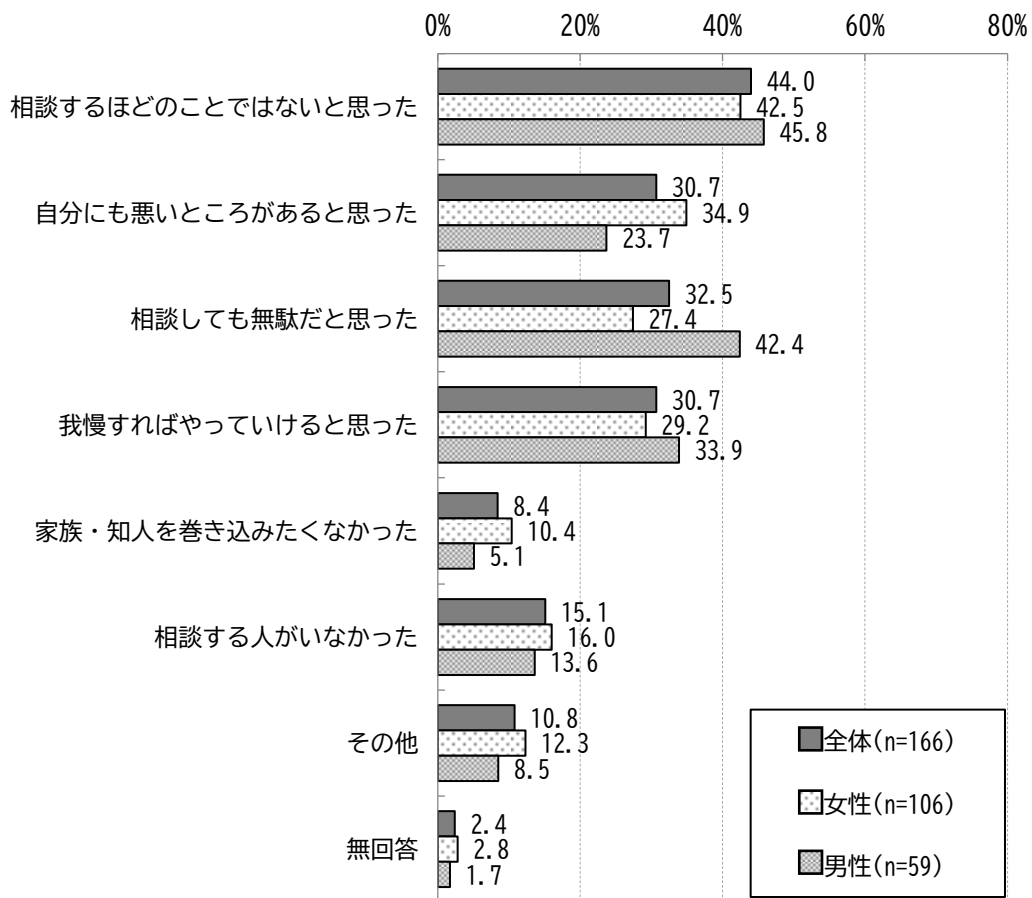
【クロス集計】

		回答者 総数(n)	友人・知人	家族・親戚	警察	医師	専門家(弁護士、カウンセラーなど)	市の男女共同参画推進センター	市の各種相談窓口	学校関係者	子ども家庭支援センター	東京都女性相談センター等の公的機関	その他	無回答	
全体		76	57.9	48.7	7.9	6.6	6.6	1.3	14.5	2.6	0.0	1.3	6.6	0.0	
性別	女性	60	56.7	48.3	5.0	8.3	8.3	1.7	15.0	1.7	0.0	1.7	5.0	0.0	
	男性	15	60.0	46.7	20.0	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7	0.0	0.0	13.3	0.0	
	女性、男性以外	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	4	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	10	90.0	70.0	10.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
		40～49歳	14	64.3	42.9	14.3	7.1	7.1	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		50～59歳	13	53.8	46.2	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
		60～69歳	12	33.3	50.0	0.0	16.7	8.3	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
		70～79歳	6	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
		80歳以上	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男性	18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
		30～39歳	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
		40～49歳	5	40.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		50～59歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		60～69歳	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		70～79歳	2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
80歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

問 19-4 だれ（どこ）にも相談しなかったのはなぜですか。（○はいくつでも）

全体では、「相談するほどのことではないと思った」が44.0%と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思った」が32.5%、「自分にも悪いところがあると思った」「我慢すればやっていけると思った」が30.7%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「相談するほどのことではないと思った」が最も多く、それぞれ42.5%、45.8%となっている。次いで、女性では「自分にも悪いところがあった」が34.9%であり、男性よりも11.2ポイント高い。一方、男性では、「相談しても無駄だと思った」が42.4%と女性よりも15ポイントも高かった。性別により相談しない理由に違いが見られた。



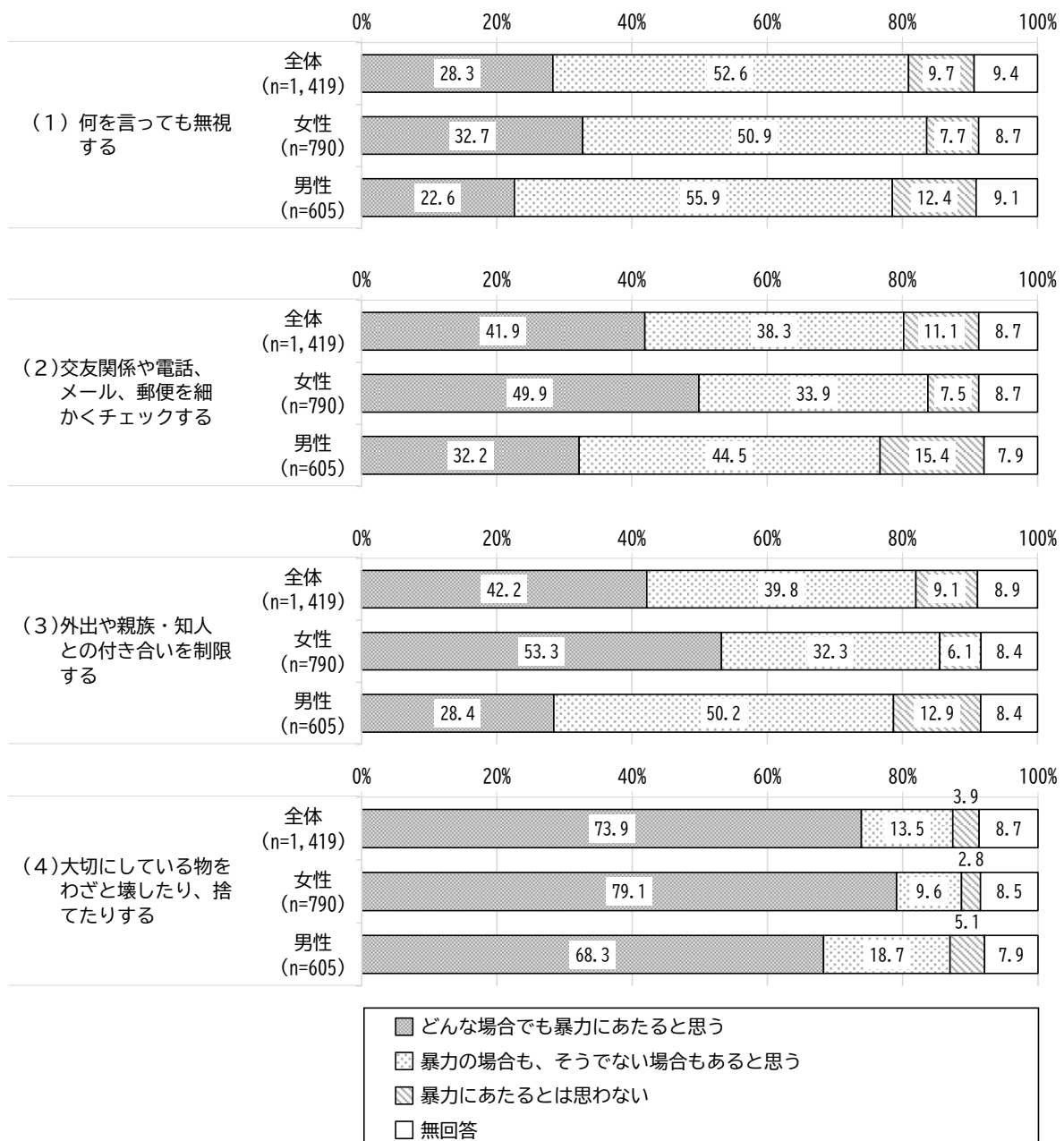
【クロス集計】

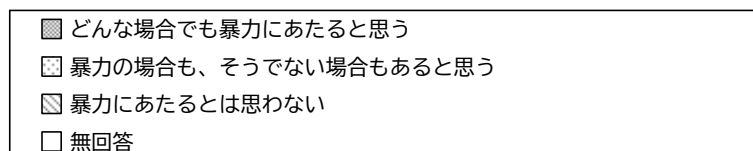
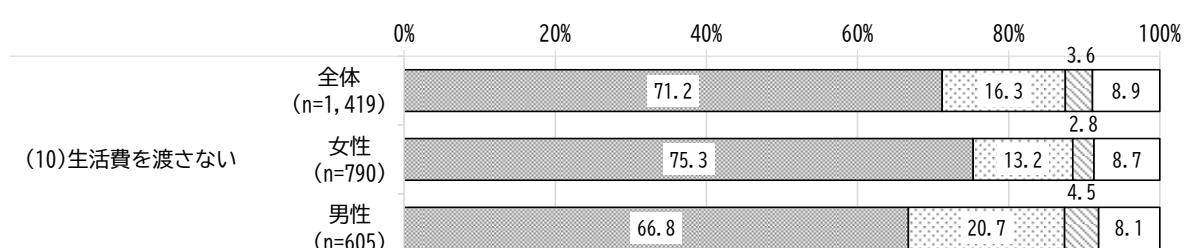
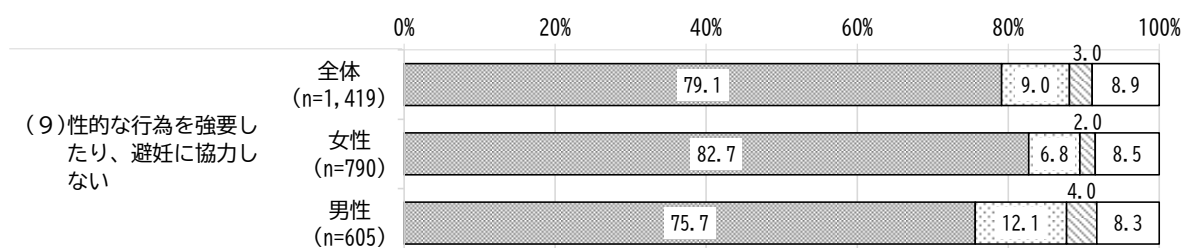
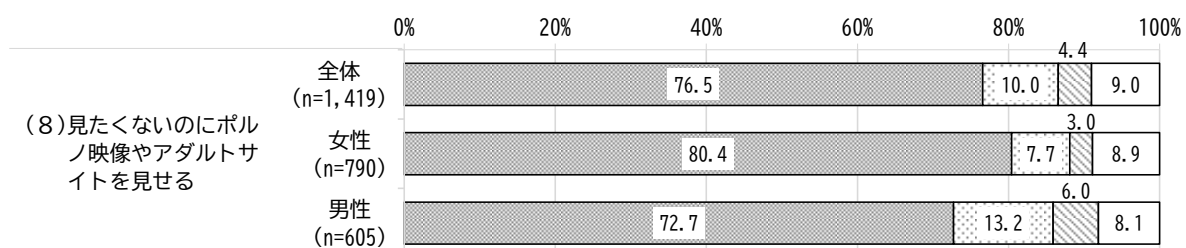
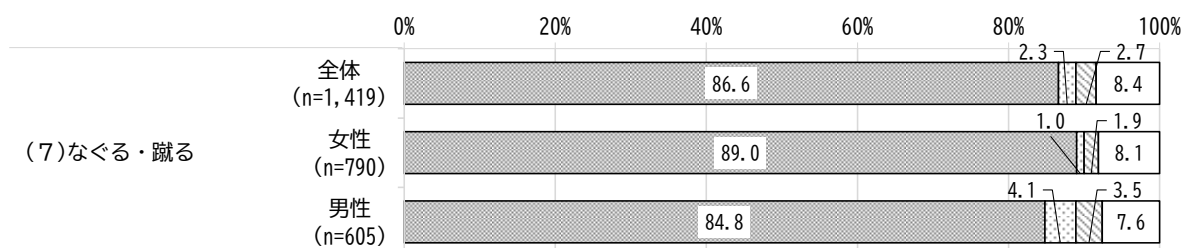
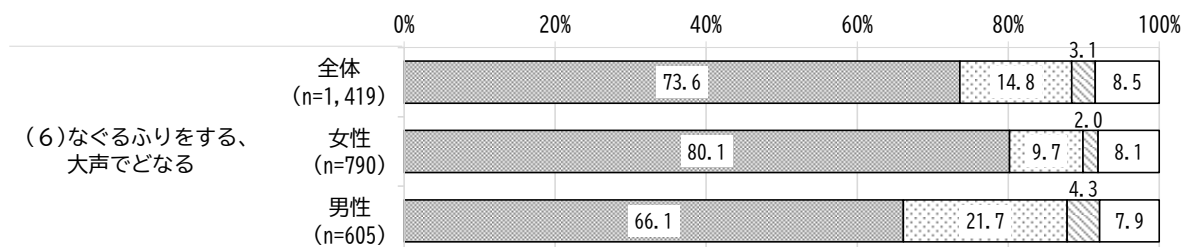
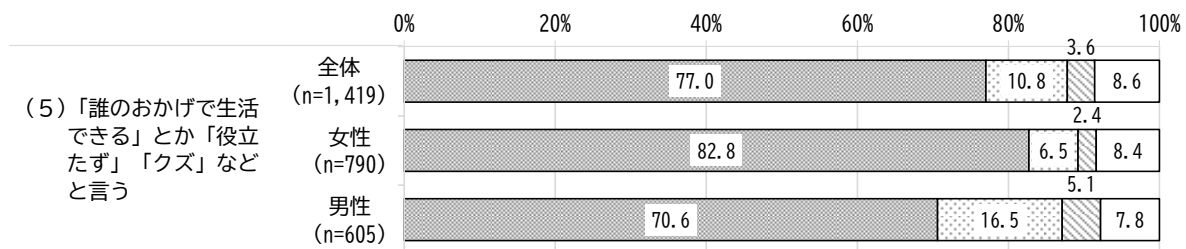
		回答者 総数(n)	この ところ で思っ たほ など	相 談す るほ など	と 思っ たが あ るい	自 分 に も 悪 い	駄 目 だ と 思 っ た 無	相 談 し て も 無	や っ つ て い け ば	我 慢 す れ ば	な か つ た	家 族 ・ 知 人 を	い な か つ た 人 が	そ の 他	無 回 答	
全体		166	44.0	30.7	32.5	30.7	8.4	15.1	10.8	2.4						
性別	女性	106	42.5	34.9	27.4	29.2	10.4	16.0	12.3	2.8						
	男性	59	45.8	23.7	42.4	33.9	5.1	13.6	8.5	1.7						
	女性、男性以外	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
性・ 年代別	女性	18～19歳	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0					
		20～29歳	6	50.0	50.0	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0					
		30～39歳	17	41.2	70.6	23.5	35.3	11.8	17.6	23.5	0.0					
		40～49歳	27	40.7	51.9	33.3	37.0	7.4	11.1	11.1	0.0					
		50～59歳	22	54.5	9.1	18.2	18.2	13.6	22.7	13.6	0.0					
		60～69歳	14	35.7	7.1	35.7	28.6	7.1	7.1	21.4	0.0					
		70～79歳	12	41.7	41.7	41.7	25.0	8.3	25.0	0.0	0.0					
	80歳以上	3	33.3	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0						
	男性	18～19歳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
		20～29歳	5	60.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
		30～39歳	6	50.0	0.0	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0					
		40～49歳	13	46.2	30.8	46.2	23.1	0.0	7.7	15.4	0.0					
		50～59歳	11	63.6	36.4	45.5	45.5	18.2	27.3	9.1	0.0					
		60～69歳	6	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
70～79歳		11	45.5	27.3	45.5	45.5	9.1	27.3	9.1	0.0						
80歳以上	5	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0							

問 20 パートナー間で次のようなことが行われた場合、あなたはそれを暴力だと思いますか。次の(1)～(10)について、それぞれ選んでください。(○は1つつ)

全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」について、「(7) なぐる・蹴る」が 86.6%と最も高く、次いで「(9) 性的な行為を強要したり、避妊に協力しない」が 79.1%、「(5) 「誰のおかげで生活できる」とか「役立たず」「クズ」などと言う」が 77.0%となっている。

性別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」について、女性、男性ともに「(7) なぐる・蹴る」が最も多く、それぞれ 89.0%、84.8%となっている。また、「誰のおかげで生活できる」とか「役立たず」「クズ」などと言う、「大切にしている物をわざと壊したり、捨てたりする」について、いずれも女性の方が 10 ポイント以上、その割合が高い。さらに「外出や親族・知人との付き合いを制限する」は、女性 53.3%で男性よりも 24.9 ポイント高く、性別により暴力の認識に違いが見られる。特に「交友関係や電話等のチェック」や「外出や親族・知人との付き合いの制限」などの社会的暴力については、性別による認識の違いが大きくなっている。





【クロス集計】

「(1) 何を言っても無視する」

		回答者 総数(n)	あ ど ん な 場 合 で も 暴 力 に あ た る と 思 う	暴 力 の 場 合 も 、 そ う で な い	暴 力 に あ た る と は 思 わ な い	無 回 答	
全体		1419	28.3	52.6	9.7	9.4	
性別	女性	790	32.7	50.9	7.7	8.7	
	男性	605	22.6	55.9	12.4	9.1	
	女性、男性以外	5	40.0	20.0	20.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	25.0	60.0	15.0	0.0	
	20～29歳	128	27.3	59.4	10.2	3.1	
	30～39歳	180	23.9	59.4	13.9	2.8	
	40～49歳	271	28.4	60.5	5.9	5.2	
	50～59歳	256	29.7	57.8	9.0	3.5	
	60～69歳	215	35.3	47.4	9.3	7.9	
	70～79歳	222	29.7	45.5	10.4	14.4	
	80歳以上	121	19.8	28.1	11.6	40.5	
性・年代別	女性	18～19歳	10	20.0	70.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	26.7	60.0	8.0	5.3
		30～39歳	97	25.8	58.8	13.4	2.1
		40～49歳	159	35.8	57.9	3.8	2.5
		50～59歳	147	34.0	55.1	9.5	1.4
		60～69歳	121	41.3	45.5	6.6	6.6
		70～79歳	112	32.1	43.8	5.4	18.8
		80歳以上	68	26.5	22.1	10.3	41.2
	男性	18～19歳	10	30.0	50.0	20.0	0.0
		20～29歳	49	26.5	61.2	12.2	0.0
		30～39歳	82	22.0	59.8	14.6	3.7
		40～49歳	110	16.4	65.5	9.1	9.1
		50～59歳	109	23.9	61.5	8.3	6.4
		60～69歳	92	27.2	50.0	13.0	9.8
		70～79歳	107	27.1	47.7	15.9	9.3
		80歳以上	46	10.9	39.1	15.2	34.8
暴力を受けた経験	暴力を受けたことがある	349	31.5	56.7	6.0	5.7	
	暴力を受けたことはない	1070	27.3	51.3	10.8	10.6	

「(2) 交友関係や電話、メール、郵便を細かくチェックする」

		回答者 総数(n)	あ ど ん な 場 合 で も 暴 力 に あ た る と 思 う	暴 力 の 場 合 も 、 そ う で な い	暴 力 に あ た る と は 思 わ な い	無 回 答	
全体		1419	41.9	38.3	11.1	8.7	
性別	女性	790	49.9	33.9	7.5	8.7	
	男性	605	32.2	44.5	15.4	7.9	
	女性、男性以外	5	40.0	20.0	20.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	15.0	55.0	30.0	0.0	
	20～29歳	128	35.2	47.7	14.8	2.3	
	30～39歳	180	32.8	52.8	12.2	2.2	
	40～49歳	271	45.4	41.0	8.9	4.8	
	50～59歳	256	45.7	40.6	10.9	2.7	
	60～69歳	215	54.4	29.8	8.8	7.0	
	70～79歳	222	43.2	31.1	10.8	14.9	
	80歳以上	121	28.9	21.5	11.6	38.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	30.0	40.0	30.0	0.0
		20～29歳	75	40.0	44.0	12.0	4.0
		30～39歳	97	35.1	52.6	10.3	2.1
		40～49歳	159	52.2	39.0	5.7	3.1
		50～59歳	147	54.4	36.7	7.5	1.4
		60～69歳	121	67.8	20.7	5.8	5.8
		70～79歳	112	49.1	25.0	5.4	20.5
		80歳以上	68	39.7	14.7	5.9	39.7
	男性	18～19歳	10	0.0	70.0	30.0	0.0
		20～29歳	49	28.6	55.1	16.3	0.0
		30～39歳	82	30.5	52.4	14.6	2.4
		40～49歳	110	34.5	44.5	13.6	7.3
		50～59歳	109	33.9	45.9	15.6	4.6
		60～69歳	92	37.0	41.3	13.0	8.7
		70～79歳	107	37.4	37.4	16.8	8.4
		80歳以上	46	15.2	32.6	17.4	34.8
暴力を受けた経験	暴力を受けたことがある	349	48.7	39.5	6.9	4.9	
	暴力を受けたことはない	1070	39.7	37.9	12.4	10.0	

「(3) 外出や親族・知人との付き合いを制限する」

		回答者 総数(n)	あ ど ん な 場 合 で も 暴 力 に あ た る と 思 う	暴 力 の 場 合 も 、 そ う で な い	暴 力 に あ た る と は 思 わ な い	無 回 答	
全体		1419	42.2	39.8	9.1	8.9	
性別	女性	790	53.3	32.3	6.1	8.4	
	男性	605	28.4	50.2	12.9	8.4	
	女性、男性以外	5	40.0	20.0	20.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	25.0	60.0	15.0	0.0	
	20～29歳	128	42.2	46.1	9.4	2.3	
	30～39歳	180	35.6	52.2	9.4	2.8	
	40～49歳	271	45.8	42.4	7.4	4.4	
	50～59歳	256	45.7	43.0	8.6	2.7	
	60～69歳	215	48.8	34.9	8.8	7.4	
	70～79歳	222	44.6	30.2	11.3	14.0	
	80歳以上	121	24.8	26.4	8.3	40.5	
性・年代別	女性	18～19歳	10	40.0	50.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	52.0	34.7	9.3	4.0
		30～39歳	97	41.2	47.4	9.3	2.1
		40～49歳	159	57.9	35.2	4.4	2.5
		50～59歳	147	55.8	36.1	6.8	1.4
		60～69歳	121	63.6	25.6	5.0	5.8
		70～79歳	112	55.4	20.5	5.4	18.8
		80歳以上	68	36.8	20.6	2.9	39.7
	男性	18～19歳	10	10.0	70.0	20.0	0.0
		20～29歳	49	28.6	65.3	6.1	0.0
		30～39歳	82	28.0	58.5	9.8	3.7
		40～49歳	110	28.2	52.7	11.8	7.3
		50～59歳	109	32.1	52.3	11.0	4.6
		60～69歳	92	29.3	46.7	14.1	9.8
		70～79歳	107	33.6	40.2	17.8	8.4
		80歳以上	46	10.9	34.8	17.4	37.0
暴力を受けた経験	暴力を受けたことがある	349	50.4	37.2	7.2	5.2	
	暴力を受けたことはない	1070	39.5	40.7	9.7	10.1	

「(4) 大切にしている物をわざと壊したり、捨てたりする」

		回答者 総数(n)	あ ど ん な 場 合 で も 暴 力 に あ た る と 思 う	暴 力 の 場 合 も 、 そ う で な い	暴 力 に あ た る と は 思 わ な い	無 回 答	
全体		1419	73.9	13.5	3.9	8.7	
性別	女性	790	79.1	9.6	2.8	8.5	
	男性	605	68.3	18.7	5.1	7.9	
	女性、男性以外	5	60.0	0.0	20.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	85.0	10.0	5.0	0.0	
	20～29歳	128	84.4	8.6	4.7	2.3	
	30～39歳	180	82.8	11.1	3.9	2.2	
	40～49歳	271	81.9	11.1	3.0	4.1	
	50～59歳	256	78.9	14.5	3.5	3.1	
	60～69歳	215	72.1	16.3	4.7	7.0	
	70～79歳	222	64.0	16.7	4.5	14.9	
	80歳以上	121	43.0	14.9	3.3	38.8	
性・年代別	女性	18～19歳	10	80.0	10.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	89.3	5.3	1.3	4.0
		30～39歳	97	85.6	9.3	3.1	2.1
		40～49歳	159	88.1	7.5	1.9	2.5
		50～59歳	147	83.0	10.9	4.1	2.0
		60～69歳	121	80.2	11.6	2.5	5.8
		70～79歳	112	65.2	10.7	4.5	19.6
		80歳以上	68	50.0	11.8	0.0	38.2
	男性	18～19歳	10	90.0	10.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	79.6	14.3	6.1	0.0
		30～39歳	82	79.3	13.4	4.9	2.4
		40～49歳	110	72.7	16.4	4.5	6.4
		50～59歳	109	73.4	19.3	2.8	4.6
		60～69歳	92	62.0	21.7	7.6	8.7
		70～79歳	107	62.6	23.4	4.7	9.3
		80歳以上	46	34.8	21.7	8.7	34.8
暴力を受けた経験	暴力を受けたことがある	349	77.9	13.5	3.2	5.4	
	暴力を受けたことはない	1070	72.6	13.5	4.1	9.8	

【クロス集計】

「(5) 「誰のおかげで生活できる」とか「役立たず」「クズ」などと言う」

		回答者 総数(n)	あ ど ん な 場 合 で も 暴 力 に あ た る と 思 う	暴 力 の 場 合 も 、 そ う で な い	暴 力 に あ た る と は 思 わ な い	無 回 答	
全体		1419	77.0	10.8	3.6	8.6	
性別	女性	790	82.8	6.5	2.4	8.4	
	男性	605	70.6	16.5	5.1	7.8	
	女性、男性以外	5	60.0	20.0	0.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	90.0	5.0	5.0	0.0	
	20～29歳	128	91.4	3.9	2.3	2.3	
	30～39歳	180	86.7	6.7	4.4	2.2	
	40～49歳	271	87.1	5.9	3.0	4.1	
	50～59歳	256	79.3	14.5	2.7	3.5	
	60～69歳	215	77.7	12.1	3.7	6.5	
	70～79歳	222	65.8	14.9	5.4	14.0	
	80歳以上	121	38.8	19.0	3.3	38.8	
性・年代別	女性	18～19歳	10	90.0	0.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	93.3	1.3	1.3	4.0
		30～39歳	97	88.7	6.2	3.1	2.1
		40～49歳	159	94.3	1.3	1.9	2.5
		50～59歳	147	85.7	10.2	2.0	2.0
		60～69歳	121	86.0	6.6	1.7	5.8
		70～79歳	112	67.0	9.8	4.5	18.8
		80歳以上	68	48.5	11.8	1.5	38.2
	男性	18～19歳	10	90.0	10.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	91.8	6.1	2.0	0.0
		30～39歳	82	84.1	7.3	6.1	2.4
		40～49歳	110	76.4	12.7	4.5	6.4
		50～59歳	109	70.6	20.2	3.7	5.5
		60～69歳	92	66.3	19.6	6.5	7.6
		70～79歳	107	64.5	20.6	6.5	8.4
		80歳以上	46	28.3	30.4	6.5	34.8
暴力を受けた経験	暴力を受けたことがある	349	81.4	11.2	2.6	4.9	
	暴力を受けたことはない	1070	75.6	10.7	3.9	9.8	

「(6) なぐるふりをする、大声でどなる」

		回答者 総数(n)	あ ど ん な 場 合 で も 暴 力 に あ た る と 思 う	暴 力 の 場 合 も 、 そ う で な い	暴 力 に あ た る と は 思 わ な い	無 回 答	
全体		1419	73.6	14.8	3.1	8.5	
性別	女性	790	80.1	9.7	2.0	8.1	
	男性	605	66.1	21.7	4.3	7.9	
	女性、男性以外	5	60.0	0.0	20.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	85.0	10.0	5.0	0.0	
	20～29歳	128	85.2	10.2	2.3	2.3	
	30～39歳	180	85.6	8.9	3.3	2.2	
	40～49歳	271	81.2	11.4	3.3	4.1	
	50～59歳	256	81.3	14.1	2.0	2.7	
	60～69歳	215	72.1	17.2	3.3	7.4	
	70～79歳	222	59.5	21.6	4.5	14.4	
	80歳以上	121	38.8	22.3	1.7	37.2	
性・年代別	女性	18～19歳	10	90.0	0.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	89.3	5.3	1.3	4.0
		30～39歳	97	89.7	6.2	2.1	2.1
		40～49歳	159	91.2	4.4	1.9	2.5
		50～59歳	147	87.8	9.5	1.4	1.4
		60～69歳	121	77.7	14.9	1.7	5.8
		70～79歳	112	59.8	17.9	3.6	18.8
		80歳以上	68	50.0	11.8	1.5	36.8
	男性	18～19歳	10	80.0	20.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	81.6	16.3	2.0	0.0
		30～39歳	82	80.5	12.2	4.9	2.4
		40～49歳	110	66.4	21.8	5.5	6.4
		50～59歳	109	72.5	20.2	2.8	4.6
		60～69歳	92	64.1	20.7	5.4	9.8
		70～79歳	107	58.9	26.2	5.6	9.3
		80歳以上	46	26.1	39.1	2.2	32.6
暴力を受けた経験	暴力を受けたことがある	349	77.7	14.9	2.9	4.6	
	暴力を受けたことはない	1070	72.2	14.8	3.2	9.8	

「(7) なぐる・蹴る」

		回答者 総数(n)	あ ど ん な 場 合 で も 暴 力 に あ た る と 思 う	暴 力 の 場 合 も 、 そ う で な い	暴 力 に あ た る と は 思 わ な い	無 回 答	
全体		1419	86.6	2.3	2.7	8.4	
性別	女性	790	89.0	1.0	1.9	8.1	
	男性	605	84.8	4.1	3.5	7.6	
	女性、男性以外	5	60.0	0.0	20.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	95.0	0.0	5.0	0.0	
	20～29歳	128	93.8	0.8	3.1	2.3	
	30～39歳	180	92.8	3.3	1.7	2.2	
	40～49歳	271	91.9	1.1	3.0	4.1	
	50～59歳	256	93.8	2.3	1.6	2.3	
	60～69歳	215	86.5	2.3	4.2	7.0	
	70～79歳	222	80.2	2.7	3.2	14.0	
	80歳以上	121	55.4	5.0	1.7	38.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	90.0	0.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	94.7	0.0	1.3	4.0
		30～39歳	97	96.9	0.0	1.0	2.1
		40～49歳	159	95.6	0.6	1.3	2.5
		50～59歳	147	95.9	1.4	1.4	1.4
		60～69歳	121	90.9	0.8	2.5	5.8
		70～79歳	112	75.0	1.8	4.5	18.8
		80歳以上	68	60.3	2.9	0.0	36.8
	男性	18～19歳	10	100.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	95.9	2.0	2.0	0.0
		30～39歳	82	87.8	7.3	2.4	2.4
		40～49歳	110	86.4	1.8	5.5	6.4
		50～59歳	109	90.8	3.7	1.8	3.7
		60～69歳	92	80.4	4.3	6.5	8.7
		70～79歳	107	86.0	3.7	1.9	8.4
		80歳以上	46	52.2	8.7	4.3	34.8
暴力を受けた経験	暴力を受けたことがある	349	90.5	2.0	2.3	5.2	
	暴力を受けたことはない	1070	85.3	2.4	2.8	9.4	

「(8) 見たくないのにポルノ映像やアダルトサイトを見せる」

		回答者 総数(n)	あ ど ん な 場 合 で も 暴 力 に あ た る と 思 う	暴 力 の 場 合 も 、 そ う で な い	暴 力 に あ た る と は 思 わ な い	無 回 答	
全体		1419	76.5	10.0	4.4	9.0	
性別	女性	790	80.4	7.7	3.0	8.9	
	男性	605	72.7	13.2	6.0	8.1	
	女性、男性以外	5	60.0	0.0	20.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	85.0	10.0	5.0	0.0	
	20～29歳	128	82.0	9.4	5.5	3.1	
	30～39歳	180	83.3	10.6	3.9	2.2	
	40～49歳	271	82.3	10.3	3.3	4.1	
	50～59歳	256	83.2	10.2	3.1	3.5	
	60～69歳	215	77.7	9.8	5.6	7.0	
	70～79歳	222	71.2	8.6	4.5	15.8	
	80歳以上	121	42.1	12.4	6.6	38.8	
性・年代別	女性	18～19歳	10	90.0	0.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	85.3	5.3	4.0	5.3
		30～39歳	97	85.6	9.3	3.1	2.1
		40～49歳	159	87.4	8.8	1.3	2.5
		50～59歳	147	85.0	8.8	3.4	2.7
		60～69歳	121	86.0	5.8	2.5	5.8
		70～79歳	112	67.9	7.1	4.5	20.5
		80歳以上	68	50.0	8.8	2.9	38.2
	男性	18～19歳	10	80.0	20.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	79.6	16.3	4.1	0.0
		30～39歳	82	80.5	12.2	4.9	2.4
		40～49歳	110	74.5	12.7	6.4	6.4
		50～59歳	109	80.7	11.9	2.8	4.6
		60～69歳	92	66.3	15.2	9.8	8.7
		70～79歳	107	74.8	10.3	4.7	10.3
		80歳以上	46	34.8	17.4	13.0	34.8
暴力を受けた経験	暴力を受けたことがある	349	81.1	9.7	3.7	5.4	
	暴力を受けたことはない	1070	75.0	10.1	4.7	10.2	

【クロス集計】

「(9) 性的な行為を強要したり、避妊に協力しない」

「(10) 生活費を渡さない」

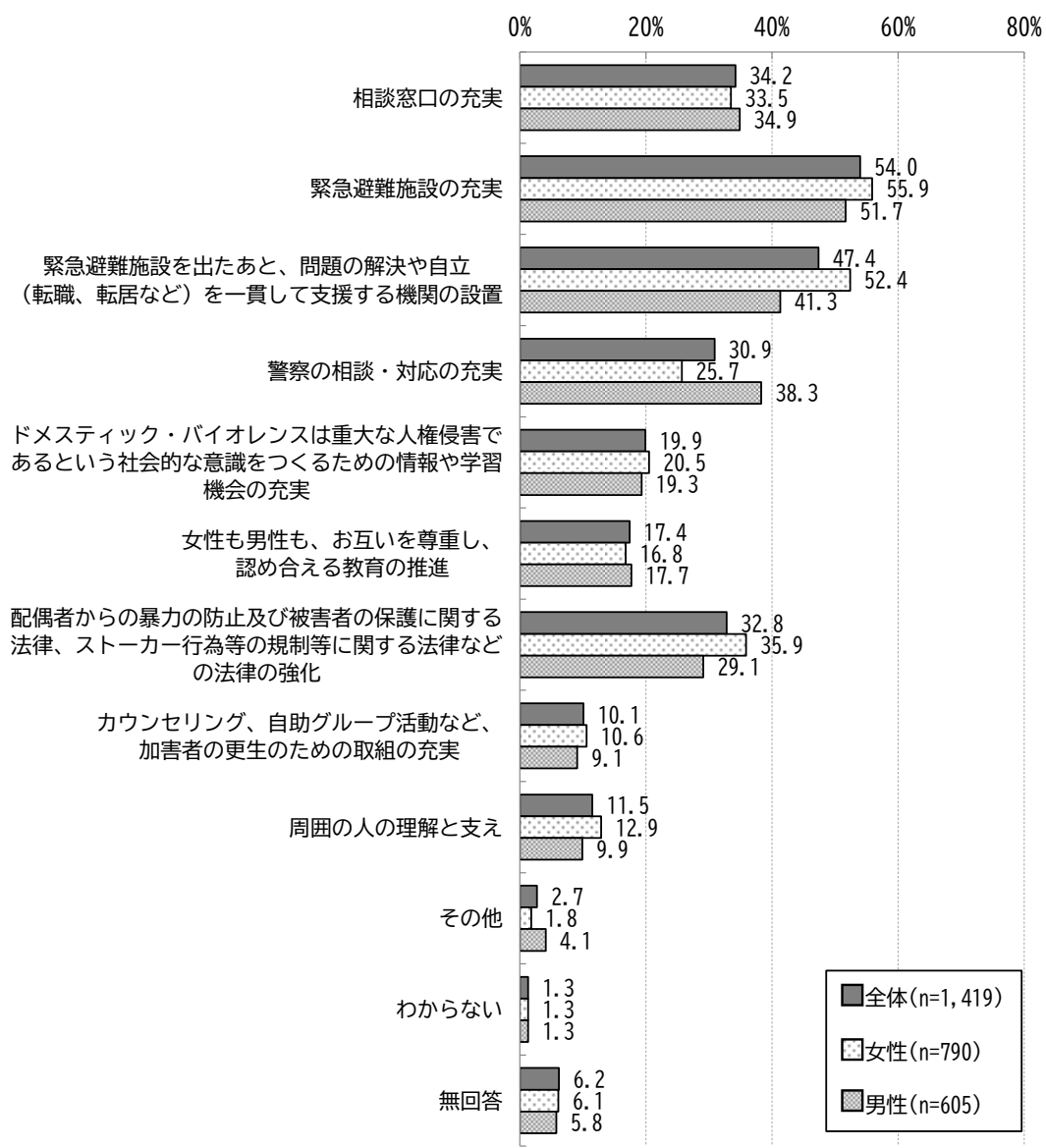
		回答者 総数(n)	あ ど ん な 場 合 で も 暴 力 に あ た る と 思 う	暴 力 の 場 合 も 、 そ う で な い 場 合 も あ る と 思 う	暴 力 に あ た る と は 思 わ ない	無 回 答	
全体		1419	79.1	9.0	3.0	8.9	
性別	女性	790	82.7	6.8	2.0	8.5	
	男性	605	75.7	12.1	4.0	8.3	
	女性、男性以外	5	40.0	20.0	20.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	90.0	5.0	5.0	0.0	
	20～29歳	128	90.6	3.1	3.9	2.3	
	30～39歳	180	85.6	10.0	2.2	2.2	
	40～49歳	271	86.0	7.0	3.0	4.1	
	50～59歳	256	84.0	10.9	1.6	3.5	
	60～69歳	215	80.5	9.3	3.3	7.0	
	70～79歳	222	71.2	9.9	3.6	15.3	
	80歳以上	121	43.0	13.2	5.0	38.8	
性・年代別	女性	18～19歳	10	90.0	0.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	93.3	1.3	1.3	4.0
		30～39歳	97	87.6	9.3	1.0	2.1
		40～49歳	159	90.6	5.7	1.3	2.5
		50～59歳	147	88.4	8.2	1.4	2.0
		60～69歳	121	86.0	5.8	2.5	5.8
		70～79歳	112	67.9	8.0	4.5	19.6
		80歳以上	68	50.0	10.3	1.5	38.2
	男性	18～19歳	10	90.0	10.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	89.8	6.1	4.1	0.0
		30～39歳	82	84.1	9.8	3.7	2.4
		40～49歳	110	79.1	9.1	5.5	6.4
		50～59歳	109	78.0	14.7	1.8	5.5
		60～69歳	92	72.8	14.1	4.3	8.7
		70～79歳	107	74.8	12.1	2.8	10.3
		80歳以上	46	37.0	19.6	8.7	34.8
暴力を受けた経験	暴力を受けたことがある	349	84.2	7.7	2.6	5.4	
	暴力を受けたことはない	1070	77.4	9.4	3.2	10.0	

		回答者 総数(n)	あ ど ん な 場 合 で も 暴 力 に あ た る と 思 う	暴 力 の 場 合 も 、 そ う で な い 場 合 も あ る と 思 う	暴 力 に あ た る と は 思 わ ない	無 回 答	
全体		1419	71.2	16.3	3.6	8.9	
性別	女性	790	75.3	13.2	2.8	8.7	
	男性	605	66.8	20.7	4.5	8.1	
	女性、男性以外	5	60.0	0.0	20.0	20.0	
年代別	18～19歳	20	55.0	40.0	5.0	0.0	
	20～29歳	128	65.6	27.3	3.9	3.1	
	30～39歳	180	71.7	23.3	2.8	2.2	
	40～49歳	271	78.6	14.0	3.3	4.1	
	50～59歳	256	77.7	15.6	3.5	3.1	
	60～69歳	215	77.2	11.2	4.2	7.4	
	70～79歳	222	68.0	13.5	3.2	15.3	
	80歳以上	121	45.5	11.6	4.1	38.8	
性・年代別	女性	18～19歳	10	60.0	30.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	68.0	22.7	4.0	5.3
		30～39歳	97	74.2	21.6	2.1	2.1
		40～49歳	159	86.2	9.4	1.9	2.5
		50～59歳	147	81.0	12.9	4.1	2.0
		60～69歳	121	82.6	9.1	1.7	6.6
		70～79歳	112	66.1	10.7	3.6	19.6
		80歳以上	68	51.5	8.8	1.5	38.2
	男性	18～19歳	10	50.0	50.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	63.3	34.7	2.0	0.0
		30～39歳	82	68.3	25.6	3.7	2.4
		40～49歳	110	67.3	20.9	5.5	6.4
		50～59歳	109	73.4	19.3	2.8	4.6
		60～69歳	92	69.6	14.1	7.6	8.7
		70～79歳	107	70.1	16.8	2.8	10.3
		80歳以上	46	41.3	15.2	8.7	34.8
暴力を受けた経験	暴力を受けたことがある	349	73.6	18.6	2.3	5.4	
	暴力を受けたことはない	1070	70.4	15.5	4.0	10.1	

問 21 ドメスティック・バイオレンスをなくすためにはどのような対策が必要だと思いますか。また、発生した場合に、被害者の安全を確保して早期に解決するために、特にどのような対応が有効だと思いますか。(〇は3つまで)

全体では、「緊急避難施設（暴力をふるった相手から一時的に逃げ、暴力を回避するための施設）の充実」が54.0%と最も高く、次いで「緊急避難施設を出たあと、問題の解決や自立（転職、転居など）を一貫して支援する機関の設置」が47.4%、「相談窓口の充実」が34.2%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「緊急避難施設（暴力をふるった相手から一時的に逃げ、暴力を回避するための施設）の充実」が最も多く、それぞれ55.9%、51.7%となっており、性別にかかわらず回答が多い。女性では、「緊急避難施設を出たあと、問題の解決や自立（転職、転居など）を一貫して支援する機関の設置」も多く、男性より11.1ポイント高い。男性では「警察の相談・対応の充実」も38.3%と多く、女性よりも12.6ポイント高い。



【クロス集計】

		回答者 総数(n)	相談 窓口の 充実	緊急 避難 施設の 充実	自立 (転職、 転居 など) を一 貫し て支 援	警察 の相 談・ 対 応の 充 実	く る た め の 情 報 や 学 習 機 会 の 充 実	ド メ ス テ イ ツ ク ・ バ イ オ レ ン ス は 重 大 な 人 権 侵 害 で あ る と い う 社 会 的 な 意 識 を つ く る た め の 情 報 や 学 習 機 会 の 充 実	え る 教 育 の 推 進	女 性 も 男 性 も、 お 互 い を 尊 重 し、 認 め 合 え る 教 育 の 推 進	制 等 に 関 する 法 律 な ど の 法 律 の 強 化	配 偶 者 か ら の 暴 力 の 防 止 及 び 被 害 者 の 規 保	ど、 カ ウ ン セ リ ン グ、 自 助 グ ル ー プ 活 動 な ど、 加 害 者 の 更 生 の た め の 取 組 の 充 実	周 圍 の 人 の 理 解 と 支 え	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体		1419	34.2	54.0	47.4	30.9	19.9	17.4	32.8	10.1	11.5	2.7	1.3	6.2			
性別	女性	790	33.5	55.9	52.4	25.7	20.5	16.8	35.9	10.6	12.9	1.8	1.3	6.1			
	男性	605	34.9	51.7	41.3	38.3	19.3	17.7	29.1	9.1	9.9	4.1	1.3	5.8			
	女性、男性以外	5	80.0	20.0	40.0	20.0	0.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0			
性・ 年 代 別	女性	18～19歳	10	40.0	60.0	30.0	40.0	30.0	20.0	40.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0		
		20～29歳	75	21.3	57.3	56.0	33.3	21.3	18.7	46.7	6.7	16.0	2.7	1.3	2.7		
		30～39歳	97	25.8	58.8	58.8	45.4	19.6	16.5	41.2	10.3	8.2	1.0	0.0	2.1		
		40～49歳	159	30.8	57.2	50.9	32.1	25.2	17.0	34.0	12.6	16.4	2.5	0.6	1.9		
		50～59歳	147	38.1	68.0	64.6	22.4	19.7	8.8	32.7	8.8	10.2	2.7	1.4	2.0		
		60～69歳	121	32.2	61.2	54.5	19.8	18.2	14.9	38.8	14.0	12.4	1.7	1.7	5.8		
		70～79歳	112	42.0	44.6	44.6	14.3	17.9	17.9	34.8	8.9	15.2	0.9	1.8	13.4		
	80歳以上	68	41.2	30.9	29.4	8.8	17.6	33.8	23.5	11.8	10.3	0.0	2.9	23.5			
	男性	18～19歳	10	20.0	30.0	20.0	50.0	10.0	40.0	30.0	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0		
		20～29歳	49	34.7	65.3	40.8	32.7	18.4	18.4	34.7	4.1	6.1	6.1	2.0	0.0		
		30～39歳	82	23.2	48.8	42.7	43.9	14.6	15.9	28.0	8.5	13.4	7.3	2.4	2.4		
		40～49歳	110	31.8	52.7	39.1	47.3	21.8	20.0	27.3	5.5	12.7	6.4	0.9	4.5		
		50～59歳	109	33.9	52.3	40.4	39.4	15.6	15.6	35.8	10.1	10.1	5.5	1.8	3.7		
		60～69歳	92	34.8	54.3	48.9	34.8	16.3	12.0	31.5	17.4	9.8	1.1	0.0	7.6		
70～79歳		107	43.0	52.3	43.9	30.8	30.8	18.7	27.1	9.3	5.6	0.9	1.9	5.6			
80歳以上	46	50.0	37.0	30.4	32.6	13.0	23.9	13.0	6.5	8.7	0.0	0.0	23.9				
DVを 受 け た 経 験	暴力を受けたことがある	235	34.9	48.5	49.8	26.8	28.9	24.3	30.2	10.2	12.8	2.6	0.9	4.3			
	暴力を受けたことはない	1184	34.0	55.1	46.9	31.8	18.1	16.0	33.3	10.1	11.2	2.8	1.4	6.6			

【経年比較】

平成 22 年度調査と比較すると、「緊急避難施設の充実」が高くなっているのは同様であるが、「相談窓口の充実」「周囲の人の理解と支え」は性別を問わず 15 ポイント程度減少している。

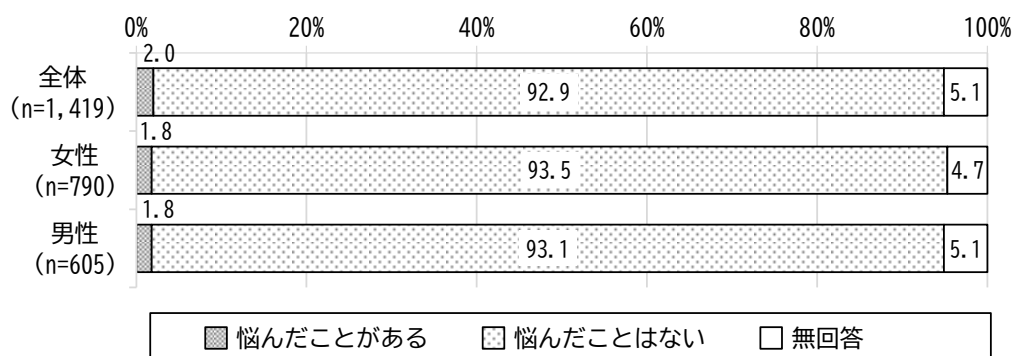
		回答者 総数(n)	相談 窓口の 充実	緊急 避難 施設の 充実	自立 (転職、 転居 など) を一 貫し て支 援	警察 の相 談・ 対 応の 充 実	く る た め の 情 報 や 学 習 機 会 の 充 実	ド メ ス テ イ ツ ク ・ バ イ オ レ ン ス は 重 大 な 人 権 侵 害 で あ る と い う 社 会 的 な 意 識 を つ く る た め の 情 報 や 学 習 機 会 の 充 実	え る 教 育 の 推 進	女 性 も 男 性 も、 お 互 い を 尊 重 し、 認 め 合 え る 教 育 の 推 進	制 等 に 関 する 法 律 な ど の 法 律 の 強 化	配 偶 者 か ら の 暴 力 の 防 止 及 び 被 害 者 の 規 保	ど、 カ ウ ン セ リ ン グ、 自 助 グ ル ー プ 活 動 な ど、 加 害 者 の 更 生 の た め の 取 組 の 充 実	周 圍 の 人 の 理 解 と 支 え	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
令和2年度	全体	1419	34.2	54.0	47.4	30.9	19.9	17.4	32.8	10.1	11.5	2.7	1.3	6.2			
	女性	790	33.5	55.9	52.4	25.7	20.5	16.8	35.9	10.6	12.9	1.8	1.3	6.1			
	男性	605	34.9	51.7	41.3	38.3	19.3	17.7	29.1	9.1	9.9	4.1	1.3	5.8			
平成22年度	全体	1080	50.9	59.0	49.8	47.2	29.3	26.5	38.6	19.6	30.7	1.5	1.7	3.0			
	女性	610	48.2	60.5	53.9	41.8	30.0	28.5	41.1	23.0	35.2	1.6	1.5	2.6			
	男性	441	55.8	57.4	45.4	55.3	29.3	22.7	36.7	15.2	24.5	1.1	1.8	2.7			

9. 性的マイノリティについて

問 22 あなたは自分の性別に違和感を覚えたり、恋愛感情が同性に向かうなど、性について悩んだりしたことはありますか。(○は1つだけ)

全体では、「悩んだことがある」が2.0%、「悩んだことはない」が92.9%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「悩んだことはない」が最も多く、それぞれ93.5%、93.1%となっている。一方で「悩んだことがある」は、女性、男性ともに1.8%となっており、少数ではあるが、回答があった。



【クロス集計】

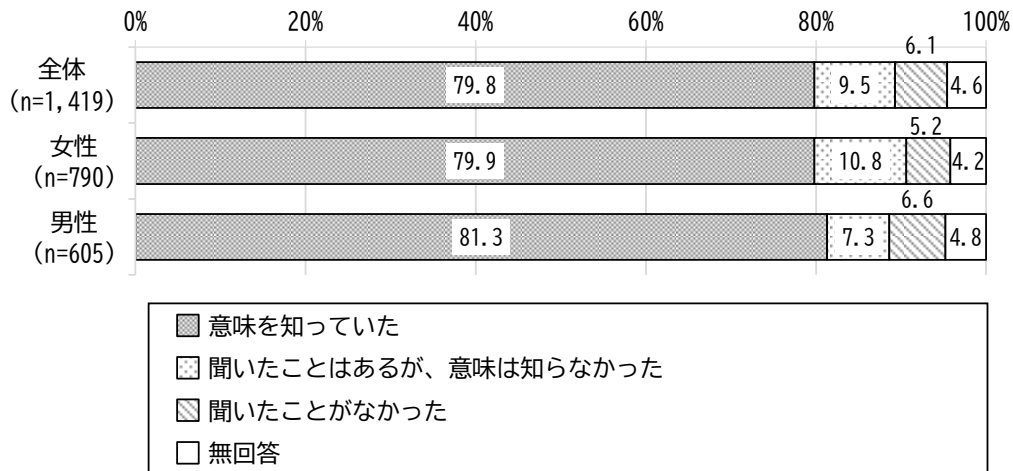
年代別にみると、「悩んだことはある」の回答について、40歳代以上は1%前後に留まるが、20歳代では7.8%、30歳代では4.4%、と若い年代ほど高い傾向にある。

		回答者 総数(n)	と悩 が あ だ る こ	と悩 は な い こ	無 回 答	
全体		1419	2.0	92.9	5.1	
性別	女性	790	1.8	93.5	4.7	
	男性	605	1.8	93.1	5.1	
	女性、男性以外	5	80.0	20.0	0.0	
年代別	18～19歳	20	5.0	95.0	0.0	
	20～29歳	128	7.8	92.2	0.0	
	30～39歳	180	4.4	93.3	2.2	
	40～49歳	271	1.1	95.9	3.0	
	50～59歳	256	1.2	97.7	1.2	
	60～69歳	215	0.0	95.3	4.7	
	70～79歳	222	1.4	91.0	7.7	
	80歳以上	121	0.8	76.9	22.3	
性・年代別	女性	18～19歳	10	10.0	90.0	0.0
		20～29歳	75	6.7	93.3	0.0
		30～39歳	97	4.1	93.8	2.1
		40～49歳	159	0.6	98.1	1.3
		50～59歳	147	1.4	98.6	0.0
		60～69歳	121	0.0	95.9	4.1
		70～79歳	112	0.0	87.5	12.5
		80歳以上	68	1.5	77.9	20.6
	男性	18～19歳	10	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	49	6.1	93.9	0.0
		30～39歳	82	3.7	93.9	2.4
		40～49歳	110	0.9	93.6	5.5
		50～59歳	109	0.9	96.3	2.8
		60～69歳	92	0.0	94.6	5.4
70～79歳	107	2.8	94.4	2.8		
80歳以上	46	0.0	73.9	26.1		

問 23 あなたは、「性的マイノリティ（又はセクシュアル・マイノリティ、LGBTなど）」という言葉を知っていましたか。（○は1つだけ）

全体では、「意味を知っていた」が79.8%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、意味は知らなかった」が9.5%、「聞いたことがなかった」が6.1%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「意味を知っていた」が最も多く、それぞれ79.9%、81.3%となっている。また、「聞いたことがなかった」は、女性5.2%、男性6.6%といずれも10%以下であり、**性の多様性について認知が浸透している**ことが伺える。



【クロス集計】

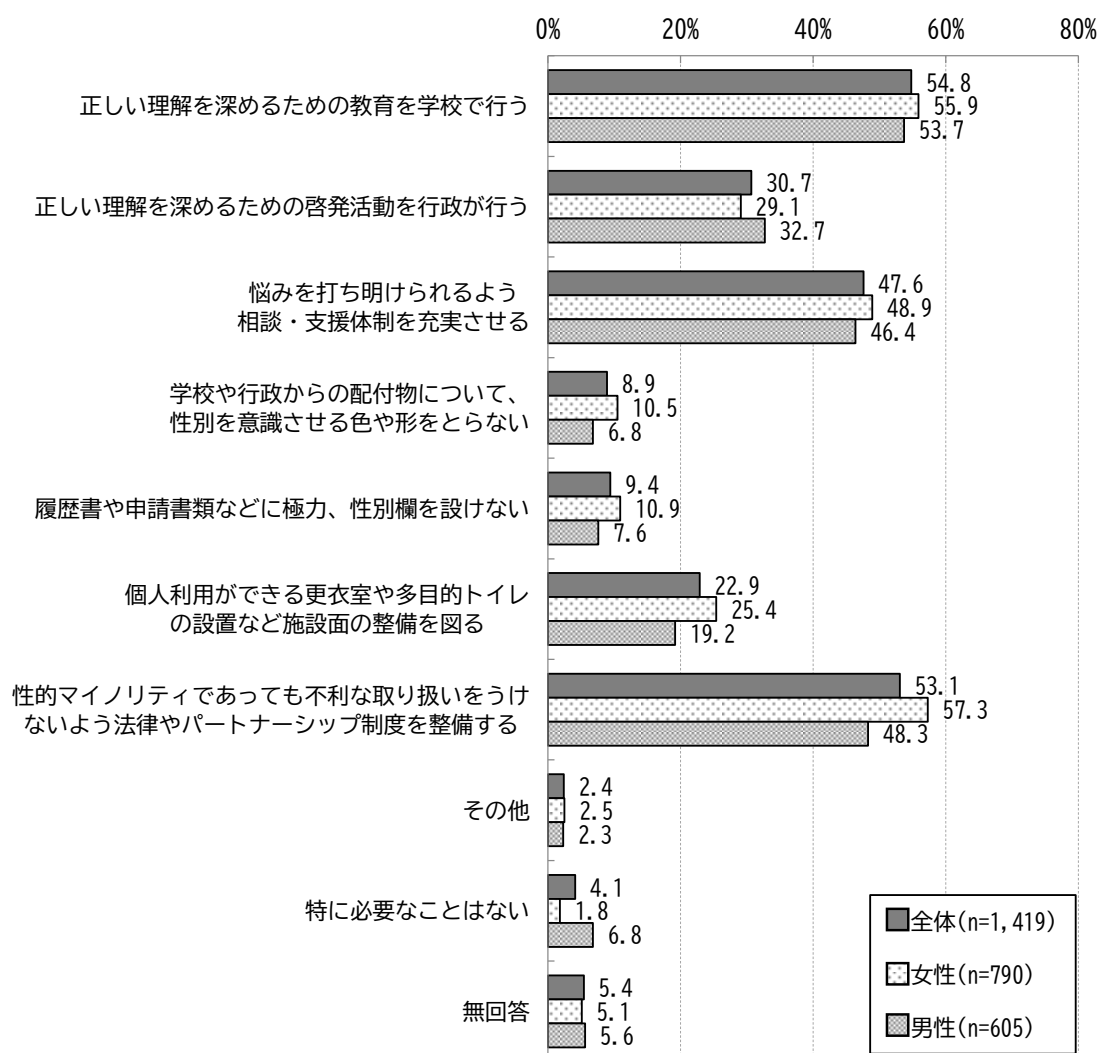
年代別にみると、「意味を知っていた」について、いずれの年代においても最も多くなっているが、60歳代以降、徐々にその割合は低下していく。

		回答者総数(n)	意味を知っていた	聞いたことがなかった	聞いたことはあるが、意味は知らなかった	無回答	
全体		1419	79.8	9.5	6.1	4.6	
性別	女性	790	79.9	10.8	5.2	4.2	
	男性	605	81.3	7.3	6.6	4.8	
	女性、男性以外	5	60.0	20.0	20.0	0.0	
年代別	18～19歳	20	90.0	10.0	0.0	0.0	
	20～29歳	128	89.8	4.7	5.5	0.0	
	30～39歳	180	87.2	8.3	2.2	2.2	
	40～49歳	271	87.8	7.0	2.6	2.6	
	50～59歳	256	88.3	7.0	3.5	1.2	
	60～69歳	215	78.6	10.2	6.5	4.7	
	70～79歳	222	69.4	15.3	8.6	6.8	
	80歳以上	121	43.8	15.7	20.7	19.8	
性・年代別	女性	18～19歳	10	80.0	20.0	0.0	0.0
		20～29歳	75	94.7	4.0	1.3	0.0
		30～39歳	97	90.7	6.2	1.0	2.1
		40～49歳	159	89.9	6.9	1.9	1.3
		50～59歳	147	86.4	10.2	3.4	0.0
		60～69歳	121	76.0	13.2	6.6	4.1
		70～79歳	112	62.5	20.5	6.3	10.7
	80歳以上	68	45.6	13.2	23.5	17.6	
	男性	18～19歳	10	100.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	85.7	4.1	10.2	0.0
		30～39歳	82	82.9	11.0	3.7	2.4
		40～49歳	110	84.5	7.3	3.6	4.5
		50～59歳	109	90.8	2.8	3.7	2.8
		60～69歳	92	82.6	5.4	6.5	5.4
70～79歳		107	77.6	9.3	10.3	2.8	
80歳以上	46	45.7	15.2	15.2	23.9		

問 24 あなたは性的マイノリティの人々の人権を守るために、特にどのような施策が必要だと思われますか。(〇は3つまで)

全体では、「正しい理解を深めるための教育を学校で行う」が 54.8%と最も高く、次いで「性的マイノリティであっても不利な取り扱いをうけないよう法律やパートナーシップ制度を整備する」が 53.1%、「悩みを打ち明けられるよう相談・支援体制を充実させる」が 47.6%となっている。

性別にみると、女性は「性的マイノリティであっても不利な取り扱いをうけないよう法律やパートナーシップ制度を整備する」が 57.3%、男性は「正しい理解を深めるための教育を学校で行う」が 53.7%とそれぞれ最も高くなっている。**性別にかかわらず、学校教育での理解促進を求める割合が高かった。**また、**法やパートナーシップ制度の整備については、男性でも 48.3%が回答しており、行政における体制整備を求める声大きいことが伺える。**



【クロス集計】

		回答者 総数(n)	校 正 し い 理 解 を 学 校 で 行 う	正 し い 理 解 を 行 う	悩 み を 打 ち 明 け ら れ る よ う 相 談 ・ 支 援 体 制 を 充 実 さ せ る	学 校 や 行 政 か ら の 配 付 物 に つ い て、 性 別 を 意 識 さ せ る 色 や 形 を と ら な い	履 歴 書 や 申 請 書 類 な ど に 極 力、 性 別 を 設 け な い	個 人 利 用 が で き る 更 衣 室 や 多 目 的 的 の 設 置 な ど 施 設 面 の 整 備 を 図 る	取 り 扱 い を う け な い よ う 法 律 や バ ー ナ ー シ ッ プ 制 度 を 整 備 す る	性 的 マ イ ノ リ テ ィ で あ つ て も 不 利 な な ら ず	そ の 他	特 に 必 要 な こ と は な い	無 回 答
全体		1419	54.8	30.7	47.6	8.9	9.4	22.9	53.1	2.4	4.1	5.4	
性 別	女性	790	55.9	29.1	48.9	10.5	10.9	25.4	57.3	2.5	1.8	5.1	
	男性	605	53.7	32.7	46.4	6.8	7.6	19.2	48.3	2.3	6.8	5.6	
	女性、男性以外	5	40.0	40.0	20.0	40.0	20.0	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	
性・ 年 代 別	女性	18～19歳	10	70.0	30.0	60.0	30.0	10.0	10.0	70.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	75	54.7	14.7	38.7	21.3	18.7	38.7	69.3	4.0	2.7	0.0
		30～39歳	97	68.0	33.0	40.2	10.3	11.3	34.0	59.8	2.1	1.0	2.1
		40～49歳	159	67.3	30.2	45.9	10.7	10.1	30.2	59.1	1.9	0.0	1.9
		50～59歳	147	61.2	29.3	51.7	10.2	9.5	19.7	57.1	4.1	4.8	0.0
		60～69歳	121	47.9	36.4	50.4	9.9	11.6	21.5	63.6	3.3	0.8	4.1
		70～79歳	112	41.1	31.3	52.7	7.1	9.8	17.9	46.4	1.8	2.7	14.3
	80歳以上	68	39.7	20.6	61.8	2.9	7.4	22.1	42.6	0.0	0.0	20.6	
	男性	18～19歳	10	50.0	20.0	40.0	10.0	0.0	30.0	70.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	53.1	10.2	38.8	16.3	6.1	28.6	57.1	4.1	12.2	0.0
		30～39歳	82	57.3	31.7	40.2	8.5	11.0	15.9	45.1	2.4	8.5	3.7
		40～49歳	110	62.7	29.1	45.5	8.2	9.1	16.4	50.9	2.7	5.5	5.5
		50～59歳	109	55.0	35.8	37.6	3.7	5.5	26.6	53.2	4.6	4.6	2.8
		60～69歳	92	54.3	34.8	51.1	3.3	7.6	16.3	48.9	0.0	9.8	5.4
70～79歳		107	44.9	43.9	62.6	6.5	9.3	17.8	46.7	1.9	3.7	4.7	
80歳以上	46	43.5	32.6	43.5	4.3	2.2	10.9	23.9	0.0	8.7	26.1		
性自認 の悩み	悩んだことがある	29	55.2	34.5	51.7	17.2	10.3	34.5	72.4	3.4	3.4	0.0	
	悩んだことはない	1318	57.5	32.2	49.9	9.3	9.7	23.8	55.5	2.5	4.3	0.9	

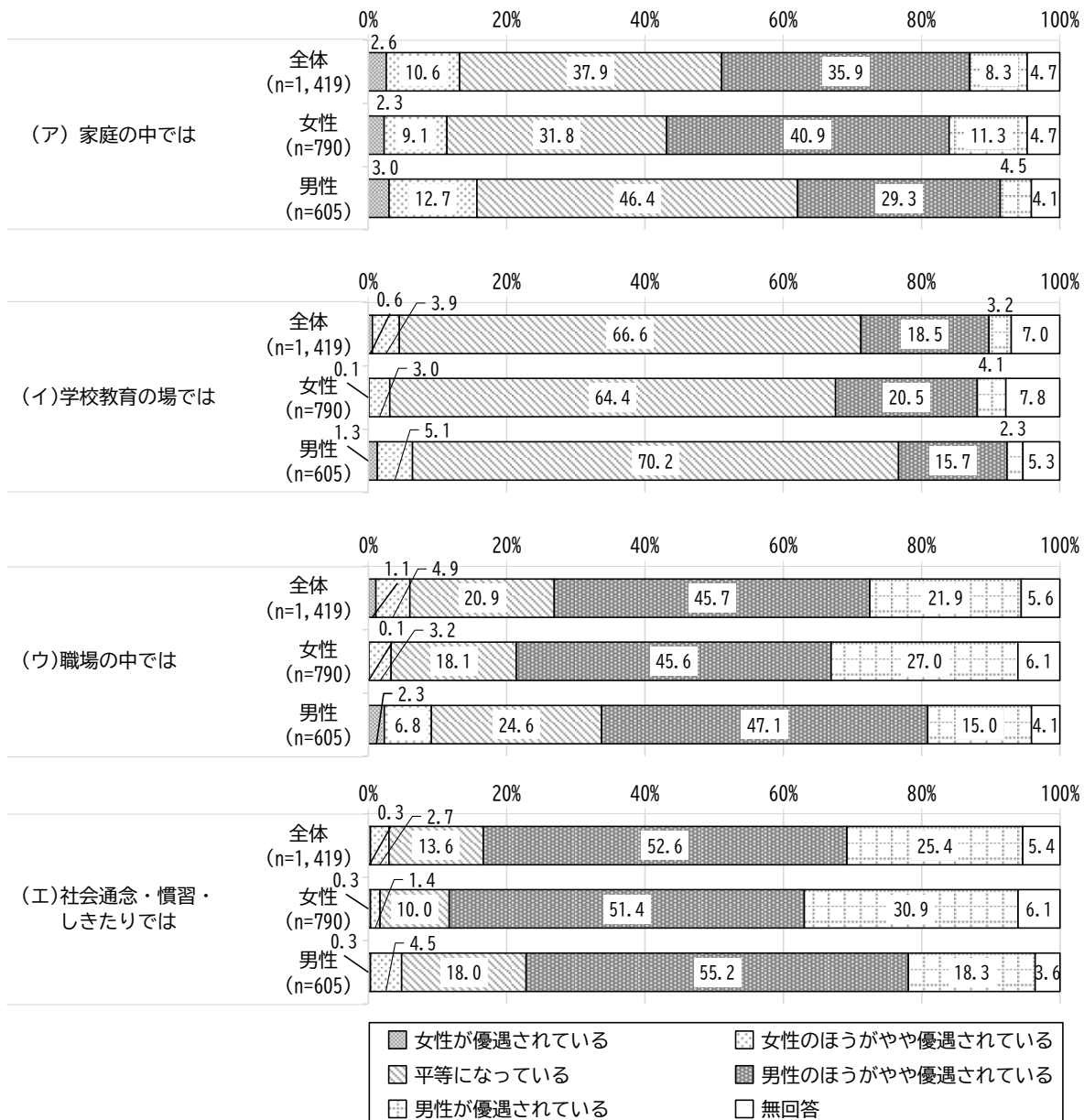
10. 男女共同参画について

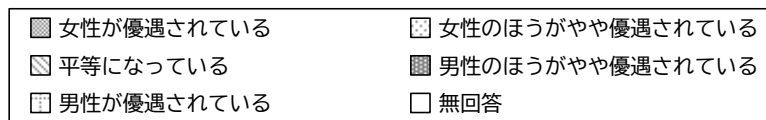
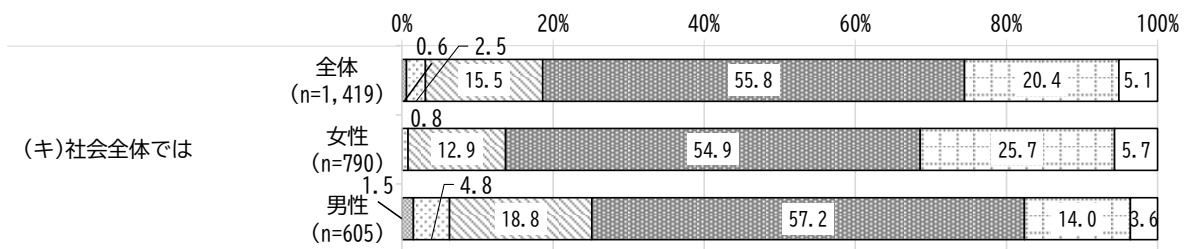
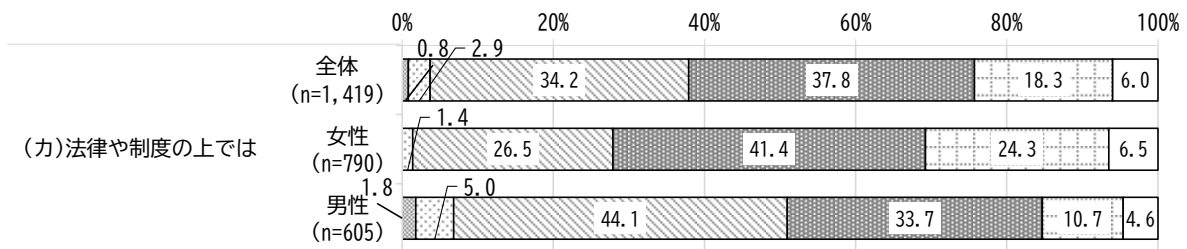
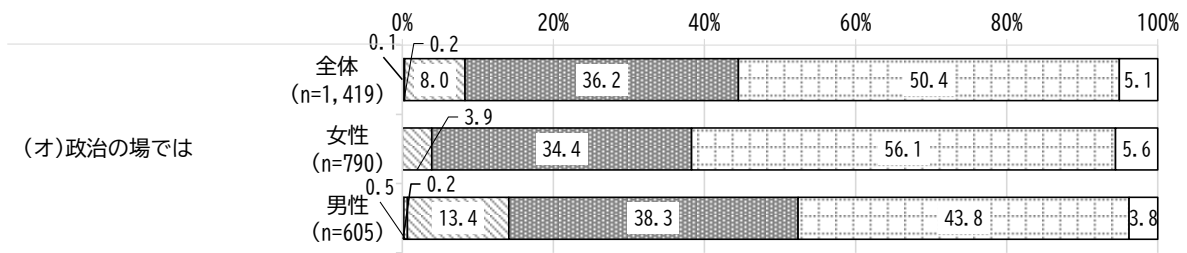
問 25 あなたは、次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

全体では、「平等になっている」について、「(イ) 学校教育の場では」が 66.6%と最も高く、次いで「(ア) 家庭の中では」が 37.9%、「法律や制度の上では」が 34.2%となっている。

性別にみると、「平等になっている」について、女性、男性ともに「(イ) 学校教育の場では」が最も多く、それぞれ 64.4%、70.2%となっているが、男性の方が 5.8 ポイント高く、性別により認識の違いが見られる。また、「社会全体では」の回答では、女性 12.9%、男性 18.8%といずれも低く、**現状では社会全体として見ると平等になっていないという認識を女性・男性とも持っている**ことが伺える。いずれの項目も女性の方が男性よりも「男性の方が優遇されている」の回答率が高く、性別により平等に対する認識の違いが見られる。





【クロス集計】

「(ア) 家庭の中では」

		回答者 総数(n)	いる 女性が 優遇さ れて いる	優 女性 のほ うが やや や	平 等 に な っ て い る	優 男 性 の ほ う が やや や	い る 男 性 が 優 遇 さ れ て い る	無 回 答	
全体		1419	2.6	10.6	37.9	35.9	8.3	4.7	
性別	女性	790	2.3	9.1	31.8	40.9	11.3	4.7	
	男性	605	3.0	12.7	46.4	29.3	4.5	4.1	
	女性、男性以外	5	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0	0.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	15.0	45.0	35.0	5.0	0.0	
	20～29歳	128	4.7	12.5	39.1	32.8	7.8	3.1	
	30～39歳	180	3.3	12.8	39.4	35.6	6.7	2.2	
	40～49歳	271	3.7	11.8	31.7	39.5	10.0	3.3	
	50～59歳	256	2.3	10.5	43.8	32.8	7.0	3.5	
	60～69歳	215	2.3	5.6	39.5	40.5	7.9	4.2	
	70～79歳	222	0.5	11.3	37.8	37.4	8.1	5.0	
	80歳以上	121	1.7	9.9	32.2	28.1	12.4	15.7	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	30.0	10.0	50.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	2.7	8.0	36.0	36.0	13.3	4.0
		30～39歳	97	3.1	12.4	35.1	39.2	8.2	2.1
		40～49歳	159	3.1	9.4	26.4	45.9	13.8	1.3
		50～59歳	147	1.4	8.2	34.7	41.5	10.2	4.1
		60～69歳	121	3.3	4.1	29.8	45.5	11.6	5.8
		70～79歳	112	0.9	10.7	31.3	40.2	9.8	7.1
		80歳以上	68	1.5	10.3	35.3	27.9	11.8	13.2
	男性	18～19歳	10	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	8.2	20.4	44.9	24.5	0.0	2.0
		30～39歳	82	3.7	12.2	45.1	31.7	4.9	2.4
		40～49歳	110	4.5	15.5	40.0	30.0	4.5	5.5
		50～59歳	109	3.7	13.8	56.0	21.1	2.8	2.8
		60～69歳	92	1.1	7.6	52.2	34.8	2.2	2.2
		70～79歳	107	0.0	12.1	44.9	33.6	6.5	2.8
		80歳以上	46	2.2	10.9	28.3	28.3	13.0	17.4

「(イ) 学校教育の場では」

		回答者 総数(n)	いる 女性が 優遇さ れて いる	優 女性 のほ うが やや や	平 等 に な っ て い る	優 男 性 の ほ う が やや や	い る 男 性 が 優 遇 さ れ て い る	無 回 答	
全体		1419	0.6	3.9	66.6	18.5	3.2	7.0	
性別	女性	790	0.1	3.0	64.4	20.5	4.1	7.8	
	男性	605	1.3	5.1	70.2	15.7	2.3	5.3	
	女性、男性以外	5	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	15.0	50.0	30.0	5.0	0.0	
	20～29歳	128	1.6	7.0	70.3	14.8	3.1	3.1	
	30～39歳	180	1.1	5.6	67.2	19.4	3.3	3.3	
	40～49歳	271	0.7	5.9	70.1	15.5	3.7	4.1	
	50～59歳	256	0.4	3.9	70.3	17.6	3.5	4.3	
	60～69歳	215	0.0	1.9	65.6	22.8	1.9	7.9	
	70～79歳	222	0.0	1.8	64.4	21.6	3.2	9.0	
	80歳以上	121	1.7	0.0	55.4	14.9	4.1	24.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	20.0	40.0	30.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	0.0	6.7	65.3	17.3	5.3	5.3
		30～39歳	97	0.0	3.1	66.0	24.7	3.1	3.1
		40～49歳	159	0.0	3.8	70.4	18.9	4.4	2.5
		50～59歳	147	0.7	3.4	66.7	19.7	4.8	4.8
		60～69歳	121	0.0	1.7	60.3	24.8	1.7	11.6
		70～79歳	112	0.0	0.9	59.8	20.5	5.4	13.4
		80歳以上	68	0.0	0.0	60.3	14.7	2.9	22.1
	男性	18～19歳	10	0.0	10.0	60.0	30.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	4.1	8.2	77.6	10.2	0.0	0.0
		30～39歳	82	2.4	7.3	69.5	13.4	3.7	3.7
		40～49歳	110	1.8	9.1	70.9	10.0	2.7	5.5
		50～59歳	109	0.0	4.6	75.2	14.7	1.8	3.7
		60～69歳	92	0.0	2.2	73.9	18.5	2.2	3.3
		70～79歳	107	0.0	2.8	69.2	22.4	0.9	4.7
		80歳以上	46	4.3	0.0	47.8	17.4	6.5	23.9

「(ウ) 職場の中では」

		回答者 総数(n)	いる 女性が 優遇さ れて いる	優 女性 のほ うが やや や	平 等 に な っ て い る	優 男 性 の ほ う が やや や	い る 男 性 が 優 遇 さ れ て い る	無 回 答	
全体		1419	1.1	4.9	20.9	45.7	21.9	5.6	
性別	女性	790	0.1	3.2	18.1	45.6	27.0	6.1	
	男性	605	2.3	6.8	24.6	47.1	15.0	4.1	
	女性、男性以外	5	0.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	15.0	25.0	35.0	25.0	0.0	
	20～29歳	128	0.0	9.4	21.1	43.0	22.7	3.9	
	30～39歳	180	5.0	6.1	22.2	42.2	22.2	2.2	
	40～49歳	271	1.1	7.4	21.4	44.6	22.5	3.0	
	50～59歳	256	0.0	4.3	27.3	48.4	18.0	2.0	
	60～69歳	215	0.9	2.8	23.7	41.4	26.0	5.1	
	70～79歳	222	0.5	1.8	12.6	54.1	23.0	8.1	
	80歳以上	121	0.0	1.7	13.2	45.5	18.2	21.5	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	10.0	10.0	50.0	30.0	0.0
		20～29歳	75	0.0	8.0	20.0	41.3	24.0	6.7
		30～39歳	97	1.0	2.1	18.6	45.4	30.9	2.1
		40～49歳	159	0.0	5.0	20.8	45.9	27.0	1.3
		50～59歳	147	0.0	2.0	21.8	50.3	24.5	1.4
		60～69歳	121	0.0	1.7	22.3	34.7	33.9	7.4
		70～79歳	112	0.0	1.8	8.9	51.8	25.0	12.5
		80歳以上	68	0.0	1.5	10.3	47.1	20.6	20.6
	男性	18～19歳	10	0.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0
		20～29歳	49	0.0	10.2	22.4	49.0	18.4	0.0
		30～39歳	82	9.8	9.8	26.8	39.0	12.2	2.4
		40～49歳	110	2.7	10.0	22.7	43.6	16.4	4.5
		50～59歳	109	0.0	7.3	34.9	45.9	9.2	2.8
		60～69歳	92	2.2	4.3	25.0	51.1	15.2	2.2
		70～79歳	107	0.9	1.9	16.8	57.0	19.6	3.7
		80歳以上	46	0.0	2.2	17.4	45.7	15.2	19.6

「(エ) 社会通念・慣習・しきたりでは」

		回答者 総数(n)	いる 女性が 優遇さ れて いる	優 女性 のほ うが やや や	平 等 に な っ て い る	優 男 性 の ほ う が やや や	い る 男 性 が 優 遇 さ れ て い る	無 回 答	
全体		1419	0.3	2.7	13.6	52.6	25.4	5.4	
性別	女性	790	0.3	1.4	10.0	51.4	30.9	6.1	
	男性	605	0.3	4.5	18.0	55.2	18.3	3.6	
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	0.0	20.0	45.0	35.0	0.0	
	20～29歳	128	0.0	4.7	15.6	50.0	26.6	3.1	
	30～39歳	180	1.7	5.6	12.8	50.0	26.7	3.3	
	40～49歳	271	0.4	2.6	12.5	49.1	31.7	3.7	
	50～59歳	256	0.0	2.7	12.9	56.6	26.6	1.2	
	60～69歳	215	0.0	1.4	14.9	56.7	21.9	5.1	
	70～79歳	222	0.0	1.4	11.3	58.1	22.5	6.8	
	80歳以上	121	0.0	1.7	17.4	43.8	16.5	20.7	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	10.0	50.0	40.0	0.0
		20～29歳	75	0.0	4.0	10.7	50.7	29.3	5.3
		30～39歳	97	2.1	2.1	10.3	47.4	34.0	4.1
		40～49歳	159	0.0	0.6	11.3	47.8	37.7	2.5
		50～59歳	147	0.0	2.0	8.2	57.1	32.0	0.7
		60～69歳	121	0.0	0.8	9.9	54.5	26.4	8.3
		70～79歳	112	0.0	0.9	6.3	52.7	30.4	9.8
		80歳以上	68	0.0	0.0	16.2	45.6	17.6	20.6
	男性	18～19歳	10	0.0	0.0	30.0	40.0	30.0	0.0
		20～29歳	49	0.0	6.1	24.5	46.9	22.4	0.0
		30～39歳	82	1.2	9.8	14.6	53.7	18.3	2.4
		40～49歳	110	0.9	5.5	13.6	51.8	23.6	4.5
		50～59歳	109	0.0	3.7	19.3	56.0	19.3	1.8
		60～69歳	92	0.0	2.2	21.7	59.8	15.2	1.1
		70～79歳	107	0.0	1.9	16.8	64.5	13.1	3.7
		80歳以上	46	0.0	4.3	17.4	45.7	15.2	17.4

【クロス集計】

「(オ) 政治の場では」

		回答者 総数(n)	いる 女性が 優遇され ている	優 女性 性のほ うがや や	平 等にな っている	優 男性 性のほ うがや や	いる 男性 性が優 遇され ている	無 回答	
全体		1419	0.1	0.2	8.0	36.2	50.4	5.1	
性別	女性	790	0.0	0.0	3.9	34.4	56.1	5.6	
	男性	605	0.2	0.5	13.4	38.3	43.8	3.8	
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	0.0	25.0	20.0	55.0	0.0	
	20～29歳	128	0.0	0.0	8.6	28.9	59.4	3.1	
	30～39歳	180	0.6	0.0	8.9	30.6	57.8	2.2	
	40～49歳	271	0.0	0.0	6.3	38.7	50.9	4.1	
	50～59歳	256	0.0	0.8	7.0	39.8	51.2	1.2	
	60～69歳	215	0.0	0.0	8.4	37.7	49.8	4.2	
	70～79歳	222	0.0	0.0	6.8	38.3	48.2	6.8	
	80歳以上	121	0.0	0.8	10.7	34.7	33.1	20.7	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	10.0	20.0	70.0	0.0
		20～29歳	75	0.0	0.0	2.7	24.0	68.0	5.3
		30～39歳	97	0.0	0.0	2.1	26.8	69.1	2.1
		40～49歳	159	0.0	0.0	1.9	38.4	57.2	2.5
		50～59歳	147	0.0	0.0	3.4	41.5	54.4	0.7
		60～69歳	121	0.0	0.0	4.1	33.1	56.2	6.6
		70～79歳	112	0.0	0.0	3.6	36.6	50.0	9.8
		80歳以上	68	0.0	0.0	13.2	32.4	33.8	20.6
	男性	18～19歳	10	0.0	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0
		20～29歳	49	0.0	0.0	18.4	32.7	49.0	0.0
		30～39歳	82	1.2	0.0	17.1	34.1	45.1	2.4
		40～49歳	110	0.0	0.0	12.7	40.0	41.8	5.5
		50～59歳	109	0.0	1.8	11.9	37.6	46.8	1.8
		60～69歳	92	0.0	0.0	14.1	43.5	41.3	1.1
		70～79歳	107	0.0	0.0	10.3	40.2	45.8	3.7
		80歳以上	46	0.0	2.2	6.5	39.1	34.8	17.4

「(カ) 法律や制度の上では」

		回答者 総数(n)	いる 女性が 優遇され ている	優 女性 性のほ うがや や	平 等にな っている	優 男性 性のほ うがや や	いる 男性 性が優 遇され ている	無 回答	
全体		1419	0.8	2.9	34.2	37.8	18.3	6.0	
性別	女性	790	0.0	1.4	26.5	41.4	24.3	6.5	
	男性	605	1.8	5.0	44.1	33.7	10.7	4.6	
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	20.0	25.0	30.0	25.0	0.0	
	20～29歳	128	1.6	7.0	36.7	28.9	22.7	3.1	
	30～39歳	180	2.8	4.4	32.2	36.1	21.1	3.3	
	40～49歳	271	1.5	3.7	30.6	38.4	21.4	4.4	
	50～59歳	256	0.0	2.0	35.2	42.2	19.5	1.2	
	60～69歳	215	0.0	1.4	37.7	44.7	11.6	4.7	
	70～79歳	222	0.0	0.5	36.5	36.9	16.2	9.9	
	80歳以上	121	0.0	0.8	31.4	31.4	14.9	21.5	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	10.0	10.0	40.0	40.0	0.0
		20～29歳	75	0.0	5.3	28.0	30.7	30.7	5.3
		30～39歳	97	0.0	3.1	23.7	40.2	29.9	3.1
		40～49歳	159	0.0	0.0	25.2	44.7	27.7	2.5
		50～59歳	147	0.0	0.7	29.3	44.9	24.5	0.7
		60～69歳	121	0.0	0.8	28.1	47.9	15.7	7.4
		70～79歳	112	0.0	0.0	24.1	40.2	21.4	14.3
		80歳以上	68	0.0	1.5	27.9	30.9	19.1	20.6
	男性	18～19歳	10	0.0	30.0	40.0	20.0	10.0	0.0
		20～29歳	49	4.1	10.2	49.0	26.5	10.2	0.0
		30～39歳	82	6.1	6.1	41.5	31.7	11.0	3.7
		40～49歳	110	3.6	9.1	39.1	29.1	12.7	6.4
		50～59歳	109	0.0	3.7	43.1	38.5	12.8	1.8
		60～69歳	92	0.0	2.2	50.0	41.3	5.4	1.1
		70～79歳	107	0.0	0.9	49.5	32.7	11.2	5.6
		80歳以上	46	0.0	0.0	34.8	34.8	10.9	19.6

「(キ) 社会全体では」

		回答者 総数(n)	いる 女性が 優遇され ている	優 女性 性のほ うがや や	平 等にな っている	優 男性 性のほ うがや や	いる 男性 性が優 遇され ている	無 回答	
全体		1419	0.6	2.5	15.5	55.8	20.4	5.1	
性別	女性	790	0.0	0.8	12.9	54.9	25.7	5.7	
	男性	605	1.5	4.8	18.8	57.2	14.0	3.6	
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0	
年代別	18～19歳	20	0.0	10.0	20.0	50.0	20.0	0.0	
	20～29歳	128	1.6	3.1	20.3	50.0	22.7	2.3	
	30～39歳	180	1.7	5.0	14.4	57.8	18.3	2.8	
	40～49歳	271	1.1	3.3	15.5	54.2	21.8	4.1	
	50～59歳	256	0.4	2.7	14.8	60.9	19.9	1.2	
	60～69歳	215	0.0	0.5	15.8	55.8	23.7	4.2	
	70～79歳	222	0.0	0.9	14.0	59.5	18.9	6.8	
	80歳以上	121	0.0	0.8	13.2	47.9	17.4	20.7	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	10.0	60.0	30.0	0.0
		20～29歳	75	0.0	1.3	14.7	49.3	30.7	4.0
		30～39歳	97	0.0	1.0	10.3	61.9	23.7	3.1
		40～49歳	159	0.0	0.6	15.1	56.0	25.8	2.5
		50～59歳	147	0.0	2.0	10.9	61.2	25.2	0.7
		60～69歳	121	0.0	0.0	14.0	48.8	30.6	6.6
		70～79歳	112	0.0	0.0	11.6	53.6	24.1	10.7
		80歳以上	68	0.0	0.0	13.2	48.5	17.6	20.6
	男性	18～19歳	10	0.0	20.0	30.0	40.0	10.0	0.0
		20～29歳	49	4.1	6.1	30.6	46.9	12.2	0.0
		30～39歳	82	3.7	9.8	18.3	53.7	12.2	2.4
		40～49歳	110	2.7	7.3	16.4	51.8	16.4	5.5
		50～59歳	109	0.9	3.7	20.2	60.6	12.8	1.8
		60～69歳	92	0.0	1.1	18.5	65.2	14.1	1.1
		70～79歳	107	0.0	1.9	16.8	65.4	13.1	2.8
		80歳以上	46	0.0	2.2	13.0	47.8	19.6	17.4

【経年比較】

平成22年度調査と比較すると、いずれの場合においても平成22年度調査から大きな差は見られない。

			回答者 総数(n)	い る 女 性 が 優 遇 さ れ て	優 女 性 の ほ う が や や	平 等 に な っ て い る	優 男 性 の ほ う が や や	い る 男 性 が 優 遇 さ れ て	無 回 答
(ア)家庭の中では	令和2年度	全体	1419	2.6	10.6	37.9	35.9	8.3	4.7
		女性	790	2.3	9.1	31.8	40.9	11.3	4.7
		男性	605	3.0	12.7	46.4	29.3	4.5	4.1
	平成22年度	全体	1080	3.1	14.1	38.1	29.7	8.5	6.5
		女性	610	2.8	13.6	32.8	33.1	11.3	6.4
		男性	441	3.6	15.0	46.5	23.8	4.5	6.6
(イ)学校教育の場では	令和2年度	全体	1419	0.6	3.9	66.6	18.5	3.2	7.0
		女性	790	0.1	3.0	64.4	20.5	4.1	7.8
		男性	605	1.3	5.1	70.2	15.7	2.3	5.3
	平成22年度	全体	1080	0.9	3.9	63.3	18.3	2.1	11.4
		女性	610	0.5	3.8	61.5	20.2	1.8	12.3
		男性	441	1.4	3.9	66.7	16.1	2.7	9.3
(ウ)職場の中では	令和2年度	全体	1419	1.1	4.9	20.9	45.7	21.9	5.6
		女性	790	0.1	3.2	18.1	45.6	27.0	6.1
		男性	605	2.3	6.8	24.6	47.1	15.0	4.1
	平成22年度	全体	1080	1.0	4.2	16.1	47.3	22.8	8.6
		女性	610	0.3	3.9	10.7	48.0	27.9	9.2
		男性	441	1.8	4.3	24.5	46.9	15.4	7.0
(エ)社会通念・慣習・しきたりでは	令和2年度	全体	1419	0.3	2.7	13.6	52.6	25.4	5.4
		女性	790	0.3	1.4	10.0	51.4	30.9	6.1
		男性	605	0.3	4.5	18.0	55.2	18.3	3.6
	平成22年度	全体	1080	0.5	3.5	12.4	51.4	24.6	7.6
		女性	610	0.2	3.0	7.4	50.3	31.3	7.9
		男性	441	0.7	4.3	19.7	53.7	15.0	6.6
(オ)政治の場では	令和2年度	全体	1419	0.1	0.2	8.0	36.2	50.4	5.1
		女性	790	0.0	0.0	3.9	34.4	56.1	5.6
		男性	605	0.2	0.5	13.4	38.3	43.8	3.8
	平成22年度	全体	1080	0.6	1.3	15.7	38.3	36.9	7.1
		女性	610	0.2	1.3	9.7	35.7	45.9	7.2
		男性	441	0.9	1.4	24.7	42.2	24.5	6.3
(カ)法律や制度の上では	令和2年度	全体	1419	0.8	2.9	34.2	37.8	18.3	6.0
		女性	790	0.0	1.4	26.5	41.4	24.3	6.5
		男性	605	1.8	5.0	44.1	33.7	10.7	4.6
	平成22年度	全体	1080	1.4	4.8	37.8	33.8	13.7	8.5
		女性	610	1.1	4.3	30.5	37.2	17.4	9.5
		男性	441	1.6	5.9	48.5	29.3	8.2	6.6
(キ)社会全体では	令和2年度	全体	1419	0.6	2.5	15.5	55.8	20.4	5.1
		女性	790	0.0	0.8	12.9	54.9	25.7	5.7
		男性	605	1.5	4.8	18.8	57.2	14.0	3.6
	平成22年度	全体	1080	1.0	3.9	14.4	56.4	17.5	6.9
		女性	610	0.7	3.4	10.3	56.2	22.3	7.0
		男性	441	1.4	4.8	20.0	57.1	10.7	6.1

【国の調査との比較】

国の調査と比較すると、「(ウ) 職場の中では」について、調布市では『男性が優遇されている』（「どちらかと言えば男性の方が優遇されている（強い立場にある）」と「男性の方が非常に優遇されている（強い立場にある）」の合計）が67.6%、国では53.4%となっており、差が見られる。

		回答者 総数(n)	にさ女 あれ性 るての いる方 （非 強常 い立 立優 場遇 ）	のど 方ち がら か 優 遇 さ れ て い る 女 性 （ 強 い 立 場 に あ る ）	平 等 だ と 思 っ て い る	のど 方ち がら か 優 遇 さ れ て い る 男 性 （ 強 い 立 場 に あ る ）	にさ男 あれ性 るての いる方 （非 強常 い立 立優 場遇 ）	分 か ら な い	無 回 答
(ア) 家庭の中では	調布市	1419	2.6	10.6	37.9	35.9	8.3	0.0	4.7
	国	2645	0.7	6.5	45.5	35.6	9.3	2.4	0.0
(イ) 学校教育の 場では	調布市	1419	0.6	3.9	66.6	18.5	3.2	0.0	7.0
	国	2645	0.3	2.3	61.2	15.2	3.3	17.7	0.0
(ウ) 職場の中では	調布市	1419	1.1	4.9	20.9	45.7	21.9	0.0	5.6
	国	2645	0.5	4.5	30.7	39.8	13.6	10.9	0.0
(エ) 社会通念・慣 習・しきたりでは	調布市	1419	0.3	2.7	13.6	52.6	25.4	0.0	5.4
	国	2645	0.2	2.1	22.6	51.0	19.1	5.0	0.0
(オ) 政治の場では	調布市	1419	0.1	0.2	8.0	36.2	50.4	0.0	5.1
	国	2645	0.1	1.1	14.4	44.0	35.0	5.4	0.0
(カ) 法律や制度の上 では	調布市	1419	0.8	2.9	34.2	37.8	18.3	0.0	6.0
	国	2645	0.4	4.0	39.7	36.6	10.3	9.0	0.0
(キ) 社会全体では	調布市	1419	0.6	2.5	15.5	55.8	20.4	0.0	5.1
	国	2645	0.3	2.8	21.2	62.8	11.3	1.6	0.0

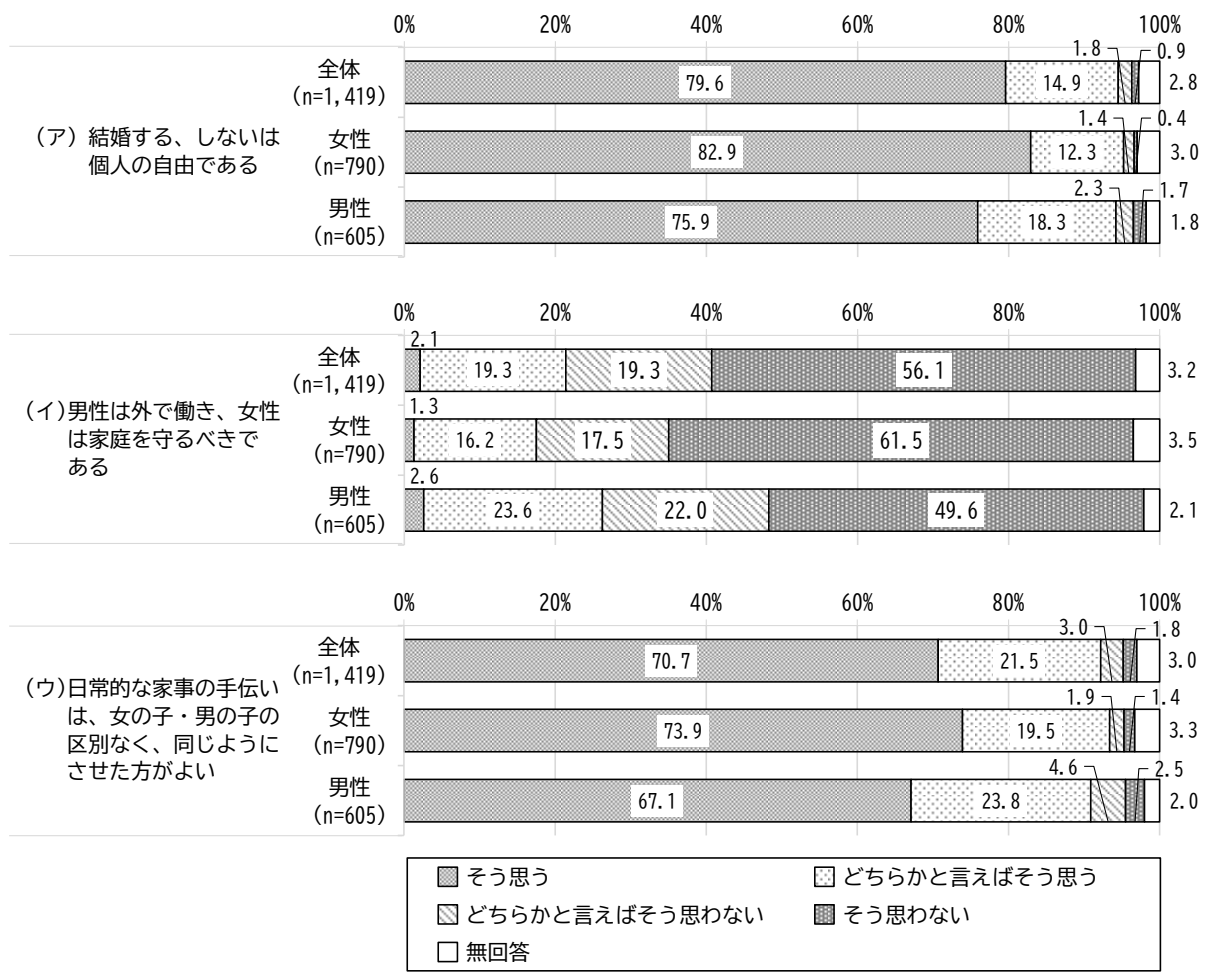
出典：男女共同参画社会に関する世論調査（令和元年 内閣府）

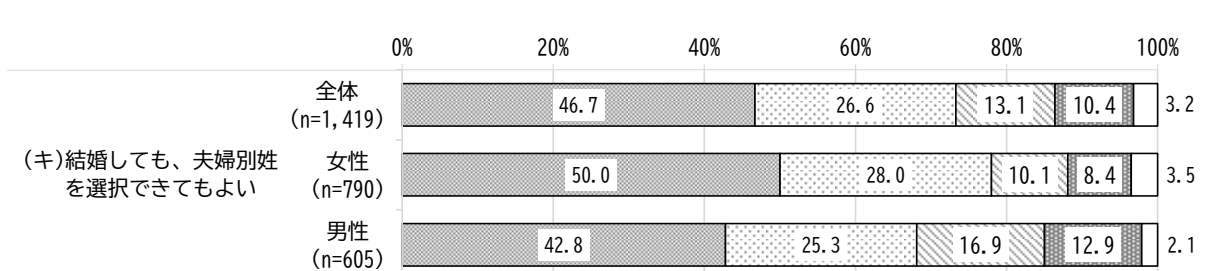
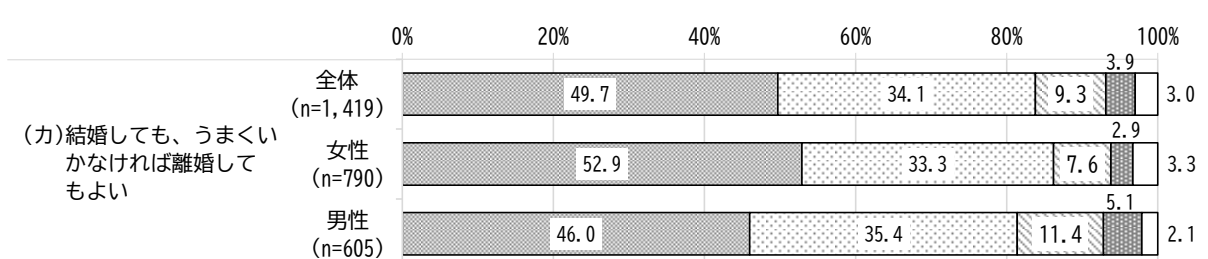
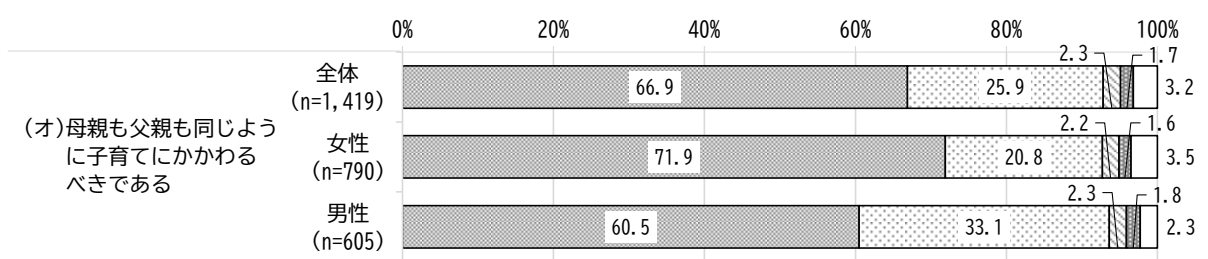
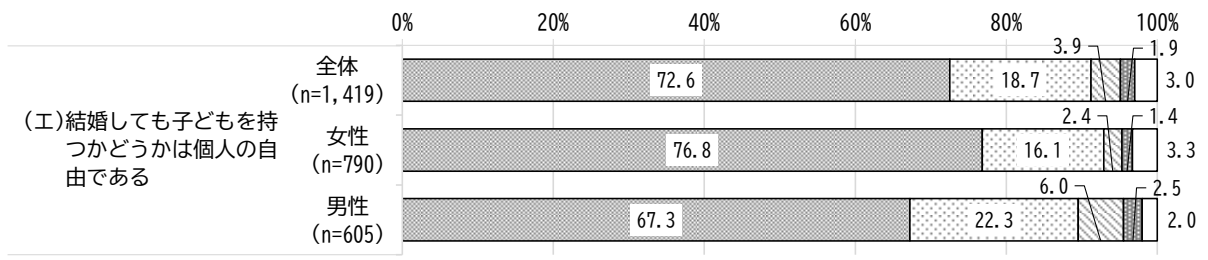
問 26 結婚、家庭、離婚について、様々な考え方がありますが、あなたは次のような意見について、どのように思いますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

全体では、「そう思う」について、「(ア) 結婚する、しないは個人の自由である」が 79.6%と最も高く、次いで「(エ) 結婚しても子どもを持つかどうかは個人の自由である」が 72.6%、「(ウ) 日常的な家事の手伝いは、女の子・男の子の区別なく、同じようにさせた方がよい」が 70.7%となっている。

性別にみると、「そう思う」について、女性、男性ともに「(ア) 結婚する、しないは個人の自由である」が最も多く、それぞれ 82.9%、75.9%となっている。

年代別にみると、「(イ) 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」について、肯定的な意見(「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合計)は、20~30 歳代で約 1 割、40~60 歳代で約 2 割、70 歳代以上で 3 割以上となっており、年代が上がるにつれてその割合も高まる傾向が見られる。一方で、「(エ) 結婚しても子どもを持つかどうかは個人の自由である」、「(カ) 結婚しても、うまくいかなければ離婚してもよい」「(キ) 結婚しても、夫婦別姓を選択できてよい」については、年代が下がるにつれてその割合が高まる傾向が見られる。





【クロス集計】

「(ア) 結婚する、しないは個人の自由である」

「(イ) 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」

		回答者 総数(n)	そう 思う	ば ど ち ら か と 言 え	ば ど ち ら か と 言 え	思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	
全体		1419	79.6	14.9	1.8	0.9	2.8		
性別	女性	790	82.9	12.3	1.4	0.4	3.0		
	男性	605	75.9	18.3	2.3	1.7	1.8		
	女性、男性以外	5	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0		
年代別	18～19歳	20	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0		
	20～29歳	128	90.6	6.3	0.8	0.0	2.3		
	30～39歳	180	88.3	7.8	1.1	0.6	2.2		
	40～49歳	271	81.5	15.5	0.7	0.7	1.5		
	50～59歳	256	81.6	14.8	2.0	0.8	0.8		
	60～69歳	215	78.6	15.8	0.9	1.4	3.3		
	70～79歳	222	72.5	20.3	4.1	0.9	2.3		
	80歳以上	121	60.3	23.1	3.3	2.5	10.7		
性・年代別	女性	18～19歳	10	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
		20～29歳	75	89.3	6.7	0.0	0.0	4.0	
		30～39歳	97	90.7	5.2	1.0	1.0	2.1	
		40～49歳	159	85.5	13.2	0.6	0.0	0.6	
		50～59歳	147	85.0	12.9	1.4	0.0	0.7	
		60～69歳	121	80.2	13.2	0.8	0.0	5.8	
		70～79歳	112	75.9	16.1	3.6	0.9	3.6	
		80歳以上	68	69.1	17.6	2.9	1.5	8.8	
	男性	18～19歳	10	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
		20～29歳	49	91.8	6.1	2.0	0.0	0.0	
		30～39歳	82	85.4	11.0	1.2	0.0	2.4	
		40～49歳	110	77.3	18.2	0.9	1.8	1.8	
		50～59歳	109	77.1	17.4	2.8	1.8	0.9	
		60～69歳	92	76.1	19.6	1.1	3.3	0.0	
		70～79歳	107	69.2	24.3	4.7	0.9	0.9	
		80歳以上	46	47.8	32.6	4.3	4.3	10.9	

		回答者 総数(n)	そう 思う	ば ど ち ら か と 言 え	ば ど ち ら か と 言 え	思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	
全体		1419	2.1	19.3	19.3	56.1	3.2		
性別	女性	790	1.3	16.2	17.5	61.5	3.5		
	男性	605	2.6	23.6	22.0	49.6	2.1		
	女性、男性以外	5	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0		
年代別	18～19歳	20	5.0	10.0	20.0	65.0	0.0		
	20～29歳	128	0.0	11.7	20.3	65.6	2.3		
	30～39歳	180	2.8	9.4	17.2	68.3	2.2		
	40～49歳	271	1.8	17.3	17.0	61.6	2.2		
	50～59歳	256	1.2	19.9	18.8	59.0	1.2		
	60～69歳	215	0.5	16.7	22.3	57.2	3.3		
	70～79歳	222	2.3	27.9	23.4	43.2	3.2		
	80歳以上	121	6.6	35.5	15.7	30.6	11.6		
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	30.0	70.0	0.0	
		20～29歳	75	0.0	6.7	21.3	68.0	4.0	
		30～39歳	97	3.1	8.2	15.5	71.1	2.1	
		40～49歳	159	1.3	15.7	13.8	67.9	1.3	
		50～59歳	147	0.7	17.7	14.3	66.0	1.4	
		60～69歳	121	0.0	11.6	20.7	62.0	5.8	
		70～79歳	112	2.7	26.8	21.4	44.6	4.5	
		80歳以上	68	1.5	29.4	17.6	41.2	10.3	
	男性	18～19歳	10	10.0	20.0	10.0	60.0	0.0	
		20～29歳	49	0.0	20.4	18.4	61.2	0.0	
		30～39歳	82	2.4	11.0	19.5	64.6	2.4	
		40～49歳	110	2.7	20.0	21.8	52.7	2.7	
		50～59歳	109	1.8	22.9	24.8	49.5	0.9	
		60～69歳	92	1.1	23.9	25.0	50.0	0.0	
		70～79歳	107	1.9	29.9	24.3	42.1	1.9	
		80歳以上	46	10.9	45.7	15.2	17.4	10.9	

「(ウ) 日常的な家事の手伝いは、女の子・男の子の区別なく、同じようにさせた方がよい」

		回答者 総数(n)	そう 思う	ば ど ち ら か と 言 え	ば ど ち ら か と 言 え	思 わ な い	無 回 答	
全体		1419	70.7	21.5	3.0	1.8	3.0	
性別	女性	790	73.9	19.5	1.9	1.4	3.3	
	男性	605	67.1	23.8	4.6	2.5	2.0	
	女性、男性以外	5	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
年代別	18～19歳	20	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
	20～29歳	128	74.2	19.5	3.1	0.8	2.3	
	30～39歳	180	76.1	17.8	2.2	1.7	2.2	
	40～49歳	271	78.2	16.6	2.2	1.1	1.8	
	50～59歳	256	69.1	24.2	5.5	0.4	0.8	
	60～69歳	215	68.4	23.3	1.4	3.7	3.3	
	70～79歳	222	65.8	23.0	5.0	3.2	3.2	
	80歳以上	121	57.9	28.1	0.8	2.5	10.7	
性・年代別	女性	18～19歳	10	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	75	76.0	16.0	2.7	1.3	4.0
		30～39歳	97	76.3	17.5	2.1	2.1	2.1
		40～49歳	159	79.9	17.0	1.9	0.6	0.6
		50～59歳	147	72.1	23.1	4.1	0.0	0.7
		60～69歳	121	72.7	19.0	0.8	1.7	5.8
		70～79歳	112	72.3	18.8	0.9	2.7	5.4
		80歳以上	68	61.8	26.5	0.0	2.9	8.8
	男性	18～19歳	10	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	71.4	24.5	4.1	0.0	0.0
		30～39歳	82	75.6	18.3	2.4	1.2	2.4
		40～49歳	110	76.4	16.4	2.7	1.8	2.7
		50～59歳	109	65.1	25.7	7.3	0.9	0.9
		60～69歳	92	63.0	28.3	2.2	6.5	0.0
		70～79歳	107	58.9	27.1	9.3	3.7	0.9
		80歳以上	46	54.3	30.4	2.2	2.2	10.9

【クロス集計】

「(エ) 結婚しても子どもを持つかどうかは個人の自由である」

「(オ) 母親も父親も同じように子育てにかかわるべきである」

		回答者 総数(n)	そう 思う	ば ど ち ら か と 言 え	ば ど ち ら か と 言 え	思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	
全体		1419	72.6	18.7	3.9	1.9	3.0		
性別	女性	790	76.8	16.1	2.4	1.4	3.3		
	男性	605	67.3	22.3	6.0	2.5	2.0		
	女性、男性以外	5	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0		
年代別	18～19歳	20	95.0	5.0	0.0	0.0	0.0		
	20～29歳	128	87.5	6.3	3.9	0.0	2.3		
	30～39歳	180	83.9	9.4	2.2	2.2	2.2		
	40～49歳	271	79.0	17.3	1.1	0.7	1.8		
	50～59歳	256	70.7	23.8	3.5	1.2	0.8		
	60～69歳	215	66.0	22.8	5.1	2.8	3.3		
	70～79歳	222	64.0	23.9	7.2	2.3	2.7		
	80歳以上	121	53.7	24.0	5.0	5.8	11.6		
性・年代別	女性	18～19歳	10	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
		20～29歳	75	86.7	6.7	2.7	0.0	4.0	
		30～39歳	97	86.6	7.2	1.0	3.1	2.1	
		40～49歳	159	84.9	14.5	0.0	0.0	0.6	
		50～59歳	147	72.8	23.8	2.7	0.0	0.7	
		60～69歳	121	71.1	18.2	2.5	2.5	5.8	
		70～79歳	112	68.8	21.4	4.5	0.9	4.5	
		80歳以上	68	64.7	14.7	4.4	5.9	10.3	
	男性	18～19歳	10	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		20～29歳	49	87.8	6.1	6.1	0.0	0.0	
		30～39歳	82	80.5	12.2	3.7	1.2	2.4	
		40～49歳	110	71.8	20.9	2.7	1.8	2.7	
		50～59歳	109	67.9	23.9	4.6	2.8	0.9	
		60～69歳	92	58.7	29.3	8.7	3.3	0.0	
		70～79歳	107	59.8	26.2	10.3	2.8	0.9	
		80歳以上	46	37.0	39.1	6.5	6.5	10.9	

		回答者 総数(n)	そう 思う	ば ど ち ら か と 言 え	ば ど ち ら か と 言 え	思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	
全体		1419	66.9	25.9	2.3	1.7	3.2		
性別	女性	790	71.9	20.8	2.2	1.6	3.5		
	男性	605	60.5	33.1	2.3	1.8	2.3		
	女性、男性以外	5	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0		
年代別	18～19歳	20	80.0	15.0	0.0	5.0	0.0		
	20～29歳	128	79.7	14.1	3.9	0.0	2.3		
	30～39歳	180	73.9	16.7	3.3	2.8	3.3		
	40～49歳	271	72.3	22.5	2.6	0.4	2.2		
	50～59歳	256	67.6	27.7	2.3	1.6	0.8		
	60～69歳	215	62.3	31.6	0.9	1.9	3.3		
	70～79歳	222	59.0	34.2	1.8	1.8	3.2		
	80歳以上	121	50.4	33.1	1.7	4.1	10.7		
性・年代別	女性	18～19歳	10	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
		20～29歳	75	82.7	9.3	4.0	0.0	4.0	
		30～39歳	97	76.3	13.4	4.1	3.1	3.1	
		40～49歳	159	79.2	17.6	1.9	0.0	1.3	
		50～59歳	147	69.4	24.5	2.7	2.7	0.7	
		60～69歳	121	71.1	20.7	1.7	0.8	5.8	
		70～79歳	112	64.3	29.5	0.9	0.9	4.5	
		80歳以上	68	52.9	30.9	0.0	5.9	10.3	
	男性	18～19歳	10	70.0	20.0	0.0	10.0	0.0	
		20～29歳	49	73.5	22.4	4.1	0.0	0.0	
		30～39歳	82	70.7	20.7	2.4	2.4	3.7	
		40～49歳	110	62.7	30.0	3.6	0.9	2.7	
		50～59歳	109	65.1	32.1	1.8	0.0	0.9	
		60～69歳	92	51.1	45.7	0.0	3.3	0.0	
		70～79歳	107	53.3	39.3	2.8	2.8	1.9	
		80歳以上	46	45.7	39.1	2.2	2.2	10.9	

「(カ) 結婚しても、うまくいかなければ離婚してもよい」

「(キ) 結婚しても、夫婦別姓を選択できてよい」

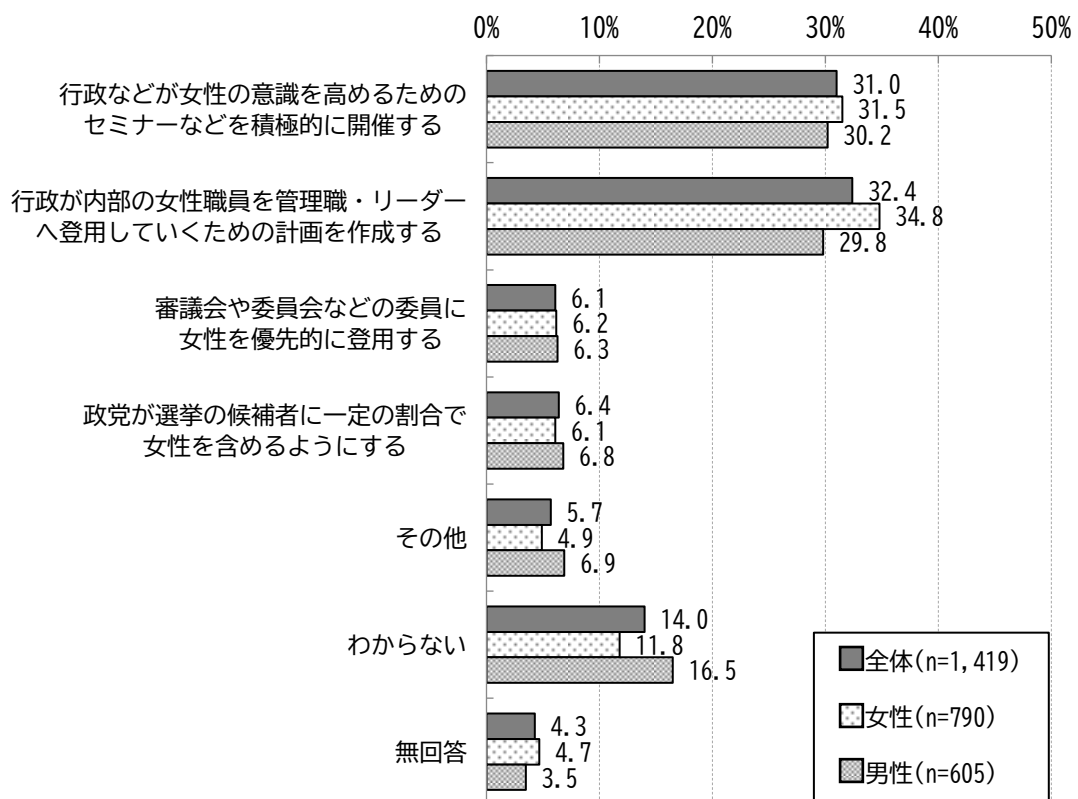
		回答者 総数(n)	そう 思う	ば ど ち ら か と 言 え	ば ど ち ら か と 言 え	思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	
全体		1419	49.7	34.1	9.3	3.9	3.0		
性別	女性	790	52.9	33.3	7.6	2.9	3.3		
	男性	605	46.0	35.4	11.4	5.1	2.1		
	女性、男性以外	5	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0		
年代別	18～19歳	20	40.0	45.0	10.0	5.0	0.0		
	20～29歳	128	60.2	25.8	10.2	1.6	2.3		
	30～39歳	180	60.6	26.1	8.3	2.8	2.2		
	40～49歳	271	56.1	33.2	6.6	2.2	1.8		
	50～59歳	256	51.6	36.3	9.8	1.6	0.8		
	60～69歳	215	47.0	38.6	7.4	3.7	3.3		
	70～79歳	222	38.7	41.4	11.3	5.4	3.2		
	80歳以上	121	32.2	29.8	13.2	13.2	11.6		
性・年代別	女性	18～19歳	10	30.0	60.0	10.0	0.0	0.0	
		20～29歳	75	65.3	22.7	8.0	0.0	4.0	
		30～39歳	97	64.9	25.8	4.1	3.1	2.1	
		40～49歳	159	60.4	31.4	5.0	2.5	0.6	
		50～59歳	147	53.1	36.1	9.5	0.7	0.7	
		60～69歳	121	53.7	33.9	5.0	1.7	5.8	
		70～79歳	112	37.5	44.6	8.9	4.5	4.5	
		80歳以上	68	32.4	30.9	14.7	11.8	10.3	
	男性	18～19歳	10	50.0	30.0	10.0	10.0	0.0	
		20～29歳	49	53.1	28.6	14.3	4.1	0.0	
		30～39歳	82	56.1	26.8	12.2	2.4	2.4	
		40～49歳	110	50.9	36.4	8.2	1.8	2.7	
		50～59歳	109	49.5	36.7	10.1	2.8	0.9	
		60～69歳	92	37.0	45.7	10.9	6.5	0.0	
		70～79歳	107	40.2	37.4	14.0	6.5	1.9	
		80歳以上	46	30.4	28.3	13.0	17.4	10.9	

		回答者 総数(n)	そう 思う	ば ど ち ら か と 言 え	ば ど ち ら か と 言 え	思 わ な い	そ う 思 わ な い	無 回 答	
全体		1419	46.7	26.6	13.1	10.4	3.2		
性別	女性	790	50.0	28.0	10.1	8.4	3.5		
	男性	605	42.8	25.3	16.9	12.9	2.1		
	女性、男性以外	5	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0		
年代別	18～19歳	20	45.0	30.0	20.0	5.0	0.0		
	20～29歳	128	64.8	21.1	8.6	3.1	2.3		
	30～39歳	180	59.4	20.0	9.4	8.3	2.8		
	40～49歳	271	53.9	28.4	10.7	5.2	1.8		
	50～59歳	256	50.8	28.5	14.8	5.1	0.8		
	60～69歳	215	39.5	33.0	12.6	11.2	3.7		
	70～79歳	222	32.0	29.7	19.4	15.8	3.2		
	80歳以上	121	25.6	15.7	13.2	33.9	11.6		
性・年代別	女性	18～19歳	10	60.0	30.0	10.0	0.0	0.0	
		20～29歳	75	60.0	26.7	6.7	2.7	4.0	
		30～39歳	97	63.9	20.6	6.2	6.2	3.1	
		40～49歳	159	61.0	32.1	4.4	1.9	0.6	
		50～59歳	147	54.4	25.2	15.6	4.1	0.7	
		60～69歳	121	38.0	38.0	9.9	7.4	6.6	
		70～79歳	112	36.6	29.5	15.2	14.3	4.5	
		80歳以上	68	26.5	14.7	13.2	35.3	10.3	
	男性	18～19歳	10	30.0	30.0	30.0	10.0	0.0	
		20～29歳	49	71.4	14.3	10.2	4.1	0.0	
		30～39歳	82	54.9	19.5	12.2	11.0	2.4	
		40～49歳	110	43.6	23.6	20.0	10.0	2.7	
		50～59歳	109	45.9	33.0	13.8	6.4	0.9	
		60～69歳	92	41.3	26.1	16.3	16.3	0.0	
		70～79歳	107	27.1	29.9	23.4	17.8	1.9	
		80歳以上	46	23.9	19.6	15.2	30.4	10.9	

問 27 政治や行政において企画や方針決定の過程で女性の参画を進めていくためには、どうしたらよいと思いますか。(〇はいくつでも)

全体では、「行政が内部の女性職員を管理職・リーダーへ登用していくための計画を作成する」が32.4%と最も高く、次いで「行政などが女性の意識を高めるためのセミナーなどを積極的に開催する」が31.0%、「わからない」が14.0%となっている。

性別にみると、女性は「行政が内部の女性職員を管理職・リーダーへ登用していくための計画を作成する」が34.8%、男性は「行政などが女性の意識を高めるためのセミナーなどを積極的に開催する」が30.2%とそれぞれ最も高くなっている。



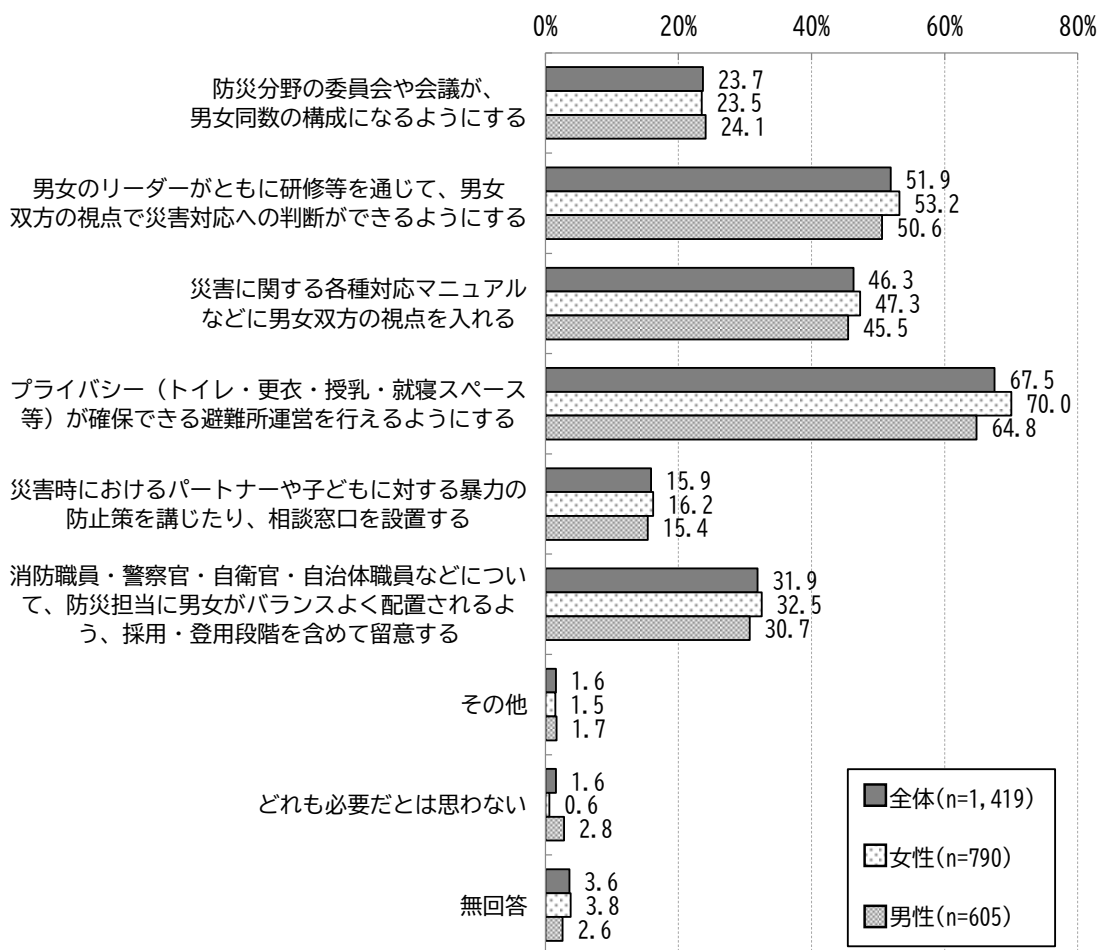
【クロス集計】

			積極的に開催する	行政などのセミナーなどを高める	いくための計画を作成する	行政・内部の女性職員を管理	行政が優先的に登用する	審議会や委員会などの委員に女性を優先的に登用する	の割合で女性を含めるようにする	政党が選挙の候補者に一定	その他	わからない	無回答
		回答者 総数(n)											
全体		1419	31.0	32.4	6.1	6.4	5.7	14.0	4.3				
性別	女性	790	31.5	34.8	6.2	6.1	4.9	11.8	4.7				
	男性	605	30.2	29.8	6.3	6.8	6.9	16.5	3.5				
	女性、男性以外	5	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0				
性・年代別	女性	18～19歳	10	30.0	40.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0			
		20～29歳	75	17.3	46.7	6.7	6.7	5.3	13.3	4.0			
		30～39歳	97	27.8	39.2	0.0	7.2	8.2	14.4	3.1			
		40～49歳	159	28.9	38.4	8.8	6.3	8.8	6.9	1.9			
		50～59歳	147	33.3	30.6	6.8	6.8	6.1	13.6	2.7			
		60～69歳	121	30.6	37.2	8.3	4.1	2.5	11.6	5.8			
		70～79歳	112	39.3	27.7	4.5	6.3	0.9	13.4	8.0			
	80歳以上	68	44.1	23.5	5.9	4.4	0.0	10.3	11.8				
	男性	18～19歳	10	40.0	10.0	0.0	10.0	0.0	40.0	0.0			
		20～29歳	49	18.4	26.5	6.1	10.2	8.2	30.6	0.0			
		30～39歳	82	30.5	18.3	3.7	12.2	7.3	23.2	4.9			
		40～49歳	110	21.8	34.5	6.4	4.5	12.7	14.5	5.5			
		50～59歳	109	31.2	29.4	7.3	9.2	5.5	17.4	0.0			
		60～69歳	92	29.3	37.0	10.9	4.3	6.5	12.0	0.0			
70～79歳		107	36.4	36.4	5.6	4.7	2.8	12.1	1.9				
80歳以上	46	45.7	17.4	2.2	2.2	6.5	6.5	19.6					

問 28 災害対策で男女双方の視点を活かすためには、特にどのようなことが重要だと思いますか。
 (〇は3つまで)

全体では、「プライバシー（トイレ・更衣・授乳・就寝スペース等）が確保できる避難所運営を行えるようにする」が67.5%と最も高く、次いで「男女のリーダーがともに研修等を通じて、男女双方の視点で災害対応への判断ができるようにする」が51.9%、「災害に関する各種対応マニュアルなどに男女双方の視点を入れる」が46.3%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「プライバシー（トイレ・更衣・授乳・就寝スペース等）が確保できる避難所運営を行えるようにする」が最も高く、それぞれ70.0%、64.8%となっている。次いで「男女のリーダーがともに研修等を通じて、男女双方の視点で災害対応への判断ができるようにする」が女性、男性ともに高くなっている。回答について、性別による大きな差は見られない。



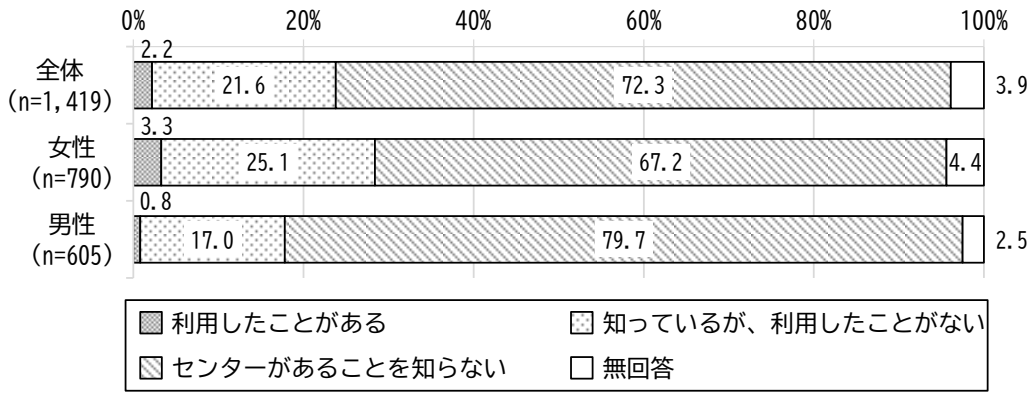
【クロス集計】

		回答者 総数(n)	防災分野の委員会や会議が、男女同数の構成になるようにする	男女のリーダーがともに研修等を通じて、男女双方の視点で災害対応への判断ができるようにする	災害に関する各種対応マニュアルなどに男女双方の視点を入れる	プレイバシー(トイレ・更衣・授乳・就寝スペース等)が確保できる避難所運営を行うようにする	災害時におけるパートナーや子どもに対する暴力の防止策を講じたり、相談窓口を設置する	消防職員・警察官・自衛官・自治体職員などについて、防災担当に男女がバランスよく配置されるように、採用・登用段階を含めて留意する	その他	どれも必要だとは思わない	無回答	
全体		1419	23.7	51.9	46.3	67.5	15.9	31.9	1.6	1.6	3.6	
性別	女性	790	23.5	53.2	47.3	70.0	16.2	32.5	1.5	0.6	3.8	
	男性	605	24.1	50.6	45.5	64.8	15.4	30.7	1.7	2.8	2.6	
	女性、男性以外	5	0.0	40.0	40.0	80.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	50.0	40.0	40.0	60.0	20.0	30.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	75	26.7	38.7	29.3	77.3	28.0	32.0	2.7	0.0	4.0
		30～39歳	97	20.6	53.6	58.8	74.2	23.7	20.6	1.0	2.1	2.1
		40～49歳	159	35.2	52.2	44.0	67.3	16.4	33.3	1.9	0.6	1.9
		50～59歳	147	21.8	53.7	53.1	68.7	13.6	29.3	2.0	0.7	1.4
		60～69歳	121	18.2	60.3	53.7	74.4	10.7	33.9	0.8	0.0	5.0
		70～79歳	112	16.1	53.6	49.1	65.2	13.4	32.1	0.9	0.9	8.0
	80歳以上	68	19.1	57.4	33.8	66.2	11.8	54.4	1.5	0.0	7.4	
	男性	18～19歳	10	10.0	60.0	40.0	50.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0
		20～29歳	49	22.4	44.9	40.8	73.5	12.2	18.4	0.0	4.1	0.0
		30～39歳	82	19.5	45.1	32.9	65.9	23.2	22.0	3.7	6.1	3.7
		40～49歳	110	24.5	53.6	48.2	57.3	17.3	23.6	0.9	4.5	3.6
		50～59歳	109	27.5	42.2	50.5	70.6	12.8	31.2	1.8	1.8	0.9
		60～69歳	92	31.5	51.1	45.7	60.9	15.2	39.1	2.2	1.1	0.0
70～79歳		107	20.6	57.0	54.2	64.5	11.2	41.1	0.9	1.9	1.9	
80歳以上	46	21.7	60.9	34.8	69.6	13.0	37.0	2.2	0.0	13.0		

問 29 男女共同参画社会の実現に向けて、いろいろな講座や相談、資料収集などの事業をしている「調布市男女共同参画推進センター」を利用したことがありますか。(○は1つだけ)

全体では、「センターがあることを知らない」が 72.3%と最も高く、次いで「知っているが、利用したことがない」が 21.6%、「利用したことがある」が 2.2%となっている。

性別にみると、女性、男性ともに「センターがあることを知らない」が最も多く、それぞれ 67.2%、79.7%となっており、12.5 ポイント男性の方が高い。また、「知っているが、利用したことがない」は男性の方が 8.1 ポイント低く、**センターの認知度について、女性よりも男性の方が低い**ことが分かる。



【クロス集計】

性・年代別にみると、女性では 30 歳代以下の年代では、40 歳代以降と比べ利用経験や認知度の割合が低くなっている。また、男性は 80 歳以上で認知度が他の年代よりも高くなっているが、利用経験はいずれの年代でも非常に低い状況となっている。

		回答者 総数 (n)	が利 用し たこ と	が知 り な い こ と	な る セ ン タ ー を し ら ぬ	無 回 答	
全体		1419	2.2	21.6	72.3	3.9	
性別	女性	790	3.3	25.1	67.2	4.4	
	男性	605	0.8	17.0	79.7	2.5	
	女性、男性以外	5	0.0	20.0	80.0	0.0	
	女性	18~19歳	10	0.0	10.0	90.0	0.0
性・年代別	女性	20~29歳	75	0.0	16.0	80.0	4.0
		30~39歳	97	2.1	13.4	82.5	2.1
		40~49歳	159	6.3	28.9	62.3	2.5
		50~59歳	147	6.8	25.9	66.0	1.4
		60~69歳	121	2.5	24.8	66.9	5.8
		70~79歳	112	0.9	29.5	59.8	9.8
		80歳以上	68	0.0	36.8	54.4	8.8
		男性	18~19歳	10	10.0	20.0	70.0
	20~29歳		49	0.0	10.2	89.8	0.0
	30~39歳		82	0.0	12.2	85.4	2.4
	40~49歳		110	0.0	19.1	79.1	1.8
	50~59歳		109	0.9	13.8	82.6	2.8
	60~69歳		92	0.0	15.2	84.8	0.0
	性自認の悩み	悩んだことがある	29	0.0	20.7	79.3	0.0
悩んだことはない		1318	2.4	21.8	73.5	2.4	

【経年比較】

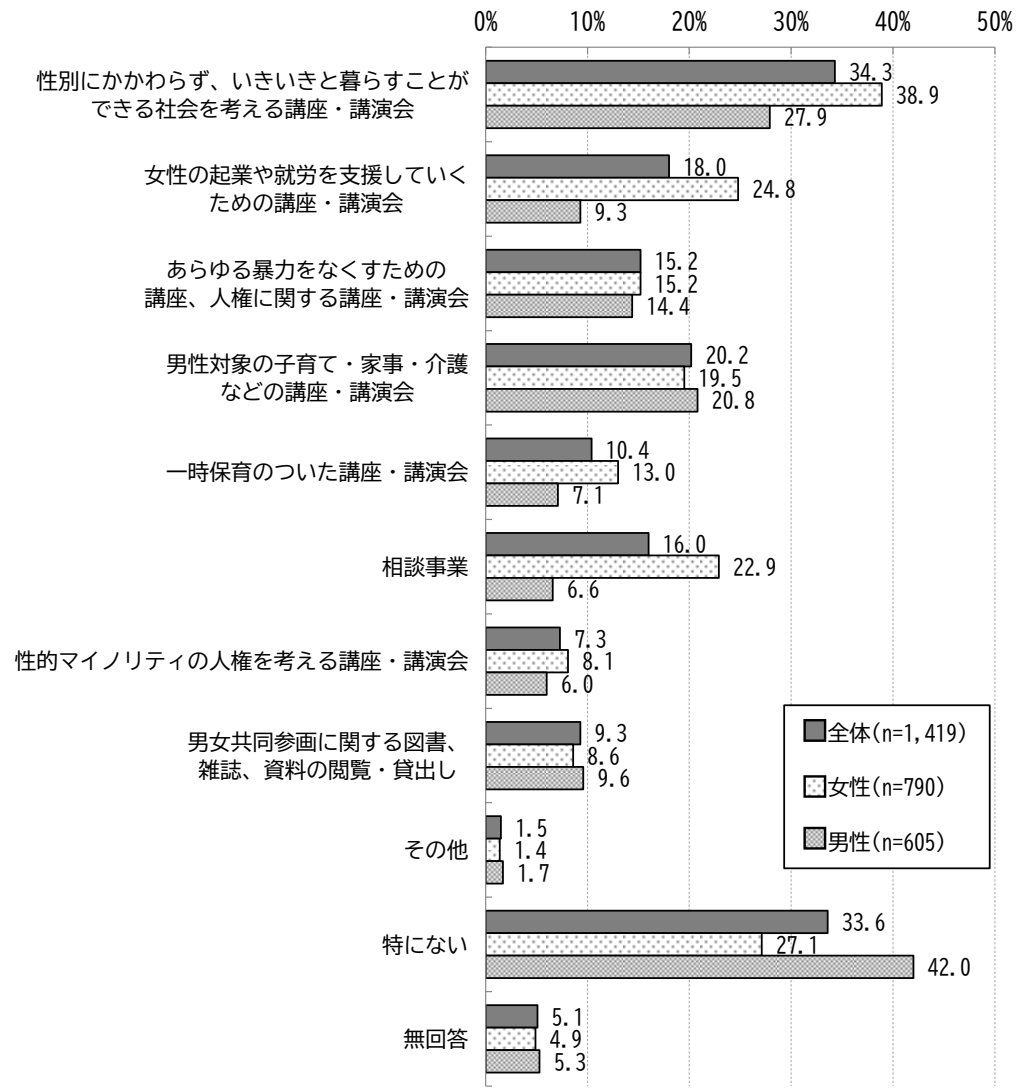
平成 22 年度調査と比較すると、利用したことがある市民の割合や認知度について、大きな差は見られない。

		回答者 総数(n)	利用 した こと が あ る	知 つ た こ と が あ り な い	セン ター が あ る こ と	無 回 答
令和2年度	全体	1419	2.2	21.6	72.3	3.9
	女性	790	3.3	25.1	67.2	4.4
	男性	605	0.8	17.0	79.7	2.5
平成22年度	全体	1080	3.2	20.6	73.0	3.1
	女性	610	4.4	23.3	69.0	3.3
	男性	441	1.4	17.0	78.9	2.7

問 30 現在、調布市男女共同参画推進センターでは、いろいろな事業を実施しています。あなたは、特にどんな事業に参加または利用したいですか。(〇はいくつでも)

全体では、「性別にかかわらず、いきいきと暮らすことができる社会を考える講座・講演会」が34.3%と最も高く、次いで「特にない」が33.6%、「男性対象の子育て・家事・介護などの講座・講演会」が20.2%となっている。

性別にみると、**女性は「性別にかかわらず、いきいきと暮らすことができる社会を考える講座・講演会」が38.9%、男性は「特にない」が42.0%とそれぞれ最も高くなっている。**女性は「特にない」が27.1%であり、**男性は、女性に比べてセンターで実施する事業への関心が低い**ことが伺える。女性では、「女性の起業や就労を支援していくための講座・講演会」が24.8%と男性よりも15.5ポイント、「一時保育のついた講座・講演会」が13.0%と男性よりも5.9ポイント、「相談事業」が22.9%と男性よりも16.3ポイント高くなっている。



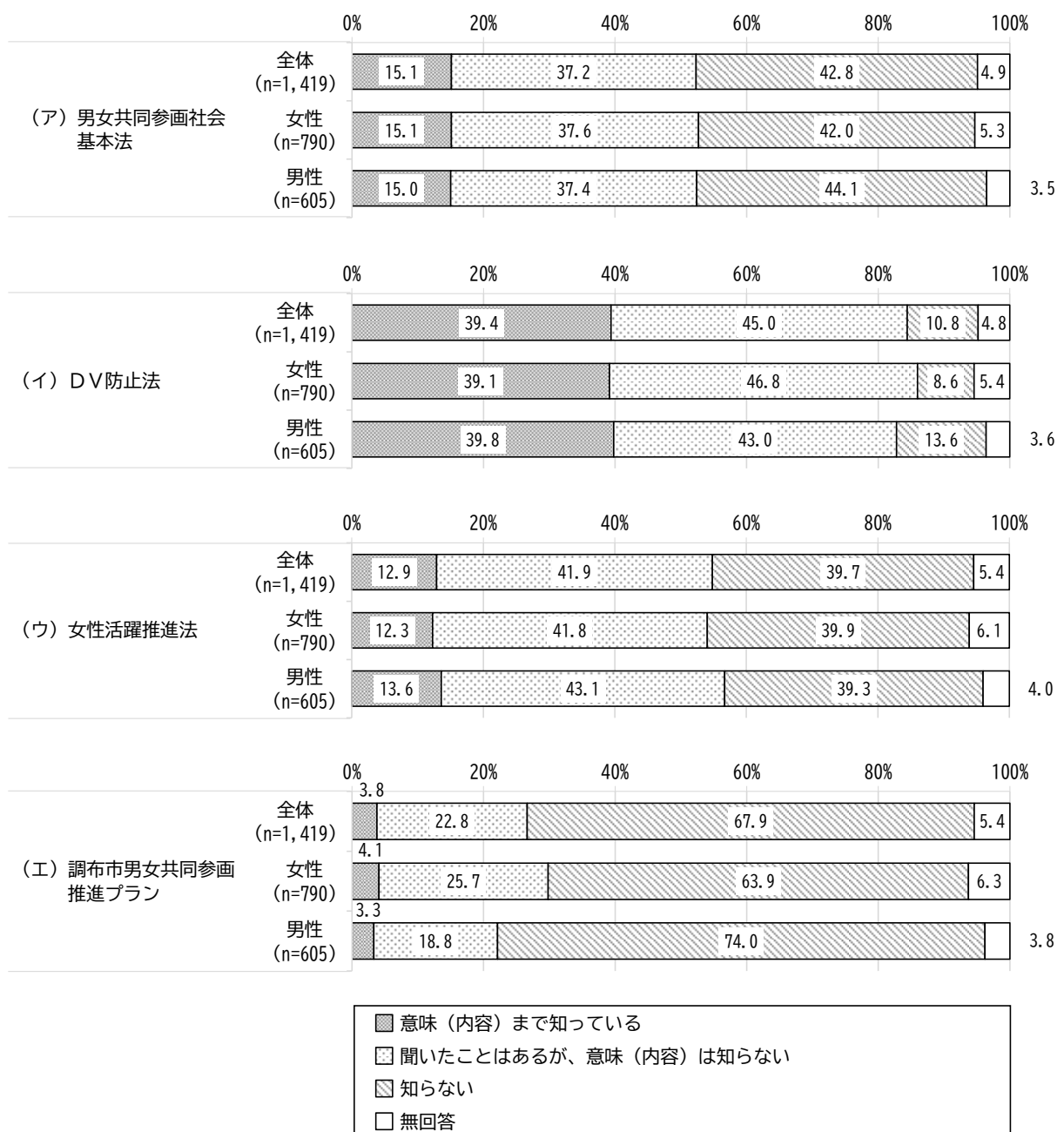
【クロス集計】

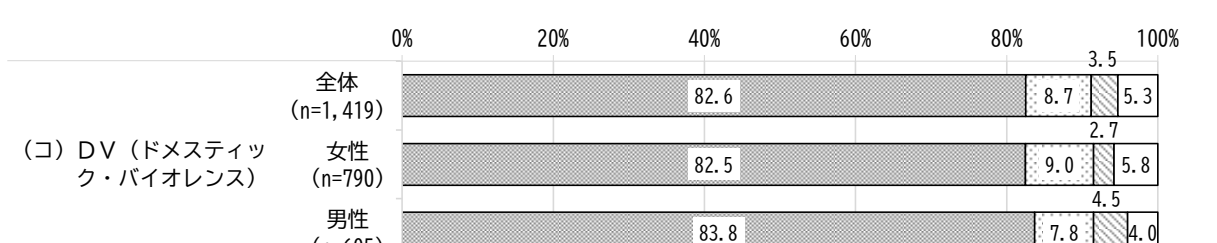
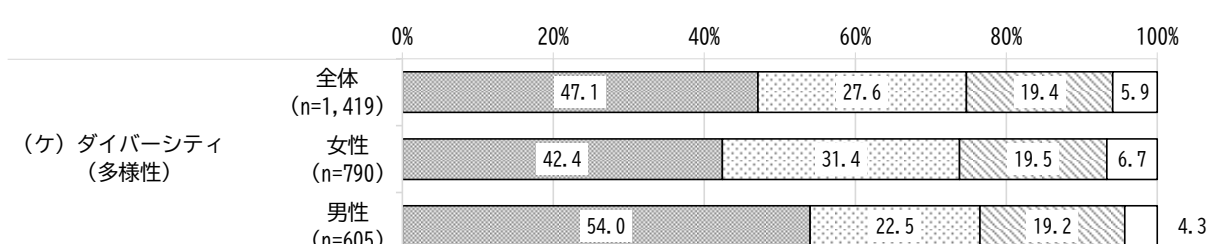
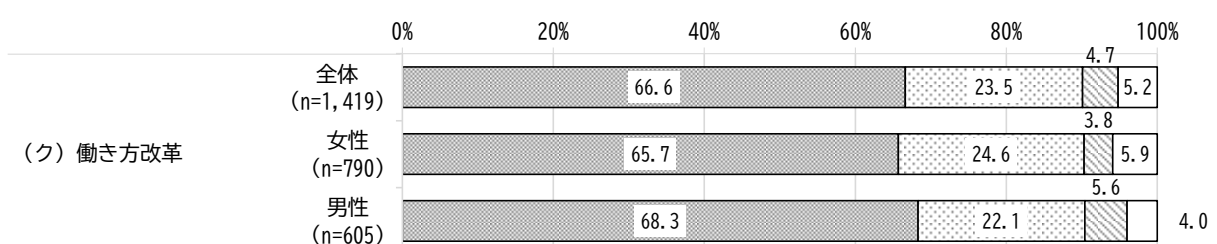
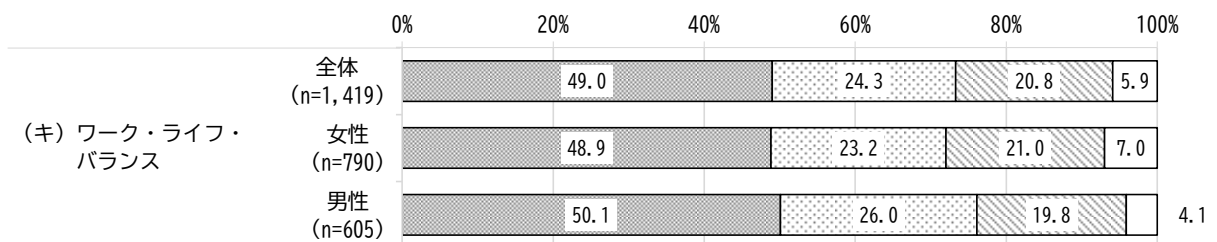
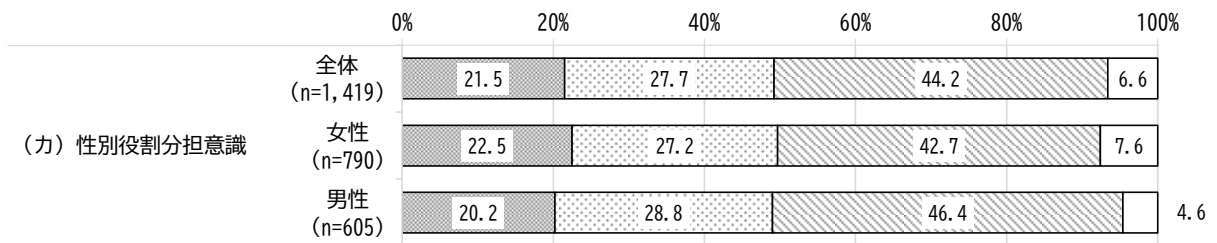
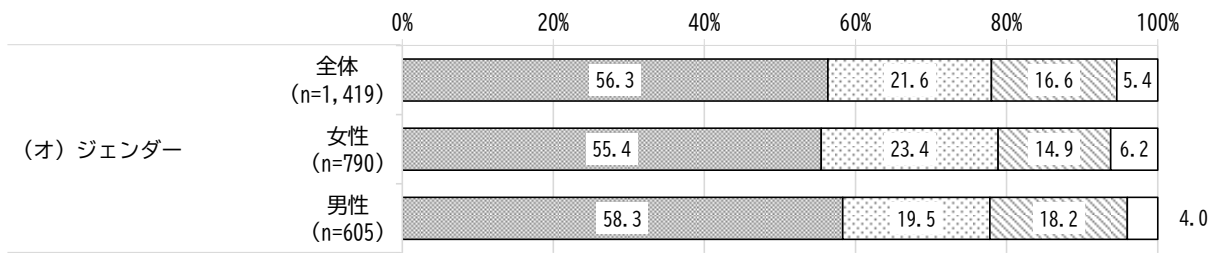
		回答者 総数(n)	春 ら す こ と が で き る 社 会 を 考 え と	性 別 に か か わ ら ず、 い き い き と	女 性 の 起 業 や 就 労 を 支 援 し て い	座、 人 権 に 関 す る 講 座・ 講 演 会	あ ら ゆ る 暴 力 を な く す た め の 講 座・ 講 演 会	男 性 対 象 の 子 育 て・ 家 事・ 介 護	一 時 保 育 の つ い た 講 座・ 講 演 会	性 の ヘ ル ス ケ ア 相 談 な ど	相 談 事 業 (女 性 の 生 き か た 相 談、 女 性 の た め の 法 律 相 談、 女 性 の ヘ ル ス ケ ア 相 談 な ど)	性 的 マ イ ノ リ テ ィ の 人 権 を 考 え る 講 座・ 講 演 会	誌、 資 料 の 共 同 参 画 に 関 す る 図 書、 貸 出 し	女 性 共 同 参 画 に 関 す る 図 書、 貸 出 し	特 に な い	無 回 答
全体		1419	34.3	18.0	15.2	20.2	10.4	16.0	7.3	9.3	1.5	33.6	5.1			
性別	女性	790	38.9	24.8	15.2	19.5	13.0	22.9	8.1	8.6	1.4	27.1	4.9			
	男性	605	27.9	9.3	14.4	20.8	7.1	6.6	6.0	9.6	1.7	42.0	5.3			
	女性、男性以外	5	60.0	20.0	40.0	20.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0			
性・ 年代別	女性	18～19歳	10	60.0	30.0	30.0	40.0	20.0	30.0	40.0	10.0	0.0	10.0	0.0		
		20～29歳	75	26.7	29.3	16.0	30.7	20.0	20.0	16.0	9.3	1.3	25.3	0.0		
		30～39歳	97	24.7	35.1	13.4	27.8	27.8	29.9	10.3	9.3	2.1	22.7	2.1		
		40～49歳	159	40.3	31.4	12.6	22.0	16.4	28.9	10.1	7.5	1.9	22.0	2.5		
		50～59歳	147	37.4	25.9	12.9	17.7	3.4	22.4	6.8	9.5	2.0	30.6	1.4		
		60～69歳	121	46.3	21.5	17.4	17.4	12.4	23.1	7.4	9.9	1.7	32.2	5.0		
		70～79歳	112	48.2	14.3	14.3	10.7	8.0	13.4	2.7	4.5	0.0	33.0	10.7		
		80歳以上	68	41.2	8.8	23.5	8.8	4.4	17.6	0.0	11.8	0.0	23.5	19.1		
	男性	18～19歳	10	20.0	10.0	10.0	40.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	60.0	0.0		
		20～29歳	49	10.2	6.1	18.4	36.7	12.2	8.2	8.2	8.2	4.1	46.9	4.1		
		30～39歳	82	22.0	8.5	7.3	24.4	13.4	2.4	6.1	3.7	1.2	46.3	2.4		
		40～49歳	110	20.9	10.0	10.9	19.1	9.1	6.4	8.2	8.2	0.9	49.1	1.8		
		50～59歳	109	25.7	5.5	13.8	22.9	0.9	4.6	3.7	9.2	1.8	45.0	1.8		
		60～69歳	92	35.9	14.1	13.0	17.4	8.7	8.7	7.6	10.9	2.2	39.1	5.4		
		70～79歳	107	42.1	10.3	16.8	15.9	5.6	10.3	3.7	15.0	0.9	32.7	9.3		
		80歳以上	46	32.6	8.7	30.4	10.9	2.2	6.5	4.3	13.0	2.2	28.3	19.6		
性自認の悩み	悩んだことがある	29	27.6	24.1	27.6	27.6	17.2	27.6	20.7	17.2	3.4	27.6	6.9			
	悩んだことはない	1318	35.1	18.2	15.2	20.6	10.7	16.2	7.4	9.1	1.4	34.4	3.2			

問 31 あなたは、男女共同参画社会に関する次のような用語を知っていますか。(○はそれぞれ1つずつ)

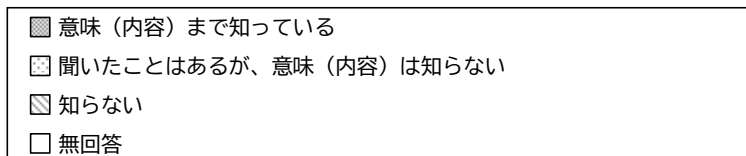
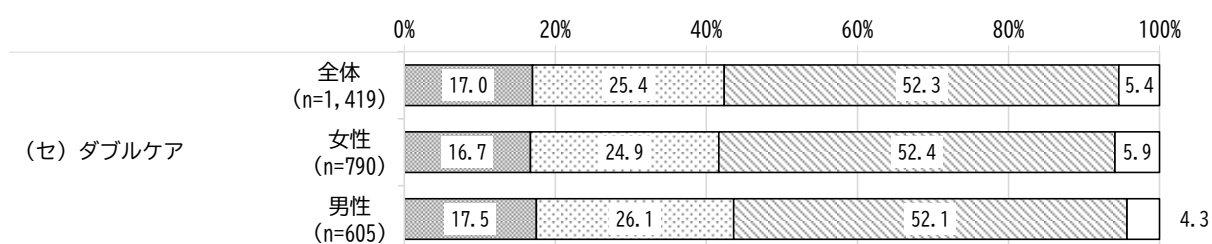
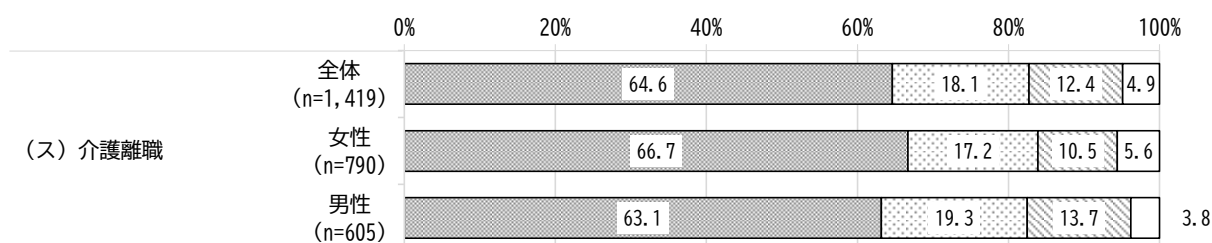
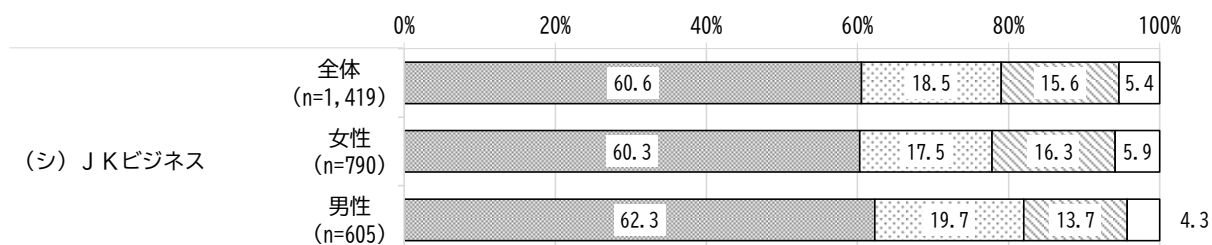
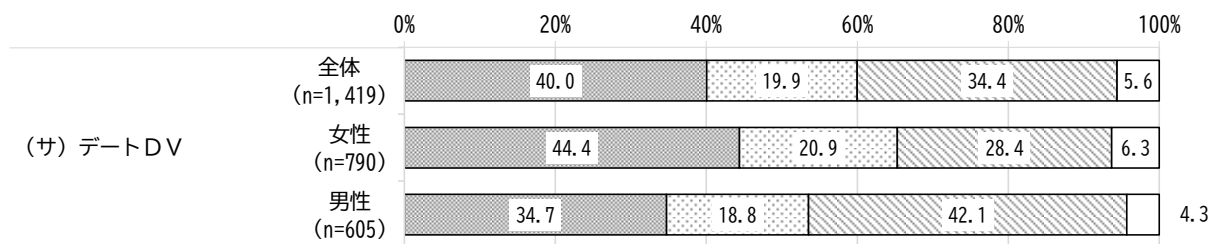
全体では、「意味（内容）まで知っている」について、「(コ) DV（ドメスティック・バイオレンス）」が82.6%と最も認知度が高く、次いで「(ク) 働き方改革」が66.6%、「(ス) 介護離職」が64.6%となっている。認知度が低いのは、「(エ) 調布市男女共同参画推進プラン」が3.8%、次いで低いのは「(ウ) 女性活躍推進法」の12.9%となっており、法律や計画の名称については認知度が低い傾向にある。

性別にみると、「意味（内容）まで知っている」について、女性、男性ともに「(コ) DV（ドメスティック・バイオレンス）」が最も多く、それぞれ82.5%、83.8%となっている。また、「(ケ) ダイバーシティ（多様性）」、「(ソ) SDGs（持続可能な開発目標）」は男性の認知度が高く、「(サ) デートDV」は女性の認知度が高かったが、それ以外の用語については、性別による認知の差はあまり見られなかった。





意味 (内容) まで知っている
 聞いたことはあるが、意味 (内容) は知らない
 知らない
 無回答



【クロス集計】

「(ア) 男女共同参画社会基本法」

		回答者 総数(n)	意 味 (内 容) ま で 知 っ て	聞 い た こ と は あ る が 、 意 味 (内 容) は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答	
全体		1419	15.1	37.2	42.8	4.9	
性別	女性	790	15.1	37.6	42.0	5.3	
	男性	605	15.0	37.4	44.1	3.5	
	女性、男性以外	5	20.0	0.0	80.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	50.0	40.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	37.3	46.7	16.0	0.0
		30～39歳	97	24.7	28.9	45.4	1.0
		40～49歳	159	15.1	34.0	49.7	1.3
		50～59歳	147	11.6	42.2	44.2	2.0
		60～69歳	121	8.3	37.2	47.1	7.4
		70～79歳	112	5.4	43.8	41.1	9.8
		80歳以上	68	7.4	27.9	41.2	23.5
	男性	18～19歳	10	40.0	30.0	30.0	0.0
		20～29歳	49	42.9	32.7	24.5	0.0
		30～39歳	82	15.9	36.6	43.9	3.7
		40～49歳	110	12.7	33.6	52.7	0.9
		50～59歳	109	13.8	36.7	49.5	0.0
		60～69歳	92	7.6	39.1	50.0	3.3
		70～79歳	107	13.1	43.0	37.4	6.5
80歳以上	46	6.5	39.1	39.1	15.2		

「(イ) DV防止法」

		回答者 総数(n)	意 味 (内 容) ま で 知 っ て	聞 い た こ と は あ る が 、 意 味 (内 容) は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答	
全体		1419	39.4	45.0	10.8	4.8	
性別	女性	790	39.1	46.8	8.6	5.4	
	男性	605	39.8	43.0	13.6	3.6	
	女性、男性以外	5	20.0	40.0	40.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	70.0	20.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	41.3	45.3	13.3	0.0
		30～39歳	97	39.2	49.5	10.3	1.0
		40～49歳	159	46.5	47.2	5.0	1.3
		50～59歳	147	40.8	49.7	8.8	0.7
		60～69歳	121	38.0	51.2	4.1	6.6
		70～79歳	112	34.8	42.0	10.7	12.5
		80歳以上	68	20.6	41.2	13.2	25.0
	男性	18～19歳	10	30.0	40.0	30.0	0.0
		20～29歳	49	36.7	40.8	22.4	0.0
		30～39歳	82	39.0	43.9	15.9	1.2
		40～49歳	110	41.4	44.5	11.8	1.8
		50～59歳	109	39.4	48.6	11.9	0.0
		60～69歳	92	41.3	43.5	10.9	4.3
		70～79歳	107	48.6	33.6	10.3	7.5
80歳以上	46	19.6	47.8	17.4	15.2		

「(ウ) 女性活躍推進法」

		回答者 総数(n)	意 味 (内 容) ま で 知 っ て	聞 い た こ と は あ る が 、 意 味 (内 容) は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答	
全体		1419	12.9	41.9	39.7	5.4	
性別	女性	790	12.3	41.8	39.9	6.1	
	男性	605	13.6	43.1	39.3	4.0	
	女性、男性以外	5	20.0	20.0	60.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	30.0	40.0	30.0	0.0
		20～29歳	75	17.3	54.7	28.0	0.0
		30～39歳	97	18.6	36.1	44.3	1.0
		40～49歳	159	16.4	47.2	35.2	1.3
		50～59歳	147	12.2	43.5	42.9	1.4
		60～69歳	121	8.3	41.3	44.6	5.8
		70～79歳	112	7.1	39.3	40.2	13.4
		80歳以上	68	1.5	25.0	42.6	30.9
	男性	18～19歳	10	10.0	60.0	30.0	0.0
		20～29歳	49	14.3	38.8	46.9	0.0
		30～39歳	82	15.9	42.7	40.2	1.2
		40～49歳	110	10.9	45.5	41.8	1.8
		50～59歳	109	18.3	41.3	40.4	0.0
		60～69歳	92	13.0	52.2	31.5	3.3
		70～79歳	107	12.1	40.2	39.3	8.4
80歳以上	46	8.7	32.6	39.1	19.6		

「(エ) 調布市男女共同参画推進プラン」

		回答者 総数(n)	意 味 (内 容) ま で 知 っ て	聞 い た こ と は あ る が 、 意 味 (内 容) は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答	
全体		1419	3.8	22.8	67.9	5.4	
性別	女性	790	4.1	25.7	63.9	6.3	
	男性	605	3.3	18.8	74.0	3.8	
	女性、男性以外	5	0.0	40.0	60.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	0.0	0.0	100.0	0.0
		20～29歳	75	1.3	17.3	81.3	0.0
		30～39歳	97	4.1	17.5	77.3	1.0
		40～49歳	159	6.3	34.6	57.2	1.9
		50～59歳	147	4.8	36.7	57.8	0.7
		60～69歳	121	5.0	24.0	65.3	5.8
		70～79歳	112	2.7	23.2	59.8	14.3
		80歳以上	68	1.5	13.2	52.9	32.4
	男性	18～19歳	10	0.0	30.0	70.0	0.0
		20～29歳	49	4.1	12.2	83.7	0.0
		30～39歳	82	4.9	11.0	82.9	1.2
		40～49歳	110	3.6	17.3	77.3	1.8
		50～59歳	109	1.8	13.8	84.4	0.0
		60～69歳	92	3.3	20.7	72.8	3.3
		70～79歳	107	3.7	27.1	60.7	8.4
80歳以上	46	2.2	30.4	50.0	17.4		

【クロス集計】

「(オ) ジェンダー」

		回答者 総数(n)	意味 不明 (内容) まで知 りな い	聞いた こと はあ るが 、 意 味 不 明 (内 容) は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答	
全体		1419	56.3	21.6	16.6	5.4	
性別	女性	790	55.4	23.4	14.9	6.2	
	男性	605	58.3	19.5	18.2	4.0	
	女性、男性以外	5	40.0	20.0	40.0	0.0	
性・年代別	女性	18~19歳	10	100.0	0.0	0.0	0.0
		20~29歳	75	82.7	12.0	5.3	0.0
		30~39歳	97	80.4	15.5	3.1	1.0
		40~49歳	159	69.8	23.3	5.7	1.3
		50~59歳	147	56.5	31.3	11.6	0.7
		60~69歳	121	47.9	25.6	20.7	5.8
		70~79歳	112	22.3	30.4	31.3	16.1
		80歳以上	68	14.7	19.1	36.8	29.4
	男性	18~19歳	10	70.0	10.0	20.0	0.0
		20~29歳	49	79.6	16.3	4.1	0.0
		30~39歳	82	64.6	22.0	12.2	1.2
		40~49歳	110	70.0	19.1	9.1	1.8
		50~59歳	109	62.4	22.0	14.7	0.9
		60~69歳	92	57.6	19.6	19.6	3.3
		70~79歳	107	44.9	21.5	26.2	7.5
80歳以上	46	17.4	10.9	52.2	19.6		

「(カ) 性別役割分担意識」

		回答者 総数(n)	意味 不明 (内容) まで知 りな い	聞いた こと はあ るが 、 意 味 不 明 (内 容) は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答	
全体		1419	21.5	27.7	44.2	6.6	
性別	女性	790	22.5	27.2	42.7	7.6	
	男性	605	20.2	28.8	46.4	4.6	
	女性、男性以外	5	40.0	20.0	40.0	0.0	
性・年代別	女性	18~19歳	10	40.0	20.0	40.0	0.0
		20~29歳	75	48.0	24.0	28.0	0.0
		30~39歳	97	20.6	27.8	50.5	1.0
		40~49歳	159	34.0	21.4	42.1	2.5
		50~59歳	147	17.0	32.7	46.9	3.4
		60~69歳	121	16.5	31.4	43.8	8.3
		70~79歳	112	12.5	27.7	45.5	14.3
		80歳以上	68	7.4	25.0	32.4	35.3
	男性	18~19歳	10	40.0	30.0	30.0	0.0
		20~29歳	49	36.7	26.5	34.7	2.0
		30~39歳	82	19.5	31.7	47.6	1.2
		40~49歳	110	20.9	28.2	49.1	1.8
		50~59歳	109	20.2	28.4	50.5	0.9
		60~69歳	92	21.7	27.2	47.8	3.3
		70~79歳	107	12.1	32.7	45.8	9.3
80歳以上	46	13.0	21.7	43.5	21.7		

「(キ) ワーク・ライフ・バランス」

		回答者 総数(n)	意味 不明 (内容) まで知 りな い	聞いた こと はあ るが 、 意 味 不 明 (内 容) は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答	
全体		1419	49.0	24.3	20.8	5.9	
性別	女性	790	48.9	23.2	21.0	7.0	
	男性	605	50.1	26.0	19.8	4.1	
	女性、男性以外	5	20.0	20.0	60.0	0.0	
性・年代別	女性	18~19歳	10	70.0	20.0	10.0	0.0
		20~29歳	75	84.0	6.7	9.3	0.0
		30~39歳	97	70.1	11.3	17.5	1.0
		40~49歳	159	66.7	19.5	12.6	1.3
		50~59歳	147	51.7	28.6	18.4	1.4
		60~69歳	121	36.4	29.8	26.4	7.4
		70~79歳	112	17.9	33.0	33.0	16.1
		80歳以上	68	1.5	27.9	36.8	33.8
	男性	18~19歳	10	50.0	30.0	20.0	0.0
		20~29歳	49	75.5	16.3	8.2	0.0
		30~39歳	82	62.2	26.8	9.8	1.2
		40~49歳	110	62.7	20.9	14.5	1.8
		50~59歳	109	57.8	25.7	15.6	0.9
		60~69歳	92	45.7	20.7	29.3	4.3
		70~79歳	107	29.9	33.6	28.0	8.4
80歳以上	46	8.7	39.1	34.8	17.4		

「(ク) 働き方改革」

		回答者 総数(n)	意味 不明 (内容) まで知 りな い	聞いた こと はあ るが 、 意 味 不 明 (内 容) は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答	
全体		1419	66.6	23.5	4.7	5.2	
性別	女性	790	65.7	24.6	3.8	5.9	
	男性	605	68.3	22.1	5.6	4.0	
	女性、男性以外	5	60.0	20.0	20.0	0.0	
性・年代別	女性	18~19歳	10	90.0	10.0	0.0	0.0
		20~29歳	75	86.7	12.0	1.3	0.0
		30~39歳	97	79.4	15.5	4.1	1.0
		40~49歳	159	80.5	17.0	1.3	1.3
		50~59歳	147	74.8	22.4	1.4	1.4
		60~69歳	121	62.0	29.8	2.5	5.8
		70~79歳	112	34.8	46.4	6.3	12.5
		80歳以上	68	22.1	30.9	16.2	30.9
	男性	18~19歳	10	80.0	0.0	20.0	0.0
		20~29歳	49	83.7	12.2	4.1	0.0
		30~39歳	82	76.8	15.9	6.1	1.2
		40~49歳	110	78.2	17.3	2.7	1.8
		50~59歳	109	81.7	16.5	0.9	0.9
		60~69歳	92	68.5	23.9	4.3	3.3
		70~79歳	107	49.5	36.4	4.7	9.3
80歳以上	46	21.7	37.0	26.1	15.2		

【クロス集計】

「(ケ) ダイバーシティ (多様性)」

		回答者 総数(n)	い る 意 味 (内 容) ま で 知 っ て	味 聞 いた こ と は あ る が 、 意 味 (内 容) は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答	
全体		1419	47.1	27.6	19.4	5.9	
性別	女性	790	42.4	31.4	19.5	6.7	
	男性	605	54.0	22.5	19.2	4.3	
	女性、男性以外	5	20.0	60.0	20.0	0.0	
性・年代別	女性	18~19歳	10	50.0	30.0	20.0	0.0
		20~29歳	75	66.7	18.7	14.7	0.0
		30~39歳	97	59.8	23.7	15.5	1.0
		40~49歳	159	54.1	34.6	10.1	1.3
		50~59歳	147	42.9	38.8	16.3	2.0
		60~69歳	121	34.7	36.4	23.1	5.8
		70~79歳	112	18.8	36.6	30.4	14.3
		80歳以上	68	13.2	16.2	35.3	35.3
	男性	18~19歳	10	60.0	20.0	20.0	0.0
		20~29歳	49	67.3	20.4	12.2	0.0
		30~39歳	82	64.6	20.7	13.4	1.2
		40~49歳	110	67.3	17.3	13.6	1.8
		50~59歳	109	61.5	25.7	11.9	0.9
		60~69歳	92	54.3	20.7	19.6	5.4
		70~79歳	107	33.6	29.9	28.0	8.4
80歳以上	46	17.4	19.6	45.7	17.4		

「(コ) DV (ドメスティック・バイオレンス)」

		回答者 総数(n)	い る 意 味 (内 容) ま で 知 っ て	味 聞 いた こ と は あ る が 、 意 味 (内 容) は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答	
全体		1419	82.6	8.7	3.5	5.3	
性別	女性	790	82.5	9.0	2.7	5.8	
	男性	605	83.8	7.8	4.5	4.0	
	女性、男性以外	5	60.0	40.0	0.0	0.0	
性・年代別	女性	18~19歳	10	100.0	0.0	0.0	0.0
		20~29歳	75	97.3	1.3	1.3	0.0
		30~39歳	97	96.9	1.0	1.0	1.0
		40~49歳	159	93.1	5.0	0.6	1.3
		50~59歳	147	90.5	7.5	1.4	0.7
		60~69歳	121	82.6	9.9	0.8	6.6
		70~79歳	112	58.9	21.4	6.3	13.4
		80歳以上	68	39.7	20.6	11.8	27.9
	男性	18~19歳	10	80.0	0.0	20.0	0.0
		20~29歳	49	93.9	6.1	0.0	0.0
		30~39歳	82	91.5	3.7	3.7	1.2
		40~49歳	110	93.6	3.6	0.9	1.8
		50~59歳	109	89.0	8.3	1.8	0.9
		60~69歳	92	84.8	8.7	3.3	3.3
		70~79歳	107	74.8	12.1	4.7	8.4
80歳以上	46	43.5	15.2	23.9	17.4		

「(サ) デートDV」

		回答者 総数(n)	い る 意 味 (内 容) ま で 知 っ て	味 聞 いた こ と は あ る が 、 意 味 (内 容) は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答	
全体		1419	40.0	19.9	34.4	5.6	
性別	女性	790	44.4	20.9	28.4	6.3	
	男性	605	34.7	18.8	42.1	4.3	
	女性、男性以外	5	20.0	20.0	60.0	0.0	
性・年代別	女性	18~19歳	10	70.0	30.0	0.0	0.0
		20~29歳	75	52.0	22.7	25.3	0.0
		30~39歳	97	56.7	17.5	24.7	1.0
		40~49歳	159	60.4	20.8	17.6	1.3
		50~59歳	147	53.7	17.7	27.2	1.4
		60~69歳	121	36.4	19.8	36.4	7.4
		70~79歳	112	20.5	29.5	36.6	13.4
		80歳以上	68	11.8	17.6	39.7	30.9
	男性	18~19歳	10	40.0	10.0	50.0	0.0
		20~29歳	49	44.9	18.4	36.7	0.0
		30~39歳	82	46.3	11.0	41.5	1.2
		40~49歳	110	45.5	19.1	33.6	1.8
		50~59歳	109	33.0	19.3	46.8	0.9
		60~69歳	92	28.3	21.7	45.7	4.3
		70~79歳	107	26.2	22.4	41.1	10.3
80歳以上	46	13.0	19.6	52.2	15.2		

「(シ) JKビジネス」

		回答者 総数(n)	い る 意 味 (内 容) ま で 知 っ て	味 聞 いた こ と は あ る が 、 意 味 (内 容) は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答	
全体		1419	60.6	18.5	15.6	5.4	
性別	女性	790	60.3	17.5	16.3	5.9	
	男性	605	62.3	19.7	13.7	4.3	
	女性、男性以外	5	40.0	40.0	20.0	0.0	
性・年代別	女性	18~19歳	10	40.0	60.0	0.0	0.0
		20~29歳	75	69.3	17.3	13.3	0.0
		30~39歳	97	71.1	16.5	11.3	1.0
		40~49歳	159	80.5	14.5	3.8	1.3
		50~59歳	147	75.5	16.3	7.5	0.7
		60~69歳	121	55.4	18.2	20.7	5.8
		70~79歳	112	33.0	21.4	32.1	13.4
		80歳以上	68	10.3	14.7	44.1	30.9
	男性	18~19歳	10	80.0	0.0	20.0	0.0
		20~29歳	49	77.6	10.2	12.2	0.0
		30~39歳	82	70.7	17.1	11.0	1.2
		40~49歳	110	76.4	16.4	5.5	1.8
		50~59歳	109	62.4	28.4	6.4	2.8
		60~69歳	92	65.2	17.4	14.1	3.3
		70~79歳	107	47.7	19.6	24.3	8.4
80歳以上	46	21.7	30.4	30.4	17.4		

【クロス集計】

「(ス) 介護離職」

		回答者 総数(n)	意味 （内容） まで知って いる	聞いたこと はあるが、 意 味（内容） は知らない	知らない	無 回 答	
全体		1419	64.6	18.1	12.4	4.9	
性別	女性	790	66.7	17.2	10.5	5.6	
	男性	605	63.1	19.3	13.7	3.8	
	女性、男性以外	5	0.0	60.0	40.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	70.0	20.0	10.0	0.0
		20～29歳	75	66.7	22.7	10.7	0.0
		30～39歳	97	71.1	14.4	13.4	1.0
		40～49歳	159	76.7	13.2	8.2	1.9
		50～59歳	147	72.1	15.0	12.2	0.7
		60～69歳	121	68.6	17.4	8.3	5.8
		70～79歳	112	60.7	18.8	9.8	10.7
		80歳以上	68	32.4	26.5	11.8	29.4
	男性	18～19歳	10	40.0	20.0	40.0	0.0
		20～29歳	49	65.3	22.4	12.2	0.0
		30～39歳	82	65.9	15.9	17.1	1.2
		40～49歳	110	75.5	15.5	7.3	1.8
		50～59歳	109	66.1	20.2	12.8	0.9
		60～69歳	92	64.1	20.7	12.0	3.3
		70～79歳	107	55.1	21.5	15.0	8.4
80歳以上	46	41.3	21.7	21.7	15.2		

「(セ) ダブルケア」

		回答者 総数(n)	意味 （内容） まで知って いる	聞いたこと はあるが、 意 味（内容） は知らない	知らない	無 回 答	
全体		1419	17.0	25.4	52.3	5.4	
性別	女性	790	16.7	24.9	52.4	5.9	
	男性	605	17.5	26.1	52.1	4.3	
	女性、男性以外	5	0.0	40.0	60.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	10.0	10.0	80.0	0.0
		20～29歳	75	14.7	28.0	57.3	0.0
		30～39歳	97	14.4	22.7	61.9	1.0
		40～49歳	159	22.6	18.2	57.9	1.3
		50～59歳	147	15.0	27.9	56.5	0.7
		60～69歳	121	21.5	28.1	44.6	5.8
		70～79歳	112	16.1	32.1	38.4	13.4
		80歳以上	68	5.9	19.1	44.1	30.9
	男性	18～19歳	10	0.0	20.0	80.0	0.0
		20～29歳	49	14.3	18.4	67.3	0.0
		30～39歳	82	18.3	26.8	52.4	2.4
		40～49歳	110	20.9	20.0	57.3	1.8
		50～59歳	109	14.7	26.6	56.9	1.8
		60～69歳	92	21.7	34.8	40.2	3.3
		70～79歳	107	19.6	28.0	43.0	9.3
80歳以上	46	8.7	26.1	50.0	15.2		

「(ソ) SDGs（持続可能な開発目標）」

		回答者 総数(n)	意味 （内容） まで知って いる	聞いたこと はあるが、 意 味（内容） は知らない	知らない	無 回 答	
全体		1419	27.2	17.3	50.2	5.3	
性別	女性	790	23.3	18.1	52.4	6.2	
	男性	605	32.9	16.5	46.8	3.8	
	女性、男性以外	5	20.0	40.0	40.0	0.0	
性・年代別	女性	18～19歳	10	70.0	10.0	20.0	0.0
		20～29歳	75	45.3	13.3	41.3	0.0
		30～39歳	97	25.8	26.8	46.4	1.0
		40～49歳	159	40.3	17.6	40.3	1.9
		50～59歳	147	20.4	23.1	55.8	0.7
		60～69歳	121	14.9	15.7	63.6	5.8
		70～79歳	112	4.5	17.9	63.4	14.3
		80歳以上	68	1.5	7.4	60.3	30.9
	男性	18～19歳	10	40.0	20.0	40.0	0.0
		20～29歳	49	44.9	22.4	32.7	0.0
		30～39歳	82	28.0	22.0	48.8	1.2
		40～49歳	110	40.0	16.4	41.8	1.8
		50～59歳	109	41.3	12.8	45.0	0.9
		60～69歳	92	35.9	16.3	44.6	3.3
		70～79歳	107	21.5	15.0	55.1	8.4
80歳以上	46	10.9	13.0	60.9	15.2		

【経年比較】

平成 22 年度調査と比較すると、「(ア) 男女共同参画社会基本法」や「(イ) DV防止法」は、「意味(内容)まで知っている」と回答した市民の割合が、平成 22 年度調査から増加しているが、「(エ) 調布市男女共同参画推進プラン」は、大きな違いは見られない。

			回答者 総数(n)	意味 で知 つて い る ま ま 意 味 知 つ て い る	あ ら な い 内 容 が 意 味 は あ ら な い 内 容 が 意 味 は	知 ら な い	無 回 答
(ア) 男女共同参画 社会基本法	令和 2 年度	全体	1419	15.1	37.2	42.8	4.9
		女性	790	15.1	37.6	42.0	5.3
		男性	605	15.0	37.4	44.1	3.5
	平成22年度	全体	1080	4.4	30.9	58.9	5.8
		女性	610	3.0	30.7	60.8	5.6
		男性	441	6.6	30.8	57.1	5.4
(イ) DV防止法	令和 2 年度	全体	1419	39.4	45.0	10.8	4.8
		女性	790	39.1	46.8	8.6	5.4
		男性	605	39.8	43.0	13.6	3.6
	平成22年度	全体	1080	10.2	59.7	24.3	5.8
		女性	610	10.8	60.0	24.6	4.6
		男性	441	10.0	60.8	22.9	6.3
(エ) 調布市男女共同 参画推進プラン	令和 2 年度	全体	1419	3.8	22.8	67.9	5.4
		女性	790	4.1	25.7	63.9	6.3
		男性	605	3.3	18.8	74.0	3.8
	平成22年度	全体	1080	1.2	18.1	75.0	5.6
		女性	610	0.8	18.7	76.1	4.4
		男性	441	1.8	17.2	74.8	6.1

【国の調査との比較】

各用語の認知度をみると、いずれの用語も調布市の方が国よりも 10~30 ポイント程度高くなっている。

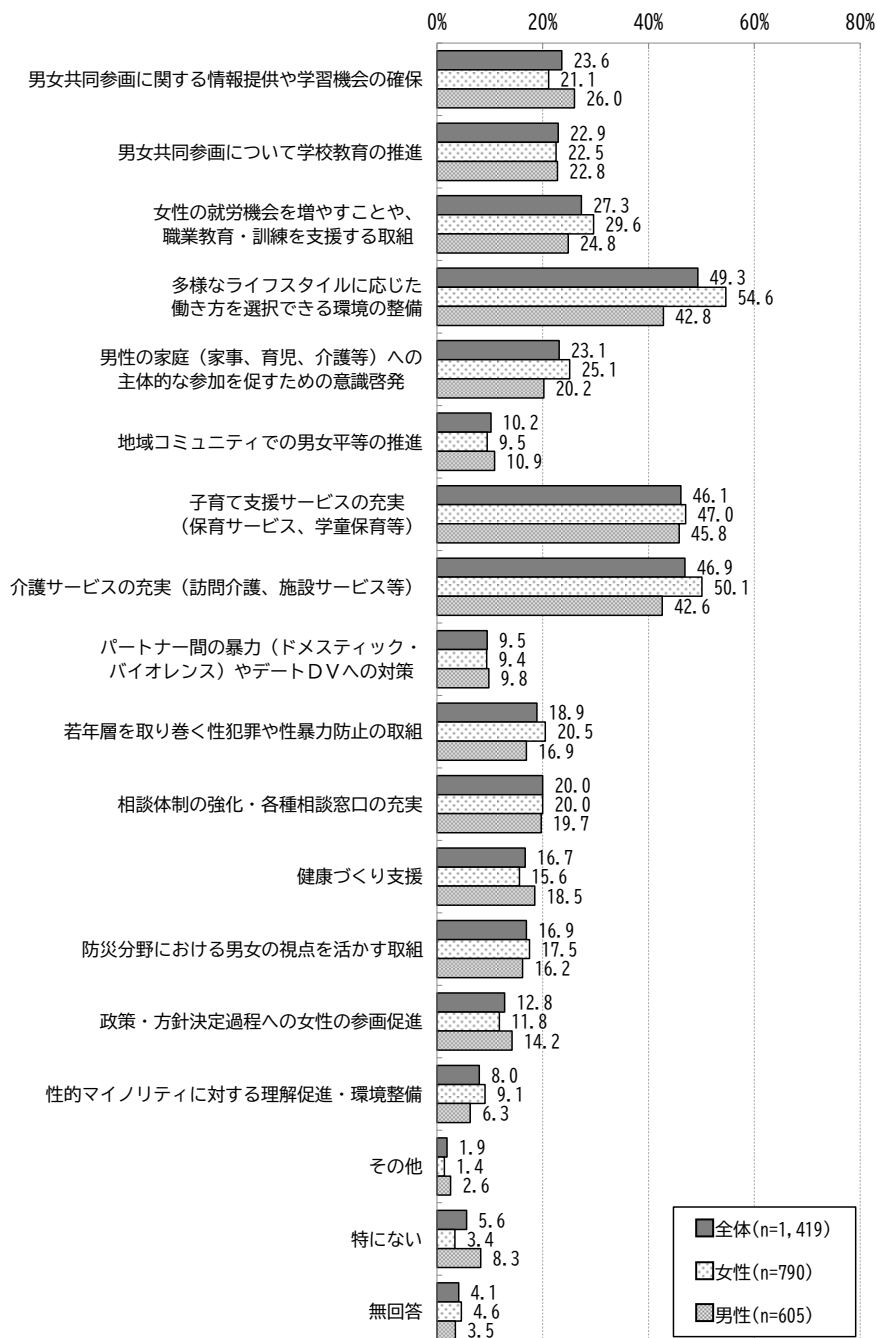
	回答者 総数(n)	女 性 活 躍 推 進 法	ジ ェ ン ダ ー	バ ワ ー ン ク ス ・ ラ イ フ ・	D V
調布市	1419	54.8	77.9	73.3	91.3
国	2645	38.6	55.8	43.1	81.5

出典：男女共同参画社会に関する世論調査（令和元年 内閣府）

問 32 今後、調布市における男女共同参画社会づくりのために、特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は5つまで)

全体では、「多様なライフスタイルに応じた働き方を選択できる環境の整備」が49.3%と最も高く、次いで「介護サービスの充実（訪問介護、施設サービス等）」が46.9%、「子育て支援サービスの充実（保育サービス、学童保育等）」が46.1%となっている。

性別にみると、女性は「多様なライフスタイルに応じた働き方を選択できる環境の整備」が54.6%、男性は「子育て支援サービスの充実（保育サービス、学童保育等）」が45.8%とそれぞれ最も高くなっている。**女性は男性と比べ、「多様なライフスタイルに応じた働き方を選択できる環境の整備」が11.8ポイント、「介護サービスの充実（訪問介護、施設サービス等）」が7.5ポイント高くなっている。**その他の回答については性別により大きな違いは見られない。



【クロス集計】

		回答者 総数(n)	男女共同 参画に関 する情報 提供や学 習機会に 関する確 保	男女共同 参画につ いて学校 教育の推 進	女性の就 業機会を 増やすこ とや、職 業教育・ 訓練を支 援する取 組	多様なラ イフスタ イルに 対応する 環境の整 備	多様なラ イフスタ イルに 対応する 環境の整 備	多様なラ イフスタ イルに 対応する 環境の整 備	多様なラ イフスタ イルに 対応する 環境の整 備	多様なラ イフスタ イルに 対応する 環境の整 備	多様なラ イフスタ イルに 対応する 環境の整 備	多様なラ イフスタ イルに 対応する 環境の整 備	
全体		1419	23.6	22.9	27.3	49.3	23.1	10.2	46.1	46.9	9.5		
性別	女性	790	21.1	22.5	29.6	54.6	25.1	9.5	47.0	50.1	9.4		
	男性	605	26.0	22.8	24.8	42.8	20.2	10.9	45.8	42.6	9.8		
	女性、男性以外	5	80.0	40.0	20.0	60.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0		
性・年代別	女性	18～19歳	10	30.0	50.0	50.0	30.0	30.0	10.0	60.0	70.0	10.0	
		20～29歳	75	16.0	25.3	29.3	61.3	33.3	10.7	64.0	41.3	9.3	
		30～39歳	97	13.4	24.7	28.9	70.1	28.9	9.3	62.9	45.4	12.4	
		40～49歳	159	17.6	23.3	35.8	59.1	27.0	11.3	45.9	42.1	10.1	
		50～59歳	147	22.4	21.8	34.7	57.1	23.8	5.4	44.2	52.4	12.2	
		60～69歳	121	24.0	23.1	22.3	53.7	23.1	4.1	47.9	55.4	6.6	
		70～79歳	112	24.1	19.6	27.7	39.3	18.8	15.2	36.6	54.5	8.0	
	80歳以上	68	32.4	16.2	19.1	38.2	22.1	13.2	26.5	60.3	2.9		
	男性	18～19歳	10	30.0	50.0	0.0	70.0	20.0	10.0	40.0	30.0	40.0	
		20～29歳	49	14.3	14.3	20.4	53.1	32.7	4.1	57.1	24.5	16.3	
		30～39歳	82	8.5	23.2	15.9	46.3	19.5	13.4	61.0	34.1	8.5	
		40～49歳	110	21.8	16.4	20.9	47.3	19.1	6.4	50.9	40.0	14.5	
		50～59歳	109	30.3	20.2	25.7	45.0	13.8	11.9	38.5	45.0	6.4	
		60～69歳	92	28.3	26.1	30.4	44.6	20.7	7.6	42.4	48.9	9.8	
70～79歳		107	35.5	30.8	32.7	34.6	20.6	15.0	46.7	55.1	6.5		
80歳以上	46	41.3	21.7	28.3	19.6	23.9	19.6	17.4	39.1	2.2			

		回答者 総数(n)	若年層 の暴力防 止の取 組	若年層 の暴力防 止の取 組	若年層 の暴力防 止の取 組	若年層 の暴力防 止の取 組	若年層 の暴力防 止の取 組	若年層 の暴力防 止の取 組	若年層 の暴力防 止の取 組	若年層 の暴力防 止の取 組	若年層 の暴力防 止の取 組	若年層 の暴力防 止の取 組	
全体		1419	18.9	20.0	16.7	16.9	12.8	8.0	1.9	5.6	4.1		
性別	女性	790	20.5	20.0	15.6	17.5	11.8	9.1	1.4	3.4	4.6		
	男性	605	16.9	19.7	18.5	16.2	14.2	6.3	2.6	8.3	3.5		
	女性、男性以外	5	20.0	40.0	0.0	40.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0		
性・年代別	女性	18～19歳	10	40.0	30.0	0.0	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
		20～29歳	75	16.0	17.3	8.0	18.7	10.7	18.7	2.7	2.7	0.0	
		30～39歳	97	19.6	18.6	14.4	17.5	9.3	13.4	1.0	3.1	1.0	
		40～49歳	159	27.7	18.9	16.4	16.4	9.4	10.1	3.1	1.3	1.9	
		50～59歳	147	19.0	16.3	14.3	21.1	12.2	7.5	1.4	4.8	1.4	
		60～69歳	121	16.5	25.6	19.0	20.7	18.2	7.4	0.8	3.3	6.6	
		70～79歳	112	19.6	19.6	18.8	15.2	11.6	5.4	0.0	5.4	8.9	
	80歳以上	68	17.6	25.0	17.6	11.8	7.4	2.9	0.0	4.4	17.6		
	男性	18～19歳	10	10.0	0.0	40.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	
		20～29歳	49	34.7	16.3	14.3	20.4	10.2	10.2	2.0	8.2	0.0	
		30～39歳	82	12.2	17.1	13.4	9.8	12.2	9.8	3.7	12.2	2.4	
		40～49歳	110	24.5	15.5	12.7	14.5	15.5	10.9	2.7	9.1	0.9	
		50～59歳	109	13.8	17.4	21.1	22.9	14.7	3.7	3.7	7.3	0.0	
		60～69歳	92	8.7	18.5	16.3	20.7	14.1	3.3	4.3	8.7	3.3	
70～79歳		107	16.8	30.8	20.6	12.1	19.6	2.8	0.9	4.7	7.5		
80歳以上	46	13.0	23.9	34.8	13.0	8.7	4.3	0.0	8.7	15.2			

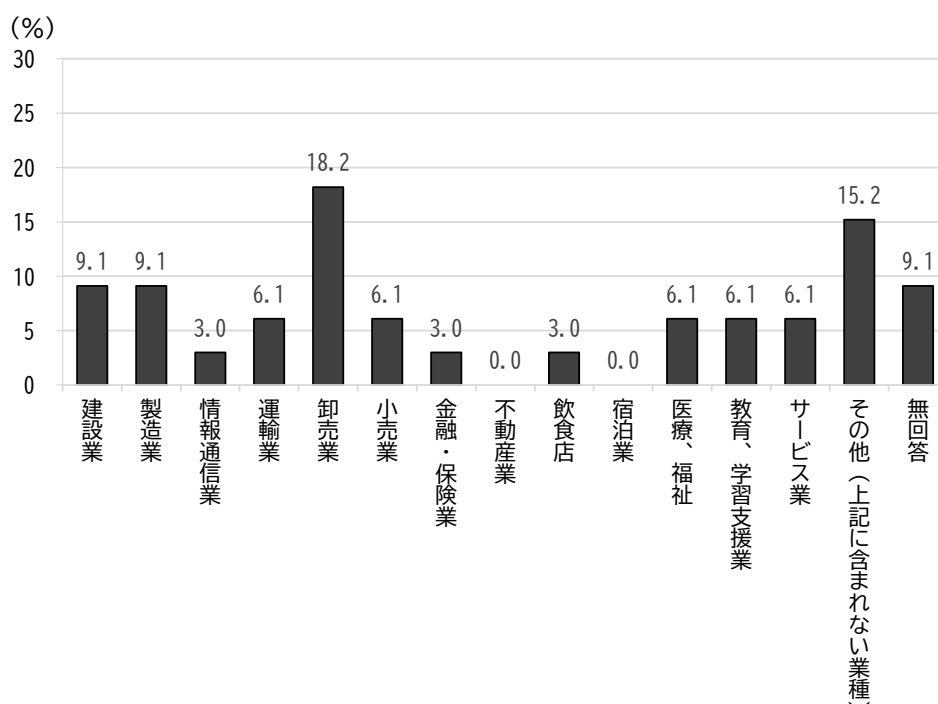
第3章 事業所意識調査の結果

1. 基礎データ

問1 事業所の概要について、お答えください。(直近で分かる数字をお答えください。)

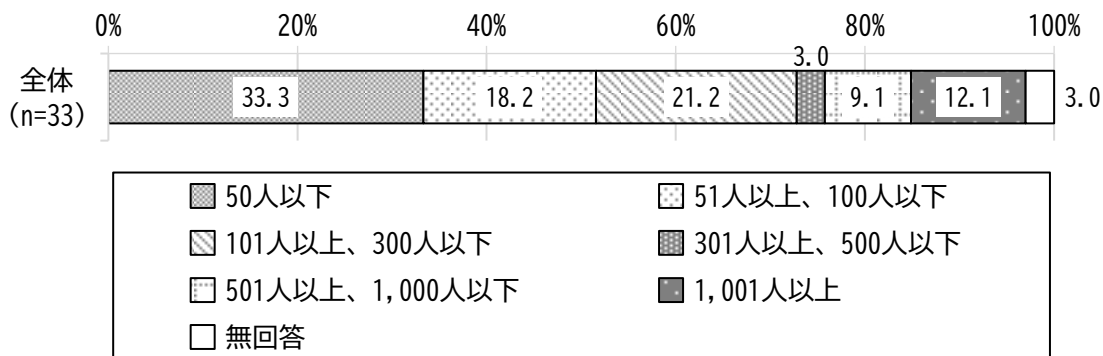
【業種】

「卸売業」が18.2%と最も高く、次いで「その他（上記に含まれない業種）」が15.2%、「建設業」、「製造業」が9.1%となっている。



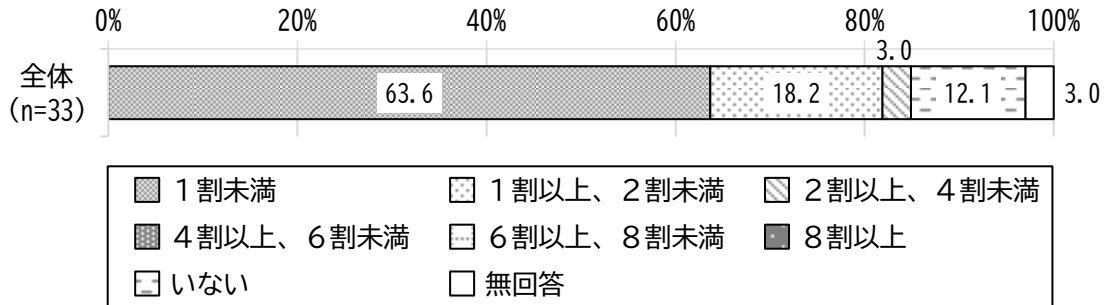
【従業員数】

「50人以下」が33.3%と最も高く、次いで「101人以上、300人以下」が21.2%、「51人以上、100人以下」が18.2%となっている。



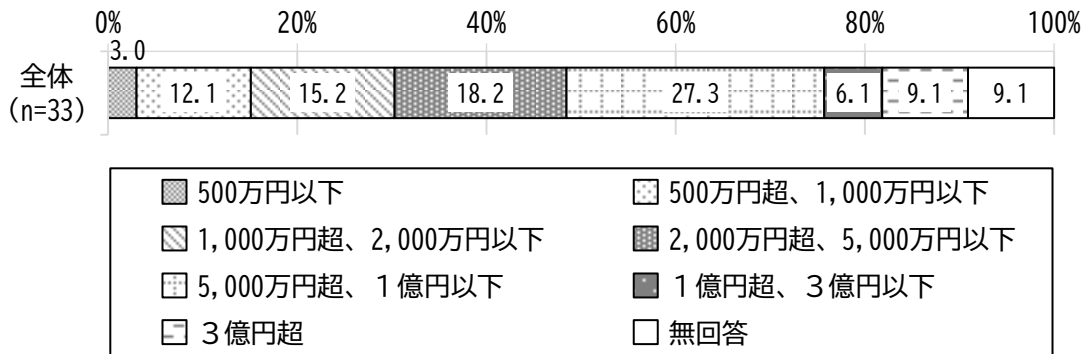
【女性管理職の割合】

「1割未満」が63.6%と最も高く、次いで「1割以上、2割未満」が18.2%、「いない」が12.1%となっている。



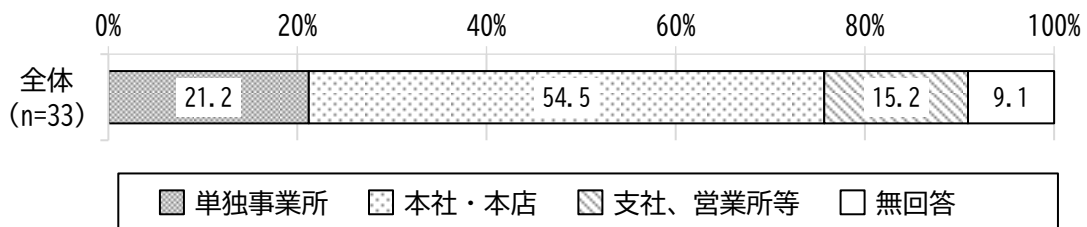
【資本金】

「5,000万円超、1億円以下」が27.3%と最も高く、次いで「2,000万円超、5,000万円以下」が18.2%、「1,000万円超、2,000万円以下」が15.2%となっている。



【事業所の性格】

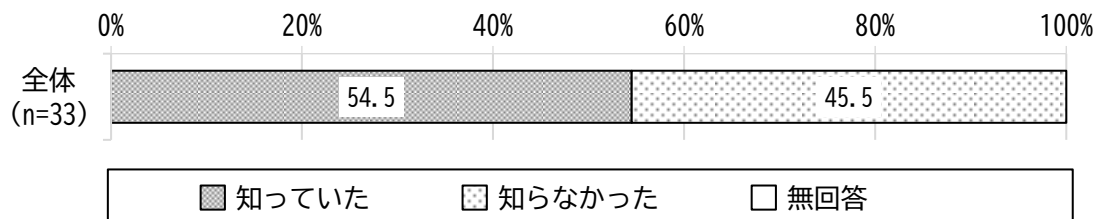
「本社・本店」が54.5%と最も高く、次いで「単独事業所」が21.2%、「支社、営業所等」が15.2%となっている。



2. 女性の登用・雇用について

問2 令和元年6月5日に女性活躍推進法等の一部を改正する法律が公布され、これまで努力義務とされてきた常時雇用する労働者数が101人以上300人以下の事業主についても、一般事業主行動計画の策定や届出が義務化されました。貴事業所では、この改正があったことを知っていましたか。(〇は1つだけ)

「知っていた」が54.5%、「知らなかった」が45.5%となっている。

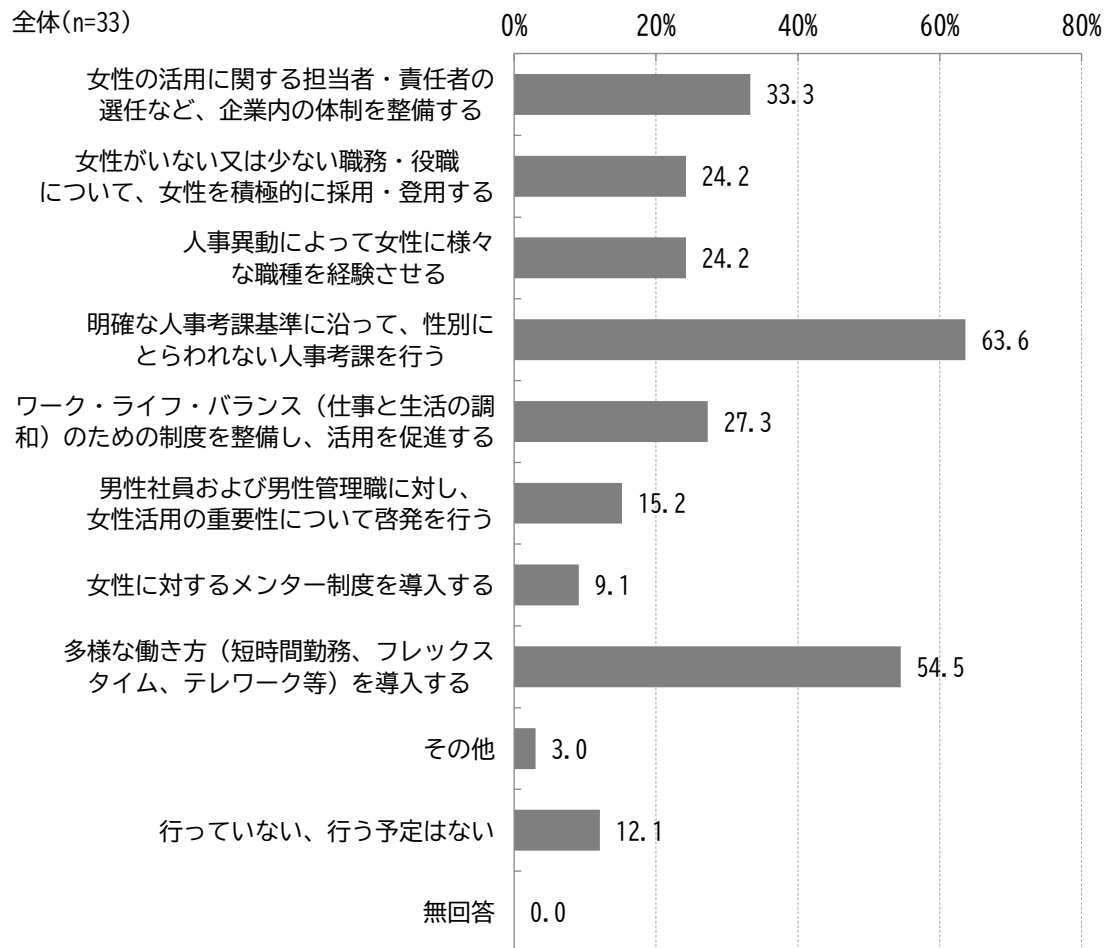


【クロス集計】

		回答者 総数(n)	知 た っ て	知 ら な か っ た	無 回 答
全体		33	54.5	45.5	0.0
従 業 員 数	50人以下	11	27.3	72.7	0.0
	51人以上、100人以下	6	16.7	83.3	0.0
	101人以上、300人以下	7	85.7	14.3	0.0
	301人以上、500人以下	1	100.0	0.0	0.0
	501人以上、1,000人以下	3	100.0	0.0	0.0
	1,001人以上	4	100.0	0.0	0.0

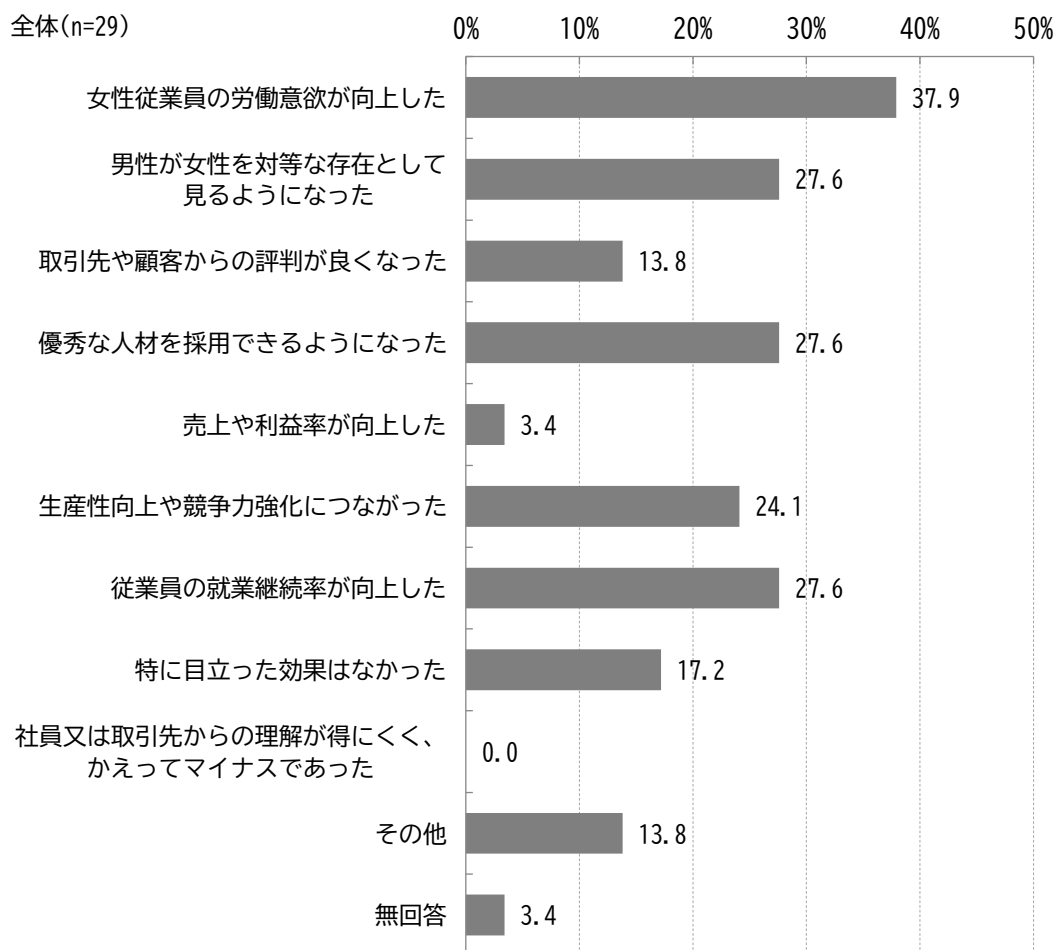
問3 女性の雇用・登用を進めるためにどのような取組を行っていますか、又は実施予定ですか。
(〇はいくつでも)

「明確な人事考課基準に沿って、性別にとられない人事考課を行う」が63.6%と最も高く、次いで「多様な働き方（短時間勤務、フレックスタイム、テレワーク等）を導入する」が54.5%、「女性の活用に関する担当者・責任者の選任など、企業内の体制を整備する」が33.3%となっている。



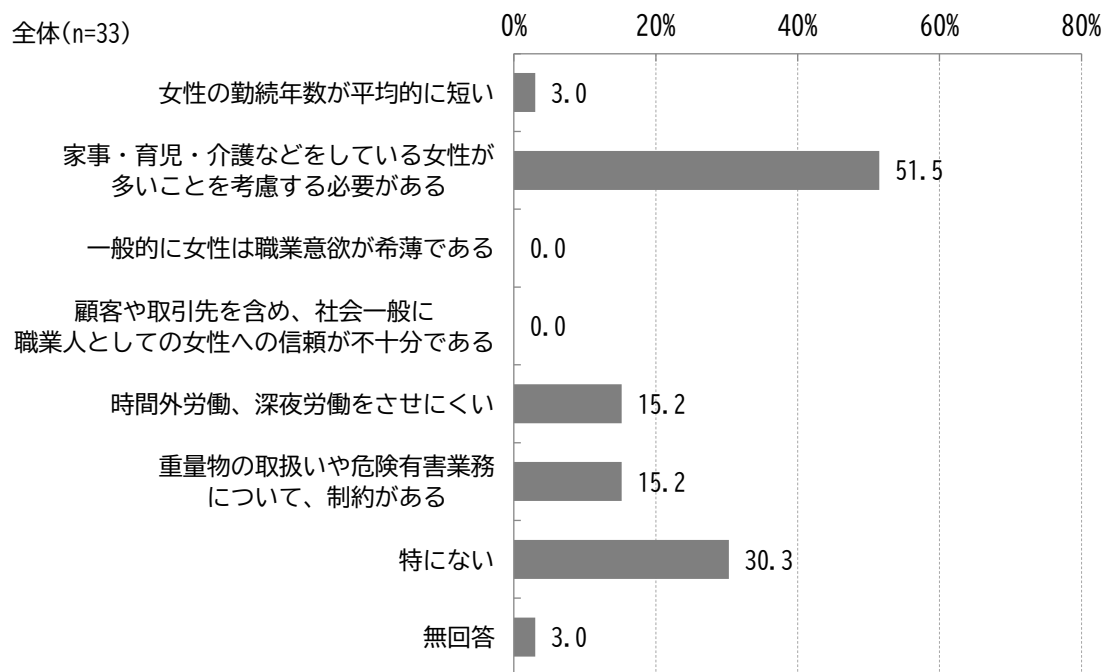
問 3-1 貴事業所では、取組を実施し、どのような効果がありましたか。(〇はいくつでも)

「女性従業員の労働意欲が向上した」が37.9%と最も高く、次いで「男性が女性を対等な存在として見るようになった」、「優秀な人材を採用できるようになった」、「従業員の就業継続率が向上した」が27.6%となっている。



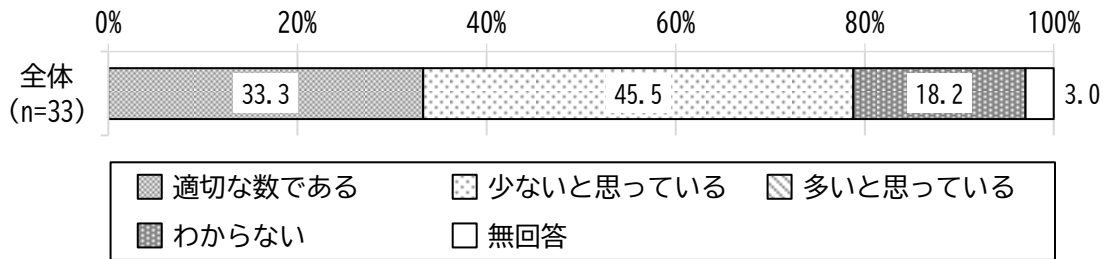
問4 女性の雇用・登用を進める上で、どのような課題がありますか。(〇はいくつでも)

「家事・育児・介護などを行っている女性が多いことを考慮する必要がある」が51.5%と最も高く、次いで「特にない」が30.3%、「時間外労働、深夜労働をさせにくい」、「重量物の取扱いや危険有害業務について、制約がある」が15.2%となっている。



問5 貴事業所の現在の女性管理職の数をどのように考えていますか。(○は1つだけ)

「少ないと思っている」が45.5%と最も高く、次いで「適切な数である」が33.3%、「わからない」が18.2%となっている。

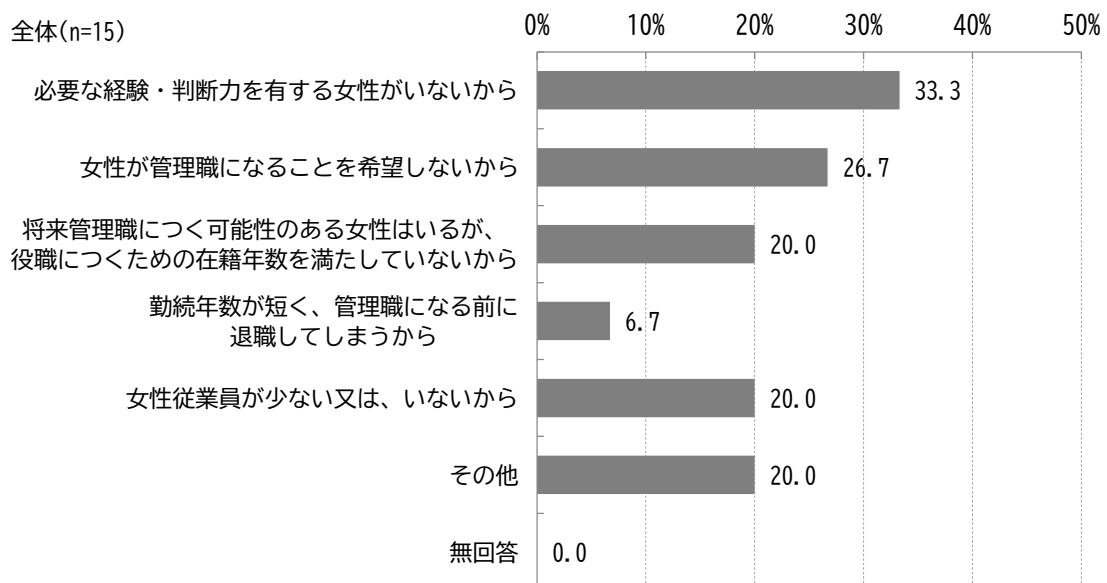


【クロス集計】

		回答者 総数(n)	あ 適 切 な 数 で	思 少 な い と い と る	て 多 い と 思 っ て	わ か ら な い	無 回 答
全体		33	33.3	45.5	0.0	18.2	3.0
女 性 割 管 理 職	1割未満	21	38.1	47.6	0.0	14.3	0.0
	1割以上、2割未満	6	33.3	50.0	0.0	16.7	0.0
	2割以上、4割未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4割以上、6割未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6割以上、8割未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	8割以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	いない	4	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0

問5-1 女性管理職の数が少ないとすれば、それはどのような理由からですか。(○はいくつでも)

「必要な経験・判断力を有する女性がないから」が33.3%と最も高く、次いで「女性が管理職になることを希望しないから」が26.7%、「将来管理職につく可能性のある女性はあるが、役職につくための在籍年数を満たしていないから」、「女性従業員が少ない又は、いないから」が20.0%となっている。

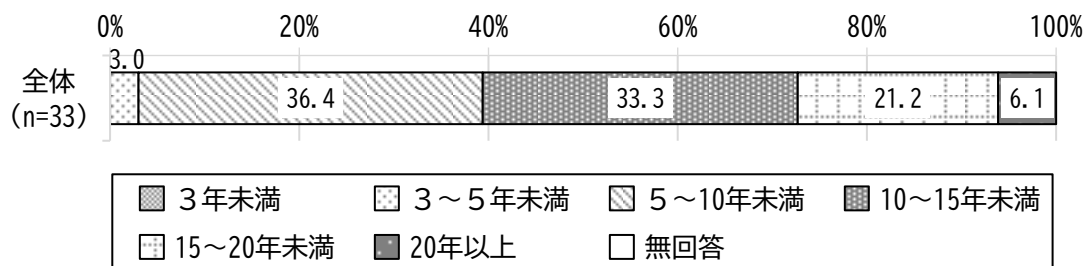


3. 多様な働き方について

問6 貴事業所に現在在籍している「正社員」の平均勤続年数はどのくらいですか。直近の事業年度（または把握できる直近の1年間）についてお答えください。（○はそれぞれ1つずつ）

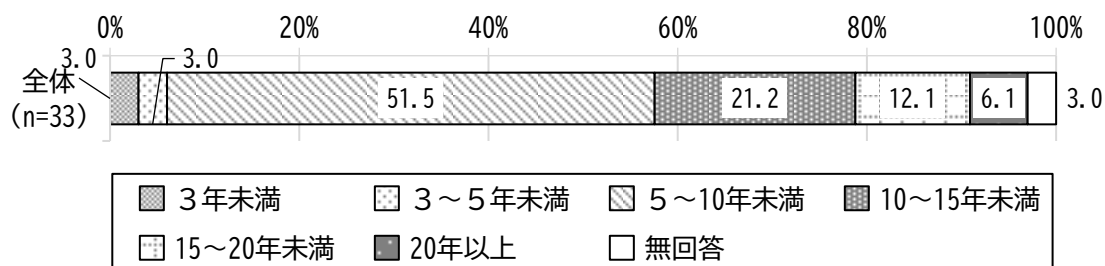
【男性の場合】

「5～10年未満」が36.4%と最も高く、次いで「10～15年未満」が33.3%、「15～20年未満」が21.2%となっている。



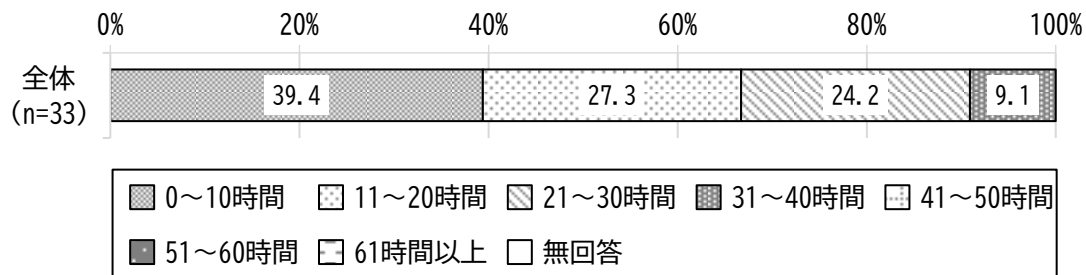
【女性の場合】

「5～10年未満」が51.5%と最も高く、次いで「10～15年未満」が21.2%、「15～20年未満」が12.1%となっている。



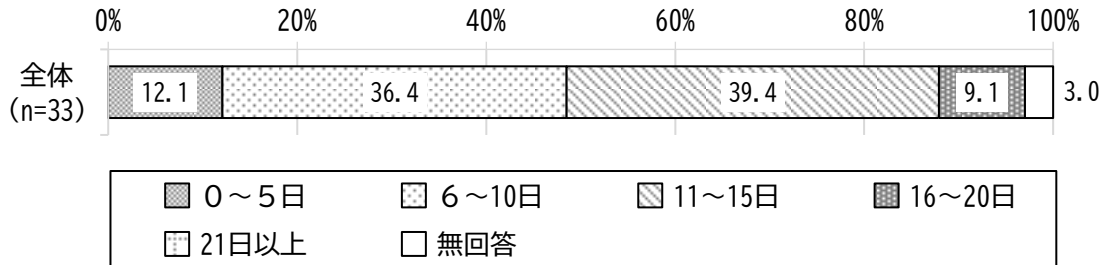
問7 「正社員」一人あたりの1か月の平均残業時間（超過勤務時間）はどのくらいですか。（○は1つだけ）

「0～10時間」が39.4%と最も高く、次いで「11～20時間」が27.3%、「21～30時間」が24.2%となっている。



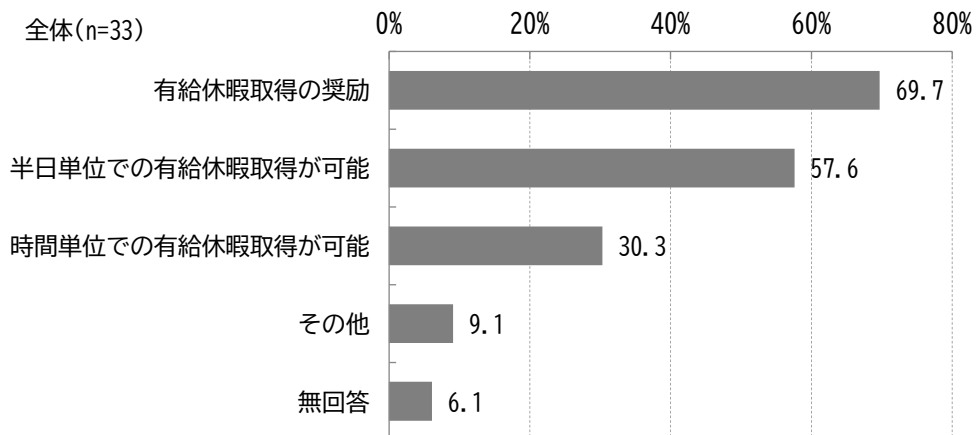
問8 正社員の平均の年次有給休暇の取得状況はどのくらいですか。(○は1つだけ)

「11～15日」が39.4%と最も高く、次いで「6～10日」が36.4%、「0～5日」が12.1%となっている。



問9 有給休暇の取得促進のためにやっていることはありますか。(○はいくつでも)

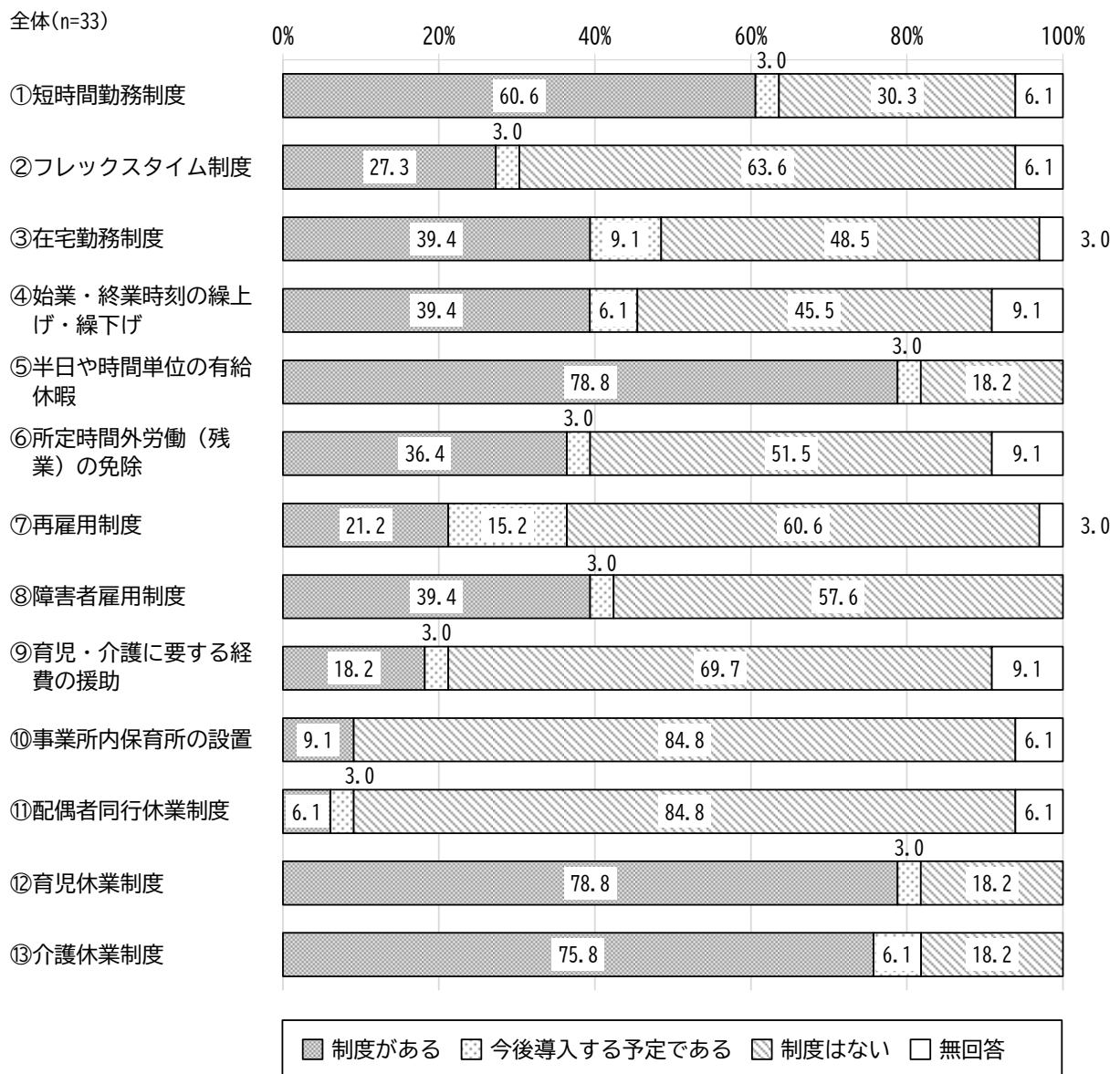
「有給休暇取得の奨励」が69.7%と最も高く、次いで「半日単位での有給休暇取得が可能」が57.6%、「時間単位での有給休暇取得が可能」が30.3%となっている。



問 10 貴事業所において、多様な働き方への取組として、以下のような制度はありますか。

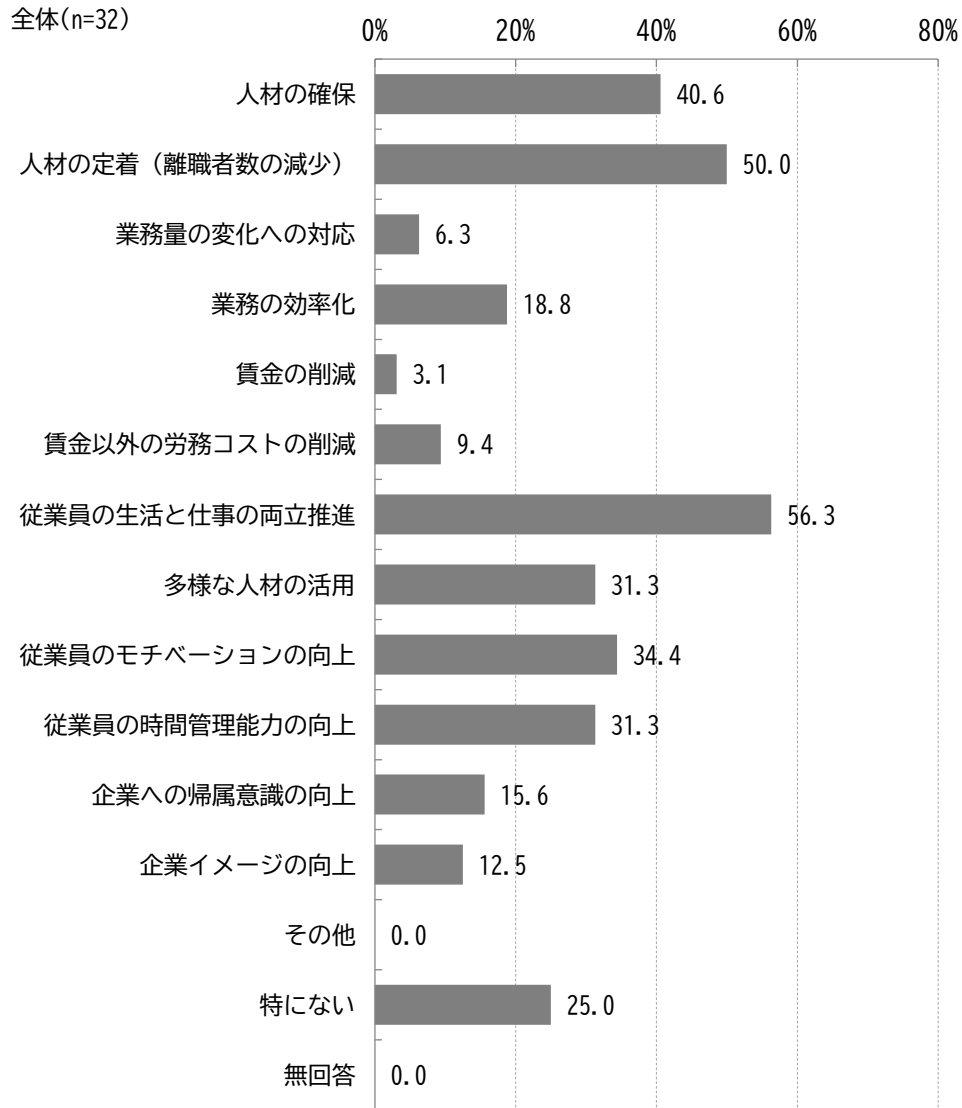
(○はそれぞれ1つずつ)

「①短時間勤務制度」、「⑤半日や時間単位の有給休暇」、「⑫育児休業制度」、「⑬介護休業制度」では、「制度がある」と回答した事業所が半数以上となっている。一方で「②フレックスタイム制度」、「⑥所定時間外労働（残業）の免除」、「⑦再雇用制度」、「⑧障害者雇用制度」、「⑨育児・介護に要する経費の援助」、「⑩事業所内保育所の設置」、「⑪配偶者同行休業制度」では、「制度はない」と回答した事業所が半数以上となっている。



問 10-1 制度を設けていることにより、どのような効果がありましたか。(〇はいくつでも)

「従業員の生活と仕事の両立推進」が 56.3%と最も高く、次いで「人材の定着（離職者数の減少）」が 50.0%、「人材の確保」が 40.6%となっている。

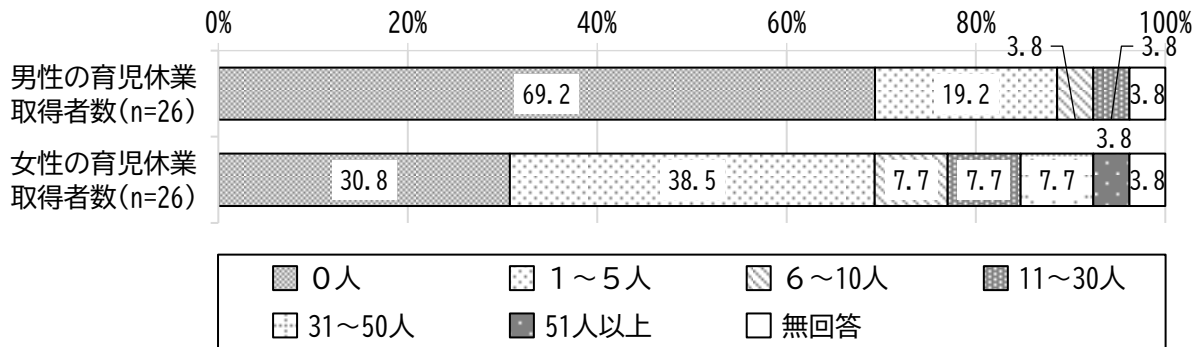


問 10-2 育児・介護休業制度の取得状況について利用者は何人でしたか。(数字を記入)

【昨年度1年間の育児休業取得者数】

男性の育児休業取得者数は、「0人」が69.2%と最も高く、次いで「1～5人」が19.2%、「6～10人」、「11～30人」が3.8%となっている。

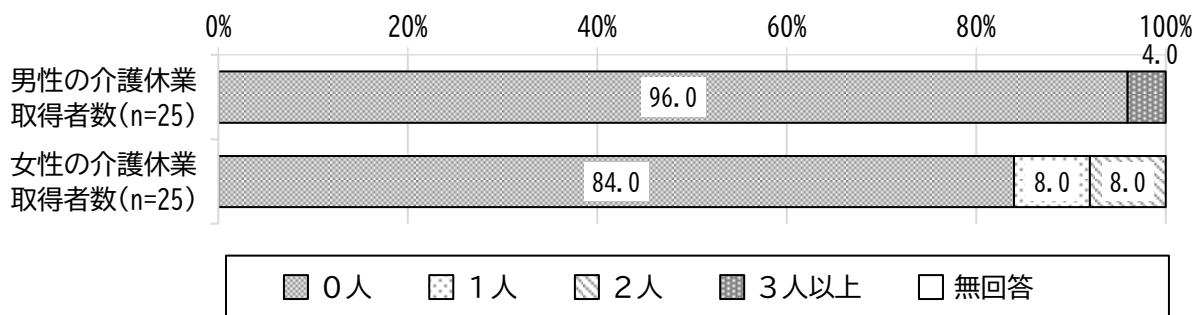
女性の育児休業取得者数は、「1～5人」が38.5%と最も高く、次いで「0人」が30.8%、「6～10人」、「11～30人」、「31～50人」が7.7%となっている。



【昨年度1年間の介護休業取得者数】

男性の介護休業取得者数は、「0人」が96.0%と最も高く、次いで「3人以上」が4.0%となっている。

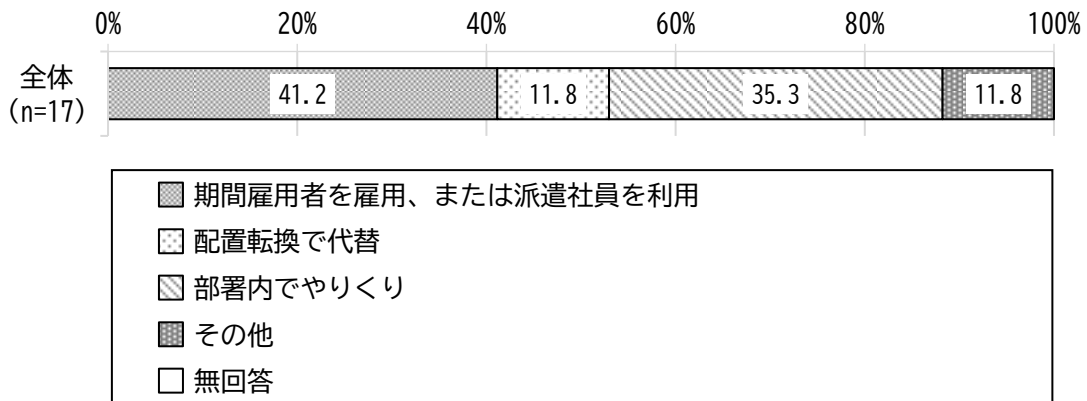
女性の介護休業取得者数は、「0人」が84.0%と最も高く、次いで「1人」、「2人」が8.0%となっている。



問 10-3 休業中の労働者の代替要員をどのように確保しましたか。また、どのように確保したいと考えていますか。(○は1つだけ)

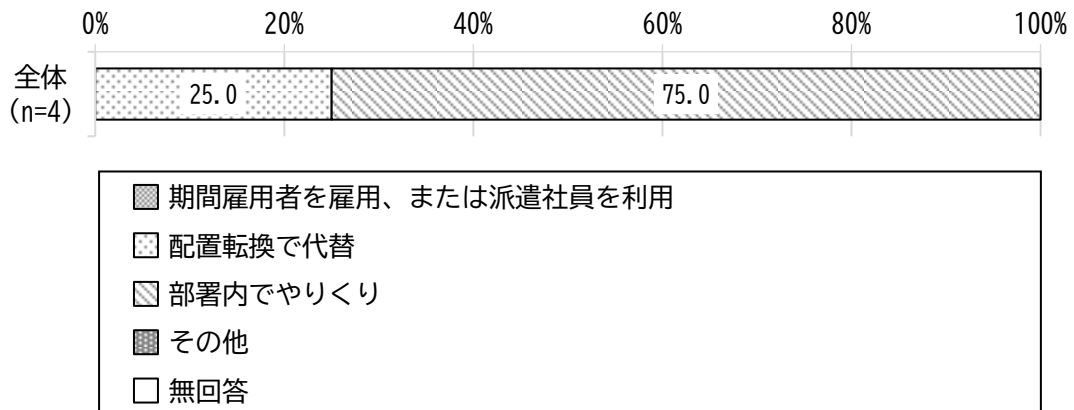
【育児休業制度】

「期間雇用者（パートタイム・アルバイト、契約社員等）を雇用、または派遣社員を利用」が41.2%と最も高く、次いで「部署内でやりくり」が35.3%、「配置転換で代替」が11.8%となっている。



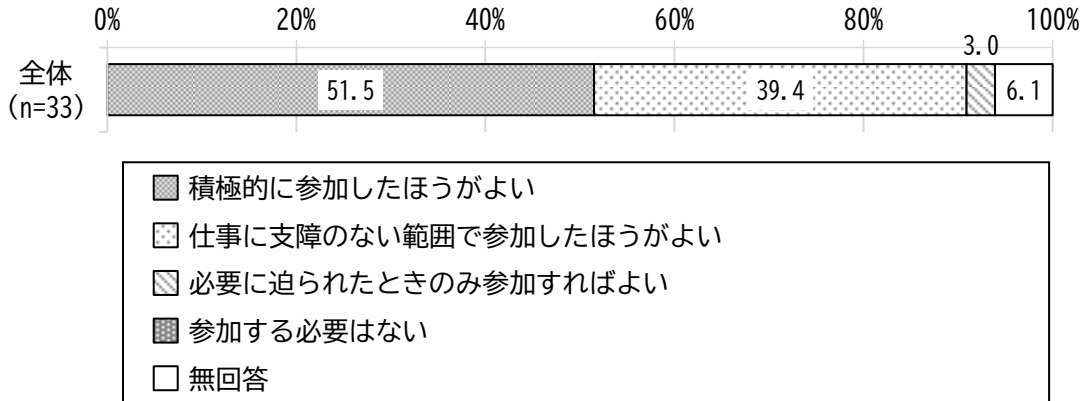
【介護休業制度】

「配置転換で代替」が25.0%、「部署内でやりくり」が75.0%となっている。



問 11 男性従業員が育児に参加することについてどう考えていますか。(○は1つだけ)

「積極的に参加したほうがよい」が51.5%と最も高く、次いで「仕事に支障のない範囲で参加したほうがよい」が39.4%、「必要に迫られたときのみ参加すればよい」が3.0%となっている。



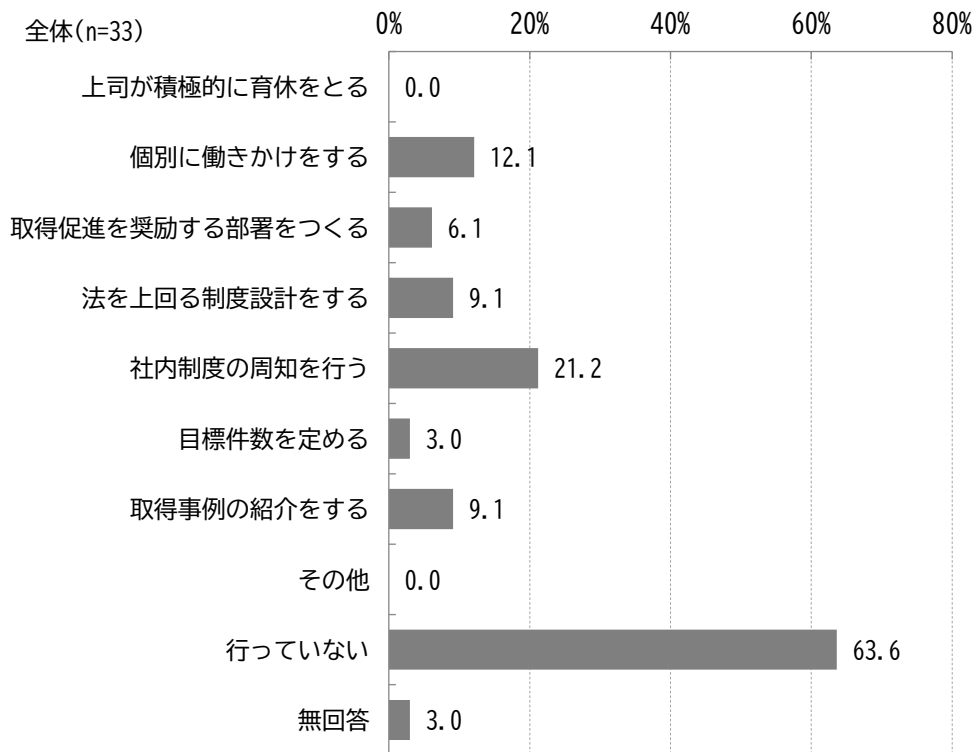
【東京都の調査との比較】

	回答者 総数(n)	が積 よ極 い的 に 参 加 し た ほ う	で仕 参 加 に し 支 障 の な い 範 囲	み必 参 加 に す 迫 ら れ た よ い と き の	参 加 す る 必 要 は な い	無 回 答
調布市	33	51.5	39.4	3.0	0.0	6.1
東京都	706	43.5	49.7	5.2	0.3	1.3

出典：職場のハラスメント防止への取組等 企業における男女雇用管理に関する調査（令和元年度 東京都）

問 12 貴事業所では、男性の育児休業の取得促進のために取組を行っていますか。また、行っている場合どのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

「行っていない」が63.6%と最も高く、次いで「社内制度の周知を行う」が21.2%、「個別に働きかけをする」が12.1%となっている。



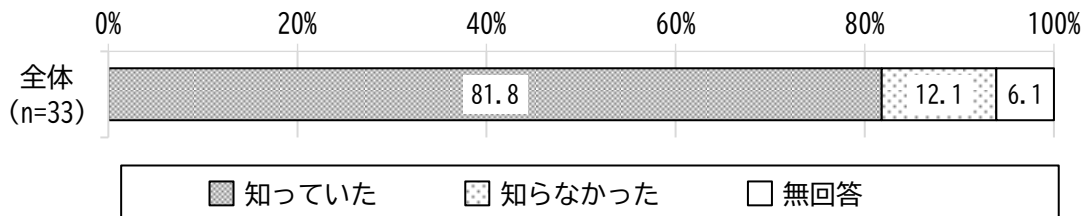
【東京都の調査との比較】

	回答者 総数(n)	行 っ て い る	行 っ て い な い	無 回 答
調布市	33	33.4	63.6	3.0
東京都	706	32.0	59.5	8.5

出典：職場のハラスメント防止への取組等 企業における男女雇用管理に関する調査（令和元年度 東京都）

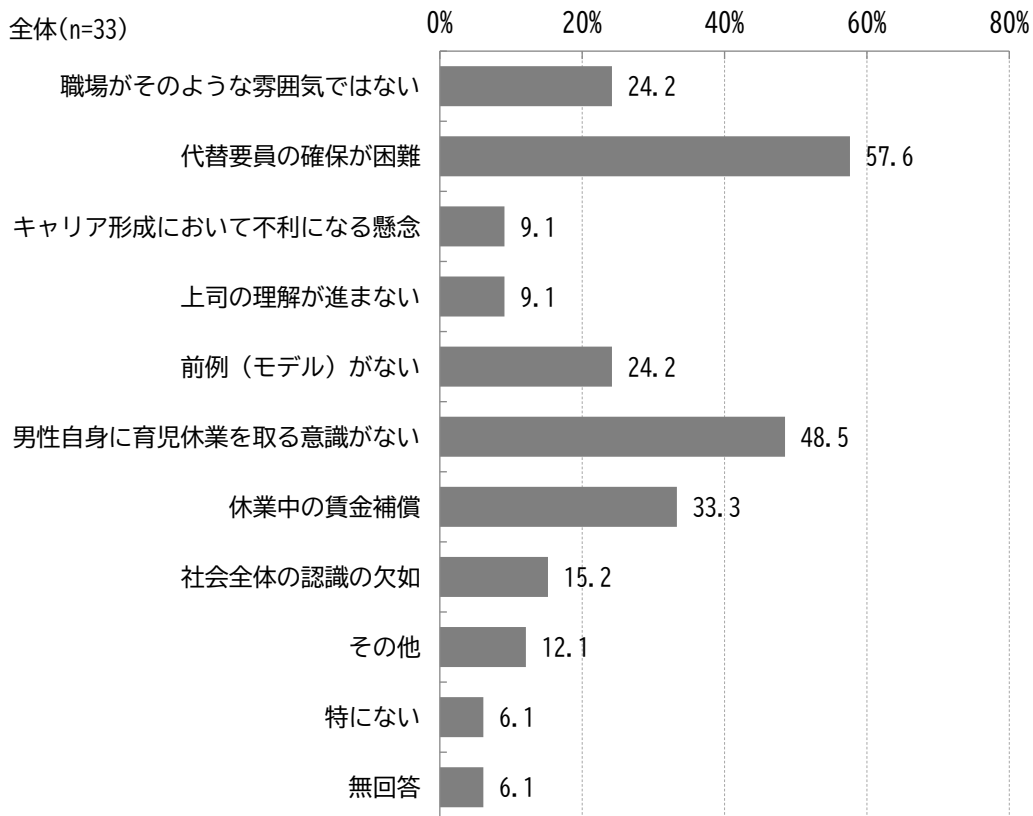
問 13 平成 29 年 1 月 1 日及び同年 10 月 1 日の、改正育児・介護休業法の施行、令和元年 12 月 27 日の改正育児・介護休業法施行規則及び改正指針の公布により、介護休業の分割取得や育児休業取得期間の延長などが可能となりました。貴事業所では、この改正があったことを知っていましたか。
(○は1つだけ)

「知っていた」が 81.8%、「知らなかった」が 12.1%となっている。



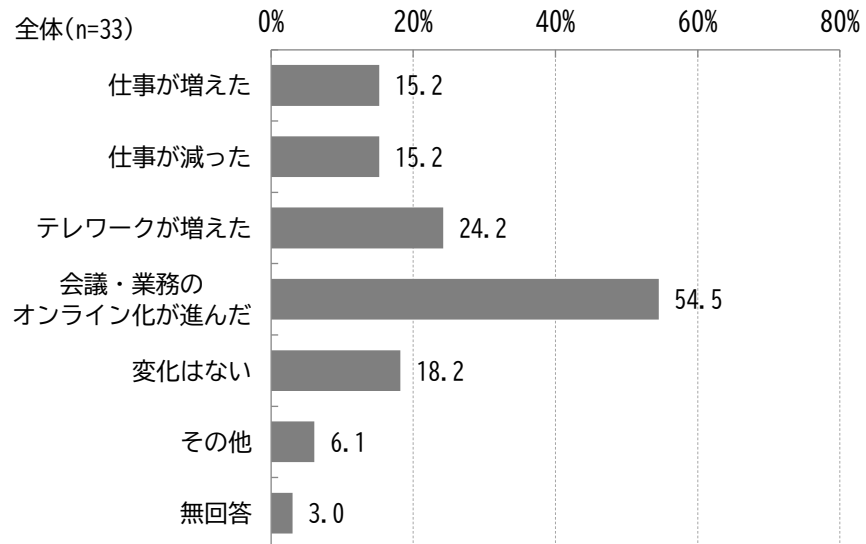
問 14 男性従業員が育児休業を取得するにあたっての課題、または課題となりそうなことは何ですか。
(○はいくつでも)

「代替要員の確保が困難」が 57.6%と最も高く、次いで「男性自身に育児休業を取る意識がない」が 48.5%、「休業中の賃金補償」が 33.3%となっている。



問 15 新型コロナウイルス感染状況下で職場内の働き方は変わりましたか。(〇はいくつでも)

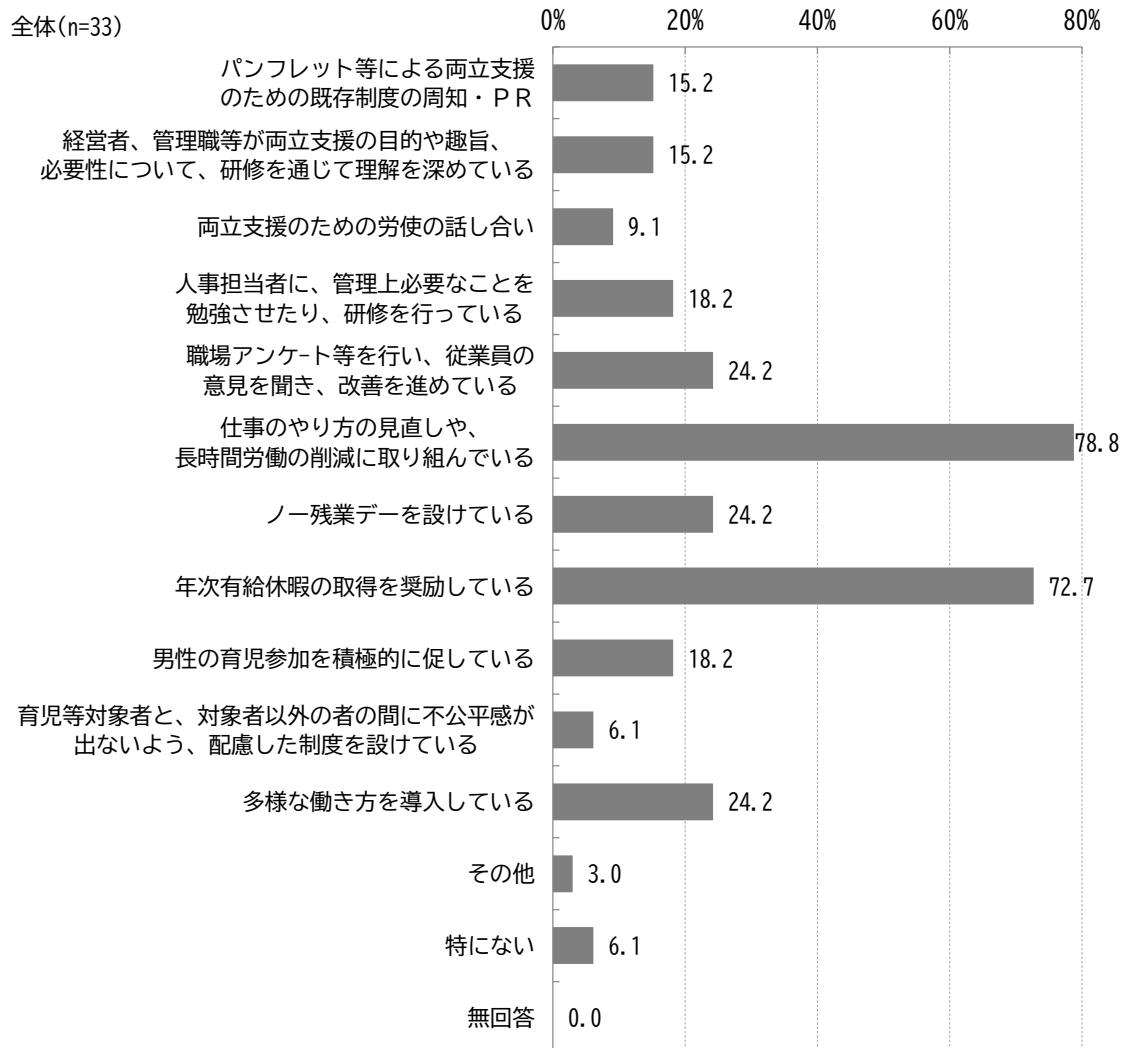
「会議・業務のオンライン化が進んだ」が54.5%と最も高く、次いで「テレワークが増えた」が24.2%、「変化はない」が18.2%となっている。



4. ワーク・ライフ・バランスについて

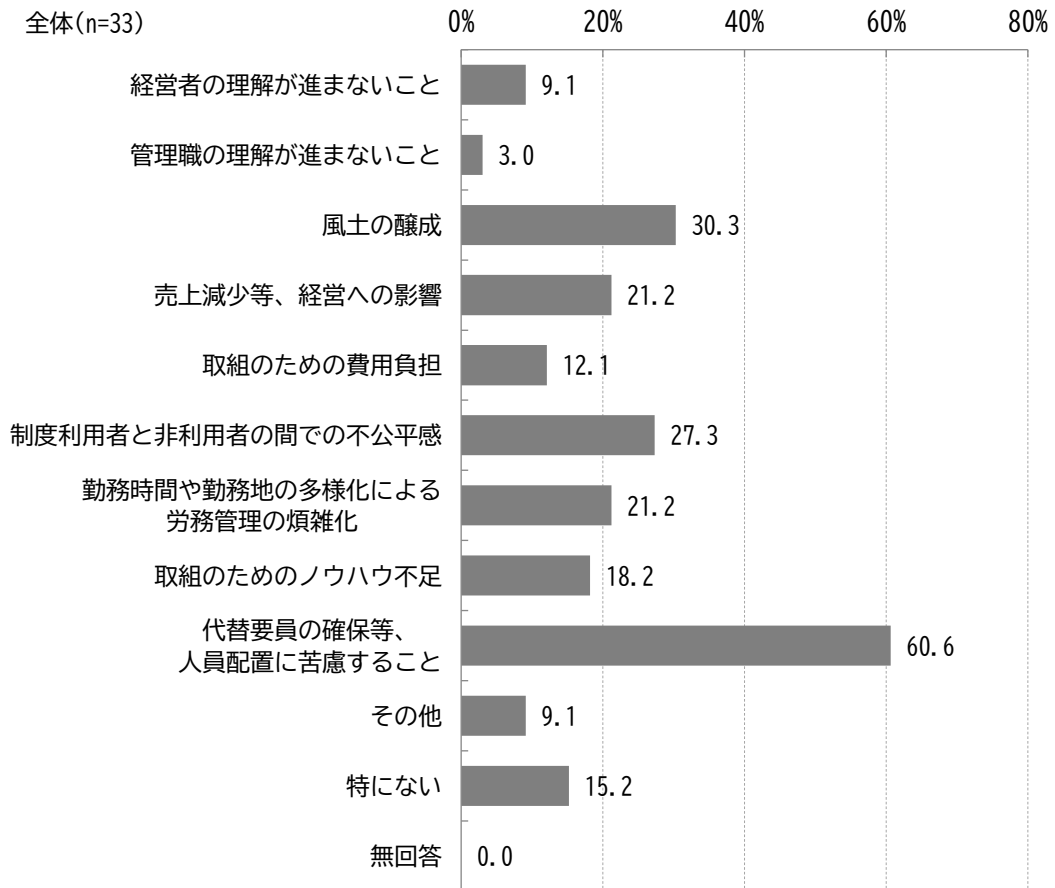
問 16 貴事業所のワーク・ライフ・バランスの取組として、どのようなものがありますか。
(〇はいくつでも)

「仕事のやり方の見直しや、長時間労働の削減に取り組んでいる」が78.8%と最も高く、次いで「年次有給休暇の取得を奨励している」が72.7%、「職場アンケート等を行い、従業員の意見を聞き、改善を進めている」、「ノー残業デーを設けている」、「多様な働き方を導入している」が24.2%となっている。



問 17 貴事業所において、ワーク・ライフ・バランスの推進・柔軟な働き方ができる制度の整備を進める上で、特に難しいと感じているのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

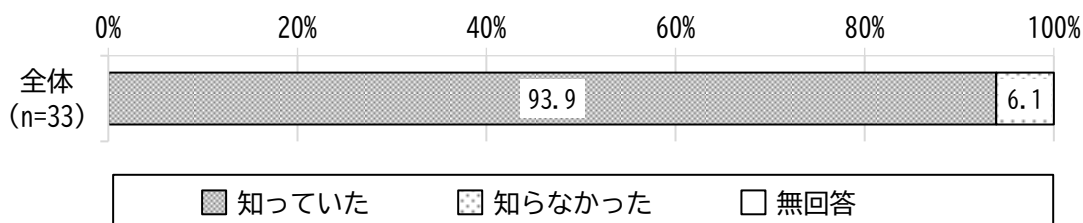
「代替要員の確保等、人員配置に苦慮すること」が60.6%と最も高く、次いで「風土の醸成」が30.3%、「制度利用者と非利用者の間での不公平感」が27.3%となっている。



5. ハラスメント対策について

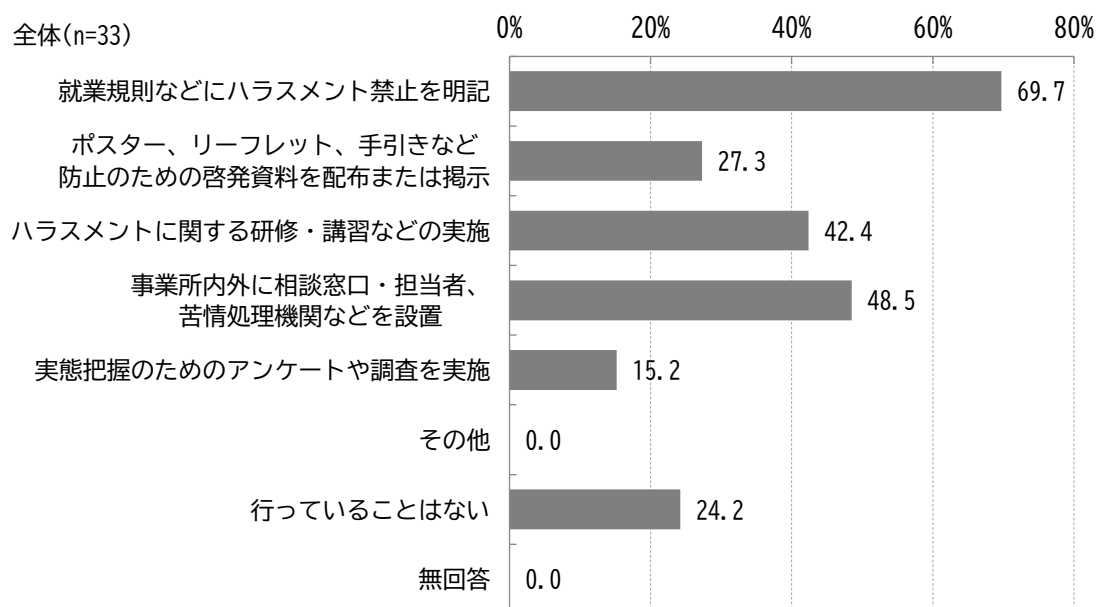
問 18 令和2年6月1日より、労働施策総合推進法、男女雇用機会均等法及び育児・介護休業法が改正され、職場におけるハラスメント防止対策が強化されました。貴事業所では、この改正があったことを知っていましたか。(○は1つだけ)

「知っていた」が93.9%、「知らなかった」が6.1%となっている。



問 19 ハラスメントを防止するために行っていることはありますか。(○はいくつでも)

「就業規則などにハラスメント禁止を明記」が69.7%と最も高く、次いで「事業所内外に相談窓口・担当者、苦情処理機関などを設置」が48.5%、「ハラスメントに関する研修・講習などの実施」が42.4%となっている。



【クロス集計】

		回答者 総数(n)	就業規則などにハラスメント禁止を明記	料を配布または掲示	ポスター、リーフレット、手引きなど防止のための啓発	ハラスメントに関する研修・講習などの実施	事業者、苦情処理機関などを設置	実態把握のためのアンケートや調査を実施	その他	行っていることはない	無回答
全体		33	69.7	27.3	42.4	48.5	15.2	0.0	24.2	0.0	
認知の	知っていた	31	71.0	29.0	45.2	51.6	16.1	0.0	22.6	0.0	
	知らなかった	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	

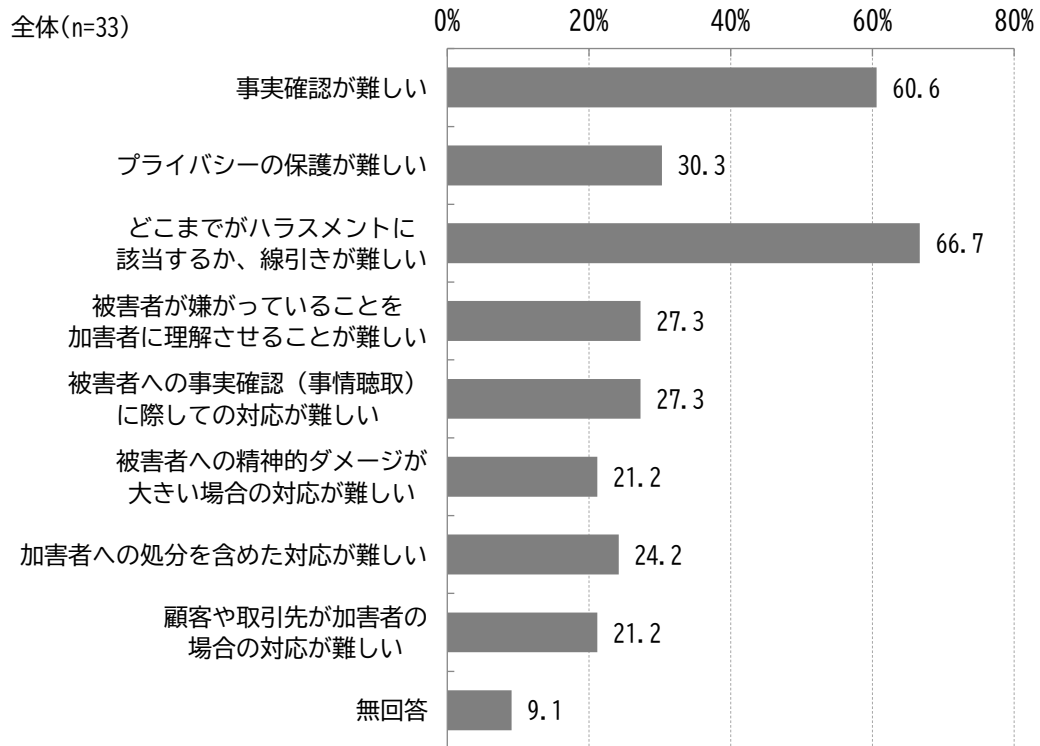
【東京都の調査との比較】

		回答者 総数(n)	ト就業規則などにハラスメント禁止を明記	発資料を配布または掲示	手引きなど防止のための啓	ポスター、リーフレット、	修・講習などの実施	ハラスメントに関する研	設置	事業者、苦情処理機関などを担	ト実態把握のためのアンケートや調査を実施
調布市		33	69.7	27.3	42.4	48.5	15.2				
東京都		706	84.1	52.4	63.9	77.8	30.2				

出典：職場のハラスメント防止への取組等 企業における男女雇用管理に関する調査（令和元年度 東京都）

問 20 職場でのハラスメントが起こった場合、対応として特に難しいと感じているのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

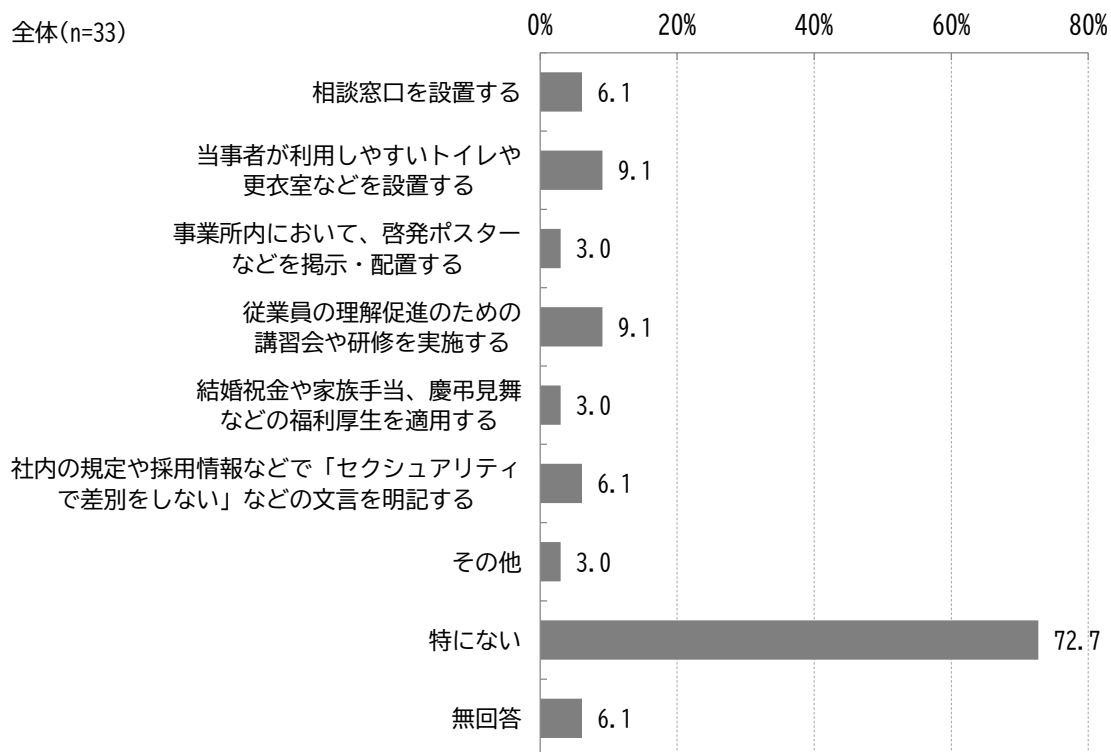
「どこまでがハラスメントに該当するか、線引きが難しい」が66.7%と最も高く、次いで「事実確認が難しい」が60.6%、「プライバシーの保護が難しい」が30.3%となっている。



6. 性的マイノリティ（LGBTなど）への配慮について

問 21 性的マイノリティ（LGBTなど）への配慮として行っている取組はありますか。（〇はいくつでも）

「特にない」が72.7%と最も高く、次いで「当事者が利用しやすいトイレや更衣室などを設置する」、
「従業員の理解促進のための講習会や研修を実施する」が9.1%となっている。



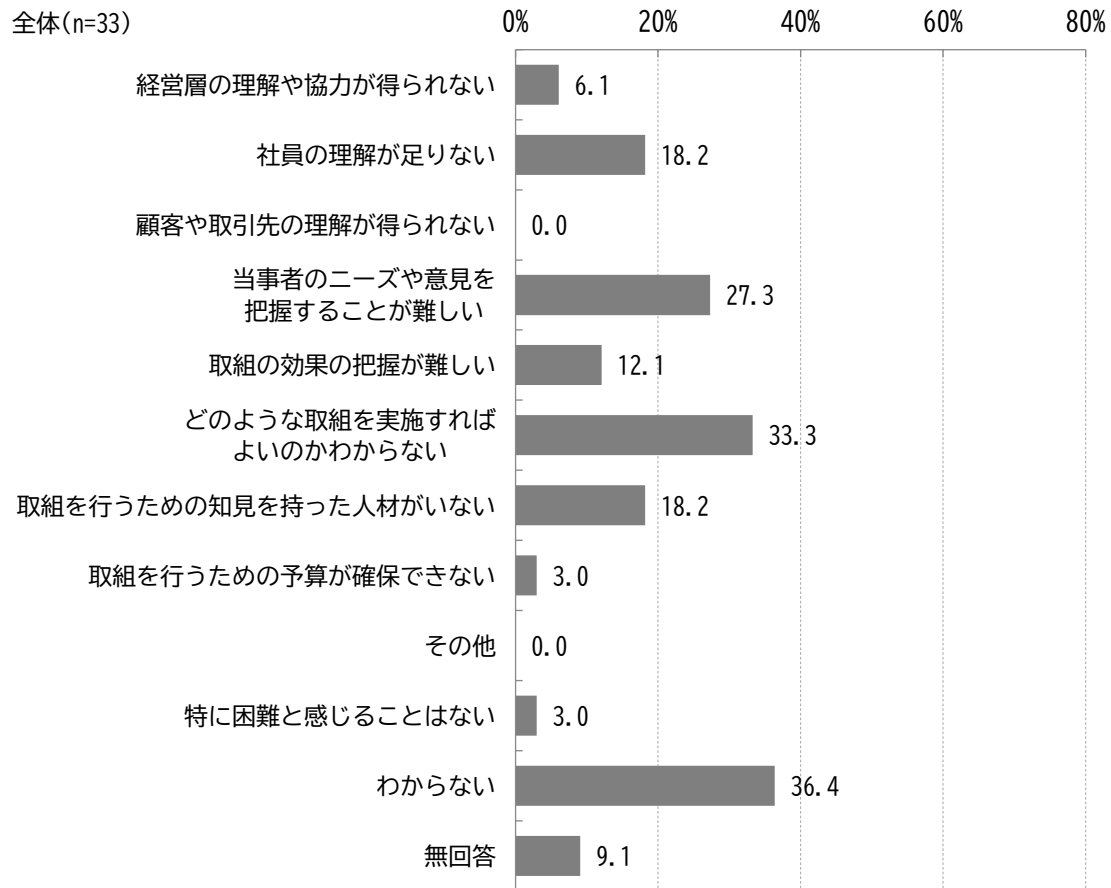
【国の調査との比較】

	回答者 総数(n)	実施 している	実施 していない	無 回 答
調布市	33	21.2	72.7	6.1
国	2220	10.9	88.2	0.9

出典：職場におけるダイバーシティ推進事業報告書（令和元年度 厚生労働省）

問 22 貴事業所において、性的マイノリティ（LGBTなど）に対する支援をするための制度の整備を進める上で、特に難しいと感じているのはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

「わからない」が36.4%と最も高く、次いで「どのような取組を実施すればよいかわからない」が33.3%、「当事者のニーズや意見を把握することが難しい」が27.3%となっている。



【国の調査との比較】

	回答者 総数(n)	経営層の理解や協力が得られない	社員の理解が足りない	顧客や取引先の理解が得られない	当事者のニーズや意見を把握することが難しい	取組の効果の把握が難しい	どのような取組を実施すればよいかわからない	取組を行うための知見を持った人材がない	取組を行うための予算が確保できない	その他	特に困難と感じることはない	わからない	無回答
調布市	33	6.1	18.2	0.0	27.3	12.1	33.3	18.2	3.0	0.0	3.0	36.4	9.1
国	651	6.8	28.3	5.4	50.8	23.5	40.6	33.0	10.0	3.4	12.3	1.8	2.0

出典：職場におけるダイバーシティ推進事業報告書（令和元年度 厚生労働省）

第4章 自由回答

最後に、調布市の男女共同参画の推進に関する施策などについて、ご意見やご要望がありましたら、どんなことでもご自由にご記入ください。

調布市の男女共同参画の推進に関する施策などについて、意見や要望を聞いたところ、女性 141 名、男性 98 名、女性、男性以外 2 名、性別不明 2 名の計 243 名の回答があった。1 人で 2 つ以上の内容の記載があった場合には、これを 1 件とせず延べ件数として集計したので、件数は回答者数よりも多くなっている。いただいたご意見のうち、主なものを掲載する。

	女性	男性	女性、 男性以外	性別不明	合計
1. 男女平等・男女共同参画について	26 件	22 件	0 件	1 件	49 件
2. 結婚・家庭について	2 件	3 件	0 件	0 件	5 件
3. 教育について	11 件	6 件	0 件	1 件	18 件
4. 女性活躍推進について	7 件	5 件	0 件	0 件	12 件
5. 育児・介護について	12 件	6 件	0 件	0 件	18 件
6. DV、ハラスメント、性被害・ 性暴力について	4 件	2 件	0 件	0 件	6 件
7. LGBTs について	1 件	1 件	0 件	0 件	2 件
8. ワーク・ライフ・バランスについて	7 件	1 件	0 件	0 件	8 件
9. 市政について	30 件	23 件	2 件	0 件	55 件
10. アンケートについて	25 件	25 件	0 件	0 件	50 件
11. その他	23 件	10 件	0 件	0 件	33 件
合計	148 件	104 件	2 件	2 件	256 件

1. 男女平等・男女共同参画について

- 私は現在大学1年生でリモート授業なので友達とはほとんど話しません。また、大学は共学ですが、中高と女子校で女性として差別を受けた事はほぼありません。なので女性の就労・就学について女性が不利という事がどういうことなのか分かりません。こういった場所で女性が男性に比べ不利で、または差別されていると一般的に言われているのか知りたいです。テレビでよく特集されるような内容しか知らないのが現状です。(女性、18～19歳)
- 個人の尊重や生き方の多様性が求められている中、まだ男女のくくりでもめている日本が悲しいです。法や制度、施設の設置など、国にしかできないことをしてもらいたいです。(女性、20～29歳)
- 男女平等はまだまだ進んでいません。特に中高年男性が変わらないと、若い女性はずっと生き方の選択や希望を奪われ続けます。「昔はこれで良かった」という悪しき慣習を打破するのは、1人1人の意識を変える事です。(女性、30～39歳)

- 性別にかかわらず、個人が生きやすい世の中になって欲しいです。(女性、30～39歳)
- 何でも平等にすべきではない。男性・女性それぞれの良さを何故伸ばさないのか。少数派の大きな声を聞いてその度に制度を変えていったら一体いくら予算がかかるのか。今の日本には男女参画よりはるかに必要な事があるのに何故これにばかり政治家は足を突っ込むのか。昔と同じで良い。(女性、30～39歳)
- 男性と女性は違うものなので、それぞれの性質を活かして協力しあえるように考えて欲しいです。同じではないので無理に平等にしなくても良いと思うが、できる(可能な)部分は平等であって欲しいです。(女性、40～49歳)
- 男女で分ける必要があるのは男性だけです。女性はいろんな事に対応できています。男性の考え方を変えるべきです。家事と育児ができない男性が多すぎます。威張る男性も多すぎます。(女性、40～49歳)
- 20～30代の子育て年代は、男女平等意識がきちんと備わっていると思うことが多い。経済的に共働きが多く、男性も育児に積極的だと思う。中高年以上の年齢の人が、男女差別意識が強く、家事・育児は女性がすべきと考える人が多いので、その年代に男女平等を考えてもらいたい。(女性、40～49歳)
- 有能な人を重要なポストに。適材適所で人材を選んで、男女の区別をなるべくなくしていけばより良くなっていくのではないかな。何をなしえるにも最後は人なのだから。そのためには、その人を見極めることが大切だろう。(女性、50～59歳)
- 男女共同参画、そもそも必要なのではないか。(女性、50～59歳)
- 私は以前行政に関わる仕事をしていたので「男女共同参画」という言葉を知っていますが、一般の方々はどうなのだろうかと常々思っています。内容は私たちにとても大切な事であるにも関わらず、この漢字6文字の堅苦しい言葉が敷居を高くしてるように思います。調布市だけでももっと親しみやすい言葉に変えてみたらもっと皆が目にするし取り組む方も多いのでは…。(女性、50～59歳)
- 男女共同参画が展開する事業は全て今の社会に必要なものだと思います。しかし、一般的に男女共同参画社会の意味が理解されづらく興味を持ちづらいという印象があります。(女性、50～59歳)
- 男女は体力的にも精神的にも差があって当たり前なので単に男女平等を推奨できません。人間として全ての人が男女問わず平等である事を望みます。(女性、50～59歳)
- 男女はどうしても違いがあるのは確かな事ではあるが、何かを進めて行く時に、お互いに思いやりをもって考える、という意識がもっと必要だと思う。推進するには男女両方の立場を良く理解する話し合いが大事なので、それを十分にやっていただきたい。(女性、60～69歳)
- 身近なテーマから広めていくと良い。問32の内容は全て大事なテーマだと思うが、人によってはあまりに自身とかけ離れたテーマだと分からなくなる。(私の場合は、性的マイノリティ、DVなど)。まずは、誰にでも起こりうる災害対応力強化、男性の家庭への参加促進などから始めるというのではないのでしょうか。(女性、60～69歳)
- 一番大切なのは、相談窓口の周知徹底だと思う。現在の日本は、男女共同の意識が低すぎると思う。男性は男性であるというだけで、ある種の権利があるように思っている人は多い。これからの学習も非常に大切だとは思いますが、現在困っている女性をまず救うことから始めた方が良いと思う。法制備も大切とは思いますが、声がけだけで終わりがちです。1人1人を救う事から始めた方が現実的ではないだろうか。(女性、60～69歳)

- 目に見えない所での問題が大きいものなので、見える様に皆が考えるよう頑張って欲しいです。(女性、60~69歳)
- 個人が行うこと、家庭内で行うこと、教育現場や社会で行うこと、行政や政治が取り組むことを分けて考える必要がある。(女性、60~69歳)
- 現在の男女共同参画の推進により女性の立場を活かし社会の中で皆が平等に豊かな生活ができるという発展的で素晴らしい事業は将来的にとても楽しみにしています。今一番気になっている事は「母子家庭」の事です。女性(母親)の負担が多く、この状況は離婚により男性の扶養義務の怠りから経済的困窮を生じ、体力的にも行き詰まり、実生活の中での根本的な部分での共同参画も充実させてほしいと考えます。(女性、60~69歳)
- 多少ちぐはぐな所があってもまず一歩歩き出すことが大切だと思いました。やり始めたら見えてくるとかと思ひます。(女性、70~79歳)
- 男女平等は基本だと思ひます。学校、職場、そして何よりも家庭で実施していく事が大切だと思ひます。最も大切な事は人を思いやる心を育てていくことです。(女性、70~79歳)
- 生活費を稼ぐので精一杯の人達は、そのようなことに目を向けられないこと。啓発のためのセミナーも意識が多少ある人が参加し、知識を得たことで満足して終わってしまい、開催側も「参加者何名」、「経費何円」という報告で満足してしまっているように感じる。「男女共同参画社会」が実現しない理由は分かっている。本当にそうしたいと思ひているのは女性の一部だけで、ほとんどの男性と女性の半分以上はそう思ひていない。(女性、70~79歳)
- 問 31 で知らない用語が沢山ありました。もう少し意識を高めなければと思ひました。(女性、70~79歳)
- 質問について戸惑いました。今まで平和にすべて子供、孫、ひ孫、その前に結婚とあまりにも順調に來た人生でしたので、テレビの中だけの…というふうに気軽に考へていた為、もう一度しっかり見届ける様努力しようと思ひました。(女性、80歳以上)
- 高齢なので参加は難しいですが情報を受け取り、意識を持って理解したいと思ひます。(女性、80歳以上)
- 男女平等をうたうために能力を見ずに構成メンバーを男女同数にするといった愚政はしないでほしい。行政が手を出すのは根本であつて、その結果が男女平等といった社会の成立である。自己目的化、政策と成果の倒錯は絶対に避けてほしい。(男性、18~19歳)
- いくら講座や講演会を開いてもそのような場に参加する人は何かしら男女共同参画に対して問題意識を持っている人であり、本当に重要なのは「問題意識や関心を持っていない人」にどれだけアプローチできるかだと思ひます。(男性、20~29歳)
- 男女というより性別に関わらず適材適所で人材を登用し、その為のサポートに尽くしていつて欲しいのと、それを調布市の企業にアピールして欲しい。(男性、30~39歳)
- 昭和の考へが 40 過ぎの方は特にこびりついています。若い人達よりも上司や年上の方々の考へ方を変えていつた方が良いと思ひます。(男性、30~39歳)
- いずれのケースにおいても、個人が個人の都合や意識で生き方を選択出来る社会が望ましいと思ひます。(男性、30~39歳)
- 男女共同と意識しすぎると逆に女性差別になると思ひます。問 27 の 3、4 等。(男性、40~49歳)
- 未婚でも男女隔てなく暮らしやすい環境にして欲しい。(男性、40~49歳)

- 女性を優遇する事では長期的な平等は実現できないし、男性への差別になる為、その様な政策は選択しないしてほしい。(男性、40~49歳)
- 男と女はやはり違うんだから、それぞれ家庭や、社会で対応するしかないと思う。仕事もやればいいし、男が子供の面倒見るならそれぞれでやればいい。(男性、50~59歳)
- 男には子供が産めない。女性の出産、子育ては女性にしか出来ない大仕事だ。そういう大仕事を抱えた女性が男女共同参画という名のもとに、仕事において男性と同様に活躍する為には、出産、育児を踏まえた就業時間等、具体的に不公平の無いルールを決める事が必要だと思う。この際、逆差別になる様な過度な優遇にならない事が理解と広がりを生むと考える。(男性、60~69歳)
- 男女の数を同数に無理やりもっていくのは誤っていると考えます。一方で優秀であり能力ある女性が女性であるが故に機会を奪われたり、不当に扱われる事の無いようにする事には大賛成です。男女を同様に扱う事は必ずしも男女平等を意味する事ではありません。(男性、60~69歳)
- 男性、女性、経験、年数とかではなく、能力(アイデア・実行力・知識・まとめる力量・判断等)重視。(男性、70~79歳)
- 知らない人が多いと思うので新聞等で広める。(男性、70~79歳)
- 男女平等などと良く言われるが、女性の意識改革をしていかないと、中には甘えている女性も多々いると思います(例、あれイヤだ、あれできない、なんでなど)。(男性、70~79歳)
- 共同参画に意識はあるつもりでしたが、まだまだ知らない事、注意が向いていない自分であると知りました。(男性、70~79歳)
- とにかく男女は平等であるという観念が根底となって物事を考えているように思えるが、男と女に機能的に役割分担があることを考えて役割分担を理解する事が大切と思う。人間社会になぜ男と女がいるのかという基本的な事実から離れて、とにかく男女平等を考える事が問題だと思う。男と女の役割分担の正しい理解を見失っていると思う。(男性、80歳以上)
- 人々が男女平等の基本概念を自覚することが何より重要と思う。(男性、80歳以上)

2. 結婚・家庭について

- 働いている男性でも育児・家事の大変さを理解出来るような機会が必ずあると嬉しい。興味関心がない人は講座などにも興味を持たない。(女性、30~39歳)
- 日本社会に昔からある男尊女卑の考えがまだまだ世の中にしみ込んでいて、介護、育児、家事を中心的に担うのは女性が多い。これを覆すには、特に男性の意識を変えることが大切と思う。(女性、60~69歳)
- 女性を社会へ出すだけの取組が多く見受けられるが、それだけでは社会の人員が飽和してしまう。家庭と社会との人的バランスを取るためには、もっと男性を家庭に入れ込む努力をしないと解決しない。今、コロナの影響で、男性も今までよりも家にいる機会が増えているのだから、これを好機として、男性にもっと家事・育児・介護の魅力や面白さを啓発し、それをサポートしてあげられる施策を考案してくれる事を望む。こういう事についてのアイデアは高齢男性には無理な事なので、若い人達のアイデアを積極的に採用して欲しい。頑張ってください。(男性、40~49歳)
- 家庭内における男女の負担については、余裕がある方が実施するのが適切。バランスは家庭内で話し合えば良いと考えている。(男性、40~49歳)
- これからの女性は結婚・出産・仕事と特に忙しいと思うので、男性の役割が大きくなると思います。

より一層女性へのサポート体制が必要だと思います。(男性、50～59歳)

3. 教育について

- 大人になっていくと、個々の人生経験などから、どうしても偏った思考になりやすいので、適応能力の高い未成年のうちから、男女共同参画社会の在り方について考え、大人と共に動いていく事も必要かなと思う。(女性、30～39歳)
- 学校・保育園・幼稚園の保護者への発信が必要です。一時的ではなく常に。(女性、30～39歳)
- 子どもがまだ幼児なのですが、これからの学校生活において男女平等が当たり前、ということ意識しなくとも良いくらいに「当たり前」になっていけると良いと思っています。子どものうちからその意識でないと、大人になって変えるのはきっと難しいのだと、周囲の大人を見て感じています。また、むやみに男女の性の違いからくる良いところを否定しないと良いなとも思っています。(女性、40～49歳)
- 男女差別のない子育て方法を若い(若くなくても)お父さん・お母さんに伝授してはいかがでしょうか。小さいうちに男だから、女だからという事がなくなるように。(女性、50～59歳)
- 全ては幼い頃からの教育がベースになると思います。積極的に学校教育のカリキュラムに取り入れ、子どもの頃から認識することが大切だと思います。大人になってから意識を変える事は難しいものです。(女性、50～59歳)
- 子供の頃からの教育が重要だと思います。本テーマについて、若い年代が「共に考える機会」を増やすことを希望します(堅苦しい場ではなく、自由に語り合えるような場)。(女性、50～59歳)
- メディアに関しては人権問題については、かなりデリケートに扱うようになってきたと思う。しかし、地域社会を見てみると、まだ昭和の時代からのいろいろな差別というのは年長者にはあると思う。(概ね、改善されているが)したがって、市が行う男女共同参画の推進に向けての啓発も時間をかけて取り組まなくてはならないと思う。格差社会の今日は生きにくい時代でもあるので、まずは子どもたちへはそうした教育が長い目で見れば重要な事だと思う。(女性、60～69歳)
- 幼児の頃から、性別に関係なく役割分担し、名簿、席順等五十音順とする名前は～さんと呼ぶ等地道にやっていくこと。今の60代以降の高齢者が特に差別意識が高い。若い年代に期待しています。(女性、60～69歳)
- 教員の皆さんも大変です。教育現場にて子供達の意識をつくっていくことが重要だと思います。行政の人が面白い授業をしたら子供達の間で話題になりそう。私が小・中学生の時に性や個性について考えさせられる授業を受けてみたかったものです。(男性、20～29歳)
- 公園や遊具が減りすぎて外で子供を遊ばせられない。小さい頃の男女意識の少ない時代に交流を図れる場をなくしていると思います。(男性、30～39歳)
- 学校教育の中に取り入れる。(男性、30～39歳)
- どんな事でも問題意識を持っている方との間でしか情報等が共有されない。できる事なら、義務教育中に人生で必要な事全てを徹底的に伝える事が重要だと思います。(男性、40～49歳)
- 子供の頃からの教育や意識づけが大事だと思う。大人は考えを簡単には変えられないと思うので。(男性、40～49歳)
- 知らない事が多くあり、早めの教育、つまり小学校の授業の際、先生から分かり易く生徒達に伝える事が必要かと思います。一般の家庭では、子供に教育する事は難しいと思う。(男性、70～79歳)

4. 女性活躍推進について

- 調布市に限らず、子育てと仕事を女性に両立させたいのであれば、育児、家事の負担が減らなければ働き手は増えない。昔と違い、学校や社会から「親」に求められる要求水準が上がっている事実を理解してほしい。(丸付け、課題、時間割の確認、学校教育で必要な教材としての雑貨の調達などは自分達が子供の頃より圧倒的に多い)。また、働き始めても、核家族が子供の病気の際の預け先が限られている。ファミサポ等も事前に準備が必要で機動力が足りない。休まざる得なければパートは簡単にクビになる。正社員でも時短やパートに切り替えをあっせんされている事実をふまえた上で女性の社会進出についてお考え頂きたい。(女性、30~39歳)
- 最近では女性が地位のある役職についている事も多いですが、そういった女性は子供がいなかったり、いたとしても1人だけ(しかも実家からの手厚いサポート有り)などというパターンが多い。その為女性がトップだったとしても本当の意味での女性が働きやすい環境というのは実現できず、子供を持つ女性の離職やキャリアUPをあきらめざるを得ない、という状況にあると思う。本当に困っている女性達は日々の生活(家事・育児)に精一杯で声を上げる機会はないと思う。その為、政治においても職場においても本当に困っている人達を助ける為の政策や対策は取られずに、ひいてはハラスメントも無くならないのだと思う。本当に困っている人達の声をすくい上げて、それを社会に反映して頂けると嬉しいです。(女性、30~39歳)
- 女性視点で女性がもっと参画するためには、女性自身がもっと勉強し努力していく必要があると感じています。立場を求めるのなら、それ相当の知識や判断力が必要になると思います。声ばかりが大きく、よく内容を聞くと中身が無くて無知な人が多いと思います。国会議員をはじめ、いわゆるバリキャリアといわれる女性。特に40代後半以降。(女性、30~39歳)
- 結婚、出産を期に仕事を辞めて、家庭に入り、子育てをしていると全く社会とは離れてしまい、少しだけでも働きたいと思ってもなかなか復帰できません。企業セミナーなどを増やしてほしいです。(女性、40~49歳)
- なんだかんだ言っても「家は女性、外は男性」という印象があります。女性の社会進出は本人のやる気もですが、会社の上司(ほとんどが男性)、会社の理解がないと進まないと思います。制度があっても取得出来ず、それを申し出ると、上司・会社からの嫌がらせがあり、怖くて言えないことも。結局、弱者が泣きを見ることになります。相談窓口があっても、裏では会社と繋がっており、話していたことが筒抜けになっています。やはり、男女に関係なく、自分に力をつけ、負けない心を持ち続けることが大事だと思います。(女性、40~49歳)
- 男性と同じように働くことはできないと思っています。そうしたい方への支援が充実していくのは良いことだと思いますが、そうしないと選択した人が肩身の狭い思いをすることがないような配慮を忘れないでほしいと思います。(女性、50~59歳)
- 女性の参加は大いに良き事です。(女性、70~79歳)
- 安易な女性優遇政策は行うべきではない。(男性、30~39歳)
- 画一的に女性の就労を増やせば良いというのは、短絡的で安易だと思う。働くかどうか、子育てするか等は個人の自由だと思う。調布市は病児保育が圧倒的に足りていないと思う。(男性、30~39歳)
- 女性に対する支援はごもっともなのですが、男性にも経済的、家庭的、社会的にも苦しんでいる人達は(氷河期年代などに)多くいると思う。そういった人達に対しても何かしらの支援を行ってほ

しいです。一方的に性別だけで、支援を強化すること自体が男女差別だと思います。何かしらの回答を掲載していただけると幸いです。(男性、30~39歳)

- 男性、女性という性別で区切らず、その方の能力が高い方がリーダー又は幹部になって欲しい。(男性、50~59歳)

5. 育児・介護について

- 保育施設の拡充を希望します。また働きながらも子供を幼稚園へ通わせる事のできるシステムを作ってほしい。幼稚園へ通わせたいが仕事との両立は厳しいため退職予定。(女性、20~29歳)
- 本当に保育園に入れなくて困っています。少ないのと入れなくても幼稚園にもどうしようかと思っています。深大寺エリアは通うのも大変です。送迎バスを出すなど対策をお願いしたいです。(女性、30~39歳)
- 私は子供が小さいうちは家庭で保育すべきと考えています。保育園へ通うための補助金は出ますが、家庭保育の場合にはオムツ代、食事代、保育にかかる資金の対しての補助がありません。保育所を増やすよりも家庭保育に対しても補助する様になったら、保育所へ通いたい保護者も減ると考えています。(女性、30~39歳)
- 育児に関しては、やはり女性が行うものと認識が強いと感じている。幼稚園でも園長(女性)が「お母さんに感謝しましょう」と子供達に語っているの、違和感を覚える。学校の保護者会やPTAもほぼ母親が出席している。もっと男性も育児に関われる仕組みが必要ではないか(特に教育者の側)。(女性、30~39歳)
- 小学校高学年になっても、学校が終わった後に安心して預けられる施設が充実してほしい(学童のような)。(女性、30~39歳)
- 待機児童をゼロにしてください。出産(分娩)できる病院をもっと増やしてください。医師会が一時的に分娩を取り扱わなくなった時に困った。育児で家から出掛けない人が多い。(女性、30~39歳)
- 色々考えてくださりありがとうございます。仕事柄、おそくまで残業する事も多く、小学生が19時以降も安全に過ごせる場があるといいなと思っています。保育園は20時まで夕食も有償で食べさせてもらっていたのに学童はお腹をすかせたまま、19時で終わりなので困っています。(女性、40~49歳)
- 今後は介護サービスの充実が不可欠になると思います。出来るだけ安く利用できるサービスの拡充を検討して頂きたいです。(女性、40~49歳)
- アンケートを通して市の取組に関心を持てるようになった。これから自分に起こりえる介護の問題に意識し、市と関わっていきたいと思う。(女性、50~59歳)
- 精神障害を持った人やその家族への支援(子どもから高齢者まで)。精神障害を患う子供の居場所がない。(女性、50~59歳)
- 年金程度で入居できる有料老人介護施設(特に老人ホーム)の増設。(女性、60~69歳)
- 結婚して調布市に住み無事に過ごしてきました。公民館を活用して生き生きと暮らしています。若い人が子育てしやすい環境づくりをさらにお願ひしたいです。若い人達が仕事や育児に追われ公民館での趣味などの活用に参加できないでいます。(女性、70~79歳)
- これから、空き家問題への対応が進みます。保育サービスなど、若手年代を呼び込む事が出来ないと、衰退します。隣の区市に人が移ってしまいます。保育、子育て年代を大切に、広報活動も。(男

性、20～29 歳)

- 年々調布市の人口が増えているのに、保育施設が少なすぎると思います。実際、息子夫婦が預けて働きたいのに保育施設への入所が出来ない。子供を育てることが出来ない、男女平等とか分かりますが、それすら選択出来ない状況だと思います。(男性、50～59 歳)
- 高齢化が進み、家でも高齢の両親の世話（介護までいかないが父親要介護 2 母親要介護 1）で不安がつきまとう。月に 1 回ケアマネの方が来てくれているが、100%信頼できる関係ではない。もう少し親身になれる様な仕組みにして欲しい。(男性、60～69 歳)
- 子供が病気になった時（出勤前など）優先的に対応してくれる病院と子供を預かってくれる病院または施設の整備が必要です。共働き夫婦、片親にとっては絶対必要な条件です。1. 共働き夫婦、片親で仕事する人に認定カード発行し病院、施設で優先的に対応。2. 一時預かり（複数日に至る入院とは区分）に対応した病院、施設に奨励金や補助金を出す。3. 議会での予算化。社会進出や働く意欲ある女性が多くと、安心して働ける環境整備が一番重要では。(男性、70～79 歳)
- 若年層には子育て支援、高齢層には介護サービスの一層の充実が必要だと思います。(男性、70～79 歳)
- 片親家庭に対する行政のリーダーシップが必要です。(男性、70～79 歳)

6. DV、ハラスメント、性被害・性暴力について

- 痴漢・ストーカー・DVの加害者は主に男性、それを見て見ぬフリをするのも男性です。女性は抵抗したくても力では勝てません。法律や罰則を強化して、女性が安心して生活出来る社会作りをお願い致します。(女性、20～29 歳)
- 「相談したことがもしもバレたらより怖い目に合わないか」「家庭や職場で立場がなくならないか」等、相談窓口があってもその一手手前で迷ってしまう。窓口があることの周知宣伝と同時にそういった不安を払拭させるための広報も必要だと思う。(女性、30～39 歳)
- 意識改革は女性に対してではなく、男性に対して行ってほしい。すれちがいざまに、子供をたたいたり、暴言を吐いてくるのは高齢の男性が多いです。注意すれば「女のくせに」とか、「お前らみたいなのが日本をダメにする」とかしか言えず、哀れです。高齢の女性も同じです。DVにしてもカッとなることが問題なので学校でアンガーマネジメントについて取り入れ、子どもの意識を変えていく方が遠回りですが、より良い社会になっていくのではと思います。(女性、40～49 歳)
- ドメスティック・バイオレンスについて警察に相談したりするのですが、警察官（公務員）があまりにも意識が薄く、個人情報をもやみに開示してしまったりするので、とにかく公務員の意識改革をすること。彼らが無関心だと思います。(女性、70～79 歳)
- この先の社会では、リモートワークやリモート授業の機会が増え、在宅中のメンタルケアを自分たちで行う必要があり、ストレスを抱えている今の大人達へのアプローチもすると良いと思う。(男性、18～19 歳)

7. LGBTsについて

- 男性も女性もLGBTも人格として市民が自然に受け入れられる意識改革を進めていくべき。(女性、60～69 歳)
- LGBTが逆差別とならないように願いたい。LGBTは尊重するが、「好ましくない」と思っている人たちが一定数はいる。内面まで強制するような風潮になりがちな日本では、特に注意するべき。

少数派の声が取り扱われてしまわないように慎重に扱うべき。(男性、40～49歳)

8. ワーク・ライフ・バランスについて

- 企業の転勤制度に思うところがあります。夫に転勤を命じられた時点で、子を持つ妻のキャリアは断たれます。夫が単身赴任を選んでも、今度は1人で育児・仕事をしなければならない。また、家庭を持つ女性社員が転勤を命じられたら仕事を辞める場合が多いと思います。育児休業のように転勤休業（もちろん男女共に取れる）があれば、もっと不要な転勤や軽々しい人事異動がなくなるにと思います。育児・介護と同様、転勤という致し方ないものが女性の社会参画を妨げていると切に感じています。現に、夫の都合で仕事を辞めて調布に来て、夫の再転勤がいつになるか分からない故に人生の計画が立たないです。(女性、30～39歳)
- オンラインでセミナーを受けられたり、テレワークで採用面接から就業までできるようにしてほしい。病気の人でも働けるようになる。(女性、30～39歳)
- 男女の働き方に対する意識改革を。(女性、30～39歳)
- 一昨年まで正社員として夫と共働きで2人の子供を育ててきました。夫が遠距離通勤、単身赴任を命じられたため、結局母親である私が実母の支援を受けながら家事、育児をこなしてきました。共働きをしながら育児や介護を行うには、柔軟な働き方ができることが必要です。まず、市役所でもそのような働き方を導入していただき、民間企業のお手本となってもらえればと思います。(女性、50～59歳)
- 50歳からでも働ける社会になってほしいです。(女性、50～59歳)
- 調布市で職場を探すとき少ないのもっと働き場所を増やしてほしい。今60歳で調布で働けたのは市役所での調査票のチェック等で2ヶ月～3ヶ月だけで、あとは新宿方面へ行かないと仕事がない。(女性、60～69歳)
- 高齢者の就労に力を入れて欲しい。(女性、70～79歳)

9. 市政について

- パートナーシップ制度をぜひ調布でも導入してほしいです。(女性、18～19歳)
- 調布市における外国人女性向けの相談窓口あるいはコーナー（電話など）があればありがたいです。(女性、20～29歳)
- そもそも男女共同参画がある事を知らなかった。どういう活動をしているのかもっとポスターや広報などで知らせてほしい。(女性、30～39歳)
- 今回こちらを読むまで調布市に男女共同参画についての取組があることすら知りませんでした。私は多様性を個々が認め合い、身近な相手や他の人と違う働き方、考え方があることを認め、過干渉にならないことが望まれるのではと考えています。パートナーシップ制度や男性の育休推進など、東京都のモデルケースとなるような市になったらいいなと思います。(女性、30～39歳)
- 木曜日のTEL女性相談は良いです。木曜以外にも、週2日体制にするなど、どこかの曜日を増やしてほしいです。女性のためのメール相談やSNS（LINE）等相談もあると良いです。(女性、30～39歳)
- このような調査結果を是非市政に反映してください。(女性、40～49歳)
- 性別にかかわらず、市民が個人として尊重され、個性を生かすと言いながら「男女共同参画」と性

別をあげている事で理解を深めづらい。このこと自体が何を指したいのかわかりません。もっと男女を問わず、老若問わず、幸せになる街作りをするような社会を目指して欲しい。(女性、40~49歳)

- 女性議員を増やしても、何の変化も、元気にもならない。効果があることをしてほしい。大きな会社、小さな会社の男女共同の取組をホームページに up する。まずは市役所からの取組を up してほしい。楽しい動画、前向きな動画を up してほしい。(女性、40~49歳)
- 女性のための相談窓口はありがたいですが、土日でも相談できるようにして頂けるともっと使いやすくなると思います。(女性、40~49歳)
- 心のケアができるスペシャリストの講座を開催してほしいです(回復するまでにどのように考え方をかえていくべきかなど)。(女性、40~49歳)
- 相談できる時間や曜日に限りがあり、働いているとかなり難しいです。土・日・祝や夜8時頃まで等改善を検討ください。(女性、40~49歳)
- 全体的に社会問題を男女別の問題で捉えている所が古いと思います。性別も働き方も多様性を追求していけば自ずと男女間の問題も解決するのではと思います。コロナ以降ライフスタイルはもっと多様化していきます。行政には先見の明を持って取り組んで頂きたいものです。学校休校期間のオンライン対応の遅さには非常に落胆致しました。今後に期待しております。(女性、40~49歳)
- 調布市として、このような取組がある事を知りませんでした。とても有意義だと思います。アンケートに答えるだけでも、考える機会をもらえました。(女性、40~49歳)
- この内容について全く知らず、何をされているかわかりません。市民に分かりやすく、今何をされているのか伝える工夫をして下さい。市役所やたづくりの掲示板に「今こんなことをしています」とぱっと見ただけで分かるキャッチフレーズに短い言葉をのせるなど、長々とした文ではなく伝えてもらいたいです。税金を使って、上質なポスターやチラシは作らなくてよいと思います。この郵便の往復ももったいないです。別の方法は難しいですか。(女性、40~49歳)
- 気軽に相談できる窓口があったり、調布市報で情報発信して頂けると見る機会が増えると思います。(女性、40~49歳)
- 男女共同参画に限らず行政が行う事は周知の仕方が甘い。知らない事、こちらが努力して得ないと情報が分からない事だらけ。もっと、SNS、インターネットを活用してシンプルに伝わりやすい方法を見つけてほしい。(女性、50~59歳)
- 意識改革は、底辺の人間から発信する事は難しいと思う。また、現実に苦しんでいる人達はそれを当たり前的事として受け入れてしまう。それが、いちばん怖いことだと思う。今回、行政が音頭をとる姿勢を見せているが、これ自体も調布市が率先して行うというより、さらに上の政府に言われてやっている様に思える。やるのなら、市として本気で取り組んで欲しいです。(女性、50~59歳)
- このような推進センターがあることを初めて知りました。このような活動があること広く知らせてほしいです。悩んでいる人、困っている人が気軽に利用できるようなになればと思います。(女性、50~59歳)
- 民間企業とタイアップして広報活動をした方がよいと思います。(女性、50~59歳)
- 「調布市男女共同参画推進センター」には、会議室も研修室もあり情報提供や学習機会も作られている。けれど市内で他の施設を使って支援する取組などはされていない。市民が困った時には相談に来るだろうという待ちの姿勢ではなく、もっと支援や相談しやすい環境や意識を市内に広げてほ

しい。相談したい人は多いと思うが、相談できる場所を教えてくれる市民は少ない。(女性、50～59歳)

- いきいきと暮すことができる社会を考える講座や講演会の充実を希望します。参加する事で個人のスキルが上がる気がしたので、これからも期待しています。(女性、50～59歳)
- 例えば男性が家事や育児に参加を促す為に、ポイント加算制にし、貯まったポイントを家族で利用出来る食事券などに交換出来る制度を作る(家庭の中で父親が育児や家事に積極的に参加する環境で育った子供は、自然と男女共同参画が身につくと思う為)。(女性、50～59歳)
- 講習会や啓発活動よりも、実質的な成果(調布市役所の管理職の女性が増えた。出産、育児による離職が減った。男性の育休取得率が上がった。市内企業の女性の雇用が増えたなど)が得られることを行ってほしい。数字で成果目標を設定し、定期的にその結果も公表してほしい。(女性、50～59歳)
- 周知されていない現実があると思います。メディアやSNS、ラインなど様々な角度から推進し、根本的には意識を変える必要があると思います。(女性、50～59歳)
- 近くの公共施設で誰でも参加しやすい講座やシンポジウムを無料で行う。相談員の質の確保と充実を。(女性、60～69歳)
- 調布市が率先して、各部署で女性を登用してほしいです。女性が家庭の柱となって働いても、経済面で生活出来る社会になれば、介護、家事、育児等に対する考え方も変わってくると思います。(女性、60～69歳)
- 男女共同参画の推進をもっとアピールする必要があるのではないのでしょうか。読み物を楽しく、冊子にする等。(女性、60～69歳)
- 設問のどれひとつ取っても人と人との繋がりが大事です。地域に根差した取組を考えてほしいです。問32の6、13に力を入れて頂き具体的な施策を進めていくべきだと思います。(女性、70～79歳)
- 高齢者でも積極的に社会参加したくなるような魅力的な企画が欲しい。市報の充実に期待する(広く知識が得られるような内容を)。(女性、70～79歳)
- 失礼ながら市の男女共同参画推進センターを存じ上げていませんでした。なかなか難しいですが少しずつ周知を頑張っていきたいです。(男性、20～29歳)
- 調布市の部長～副市長の50%を女性にすると良いと思います。(男性、40～49歳)
- この推進センターを市役所の若手メンバーに託すようにすると良い。新しいアイデアが浮かぶと思う。年配者は下手にダメ出ししないこと。問32のどれであっても「パンフレットを作る」「セミナーを開催する」…で、「やった」と思っているような人ではなく、SNS等を駆使するなど柔軟な展開が出来るような人に担わせてほしい。(男性、40～49歳)
- 男女それぞれの特性を踏まえた施策であって良いと思います。(男性、40～49歳)
- 何事も急な成果は出ないので、障害を取り除いて少し様子を見るを繰り返していった方が良い。(男性、40～49歳)
- 現在単身で別地域にいますが、業務上で自治体との接点を持っています。男女共同の視点で自治体主導のセミナーを開催して頂いたり、自分の働く職場でも更なる意識向上ができればと思っています。頑張ってください。(男性、40～49歳)
- 実際の取組をよく知りませんでした。内容や予算などについても公開して頂きたい。(男性、50～59歳)

- センターで推進などでなく、市長がやる気があるなら具体的にドンドンやってほしい。お役所仕事では解決しない。(男性、60～69歳)
- 全く成果が見られない状況だと思います。税金の無駄使いに思える。このアンケートも含めコストに対する成果を意識して下さい。(男性、60～69歳)
- 施策が円滑に実行されることを望んでおります。(男性、60～69歳)
- 女性の抱える問題を相談できる窓口を充実させる事が大切かと思えます。(男性、60～69歳)
- 北欧の先進福祉社会国家を良き前例として取り組むことが良策かと思えます。(男性、70～79歳)
- 当該事業が、明るい未来の社会を築くことについてつながっていくことを期待します。(男性、70～79歳)
- 幅広い分野にわたり課題があると今回のアンケートで認識しました。他人の問題と社会、仕組み等の問題等があると思いますが、個人の問題は個人により事情が異なる事が多いと思われるので、相談事を広く対応できる体制の充実を期待します。社会の問題としては、政治、企業の努力が全く足りないと考えます。(男性、70～79歳)
- 気軽に相談できる充実した相談窓口の設置は特に重要と考えます。(男性、70～79歳)
- 男女共同参画のアピールをもっとして下さい。(男性、70～79歳)
- このようなセンターが市にあることを先ずは周知徹底させて下さい。それが第一歩です。そこからセンターがやろうとしていることを少しずつ広めて下さい。(男性、70～79歳)
- 行政サービス(納税市民への反対給付)として無意味、無駄が多いように思う。受け手にとって真に有効なものを行ってほしい。これら施策を担当する職員の自己満足とポーズのために行っていると思う事がままある。必要なサービスを提供している自治体を渡り歩くという自己防衛が最善と腹に決めている。(男性、70～79歳)
- FM、調布テレビ、ラジオ等で放映、放送する事で広く市民に呼びかける事が出来ると思えます。推進策を分かり易く伝える事が肝要です。(男性、80歳以上)
- 正しく理解し、気軽に話し、書けるような啓発に努めて下さい。税を使うので、「公平」である事を望みます。(男性、80歳以上)

10. アンケートについて

- 質問や回答方法が、多方面の人に向けて非常に配慮されていると感じた。(F1 やジェンダー、固定概念などに踏み込んでいたところ) 行政がこんなに内容を考えていることにびっくりした。すばらしいです。私は女性 20 代前半の会社員ですが、社会での女性への不平等や上の年代の不寛容さ(ステレオタイプを求める感じ)が嫌で生きづらさを感じます。なぜ女性に生まれただけでこんな不利益を受けなければいけないのかを考えると、生きるのも嫌になりますし、結婚、出産に何の明るい未来も見えません。おそらく今のところ結婚、出産しません。したくないです。介護(祖父母)で何年も苦勞している母を見えています。何も改善されず女性が苦しい社会は生きていてきついです。下の処理も手伝いますが本当にきついです。やったことのない人には分からない辛さです。ですが、今回このアンケートの質問を調布市(行政側の方)が考えてくださったことを考えると、すごいな、よかったなと思えました。このアンケートを回答する 1 人になれてよかったです。若者が絶望しない社会を作るために頑張ってください。(女性、20～29歳)
- アンケートが紙ではなく、インターネットのフォームにした方が答え易いと思った。紙かデジタル

かQRコードをつけて選択できると良いと思う。(女性、30~39歳)

- 今回のアンケートも質問が多いです。回答率を上げたいのであれば、質問数を減らした方が良いと思います。(女性、40~49歳)
- このようにアンケートをしていただき、広く意見を集めていただける事は大変意味があると思います。個人として出来ることを考えていきたいと思います。結果のフィードバック頂ければ幸いです。宜しくお願い致します。(女性、40~49歳)
- まず、調布市の職員の比率を男女1:1にしてみれば良いのではないか。以前、街づくり委員会に参加したが、市外に在住の男性職員しかいなかった。市内在住女性を市職員として多く雇い、それからこのようなアンケートを出すべきである。幸せな主婦や男性が作った偏りのあるアンケートにしなかつた。(女性、50~59歳)
- 聞いた事はあっても内容は知らない用語が沢山ありました。男女共同参画推進のために調布市にそういったセンターがある事も全く知りませんでした。(女性、50~59歳)
- アンケートの結果と、その結果が男女共同参画推進にどう反映されるのかを公表してほしい。(女性、60~69歳)
- 今回のアンケートは男女共同参画という事ですが、では、このアンケートを作成するにあたり男女共同参画で作成されたのでしょうか。市民にアンケートを取る前に、調布市の中でどのような意見が出ているのかを知りたいと思いました。(女性、70~79歳)
- アンケートの項目に答えにくいものがありました。現役の人の場合と退職した人の項目があればより詳しく把握できたのでは。年齢も60~69歳までで良いのでは。(女性、70~79歳)
- 学校教育も職もずいぶん前にリタイア(卒業)しています。現在の学校や職場がどのような状況なのか分からないままの回答です。次回は年齢別のアンケートにしてはいかかでしょうか。(女性、80歳以上)
- 税金を使っているのだから徹底的に行って欲しい。(男性、30~39歳)
- この調査の設問自体が男性優位を連想させるもので不快。このような調査があるからこそ、日本社会は男尊女卑な世の中だという固定概念を既成させている。(男性、30~39歳)
- 調査結果について、広く市民に対し公開するとともにこの調査をもてにどのような施策を行い、どのような成果に結びつけていったか定期的に市報等で報告して行って欲しい。(男性、60~69歳)
- 私にはよく分からない。それぞれ個人差があり考え方も違う。しかし、今回のアンケートを記入してる内に不愉快になってきた所が多すぎる。(男性、60~69歳)
- 折って封筒に入れなくても良いようにして下さい。(男性、80歳以上)

11. その他

- 若い人の意見を取り入れてほしい。そもそも上の立場の意見だけを反映させても意味はないし、少子高齢化社会だからといって昔のままでは変わらないと思う。宜しく申し上げます。(女性、20~29歳)
- 人間らしい生活、人が相互に尊重、協力、共働できる社会生活を楽しく地球環境に負荷なく行おうとする意識を個々人が持てるような教育、社会体制、集合意識があれば全てのアンケートの設問、問題は解決されると思います。調布は大好きなので調布から変わっていく事を願い、その一助となれば幸いです。(女性、40~49歳)
- 家事代行サービスの助成を充実してほしい。(女性、50~59歳)

- 大切な事だが、まだ自分の身近な問題だと捉えられない。積極的に参加しようとは思えない。(女性、50～59歳)
- リタイア年代の男性には居場所がない。サラリーマンの地域デビューは難しい。男性同士は知らないとおしゃべりしない。前職やプライドが邪魔をする人もいる。ボランティアも女性向けが多く、集いの場も女性向けが多い。元気なシニア男性がイキイキと居られ地域でも役割と居場所があるといい。(女性、60～69歳)
- 未来を担う子どもが生まれる環境を、但し過剰すぎない工夫をお願いします。バランス、限られた税の使い方宜しくご検討下さい。(女性、60～69歳)
- このような推進センターが不要な世の中になるよう、頑張ってください。(女性、60～69歳)
- このような施策をありがたく思います。少しずつでも推進できて個人個人(男女ともに)が伸びやかに過ごせますように。(女性、60～69歳)
- 私は現在81歳です。かつては職業婦人として働いていました。今回は現在の立場で回答しましたので何だか異なる感じが付き纏いました。お役に立てたと思いません。残念です。(女性、80歳以上)
- 格差是正に期待しております。(男性、30～39歳)
- DV、介護(障がい者、老人)など事後的支援が中心に検討、整備されていますが、発生原因に対する予防施策に力を注ぐ必要を感じます。(男性、70～79歳)
- 生涯学習の中で女性の参画が圧倒的に多い。男でも参画が容易に出来るようなサークルを設定したら良いと思う。(男性、70～79歳)
- 問32まで読んでどの様な事を訴えたいのか、男女共同参画の社会づくりを望んでいるのかが分かりましたので、別にこれといって要望はございません。(男性、80歳以上)

第5章 調査票

1. 市民意識調査の調査票

基礎データについて

F 1 あなたが自認する性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 女性	55.7%	2. 男性	42.6%
3. 1、2以外	0.4%	無回答	1.3%

※性別は戸籍上の性別に関係なく、自認する性別をお答えください。

F 2 あなたのお歳はおいくつですか。(○は1つだけ)

1. 18～19歳	1.4%	4. 40～49歳	19.1%	7. 70～79歳	15.6%
2. 20～29歳	9.0%	5. 50～59歳	18.0%	8. 80歳以上	8.5%
3. 30～39歳	12.7%	6. 60～69歳	15.2%	無回答	0.4%

F 3 あなたは結婚していますか。(○は1つだけ)

1. 結婚している	65.4%	3. パートナー*がない(離別・死別など)	10.1%
2. 結婚していないが同居のパートナー*がいる	2.0%	4. 結婚していない	21.7%
		無回答	0.8%

※この調査におけるパートナーには、配偶者のほか、婚姻届を出していない事実婚など、あらゆるパートナーを含みます。以下の設問も同じです。

→ F3-1はF3で「1」または「2」を選択した方にお伺いします。

F3-1 あなたの世帯は、共働きですか。(○は1つだけ)

1. 共働き	49.8%	3. 女性パートナーだけ働いている	4.1%
2. 男性パートナーだけ働いている	24.7%	4. とともに働いていない	19.8%
		無回答	1.7%

F 4 あなたの世帯には、次に該当する方がいますか。(○はいくつでも)

1. 0歳～未就学児	11.5%	3. 小学4年生～6年生	5.8%	5. 介護が必要な方	5.0%
2. 小学1年生～3年生	6.5%	4. 中学生	5.6%	6. 1～5のいずれもない	66.7%
				無回答	6.4%

F 5 あなたの世帯は、以下のどれにあたりますか。ご自分の立場(自分が親、自分が子ども)にかかわらず、世帯の構成をお答えください。(○は1つだけ)

1. ひとり暮らし	14.9%	4. 親と子ども夫婦・カップル	3.3%
2. 夫婦・カップルのみ	28.3%	5. 親と子ども夫婦・カップルと孫	2.0%
3. 親と未婚の子ども	43.5%	6. その他(具体的に:)	3.7%
		無回答	4.3%

家事・育児・介護について

問1 あなたは、家事・育児・介護をパートナーとの間でどのように分担することが望ましいと思いますか。((ア)~(ウ) について、○はそれぞれ1つずつ)

	主に女性が 行う	どちらか という と 女性が 行う	男性と 女性 が 同じ 程度 に 分 担 す る	ど ち ら か と い う と 男 性 が 行 う	主 に 男 性 が 行 う	主 に パ ー ト ナ ー 以 外 の 家 族 が 行 う	そ の 他	無 回 答
記入例	1	2	③	4	5	6	7	
(ア) 家事	8.8%	26.1%	56.2%	0.4%	0.3%	0.3%	4.8%	3.0%
(イ) 育児	4.2%	23.3%	58.8%	0.4%	0.1%	0.1%	6.3%	6.7%
(ウ) 介護	2.3%	6.7%	69.6%	2.3%	0.5%	1.3%	11.6%	5.8%

問2はF3で「1. 結婚している」または「2. 結婚していないが同居のパートナーがいる」を選択した方にお伺いします。

問2 あなたの家庭では、実際に家事・育児・介護をどのように分担していますか、または、分担していましたか。

((ア)~(ウ) について、○はそれぞれ1つずつ)

	主に女性が 行う	ど ち ら か と い う と 女 性 が 行 う	男 性 と 女 性 が 同 じ 程 度 に 分 担 す る	ど ち ら か と い う と 男 性 が 行 う	主 に 男 性 が 行 う	主 に パ ー ト ナ ー 以 外 の 家 族 が 行 う	そ の 他	該 当 し な い (<small>対象と なる 家 族 が い ない</small>)	無 回 答
記入例	1	2	3	④	5	6	7	8	
(ア) 家事	40.5%	33.9%	17.7%	1.8%	0.8%	0.2%	1.4%	0.0%	3.8%
(イ) 育児	24.8%	28.8%	11.9%	0.2%	0.0%	0.2%	0.5%	25.5%	8.1%
(ウ) 介護	9.4%	8.4%	9.8%	0.9%	0.4%	0.2%	2.3%	60.0%	8.5%

問3 あなたは、現在、日常生活において、家事や育児、介護をしていますか。また、している場合は、1日にどの程度時間をかけているか合わせてお答えください。なお、30分は0.5時間、1時間30分は1.5時間のように時間に直してご記入ください。(○はそれぞれ1つずつ)

項目	している	していない	該当しない (対象となる家族 がない)	無回答
記入例※	①(0.5時間/日)	2	3	
家事	69.9% (2.6 (平均) 時間/日)	13.7%	—	16.4%
育児	19.3% (4.1 (平均) 時間/日)	17.5%	50.5%	12.6%
介護	4.4% (2.6 (平均) 時間/日)	17.1%	67.1%	11.4%

※記入例は1日に30分間、家事などを行っている場合です。

問4 あなたは、新型コロナウイルス感染症の影響下において、家事や育児、介護の時間に変化はありましたか。変化があった場合は、その増減分をお答えください。(2時間から4時間に増加した場合は、「増えた」の欄に(2時間/日)増とご記入ください。)なお、30分は0.5時間、1時間30分は1.5時間のように時間に直してご記入ください。(○はそれぞれ1つずつ)

項目	増えた	減った	変化は なかった	該当しない (対象となる家 族がない)	無回答
記入例※	①(2時間/日)増	2(時間/日)減	3	4	
家事	20.8% (1.3 (平均) 時間/日) 増	1.3% (1.1 (平均) 時間/日) 減	63.2%	—	14.7%
育児	7.2% (2.8 (平均) 時間/日) 増	0.6% (1.5 (平均) 時間/日) 減	20.6%	58.3%	13.2%
介護	0.8% (1.7 (平均) 時間/日) 増	0.3% (0.3 (平均) 時間/日) 減	12.1%	73.9%	13.0%

※記入例は1日あたり2時間、家事などに費やす時間が増加している場合です。

問5 高齢者の介護は、主として女性(妻、娘、息子のパートナーなど)の役割になっていると思いますか。(○は1つだけ)

1. そう思う	22.5%	3. あまりそう思わない	} ⇒ 問6 ^	21.7%
2. まあそう思う	36.9%	4. 思わない		13.1%
		無回答		5.8%

問5-1は問5で「1」または「2」を選択した方にお伺いします。

問5-1 女性に介護負担がかかるのは、どうしてだと思いますか。(○はいくつでも)

1. 一般的に女性の役割ととらえられているから	44.0%
2. 女性の方が細やかな気配りができると考えられているから	42.9%
3. 介護される側が、男性より女性の介護を望んでいるから	23.6%
4. 男性は介護を理由に休みづらいから	54.2%
5. 介護を担うことへの抵抗感を男性が持っているから	22.4%
6. その他(具体的に:)	8.4%
無回答	1.7%

問6 あなたは、家族の介護を経験したことがありますか。(○は1つだけ)

1. 介護を経験したことがある(現在介護中の方を含む。)	27.7%
2. 介護を経験したことがない ⇒ 問7 へ	64.6%
無回答	7.7%

問6-1は問6で「1」を選択した方にお伺いします。

問6-1 あなたが介護をした理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 家族の介護をするのは当たり前だから	65.9%
2. 介護施設への入所が困難だったから	15.3%
3. パートナーが介護をしてくれなかったから	3.1%
4. パートナーを含め親族がいないため介護をせざるを得ない状況だったから	8.4%
5. パートナーと分担して介護をする必要があったから	12.2%
6. パートナーを含め親族と分担して介護をする必要があったから	19.3%
7. その他(具体的に:)	14.8%
無回答	2.8%

仕事について

問7 あなたの職業は、次のどれですか。(○は1つだけ)

1. 自営業 (家族従業者も含む)・フリーランス (自由業)	6.8%
2. 企業経営者・役員	3.5%
3. 正規の社員・職員	32.6%
4. 非正規の社員・職員 (契約社員・嘱託員など)	7.2%
5. パート・アルバイト	13.0%
6. その他 (具体的に:)	1.3%
7. 家事専業	12.9%
8. 学生	3.9%
9. 無職	15.8%
無回答	3.0%

問7-1, 問7-2 へ
 (「2」～「6」を選択した方は 問7-3 もご回答ください。)

問8 へ

問7-1は問7で「1」～「6」のいずれかを選択した方にお伺いします。

問7-1 あなたは、新型コロナウイルス感染症の影響下において、働き方に変化はありましたか。
 (○は1つだけ)

1. 仕事が増えた	11.6%	4. 変化はない	55.4%
2. 仕事が減った	22.2%	5. その他 (具体的に:)	7.6%
3. 失業した	1.0%	無回答	2.2%

問7-2は問7で「1」～「6」のいずれかを選択した方にお伺いします。

問7-2 働くうえで、特に困っていることや不安・不満に思うことはありますか。(○はいくつでも)

1. 自分の時間が持てない	23.9%
2. 仕事と育児を両立するのが難しそうなので、結婚や出産をためらっている	3.1%
3. 仕事と家事・育児・介護等との両立が難しい	15.4%
4. 生活に見合った収入を得ることができない	21.2%
5. 能力を正当に評価されていない、能力に見合った機会が与えられていないと感じる	10.4%
6. 性別や年齢、家庭の事情が原因で採用、賃金、昇進昇格などで差別されていると感じる	6.2%
7. 雇用が不安定であったり、会社の業績で就労条件が悪化する不安がある	15.8%
8. ハラスメント (嫌がらせ) がある	4.3%
9. その他 (具体的に:)	7.2%
10. 特にない	36.0%
無回答	3.5%

問 7-3 は問 7 で「2」～「6」のいずれかを選択した方にお伺いします。

問 7-3 あなたの職場は育児休業制度および介護休業制度がありますか。(○は1つだけ)

1. 育児休業制度・介護休業制度が両方ある	46.8%	4. ない	} ⇒ 問8 ^	17.4%
2. 育児休業制度のみある	8.1%	5. 制度があるかどうか知らない		17.4%
3. 介護休業制度のみある	0.2%	無回答		10.2%

問 7-4 は問 7-3 で「1」～「3」のいずれかを選択した方にお伺いします。

問 7-4 あなたの職場では、実際に育児・介護休業制度を利用することができますか。

(○は1つだけ)

1. どちらも利用が難しい・できない	8.0%	4. どちらも利用できる	} ⇒ 問8 ^	65.1%
2. 育児休業の利用が難しい・できない	2.0%	5. わからない		14.0%
3. 介護休業の利用が難しい・できない	7.6%	無回答		3.3%

問 7-5 は問 7-4 で「1」～「3」のいずれかを選択した方にお伺いします。

問 7-5 あなたの職場で育児・介護休業制度を利用できないと思われる理由は何ですか。

(○は3つまで)

1 職場に迷惑をかけたくない意識があるから	53.2%
2 職場が育児・介護休業を取得できる雰囲気ではないから	49.4%
3 過去に利用した人がいないから	32.9%
4 元の仕事(職場)に復帰できるとは限らないから	19.0%
5 昇進・昇格などに不利になると思うから	21.5%
6 収入が減少するから	29.1%
7 その他(具体的に:)	10.1%
無回答	2.5%

ワーク・ライフ・バランスについて

問8 あなたの生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活（地域活動、趣味・学習等）」の優先度について、あなたの希望に最も近いものを選んでください。（○は1つだけ）

1. 「仕事」を優先したい	3.2%
2. 「家庭生活」を優先したい	15.1%
3. 「個人の生活」を優先したい	13.7%
4. 「仕事」と「家庭生活」を優先したい	12.5%
5. 「仕事」と「個人の生活」を優先したい	6.9%
6. 「家庭生活」と「個人の生活」を優先したい	21.1%
7. 「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活」のすべてを両立させたい	24.5%
無回答	2.8%

問9 あなたの生活の中での優先度について、あなたの現実に最も近いものを選んでください。（○は1つだけ）

1. 「仕事」を優先している	20.5%
2. 「家庭生活」を優先している	21.4%
3. 「個人の生活」を優先している	11.6%
4. 「仕事」と「家庭生活」を優先している	17.8%
5. 「仕事」と「個人の生活」を優先している	6.7%
6. 「家庭生活」と「個人の生活」を優先している	12.0%
7. 「仕事」、「家庭生活」、「個人の生活」のすべてを両立させている	6.5%
無回答	3.5%

問10 「仕事」と「家庭生活」、「個人の生活（地域活動、趣味・学習等）」のバランスをうまくとるために必要なことは何だと思えますか。（○はいくつでも）

1. 長時間労働の削減	42.6%
2. 有給休暇の取得促進	38.7%
3. 仕事と育児・介護との両立支援	27.6%
4. フレックスタイムやテレワーク勤務などの柔軟な働き方	40.4%
5. 保育・介護施設や福祉サービスの充実	30.7%
6. 職場や上司の理解・協力	40.6%
7. 「男性は仕事、女性は家庭」という風潮や固定観念の改善	34.0%
8. 家族の理解・協力	50.6%
9. 外部サービスの活用（家事代行サービス、ベビーシッターなど）	17.8%
10. その他（具体的に： ）	5.7%
無回答	5.2%

問 11 女性の働き方について、あなたが望ましいと思うのは次のどれですか。(○は1つだけ)

1. 仕事はしない	1.2%
2. 結婚するまでは仕事をするが、結婚後はしない	3.0%
3. 子どもができるまでは仕事をするが、その後はしない	7.2%
4. 子育ての時期だけ一時的にやめて、その後はまた仕事をする	50.1%
5. 結婚・出産にかかわらず、ずっと仕事をする	23.1%
6. その他(具体的に：)	10.7%
無回答	4.7%

問 12 女性が長く働き続けることを困難にしたり、障害になっている理由はどんなことだと思いますか。(○はいくつでも)

1. 育児	54.9%	8. 職場での結婚・出産退職の慣行	19.4%
2. 子どもを預けるところがない	48.3%	9. 育児休業や再就職など、長く働き続けるための職場の条件・制度が不十分	53.6%
3. 家族の介護・看護	34.9%	10. 昇進・教育訓練などでの男女の不公平な扱い	20.3%
4. 子どもの教育	18.1%	11. 女性はすぐやめる、労働能力が劣るという考え方	24.1%
5. 家事	26.4%	12. その他(具体的に：)	5.1%
6. 転勤	16.3%	13. 障害、困難になるものはない	1.2%
7. 家族の無理解	29.7%	無回答	4.6%

学校教育について

問 13 あなたは、児童・生徒の男女平等意識を育てるために、学校教育で特に必要だと思われる取組は何だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 男女平等の意識を育てる授業をする	56.3%
2. 生活指導や進路指導において、男女間に差異がないように配慮する	45.9%
3. 出席簿、座席、名簿などを男女別にする習慣をなくす	14.2%
4. 男女平等教育に関して教員の研修を行う	35.6%
5. 校長、副校長など、指導的な立場の職の男女比の偏りを改善する	35.6%
6. 多様な家庭や家族のあり方について学ぶ	59.3%
7. その他(具体的に：)	7.7%
無回答	4.3%

人権について

問 14 いわゆる「JKビジネス」とは、女子高校生などの子どもの性を売り物とする形態の営業です。あなたは、AV出演強要やいわゆる「JKビジネス」などにより、子どもが性犯罪の被害に遭うのを防止するために、どのような対策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 学校において性に関する学習機会やSNSに関しての指導を行うこと	64.2%
2. 若年層でも気軽に相談できるようにLINEなどSNSを活用した相談窓口を設置すること	42.7%
3. 取締りや規制を強化すること	37.4%
4. 家に居場所がない子どもたちの支援を行うこと	53.7%
5. メディアやイベントなどを通じて、子ども、保護者、社会に対し、広報啓発を行うこと	25.3%
6. 子どもに、インターネットなどからJKビジネスの情報を見せないようにすること	10.9%
7. その他(具体的に：)	5.6%
無回答	3.5%

問 15 テレビ、インターネット、映画、新聞、雑誌、広告などのメディアが発信する表現(男性や女性に求める役割、性・暴力などに関する表現)について、あなたは日頃どのように感じていますか。(〇はいくつでも)

1. 男女のステレオタイプなイメージ(「男性は仕事、女性は家事・育児」、「男らしく、女らしく」)を固定的に発信している	24.7%
2. 伝えたい内容と関係がないのに、女性の性的側面を強調したり、男性の力強さを強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ	38.0%
3. 犯罪を助長する恐れを感じる	39.1%
4. 子どもの目にふれないような配慮が足りない	29.2%
5. 性的マイノリティ※に対する配慮が足りない	24.1%
6. 特に問題はない	14.5%
無回答	6.3%

※「性的マイノリティ」とは、「性」のあり方が多数派と異なる人のことをいい、「からだの性」と「自分が認識する性」が一致しない人(性同一性障害)、恋愛感情などの性的な意識が同性ないしは両性に向かう人(同性愛者、両性愛者)などを総称した言葉です。

ハラスメントについて

問 16 あなたは身近なところで次のハラスメント（嫌がらせ）を受けたことはありますか。

（○はいくつでも）

1. 権威や立場を利用した嫌がらせ（パワー・ハラスメント）	27.1%
2. 性的な嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）	8.1%
3. 言葉や態度による嫌がらせ（モラル・ハラスメント）	27.7%
4. 妊娠・出産・育児に関する嫌がらせ（マタニティ・ハラスメント）	3.7%
5. 性自認に関するハラスメント	1.0%
6. その他のハラスメント（具体的に：_____）	1.7%
7. 受けたことがない ⇒ 問 17 へ	52.7%
無回答	5.1%

問 16-1 は問 16 で「1」～「6」のいずれかを選択した方にお伺いします。

問 16-1 そのとき、だれ（どこ）に相談しましたか。（○はいくつでも）

1. 市の相談窓口	2.0%
2. 会社の上司、人事担当部署	20.5%
3. 学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど）	1.8%
4. 家族や親戚	24.7%
5. 友人・知人	32.9%
6. その他（具体的に：_____）	4.2%
7. だれ（どこ）にも相談しなかった	37.7%
無回答	2.5%

問 16-2 は問 16-1 で「7」を選択した方にお伺いします。

問 16-2 だれ（どこ）にも相談しなかった（できなかつた）理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから	12.8%
2. 相談してもむだだと思ったから	62.8%
3. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	5.8%
4. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっているとあったから	24.8%
5. そのことについて思い出したくなかったから	11.9%
6. 相談するほどのことではないと思ったから	31.0%
7. その他（具体的に：_____）	13.7%
無回答	0.0%

問 17 ハラスメント対策として取り組んでほしいことは何ですか。（○は3つまで）

1. ハラスメントなどの相談窓口の充実	46.7%
2. ハラスメント防止の啓発活動	31.1%
3. ハラスメントに関する研修・講習などの実施	36.4%
4. 就業規則などにハラスメント禁止を明記	33.1%
5. 法などの整備	39.0%
6. その他（具体的に：_____）	5.5%
無回答	9.9%

ドメスティック・バイオレンスについて

パートナーからの暴力をDV（ドメスティック・バイオレンス）といいます。また、近年では若い世代でも交際相手からの暴力（デートDV）が問題となっています。これらの暴力は、被害が深刻であるにもかかわらず、なかなか表面化しにくい特徴があります。身体的、精神的、社会的、経済的に優位に立つものが、様々な形の暴力で相手を支配しようとする行為は、人権侵害であり、社会全体で取り組むべき問題です。

問 18 あなたは、これまでにパートナーや交際相手から次のような行為をされたことはありますか。また、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する前後において変化はありましたか。
(拡大前・拡大後、○はそれぞれ1つずつ)

	コロナ拡大前				コロナ拡大後			
	何度もある	1、2度ある	まったくない	無回答	何度もある	1、2度ある	まったくない	無回答
記入例	1	2	③		1	②	3	
身体的暴力 (なぐられる、蹴られる、物を投げつけられる、突き飛ばされる、など)	1.7%	4.7%	86.1%	7.5%	0.3%	1.3%	90.0%	8.4%
精神的暴力 (大声で怒鳴られる、何を言っても無視される、日常的に罵られる、馬鹿にされる、など)	4.2%	9.0%	79.5%	7.3%	2.7%	5.4%	83.8%	8.0%
経済的暴力 (生活費を渡されない、貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害される、など)	1.3%	2.0%	89.0%	7.7%	0.6%	0.8%	90.1%	8.5%
性的暴力 (嫌がっているのに性的な行為を強要される、見たくないわいせつな映像等を見せられる、避妊に協力してもらえない、など)	0.5%	2.2%	89.6%	7.7%	0.1%	0.5%	91.1%	8.4%
社会的暴力 (交友関係や行き先、電話、郵便物、メールなどの内容を細かくチェックされる、外出や親族・友人などの付き合いを制限される、など)	1.1%	2.4%	88.9%	7.7%	0.4%	1.7%	89.6%	8.3%
子どもを巻き込んだ暴力(面前DV) (子どもの目の前で暴力を振るう、子どもを危険な目に合わせる、自分の言いたいことを子どもに言わせる、子どもに悪口を吹き込む、など)	1.3%	1.4%	88.6%	8.7%	0.7%	0.8%	89.1%	9.4%

※上記の項目で1つでも「1」「2」に○を付けられた方は、問 19 の回答後に問 19-2 についてもご回答ください。

問 19 あなたは、パートナーや交際相手以外の相手（家族、親族、知人など）から、次のような行為を受けたことはありますか。（○はいくつでも）

1. 身体的暴力（なぐられる、蹴られる、物を投げつけられる、突き飛ばされる、など）	7.6%
2. 精神的暴力（大声で怒鳴られる、何を言っても無視される、日常的に罵られる、など）	11.8%
3. 経済的暴力（生活費を渡されない、貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害される、など）	1.9%
4. 性的暴力（嫌がっているのに性的な行為を強要される、見たくないわいせつな映像等を見せられる、避妊に協力してもらえない、など）	2.3%
5. 受けたことはない	74.7%
無回答	9.5%

問 19-1 は問 19 で「1」～「4」を選択した方にお伺いします。

問 19-1 あなたは、そのような行為をいつ頃受けましたか。（○はいくつでも）

1. 幼少期（小学校就学前）	25.0%	4. 高等学校期	18.3%	7. 現在受けている	17.0%
2. 小学校期	37.9%	5. 大学期	12.9%	無回答	4.0%
3. 中学校期	32.6%	6. 学校卒業後	39.7%		

問 19-2 は問 18 のいずれかの項目で「1」（何度もある）、または「2」（1、2度ある）、問 19 で「1」～「4」を選択した方にお伺いします。

問 19-2 そのことをだれ（どこ）かに相談しましたか。（○は1つだけ）

1. 相談した → 問 19-3 へ	21.8%
2. 相談したかったが、相談先を知らなかった ⇒ 問 20 へ	3.4%
3. 相談したかったが、相談しなかった	3.7%
4. 相談しようと思わなかった	43.8%
無回答	27.2%

問 19-3 は問 19-2 で「1」を選択した方にお伺いします。

問 19-3 だれ（どこ）に相談しましたか。（○はいくつでも）

1. 友人・知人	57.9%	7. 市の各種相談窓口	14.5%
2. 家族・親戚	48.7%	8. 学校関係者	2.6%
3. 警察	7.9%	9. 子ども家庭支援センター	0.0%
4. 医師	6.6%	10. 東京ウィメンズプラザ、東京都女性相談センター等の公的機関	1.3%
5. 専門家（弁護士、カウンセラーなど）	6.6%	11. その他（具体的に：)	6.6%
6. 市の男女共同参画推進センター	1.3%	無回答	0.0%

問 19-4 は問 19-2 で「3」または「4」を選択した方にお伺いします。

問 19-4 だれ（どこ）にも相談しなかったのはなぜですか。（○はいくつでも）

1. 相談するほどのことではないと思った	44.0%	5. 家族・知人を巻き込みたくなかった	8.4%
2. 自分にも悪いところがあったと思った	30.7%	6. 相談する人がいなかった	15.1%
3. 相談しても無駄だと思った	32.5%	7. その他（具体的に：)	10.8%
4. 我慢すればやっていけると思った	30.7%	無回答	2.4%

問 20 パートナー間で次のようなことが行われた場合、あなたはそれを暴力だと思えますか。次の(1)～(10)について、それぞれ選んでください。(○は1つずつ)

	ど ん な 場 合 で も 暴 力 に あ た る と 思 う	暴 力 の 場 合 も 、 そ う で な い 場 合 も あ る と 思 う	暴 力 に あ た る と は 思 わ な い	無 回 答
記入例	①	2	3	
(1)何を言っても無視する	28.3%	52.6%	9.7%	9.4%
(2)交友関係や電話、メール、郵便を細かくチェックする	41.9%	38.3%	11.1%	8.7%
(3)外出や親族・知人との付き合いを制限する	42.2%	39.8%	9.1%	8.9%
(4)大切にしている物をわざと壊したり、捨てたりする	73.9%	13.5%	3.9%	8.7%
(5)「誰のおかげで生活できる」とか「役立たず」「クズ」などと言う	77.0%	10.8%	3.6%	8.6%
(6)なぐるふりをする、大声でどなる	73.6%	14.8%	3.1%	8.5%
(7)なぐる・蹴る	86.6%	2.3%	2.7%	8.4%
(8)見たくないのにポルノ映像やアダルトサイトを見せる	76.5%	10.0%	4.4%	9.0%
(9)性的な行為を強要したり、避妊に協力しない	79.1%	9.0%	3.0%	8.9%
(10)生活費を渡さない	71.2%	16.3%	3.6%	8.9%

問 21 ドメスティック・バイオレンスをなくすためにはどのような対策が必要だと思えますか。また、発生した場合に、被害者の安全を確保して早期に解決するために、特にどのような対応が有効だと思えますか。(○は3つまで)

1. 相談窓口の充実	34.2%
2. 緊急避難施設(暴力をふるった相手から一時的に逃げ、暴力を回避するための施設)の充実	54.0%
3. 緊急避難施設を出たあと、問題の解決や自立(転職、転居など)を一貫して支援する機関の設置	47.4%
4. 警察の相談・対応の充実	30.9%
5. ドメスティック・バイオレンスは重大な人権侵害であるという社会的な意識をつくるための情報や学習機会の充実	19.9%
6. 女性も男性も、お互いを尊重し、認め合える教育の推進	17.4%
7. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律、ストーカー行為等の規制等に関する法律などの法律の強化	32.8%
8. カウンセリング、自助グループ活動など、加害者の更生のための取組の充実	10.1%
9. 周囲の人の理解と支え	11.5%
10. その他(具体的に:)	2.7%
11. わからない	1.3%
無回答	6.2%

性的マイノリティについて

「性的マイノリティ」とは、「性」のあり方が多数派と異なる人のことをいい、「からだの性」と「自分が認識する性」が一致しない人（性同一性障害）、恋愛感情などの性的な意識が同性ないしは両性に向かう人（同性愛者、両性愛者）などを総称した言葉です。LGBTは、レズビアン（Lesbian）、ゲイ（Gay）、バイセクシュアル（Bisexual）、トランスジェンダー（Transgender）の頭文字をまとめたもので、性的マイノリティの総称のひとつとしても使われています。

問 22 あなたは自分の性別に違和感を覚えたり、恋愛感情が同性に向かうなど、性について悩んだりしたことはありますか。（○は1つだけ）

1. 悩んだことがある	2.0%	2. 悩んだことはない	92.9%
無回答	5.1%		

問 23 あなたは、「性的マイノリティ（又はセクシュアル・マイノリティ、LGBTなど）」という言葉を知っていましたか。（○は1つだけ）

1. 意味を知っていた	79.8%
2. 聞いたことはあるが、意味は知らなかった	9.5%
3. 聞いたことがなかった	6.1%
無回答	4.6%

問 24 あなたは性的マイノリティの人々の人権を守るために、特にどのような施策が必要だと思われるか。（○は3つまで）

1. 正しい理解を深めるための教育を学校で行う	54.8%
2. 正しい理解を深めるための啓発活動を行政が行う	30.7%
3. 悩みを打ち明けられるよう相談・支援体制を充実させる	47.6%
4. 学校や行政からの配付物について、性別を意識させる色や形をとらない	8.9%
5. 履歴書や申請書類などに極力、性別欄を設けない	9.4%
6. 個人利用ができる更衣室や多目的トイレの設置など施設面の整備を図る	22.9%
7. 性的マイノリティであっても不利な取り扱いをうけないよう法律やパートナーシップ制度※を整備する	53.1%
8. その他（具体的に：)	2.4%
9. 特に必要なことはない	4.1%
無回答	5.4%

※パートナーシップ制度：性的マイノリティのカップルをパートナーの関係であると自治体が認める制度

男女共同参画について

問 25 あなたは、次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	優 女性 が さ れ て い る	や や 女 性 の ほ う が 優 遇 さ れ て い る	平 等 に な っ て い る	や や 男 性 の ほ う が 優 遇 さ れ て い る	優 男 性 が さ れ て い る	無 回 答
(ア)家庭の中では	2.6%	10.6%	37.9%	35.9%	8.3%	4.7%
(イ)学校教育の場では	0.6%	3.9%	66.6%	18.5%	3.2%	7.0%
(ウ)職場の中では	1.1%	4.9%	20.9%	45.7%	21.9%	5.6%
(エ)社会通念・慣習・しきたりでは	0.3%	2.7%	13.6%	52.6%	25.4%	5.4%
(オ)政治の場では	0.1%	0.2%	8.0%	36.2%	50.4%	5.1%
(カ)法律や制度の上では	0.8%	2.9%	34.2%	37.8%	18.3%	6.0%
(キ)社会全体では	0.6%	2.5%	15.5%	55.8%	20.4%	5.1%

問 26 結婚、家庭、離婚について、様々な考え方がありますが、あなたは次のような意見について、どのように思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	そ う 思 う	そ う 思 う 言 え ば ど ち ら か と	思 わ な い 言 え ば ど ち ら か と	そ う 思 わ な い	無 回 答
(ア)結婚する、しないは個人の自由である	79.6%	14.9%	1.8%	0.9%	2.8%
(イ)男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである	2.1%	19.3%	19.3%	56.1%	3.2%
(ウ)日常的な家事の手伝いは、女の子・男の子の区別なく、同じようにさせた方がよい	70.7%	21.5%	3.0%	1.8%	3.0%
(エ)結婚しても子どもを持つかどうかは個人の自由である	72.6%	18.7%	3.9%	1.9%	3.0%
(オ)母親も父親も同じように子育てにかかわるべきである	66.9%	25.9%	2.3%	1.7%	3.2%
(カ)結婚しても、うまくいかなければ離婚してもよい	49.7%	34.1%	9.3%	3.9%	3.0%
(キ)結婚しても、夫婦別姓を選択できてよい	46.7%	26.6%	13.1%	10.4%	3.2%

問 27 政治や行政において企画や方針決定の過程で女性の参画を進めていくためには、どうしたらよいと思いますか。(○はいくつでも)

1. 行政などが女性の意識を高めるためのセミナーなどを積極的に開催する	31.0%
2. 行政が内部の女性職員を管理職・リーダーへ登用していくための計画を作成する	32.4%
3. 審議会や委員会などの委員に女性を優先的に登用する	6.1%
4. 政党が選挙の候補者に一定の割合で女性を含めるようにする	6.4%
5. その他(具体的に:)	5.7%
6. わからない	14.0%
無回答	4.3%

問 28 災害対策で男女双方の視点を活かすためには、特にどのようなことが重要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 防災分野の委員会や会議が、男女同数の構成になるようにする	23.7%
2. 男女のリーダーがともに研修等を通じて、男女双方の視点で災害対応への判断ができるようにする	51.9%
3. 災害に関する各種対応マニュアルなどに男女双方の視点を入れる	46.3%
4. プライバシー(トイレ・更衣・授乳・就寝スペース等)が確保できる避難所運営を行えるようにする	67.5%
5. 災害時におけるパートナーや子どもに対する暴力の防止策を講じたり、相談窓口を設置する	15.9%
6. 消防職員・警察官・自衛官・自治体職員などについて、防災担当に男女がバランスよく配置されるよう、採用・登用段階を含めて留意する	31.9%
7. その他(具体的に:)	1.6%
8. どれも必要だとは思わない	1.6%
無回答	3.6%

問 29 男女共同参画社会の実現に向けて、いろいろな講座や相談、資料収集などの事業をしている「調布市男女共同参画推進センター」を利用したことがありますか。(○は1つだけ)

1. 利用したことがある	2.2%
2. 知っているが、利用したことがない	21.6%
3. センターがあることを知らない	72.3%
無回答	3.9%

問 30 現在、調布市男女共同参画推進センターでは、いろいろな事業を実施しています。あなたは、特にどんな事業に参加または利用したいですか。(○はいくつでも)

1. 性別にかかわらず、いきいきと暮らすことができる社会を考える講座・講演会	34.3%
2. 女性の起業や就労を支援していくための講座・講演会	18.0%
3. あらゆる暴力をなくすための講座、人権に関する講座・講演会	15.2%
4. 男性対象の子育て・家事・介護などの講座・講演会	20.2%
5. 一時保育のついた講座・講演会	10.4%
6. 相談事業(女性の生きかた相談、女性のための法律相談、女性のヘルスケア相談など)	16.0%
7. 性的マイノリティの人権を考える講座・講演会	7.3%
8. 男女共同参画に関する図書、雑誌、資料の閲覧・貸出し	9.3%
9. その他(具体的に：)	1.5%
10. 特になし	33.6%
無回答	5.1%

問 31 あなたは、男女共同参画社会に関する次のような用語を知っていますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	で意味(内容)ま 知っている	聞いたことはあ るが、意味(内容) は知らない	知らない	無回 答
(ア) 男女共同参画社会基本法	15.1%	37.2%	42.8%	4.9%
(イ) DV防止法 (配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律)	39.4%	45.0%	10.8%	4.8%
(ウ) 女性活躍推進法 (女性の職業生活における活躍の推進に関する法律)	12.9%	41.9%	39.7%	5.4%
(エ) 調布市男女共同参画推進プラン	3.8%	22.8%	67.9%	5.4%
(オ) ジェンダー	56.3%	21.6%	16.6%	5.4%
(カ) 性別役割分担意識	21.5%	27.7%	44.2%	6.6%
(キ) ワーク・ライフ・バランス	49.0%	24.3%	20.8%	5.9%
(ク) 働き方改革	66.6%	23.5%	4.7%	5.2%
(ケ) ダイバーシティ(多様性)	47.1%	27.6%	19.4%	5.9%
(コ) DV(ドメスティック・バイオレンス)	82.6%	8.7%	3.5%	5.3%
(サ) デートDV	40.0%	19.9%	34.4%	5.6%
(シ) JKビジネス	60.6%	18.5%	15.6%	5.4%
(ス) 介護離職	64.6%	18.1%	12.4%	4.9%
(セ) ダブルケア	17.0%	25.4%	52.3%	5.4%
(ソ) SDGs(持続可能な開発目標)	27.2%	17.3%	50.2%	5.3%

問 32 今後、調布市における男女共同参画社会づくりのために、特にどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は5つまで)

1. 男女共同参画に関する情報提供や学習機会の確保	23.6%
2. 男女共同参画について学校教育の推進	22.9%
3. 女性の就労機会を増やすことや、職業教育・訓練を支援する取組	27.3%
4. 多様なライフスタイルに応じた働き方を選択できる環境の整備	49.3%
5. 男性の家庭(家事、育児、介護等)への主体的な参加を促すための意識啓発	23.1%
6. 地域コミュニティでの男女平等の推進	10.2%
7. 子育て支援サービスの充実(保育サービス、学童保育等)	46.1%
8. 介護サービスの充実(訪問介護、施設サービス等)	46.9%
9. パートナー間の暴力(ドメスティック・バイオレンス)やデートDVへの対策	9.5%
10. 若年層を取り巻く性犯罪や性暴力防止の取組	18.9%
11. 相談体制の強化・各種相談窓口の充実	20.0%
12. 健康づくり支援	16.7%
13. 防災分野における男女の視点を活かす取組	16.9%
14. 政策・方針決定過程への女性の参画促進	12.8%
15. 性的マイノリティに対する理解促進・環境整備	8.0%
16. その他(具体的に：)	1.9%
17. 特にない	5.6%
無回答	4.1%

最後に、調布市の男女共同参画の推進に関する施策などについて、ご意見やご要望がありましたら、どんなことでもご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は同封の返信用封筒に入れ、11月30日(月)までにポストに投函してください。(切手を貼る必要はありません。)

2. 事業所意識調査の調査票

基礎データについて

問1 事業所の概要について、お答えください。(直近で分かる数字をお答えください。)

事業所名			
所在地			
回答者の所属 と氏名	(所属) (連絡先：電話)	(氏名)	
業種	1. 建設業 9.1% 2. 製造業 9.1% 3. 情報通信業 3.0% 4. 運輸業 6.1% 5. 卸売業 18.2% 6. 小売業 6.1% 7. 金融・保険業 3.0% 8. 不動産業 0.0% 9. 飲食店 3.0% 10. 宿泊業 0.0% 11. 医療、福祉 6.1% 12. 教育、学習支援業 6.1% 13. サービス業 6.1% 14. その他(上記に含まれない業種) 15.2% 無回答 9.1%		
従業員の状況 ^{※1}	正社員 ^{※2}	男性 156.9人(平均)	女性 71.5人(平均)
	非正社員 ^{※3}	男性 66.6人(平均)	女性 112.3人(平均)
	管理職数 ^{※4}		
	役員	男性 4.1人(平均)	女性 1.0人(平均)
	部長相当職	男性 12.1人(平均)	女性 1.4人(平均)
	課長相当職	男性 29.2人(平均)	女性 5.1人(平均)
資本金	1. 500万円以下 3.0%	2. 500万円超、1,000万円以下 12.1%	
	3. 1,000万円超、2,000万円以下 15.2%	4. 2,000万円超、5,000万円以下 18.2%	
	5. 5,000万円超、1億円以下 27.3%	6. 1億円超、3億円以下 6.1%	
	7. 3億円超 9.1%	無回答 9.1%	
事業所の性格	1. 単独事業所 21.2%	2. 本社・本店 54.5%	3. 支社、営業所等 15.2% 無回答 9.1%

※1 この質問は、他に事業所・営業所・工場などがある場合は、それも含めた全体の人数でご回答ください。

※2 「正社員」には、正規の社員・従業員の人数を記入してください。

※3 「非正社員」には、「正社員」を除いた従業員(パートタイマー・アルバイト・契約社員・派遣社員等)の人数を記入してください。

※4 部長や課長などの役職名を採用していない場合は、貴事業所の実態により役職に該当するか適宜判断してください。

女性の登用・雇用について

問2 令和元年6月5日に女性活躍推進法等の一部を改正する法律が公布され、これまで努力義務とされてきた常時雇用する労働者数が101人以上300人以下の事業主についても、一般事業主行動計画*の策定や届出が義務化されました。貴事業所では、この改正があったことを知っていましたか。(○は1つだけ)

1. 知っていた	54.5%	2. 知らなかった	45.5%
		無回答	0.0%

*一般事業主行動計画とは、事業主が従業員の仕事と子育ての両立を図るための雇用環境の整備や、子育てをしていない従業員も含めた多様な労働条件の整備などに取り組むに当たって、①計画期間②目標③目標を達成するための対策の内容と実施時期を具体的に盛り込み策定するものです。

問3 女性の雇用・登用を進めるためにどのような取組を行っていますか、又は実施予定ですか。(○はいくつでも)

1. 女性の活用に関する担当者・責任者の選任など、企業内の体制を整備する	33.3%
2. 女性がいらない又は少ない職務・役職について、女性を積極的に採用・登用する	24.2%
3. 人事異動によって女性に様々な職種を経験させる	24.2%
4. 明確な人事考課基準に沿って、性別にとらわれない人事考課を行う	63.6%
5. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)のための制度を整備し、活用を促進する	27.3%
6. 男性社員および男性管理職に対し、女性活用の重要性について啓発を行う	15.2%
7. 女性に対するメンター制度を導入する	9.1%
8. 多様な働き方(短時間勤務、フレックスタイム、テレワーク等)を導入する	54.5%
9. その他(具体的に:)	3.0%
10. 行っていない、行う予定はない ⇒ 問4 へ	12.1%
無回答	0.0%

問3-1は問3で「1」～「9」を選択した方にお伺いします。

問3-1 貴事業所では、取組を実施し、どのような効果がありましたか。(○はいくつでも)

1. 女性従業員の労働意欲が向上した	37.9%	6. 生産性向上や競争力強化につながった	24.1%
2. 男性が女性を対等な存在として見るようになった	27.6%	7. 従業員の就業継続率が向上した	27.6%
3. 取引先や顧客からの評判が良くなった	13.8%	8. 特に目立った効果はなかった	17.2%
4. 優秀な人材を採用できるようになった	27.6%	9. 社員又は取引先からの理解が得にくく、	
5. 売上や利益率が向上した	3.4%	かえってマイナスであった	0.0%
		10. その他(具体的に:)	13.8%
		無回答	3.4%

問4 女性の雇用・登用を進める上で、どのような課題がありますか。(○はいくつでも)

1. 女性の勤続年数が平均的に短い	3.0%
2. 家事・育児・介護などを行っている女性が多いことを考慮する必要がある	51.5%
3. 一般的に女性は職業意欲が希薄である	0.0%
4. 顧客や取引先を含め、社会一般に職業人としての女性への信頼が不十分である	0.0%
5. 時間外労働、深夜労働をさせにくい	15.2%
6. 重量物の取扱いや危険有害業務について、制約がある	15.2%
7. 特になし	30.3%
無回答	3.0%

問5 貴事業所の現在の女性管理職の数をどのように考えていますか。(○は1つだけ)

1. 適切な数である	問6	へ	33.3%
2. 少ないと思っている			45.5%
3. 多いと思っている			0.0%
4. わからない	問6	へ	18.2%
無回答			3.0%

問5-1は問5で「2」を選択した方にお伺いします。

問5-1 女性管理職の数が少ないとすれば、それはどのような理由からですか。(○はいくつでも)

1. 必要な経験・判断力を有する女性がいらないから	33.3%
2. 女性が管理職になることを希望しないから	26.7%
3. 将来管理職につく可能性のある女性はあるが、役職につくための在籍年数を満たしていないから	20.0%
4. 勤続年数が短く、管理職になる前に退職してしまうから	6.7%
5. 女性従業員が少ない又は、いないから	20.0%
6. その他(具体的に：)	20.0%
無回答	0.0%

多様な働き方について

問6 貴事業所に現在在籍している「正社員」の平均勤続年数はどのくらいですか。直近の事業年度(または把握できる直近の1年間)についてお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

【男性の場合】

1. 3年未満	0.0%	3. 5~10年未満	36.4%	5. 15~20年未満	21.2%
2. 3~5年未満	3.0%	4. 10~15年未満	33.3%	6. 20年以上	6.1%
				無回答	0.0%

【女性の場合】

1. 3年未満	3.0%	3. 5~10年未満	51.5%	5. 15~20年未満	12.1%
2. 3~5年未満	3.0%	4. 10~15年未満	21.2%	6. 20年以上	6.1%
				無回答	3.0%

問7 「正社員」一人あたりの1か月の平均残業時間（超過勤務時間）はどのくらいですか。
（○は1つだけ）

1. 0～10 時間	39.4%	4. 31～40 時間	9.1%	7. 61 時間以上	0.0%
2. 11～20 時間	27.3%	5. 41～50 時間	0.0%	無回答	0.0%
3. 21～30 時間	24.2%	6. 51～60 時間	0.0%		

問8 正社員の平均の年次有給休暇の取得状況はどのくらいですか。（○は1つだけ）

1. 0～5 日	12.1%	3. 11～15 日	39.4%	5. 21 日以上	0.0%
2. 6～10 日	36.4%	4. 16～20 日	9.1%	無回答	3.0%

問9 有給休暇の取得促進のために行っていることはありますか。（○はいくつでも）

1. 有給休暇取得の奨励	69.7%	3. 時間単位での有給休暇取得が可能	30.3%
2. 半日単位での有給休暇取得が可能	57.6%	4. その他（具体的に：	9.1%
		無回答	6.1%

問10 貴事業所において、多様な働き方への取組として、以下のような制度はありますか。
（○はそれぞれ1つずつ）

	制度がある	今後導入する 予定である	制度はない	無回答
① 短時間勤務制度	60.6%	3.0%	30.3%	6.1%
② フレックスタイム制度	27.3%	3.0%	63.6%	6.1%
③ 在宅勤務制度（テレワーク等）	39.4%	9.1%	48.5%	3.0%
④ 始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ	39.4%	6.1%	45.5%	9.1%
⑤ 半日や時間単位の有給休暇	78.8%	3.0%	18.2%	0.0%
⑥ 所定時間外労働（残業）の免除	36.4%	3.0%	51.5%	9.1%
⑦ 再雇用制度（育児・介護で退職した人を正社員で優先的に雇用する制度等）	21.2%	15.2%	60.6%	3.0%
⑧ 障害者雇用制度	39.4%	3.0%	57.6%	0.0%
⑨ 育児・介護に要する経費の援助	18.2%	3.0%	69.7%	9.1%
⑩ 事業所内保育所の設置	9.1%	0.0%	84.8%	6.1%
⑪ 配偶者同行休業制度	6.1%	3.0%	84.8%	6.1%
⑫ 育児休業制度	78.8%	3.0%	18.2%	0.0%
⑬ 介護休業制度	75.8%	6.1%	18.2%	0.0%

→ 問10-1 へ

問 10-1 は問 10 の①～⑬のいずれかで「1」を選択した方にお伺いします。

問 10-1 制度を設けていることにより、どのような効果がありましたか。(〇はいくつでも)

1. 人材の確保	40.6%	8. 多様な人材の活用	31.3%
2. 人材の定着(離職者数の減少)	50.0%	9. 従業員のモチベーションの向上	34.4%
3. 業務量の変化への対応	6.3%	10. 従業員の時間管理能力の向上	31.3%
4. 業務の効率化	18.8%	11. 企業への帰属意識の向上	15.6%
5. 賃金の削減	3.1%	12. 企業イメージの向上	12.5%
6. 賃金以外の労務コストの削減	9.4%	13. その他(具体的に:)	0.0%
7. 従業員の生活と仕事の両立推進	56.3%	14. 特にない	25.0%
		無回答	0.0%

問 10-2 は問 10 の⑫、⑬で「1」を選択した方にお伺いします。

問 10-2 育児・介護休業制度の取得状況について利用者は何人でしたか。(数字を記入)

【①昨年度1年間の育児休業取得者数】

男性 1.4人(平均)

女性 8.4人(平均)

【②昨年度1年間の介護休業取得者数】

男性 0.12人(平均)

女性 0.24人(平均)

問 10-3 は問 10-2 で①、②で育児休業・介護休業の取得者が1人以上と記載した方にお伺いします。

問 10-3 休業中の労働者の代替要員をどのように確保しましたか。また、どのように確保したいと考えていますか。(〇は1つだけ)

【育児休業制度】

1. 期間雇用者(パートタイム・アルバイト、契約社員等)を雇用、または派遣社員を利用	41.2%
2. 配置転換で代替	11.8%
3. 部署内でやりくり	35.3%
4. その他(具体的に:)	11.8%
無回答	0.0%

【介護休業制度】

1. 期間雇用者(パートタイム・アルバイト、契約社員等)を雇用、または派遣社員を利用	0.0%
2. 配置転換で代替	25.0%
3. 部署内でやりくり	75.0%
4. その他(具体的に:)	0.0%
無回答	0.0%

問 11 男性従業員が育児に参加することについてどう考えていますか。(〇は1つだけ)

1. 積極的に参加したほうがよい	51.5%	3. 必要に迫られたときのみ参加すればよい	3.0%
2. 仕事に支障のない範囲で参加したほうがよい	39.4%	4. 参加する必要はない	0.0%
		無回答	6.1%

問 12 貴事業所では、男性の育児休業の取得促進のために取組を行っていますか。また、行っている場合どのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

1. 上司が積極的に育休をとる	0.0%	6. 目標件数を定める	3.0%
2. 個別に働きかけをする	12.1%	7. 取得事例の紹介をする	9.1%
3. 取得促進を奨励する部署をつくる	6.1%	8. その他(具体的に:)	0.0%
4. 法を上回る制度設計をする	9.1%	9. 行っていない	63.6%
5. 社内制度の周知を行う	21.2%	無回答	3.0%

問 13 平成 29 年 1 月 1 日及び同年 10 月 1 日の、改正育児・介護休業法の施行、令和元年 12 月 27 日の改正育児・介護休業法施行規則及び改正指針の公布により、介護休業の分割取得や育児休業取得期間の延長などが可能となりました。貴事業所では、この改正があったことを知っていましたか。(〇は 1 つだけ)

1. 知っていた	81.8%	2. 知らなかった	12.1%
		無回答	6.1%

問 14 男性従業員が育児休業を取得するにあたっての課題、または課題になりそうなことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 職場がそのような雰囲気ではない	24.2%	6. 男性自身に育児休業を取る意識がない	48.5%
2. 代替要員の確保が困難	57.6%	7. 休業中の賃金補償	33.3%
3. キャリア形成において不利になる懸念	9.1%	8. 社会全体の認識の欠如	15.2%
4. 上司の理解が進まない	9.1%	9. その他(具体的に:)	12.1%
5. 前例(モデル)がない	24.2%	10. 特になし	6.1%
		無回答	6.1%

問 15 新型コロナウイルス感染状況下で職場内の働き方は変わりましたか。(〇はいくつでも)

1. 仕事が増えた	15.2%	4. 会議・業務のオンライン化が進んだ	54.5%
2. 仕事が減った	15.2%	5. 変化はない	18.2%
3. テレワークが増えた	24.2%	6. その他(具体的に:)	6.1%
		無回答	3.0%

ワーク・ライフ・バランスについて

問 16 貴事業所のワーク・ライフ・バランスの取組として、どのようなものがありますか。

(○はいくつでも)

1. パンフレット等による両立支援のための既存制度の周知・PR	15.2%
2. 経営者、管理職等が両立支援の目的や趣旨、必要性について、研修を通じて理解を深めている	15.2%
3. 両立支援のための労使の話し合い	9.1%
4. 人事担当者に、管理上必要なことを勉強させたり、研修を行っている	18.2%
5. 職場アンケート等を行い、従業員の意見を聞き、改善を進めている	24.2%
6. 仕事のやり方の見直しや、長時間労働の削減に取り組んでいる	78.8%
7. ノー残業デーを設けている	24.2%
8. 年次有給休暇の取得を奨励している	72.7%
9. 男性の育児参加を積極的に促している	18.2%
10. 育児等対象者と、対象者以外の者の間に不公平感が出ないように、配慮した制度を設けている	6.1%
11. 多様な働き方を導入している	24.2%
12. その他（具体的に：)	3.0%
13. 特にない	6.1%
無回答	0.0%

問 17 貴事業所において、ワーク・ライフ・バランスの推進・柔軟な働き方ができる制度の整備を進める上で、特に難しいと感じているのはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 経営者の理解が進まないこと	9.1%	7. 勤務時間や勤務地の多様化による労務管理の煩雑化	21.2%
2. 管理職の理解が進まないこと	3.0%	8. 取組のためのノウハウ不足	18.2%
3. 風土の醸成	30.3%	9. 代替要員の確保等、人員配置に苦慮すること	60.6%
4. 売上減少等、経営への影響	21.2%	10. その他（具体的に：)	9.1%
5. 取組のための費用負担	12.1%	11. 特にない	15.2%
6. 制度利用者と非利用者の間での不公平感	27.3%	無回答	0.0%

ハラスメント対策について

問 18 令和2年6月1日より、労働施策総合推進法、男女雇用機会均等法及び育児・介護休業法が改正され、職場におけるハラスメント防止対策が強化されました。貴事業所では、この改正があったことを知っていましたか。(○は1つだけ)

1. 知っていた	93.9%	2. 知らなかった	6.1%
無回答	0.0%		

問 19 ハラスメントを防止するために行っていることはありますか。(○はいくつでも)

1. 就業規則などにハラスメント禁止を明記	69.7%
2. ポスター、リーフレット、手引きなど防止のための啓発資料を配布または掲示	27.3%
3. ハラスメントに関する研修・講習などの実施	42.4%
4. 事業所内外に相談窓口・担当者、苦情処理機関などを設置	48.5%
5. 実態把握のためのアンケートや調査を実施	15.2%
6. その他(具体的に：)	0.0%
7. 行っていない	24.2%
無回答	0.0%

問 20 職場でのハラスメントが起こった場合、対応として特に難しいと感じているのはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 事実確認が難しい	60.6%
2. プライバシーの保護が難しい	30.3%
3. どこまでがハラスメントに該当するか、線引きが難しい	66.7%
4. 被害者が嫌がっていることを加害者に理解させることが難しい	27.3%
5. 被害者への事実確認(事情聴取)に際しての対応が難しい	27.3%
6. 被害者への精神的ダメージが大きい場合の対応が難しい	21.2%
7. 加害者への処分を含めた対応が難しい	24.2%
8. 顧客や取引先が加害者の場合の対応が難しい	21.2%
無回答	9.1%

性的マイノリティ（LGBTなど）への配慮について

「性的マイノリティ」とは、「性」のあり方が多数派と異なる人のことをいい、「からだの性」と「自分が認識する性」が一致しない人（性同一性障害）、恋愛感情などの性的な意識が同性ないしは両性に向かう人（同性愛者、両性愛者）などを総称した言葉です。LGBTは、レズビアン（Lesbian）、ゲイ（Gay）、バイセクシュアル（Bisexual）、トランスジェンダー（Transgender）の頭文字をまとめたもので、性的マイノリティの総称のひとつとしても使われています。

問 21 性的マイノリティ（LGBTなど）への配慮として行っている取組はありますか。

（○はいくつでも）

1. 相談窓口を設置する	6.1%
2. 当事者が利用しやすいトイレや更衣室などを設置する	9.1%
3. 事業所内において、啓発ポスターなどを掲示・配置する	3.0%
4. 従業員の理解促進のための講習会や研修を実施する	9.1%
5. 結婚祝金や家族手当、慶弔見舞などの福利厚生を適用する	3.0%
6. 社内の規定や採用情報などで「セクシュアリティで差別をしない」などの文言を明記する	6.1%
7. その他（具体的に：)	3.0%
8. 特になし	72.7%
無回答	6.1%

問 22 貴事業所において、性的マイノリティ（LGBTなど）に対する支援をするための制度の整備を進める上で、特に難しいと感じているのはどのようなことですか。（○はいくつでも）

1. 経営層の理解や協力が得られない	6.1%
2. 社員の理解が足りない	18.2%
3. 顧客や取引先の理解が得られない	0.0%
4. 当事者のニーズや意見を把握することが難しい	27.3%
5. 取組の効果の把握が難しい	12.1%
6. どのような取組を実施すればよいのかわからない	33.3%
7. 取組を行うための知見を持った人材がいない	18.2%
8. 取組を行うための予算が確保できない	3.0%
9. その他（具体的に：)	0.0%
10. 特に困難と感ずることはない	3.0%
11. わからない	36.4%
無回答	9.1%

最後に、調布市の男女共同参画の推進に関する施策などについて、ご意見やご要望がありましたら、どんなことでもご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は同封の返信用封筒に入れ、11月30日(月)までにポストに投函してください。(切手を貼る必要はありません。)

登録番号
(刊行物番号)

2020-193

調布市男女共同参画に関する意識調査報告書

令和3年3月

発行：調布市

編集：生活文化スポーツ部 男女共同参画推進課

〒182-0022

東京都調布市国領町2-5-15 コクティール3階

調布市男女共同参画推進センター

電話 042-443-1213